

平成 30 年度
福井市民意識調査報告書

～あなたの声を福井の未来に～



福 井 市

報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は100.0%を超える。

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査の項目	1
4	回収結果	2
II	調査対象者の属性	3
III	調査結果	6
◆	市のまちづくりについて	6
	施策の満足度・重要度	23
◆	福井市に対する意識について	72
◆	男女共同参画に関する考え方について	76
◆	健康づくりに対する意識について	81
◆	食育の推進状況について	84
◆	地球温暖化対策について	87
◆	福井市本町通り地下駐車場について	94
◆	運動やスポーツについて	98
◆	福井市文化会館の再整備について	102
◆	働き方改革について	107
◆	観光客受け入れに関する意識について	108
◆	人口減少・超高齢社会を踏まえた生活の場について	110
IV	自由意見	111
V	調査票	115

I 調査の概要

1 調査の目的

第七次福井市総合計画に係る各施策等について、今後の市政運営の方向性を探り、事業の効果及び進捗状況並びに市民ニーズを把握することを目的に実施する。

2 調査の設計

- | | |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 福井市全域 |
| (2) 調査対象 | 市内に住所を有する18歳以上の男女2,500人 |
| (3) 抽出方法 | 平成30年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
(地区人口比率、男女、年齢等の属性を考慮) |
| (4) 調査方法 | 郵送またはインターネットによる |
| (5) 調査期間 | 平成30年6月5日(火)～平成30年6月26日(火) |

3 調査の項目

- (1) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 市のまちづくりについて 施策の満足度・重要度(40問)
- (3) 福井市に対する意識について(4問)
- (4) 男女共同参画に関する考え方について(3問)
- (5) 健康づくりに対する意識について(3問)
- (6) 食育の推進状況について(3問)
- (7) 地球温暖化対策について(3問)
- (8) 福井市本町通り地下駐車場について(4問)
- (9) 運動やスポーツについて(2問)
- (10) 福井市文化会館の再整備について(3問)
- (11) 働き方改革について(1問)
- (12) 観光客受け入れに関する意識について(2問)
- (13) 人口減少・超高齢社会を踏まえた生活の場について(1問)

4 回収結果

回収数（率） 926 票（37.0%）

	標本数	全体	回収数		回収率
			郵便(割合)	インターネット(割合)	
全体	2,500	926	781 (84.3%)	145 (15.7%)	37.0%

【性別】

	標本数	全体	回収数		回収率
			郵便(割合)	インターネット(割合)	
男性	1,284	398	317 (79.6%)	81 (20.4%)	31.0%
女性	1,216	512	450 (87.9%)	62 (12.1%)	42.1%
無回答	－	16	14 (87.5%)	2 (12.5%)	－
合計	2,500	926	781 (84.3%)	145 (15.7%)	37.0%

【年齢別】

	標本数	全体	回収数		回収率
			郵便(割合)	インターネット(割合)	
18～29 歳	394	67	39 (58.2%)	28 (41.8%)	17.0%
30～39 歳	379	125	91 (72.8%)	34 (27.2%)	33.0%
40～49 歳	468	149	110 (73.8%)	39 (26.2%)	31.8%
50～59 歳	413	157	132 (84.1%)	25 (15.9%)	38.0%
60～69 歳	476	230	214 (93.0%)	16 (7.0%)	48.3%
70 歳以上	370	185	182 (98.4%)	3 (1.6%)	50.0%
無回答	－	13	13 (100.0%)	0 (0.0%)	－
合計	2,500	926	781 (84.3%)	145 (15.7%)	37.0%

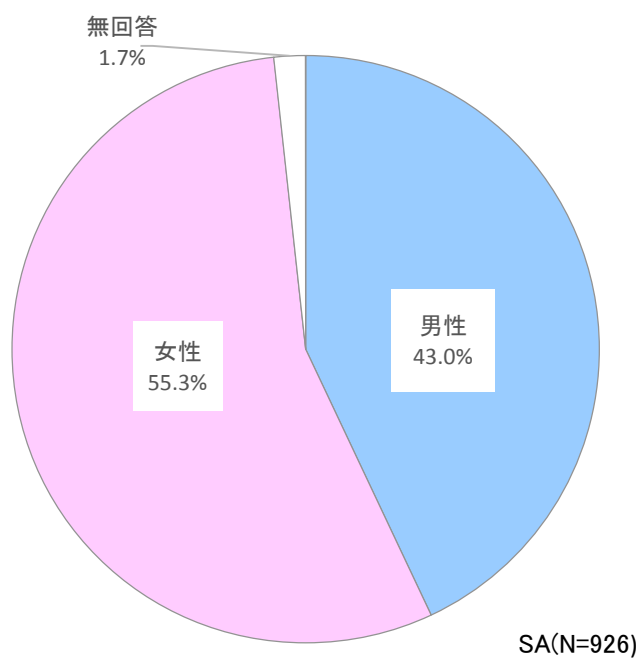
【居住ブロック】

	標本数	全体	回収数		回収率
			郵便(割合)	インターネット(割合)	
あたごブロック	360	136	113 (83.1%)	23 (16.9%)	37.8%
不死鳥ブロック	437	171	147 (86.0%)	24 (14.0%)	39.1%
みなみブロック	481	169	140 (82.8%)	29 (17.2%)	35.1%
あずまブロック	316	116	97 (83.6%)	19 (16.4%)	36.7%
九頭竜ブロック	469	150	123 (82.0%)	27 (18.0%)	32.0%
光ブロック	145	63	56 (88.9%)	7 (11.1%)	43.4%
川西ブロック	116	41	39 (95.1%)	2 (4.9%)	35.3%
足羽ブロック	176	77	66 (85.7%)	11 (14.3%)	43.8%
無回答	－	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	－
合計	2,500	926	781 (84.3%)	145 (15.7%)	37.0%

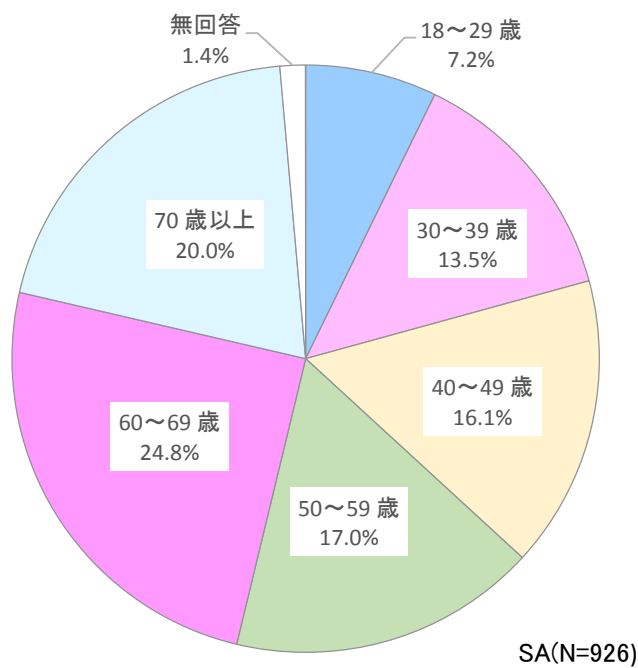
※（ ）内は構成比を表しています。

Ⅱ 調査対象者の属性

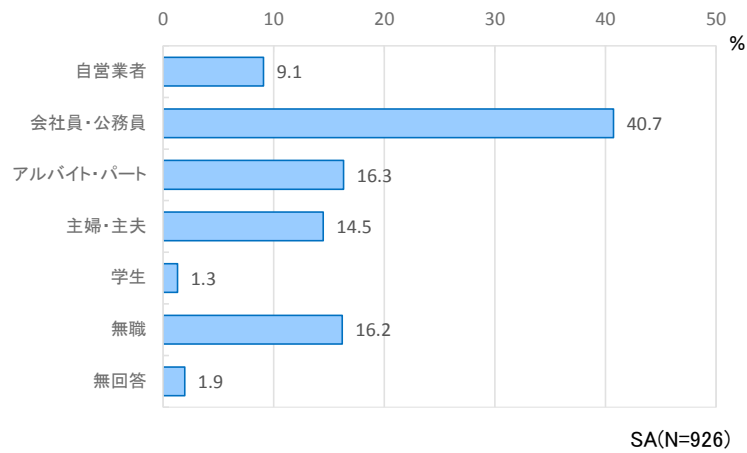
F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)



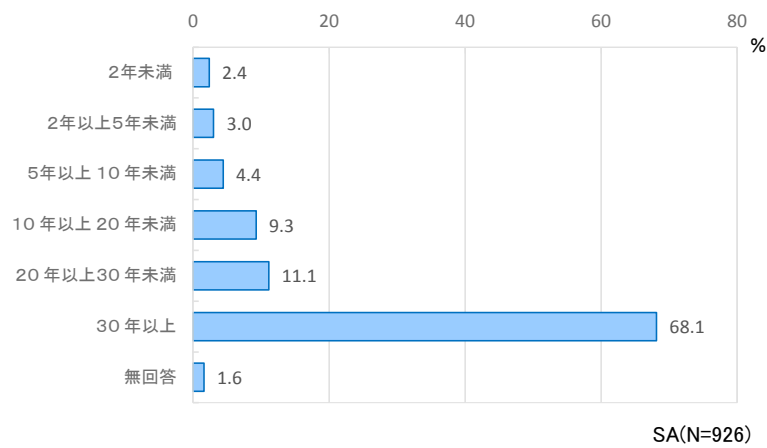
F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)



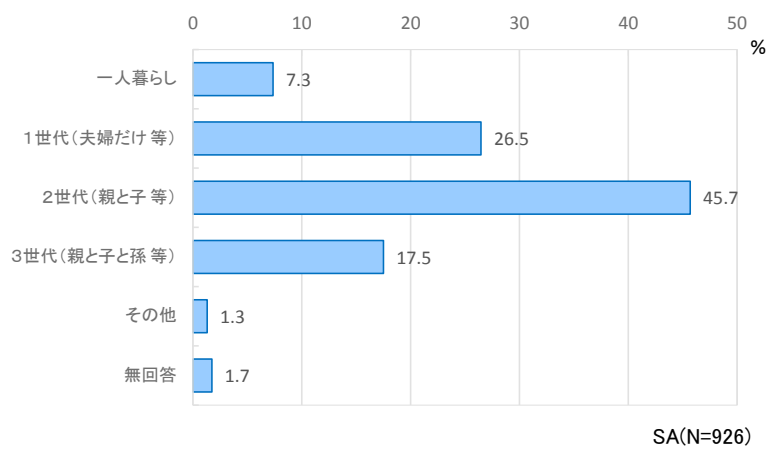
F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)



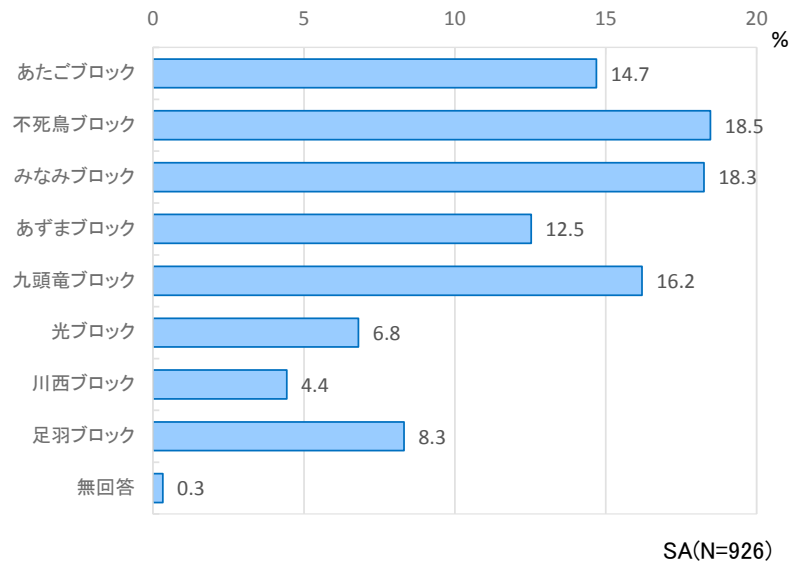
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)



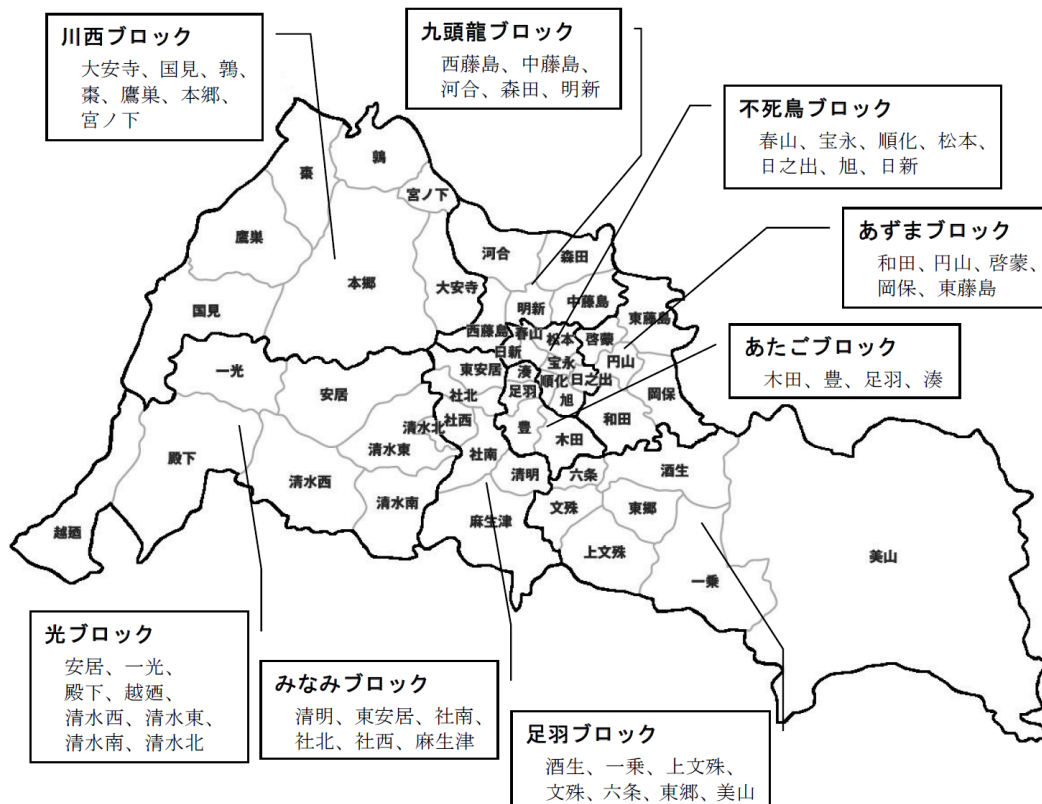
F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)



6 居住ブロック



※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



Ⅲ 調査結果

◆市のまちづくりについて

問1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。表中の「施策のポイント」を参考にいただき、施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。（それぞれ1つ）

No	施策	施策のポイント
----	----	---------

Ⅰ 快適に暮らすまち		
1	県都の顔にふさわしい都市空間形成(県都)	・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備
2	中心市街地の活性化(中心市街地)	・ハピリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上
3	北陸新幹線の福井開業準備(北陸新幹線)	・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備
4	移住定住の促進(移住定住)	・本市の魅力をPRすることによる、都市圏からのUターンへの促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援
5	公共交通機関の利便性向上(公共交通)	・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の掘り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援
6	公園の整備・維持管理(公園)	・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・国体に向けた総合運動公園の駐車場等の施設の整備 ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援
7	市道の整備・維持管理(市道)	・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強
8	建築物の安全性向上と住環境の整備(住環境)	・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え
9	治水環境の整備(治水)	・河川や水路の整備と維持管理
10	生活排水の適切な処理(生活排水)	・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、污水处理場設備の更新
11	おいしい水の安定供給(おいしい水)	・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営
12	都市ガスの安定供給(都市ガス)	・都市ガスの安定供給と保安の確保 ・ガス事業の健全経営

Ⅱ 住みよいまち		
13	女性が活躍できる環境づくり(女性)	・幅広い年代の市民や企業への意識啓発による、女性が輝く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓発
14	多文化共生と国際交流の推進(多文化共生)	・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流
15	協働のまちづくり(協働)	・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓発や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進
16	地域コミュニティの活性化(地域コミュニティ)	・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や魅力発信事業への支援
17	健康づくり支援(健康づくり)	・認知症初期段階での支援チーム(医療や福祉の専門職)による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓発
18	子育て環境の充実(子育て環境)	・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営
19	高齢者の活躍支援(高齢者)	・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援
20	障がい者の活躍支援(障がい者)	・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援
21	環境保全の推進(環境保全)	・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・大気汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発
22	ごみの適正な処理(ごみ)	・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進
23	地域の防災力・防犯力を高める(防災防犯)	・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり
24	消防・救急体制の強化(消防救急)	・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施
25	消費者保護の推進(消費者保護)	・消費者相談や消費生活に関する情報提供
26	交通安全の推進(交通安全)	・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進

Ⅲ 生き活きと働くまち		
27	農林水産業の推進(農林水産業)	・農地集積、集落営農の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・Uターン者の農林水産業への就業支援と定住の促進
28	農産物の需要拡大(農産物)	・金福すいか、きやろふく(サラダ人参)に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進
29	農山漁村の生活環境を守る(農山漁村)	・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止
30	商工業の振興(商工業)	・企業の新技術や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・市外企業の誘致や企業立地に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援
31	福井で働くことを応援する(労働)	・学生や社会人へのUターン就職や正規雇用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援
32	観光の振興とおもてなしの充実(観光)	・一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸への誘客 ・ふくい桜まつりや福井フェニックスまつりの開催 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進

Ⅳ 学び成長するまち		
33	文化芸術の振興(文化芸術)	・市美展や魅力ある企画展の開催 ・文化会館の整備
34	歴史・文化遺産の保存・活用(歴史文化)	・一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催
35	自然科学教育の充実(自然科学)	・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館(セーレンブラネット)の管理運営
36	学校教育の充実(学校教育)	・ALT等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアコーディネーターの配置
37	子どもの健全育成(子ども)	・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施
38	学校環境の整備(学校環境)	・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施
39	生涯学習の支援(生涯学習)	・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修
40	生涯スポーツの支援(生涯スポーツ)	・各種スポーツ事業への助成 ・「福井しあわせ元気」国体、障害者スポーツ大会に向けた機運醸成と円滑な開催に向けたボランティアの育成と確保

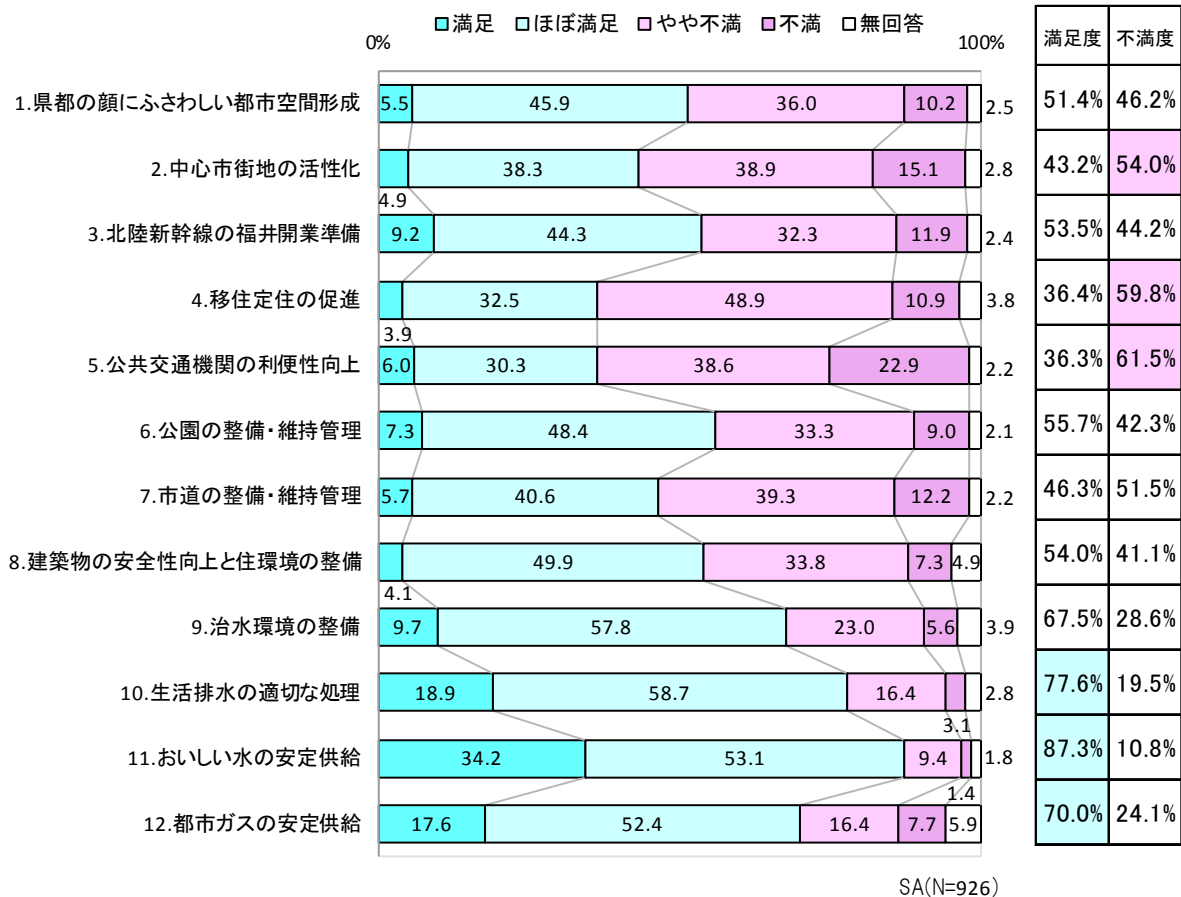
※この報告書では、施策名をカッコ内の略称で表記する場合があります。

満足度と不満度について

I 快適に暮らすまち

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の上位3位は、高い順に「11. おいしい水の安定供給」（87.3%）、「10. 生活排水の適切な処理」（77.6%）、「12. 都市ガスの安定供給」（70.0%）となっている（カッコ内は満足度の割合）。

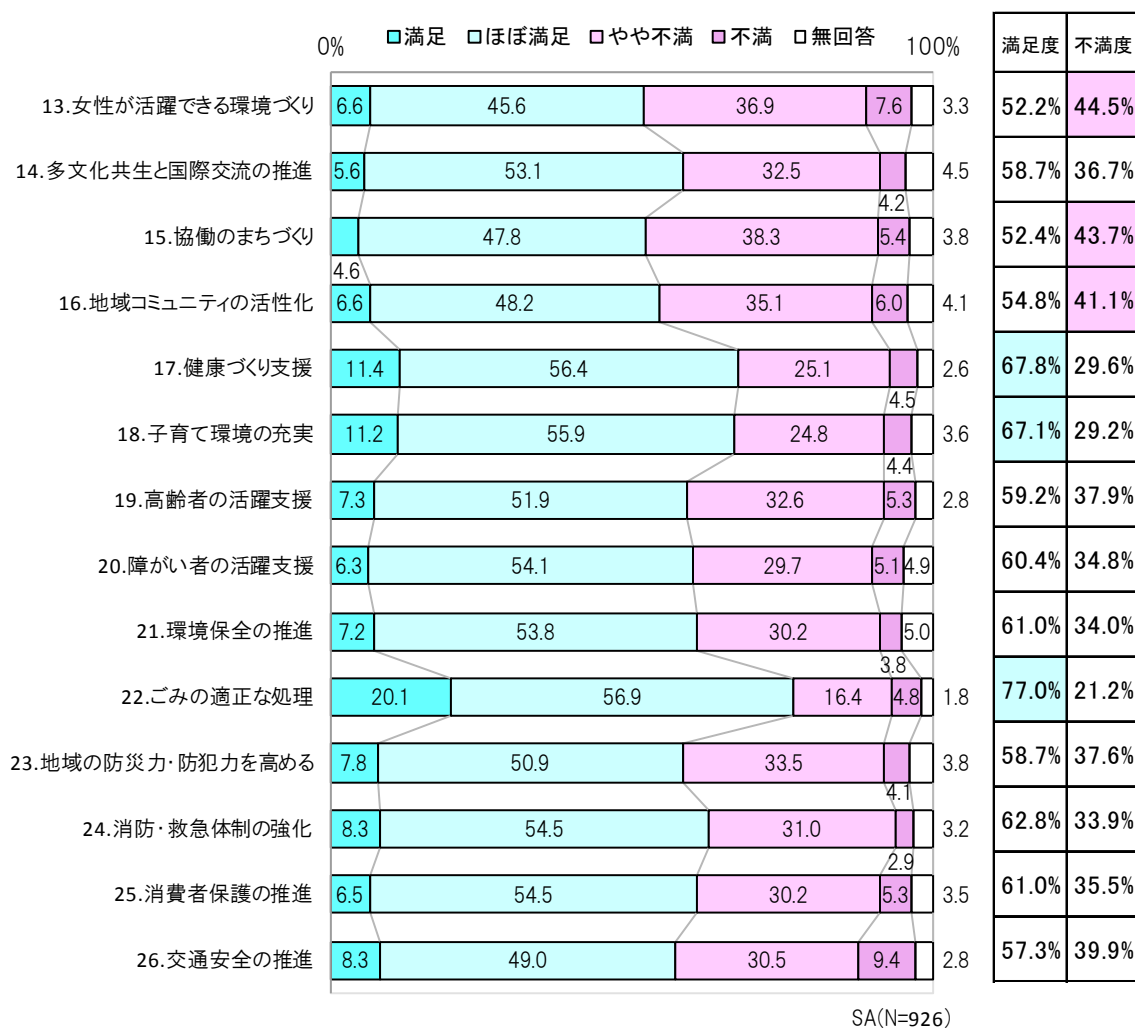
また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）の上位3位は、高い順に「5. 公共交通機関の利便性向上」（61.5%）、「4. 移住定住の促進」（59.8%）、「2. 中心市街地の活性化」（54.0%）となっている（カッコ内は満足度の割合）。



Ⅱ 住みよいまち

満足度の上位3位は、高い順に「22. ごみの適正な処理」(77.0%)、「17. 健康づくり支援」(67.8%)、「18. 子育て環境の充実」(67.1%)となっている。

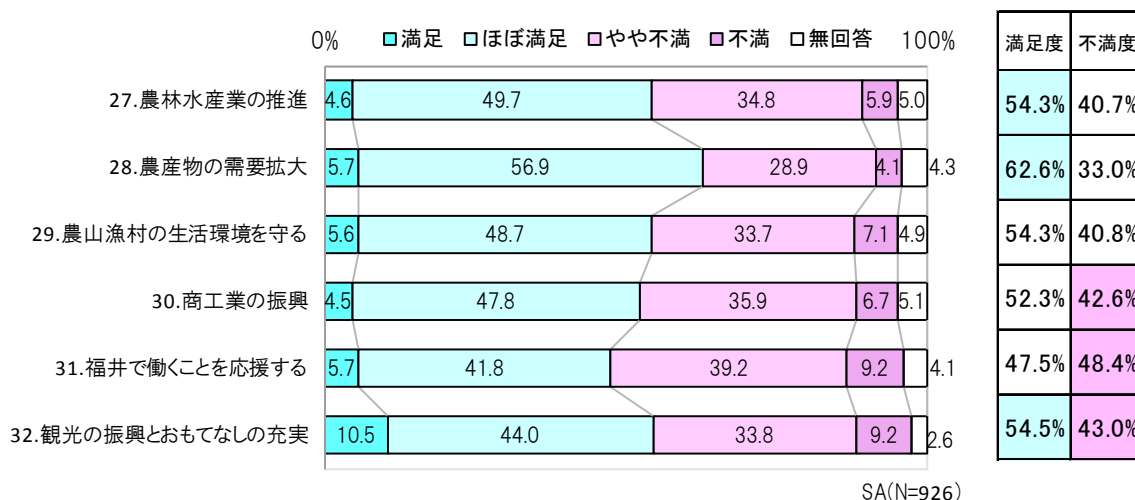
また、不満度の上位3位は、高い順に「13. 女性が活躍できる環境づくり」(44.5%)、「15. 協働のまちづくり」(43.7%)、「16. 地域コミュニティの活性化」(41.1%)となっている。



Ⅲ 生き活きと働くまち

満足度の上位3位は、高い順に「28. 農産物の需要拡大」(62.6%)、「32. 観光の振興とおもてなしの充実」(54.5%)、「27. 農林水産業の推進」(54.3%)となっている。

また、不満度の上位3位は、高い順に「31. 福井で働くことを応援する」(48.4%)、「32. 観光の振興とおもてなしの充実」(43.0%)、「30. 商工業の振興」(42.6%)となっている。

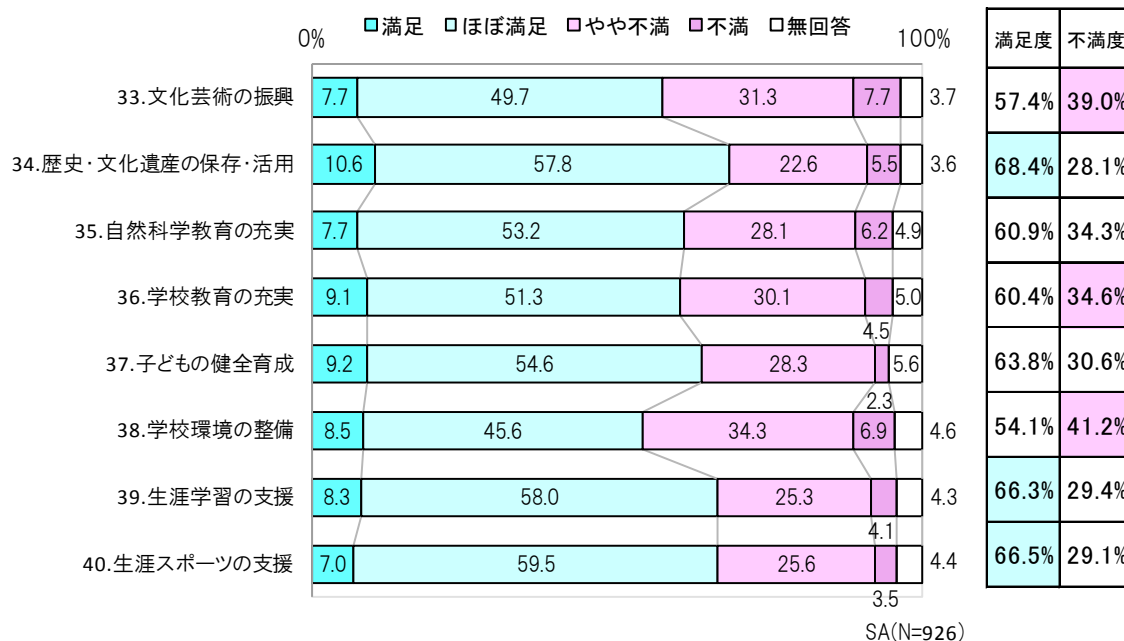


※27 農林水産業、29 農山漁村は小数点第2位まで数値が同じであった為、不満度の数値が低い方を満足度の上位とした

Ⅳ 学び成長するまち

満足度の上位3位は、高い順に「34. 歴史・文化遺産の保存・活用」(68.4%)、「40. 生涯スポーツの支援」(66.5%)、「39. 生涯学習の支援」(66.3%)となっている。

また、不満度の上位3位は、高い順に「38. 学校環境の整備」(41.2%)、「33. 文化芸術の振興」(39.0%)、「36. 学校教育の充実」(34.6%)となっている。

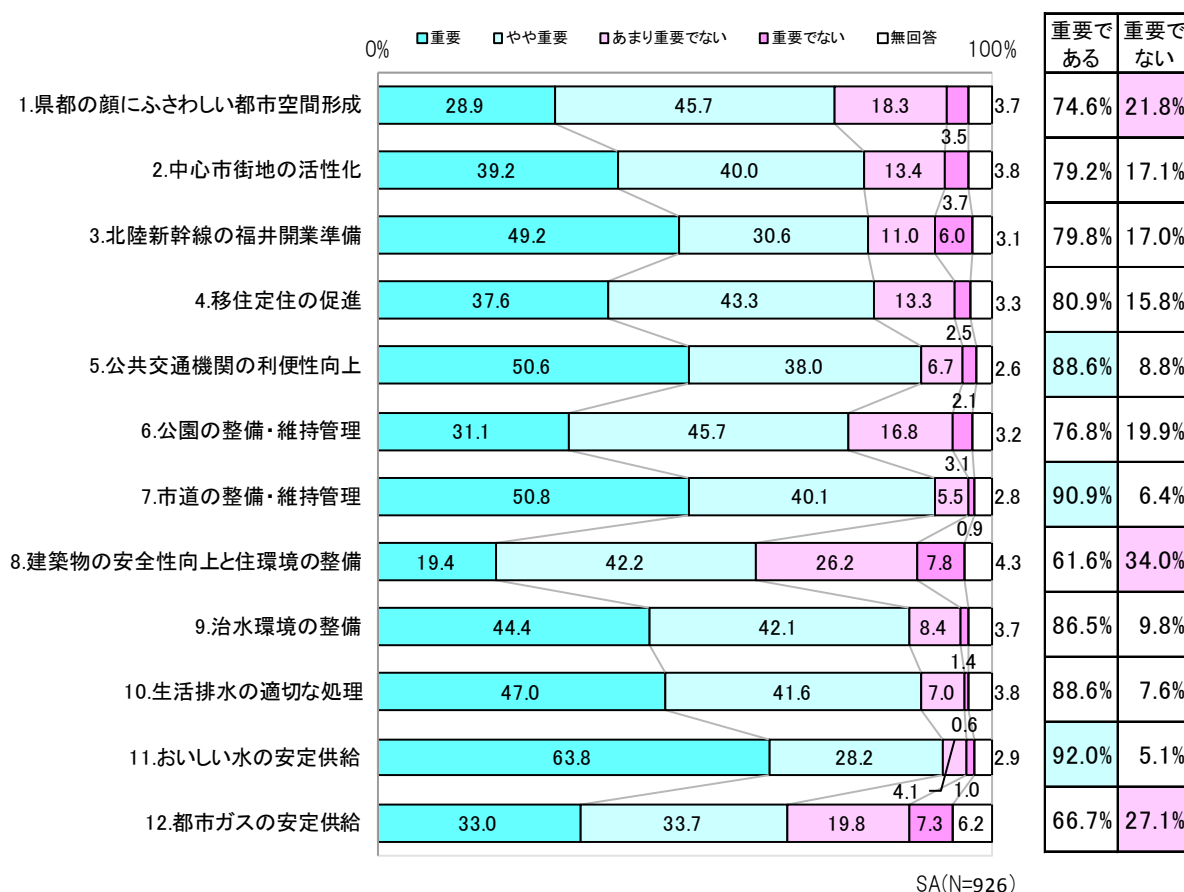


「重要である」と「重要ではない」について

I 快適に暮らすまち

「重要である」（「重要」と「やや重要」の合計）の上位3位は、高い順に「11. おいしい水の安定供給」（92.0%）、「7. 市道の整備・維持管理」（90.9%）、「5. 公共交通機関の利便性向上」（88.6%）になっている（カッコ内は重要度の割合）。

また、「重要ではない」（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）の上位3位は、高い順に「8. 建築物の安全性向上と住環境の整備」（34.0%）、「12. 都市ガスの安定供給」（27.1%）、「1. 県都の顔にふさわしい都市空間形成」（21.8%）になっている（カッコ内は重要度の割合）。

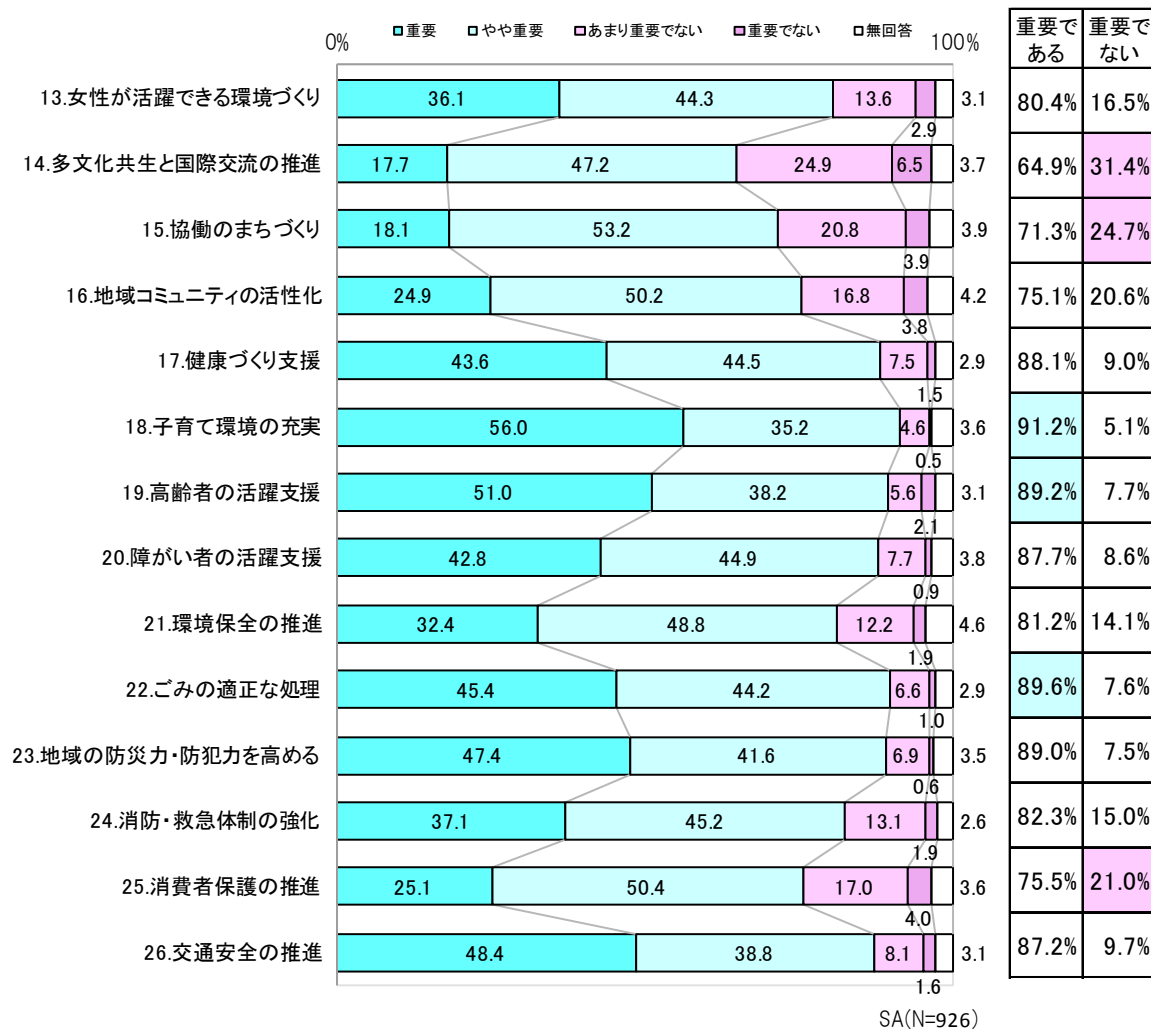


※5.公共交通、10.生活排水を小数点第2位まで計算した結果、5.公共交通の「重要である」が高くなっているため上位とした

Ⅱ 住みよいまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「18. 子育て環境の充実」(91.2%)、「22. ごみの適正な処理」(89.6%)、「19. 高齢者の活躍支援」(89.2%)となっている。

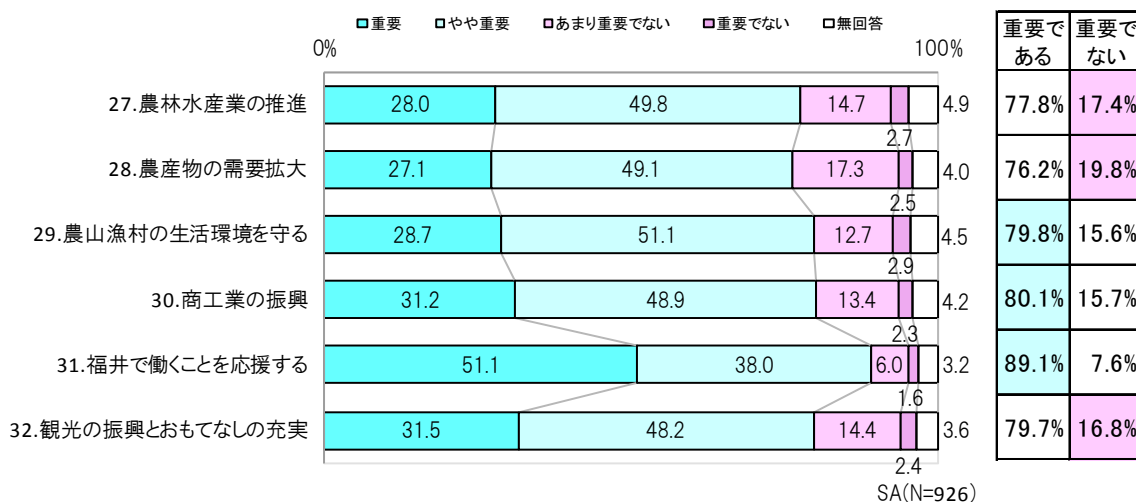
また、「重要ではない」の上位3位は、高い順に「14. 多文化共生と国際交流の推進」(31.4%)、「15. 協働のまちづくり」(24.7%)、「25. 消費者保護の推進」(21.0%)となっている。



Ⅲ 活き活きと働くまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「31. 福井で働くことを応援する」(89.1%)、「30. 商工業の振興」(80.1%)、「29. 農山漁村の生活環境を守る」(79.8%)となっている。

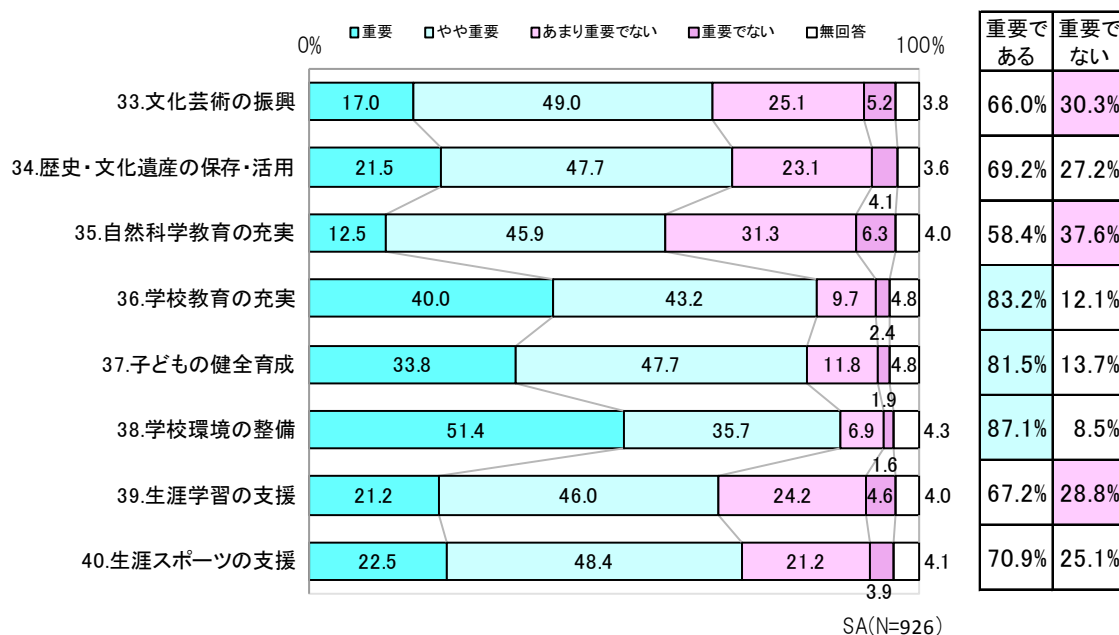
また、「重要ではない」の上位3位は、高い順に「28. 農産物の需要拡大」(19.8%)、「27. 農林水産業の推進」(17.4%)、「32. 観光の振興とおもてなしの充実」(16.8%)となっている。



Ⅳ 学び成長するまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「38. 学校環境の整備」(87.1%)、「36. 学校教育の充実」(83.2%)、「37. 子どもの健全育成」(81.5%)となっている。

また、「重要ではない」の上位3位は、高い順に「35. 自然科学教育の充実」(37.6%)、「33. 文化芸術の振興」(30.3%)、「39. 生涯学習の支援」(28.8%)となっている。



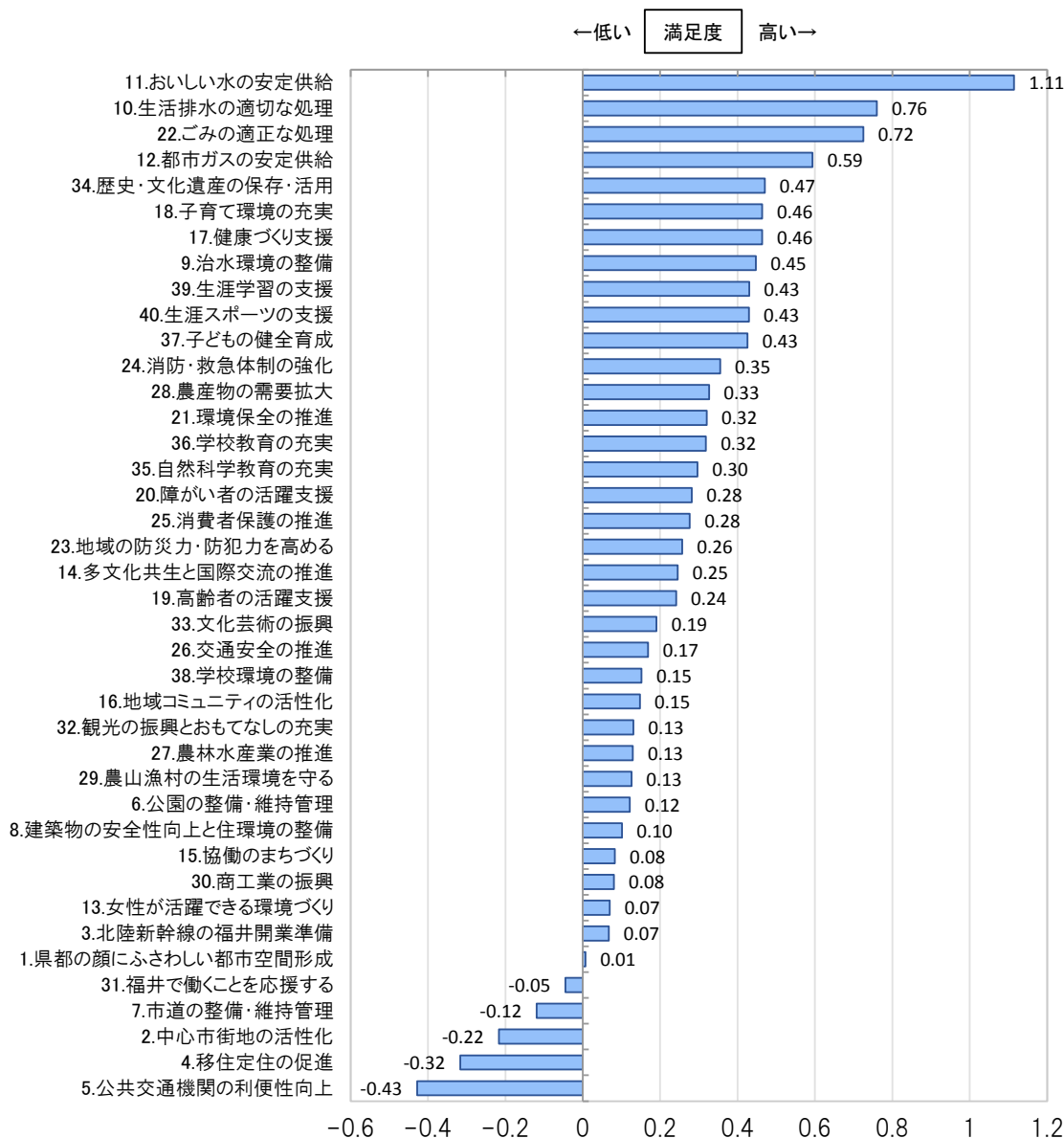
満足度の評価点

満足度を総合的に評価するため、以下のように満足度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

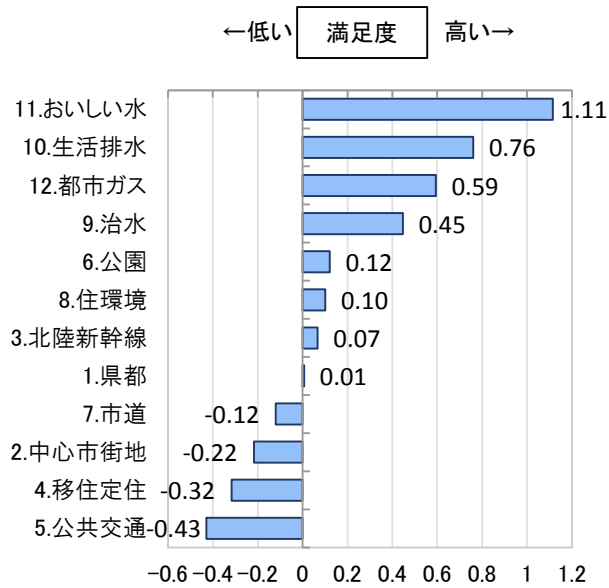
満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

評価点の上位をみると、高い順に「11. おいしい水の安定供給」(1.11)、「10. 生活排水の適切な処理」(0.76)、「22. ごみの適正な処理」(0.72)となっている。

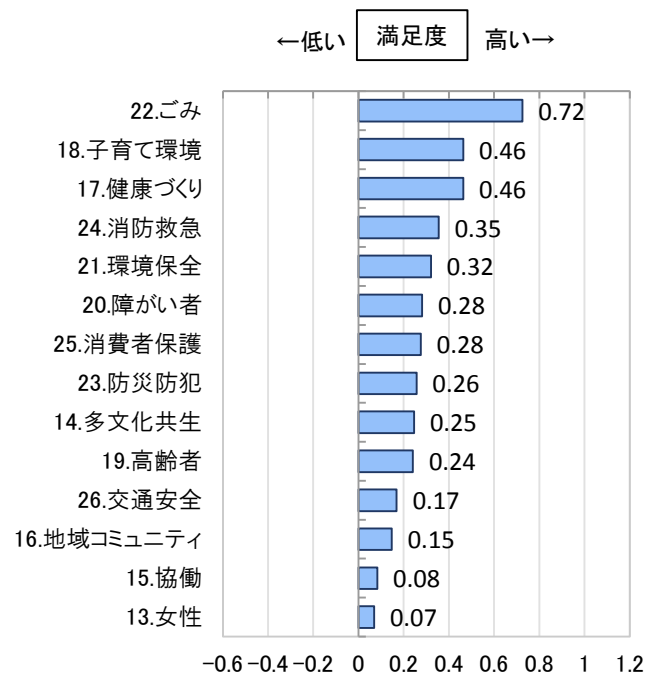
また下位は、低い順に「5. 公共交通機関の利便性向上」(-0.43)、「4. 移住定住の促進」(-0.32)、「2. 中心市街地の活性化」(-0.22)となっている（カッコ内は評価点）。ただし、評価点の順位は「満足度」の順位とは必ずしも一致しない。



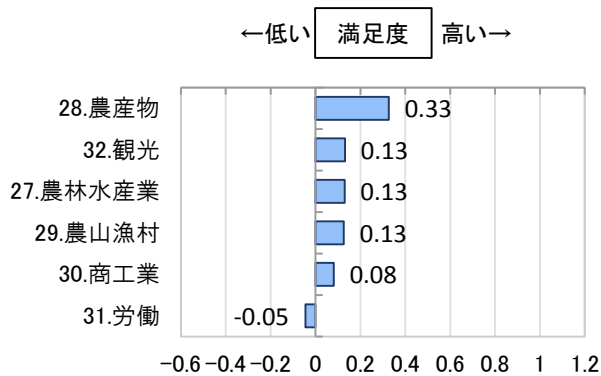
I 快適に暮らすまち



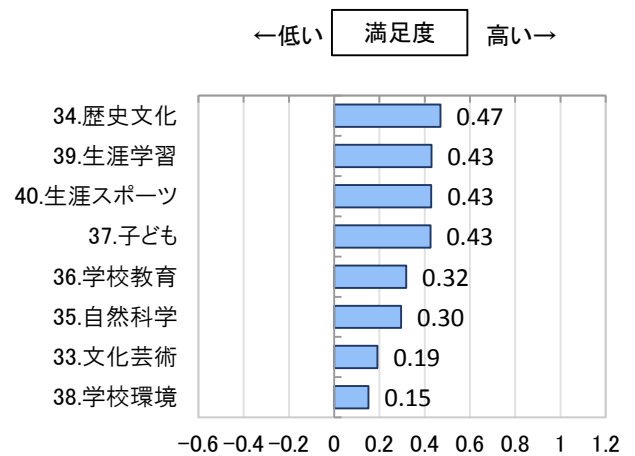
II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



IV 学び成長するまち



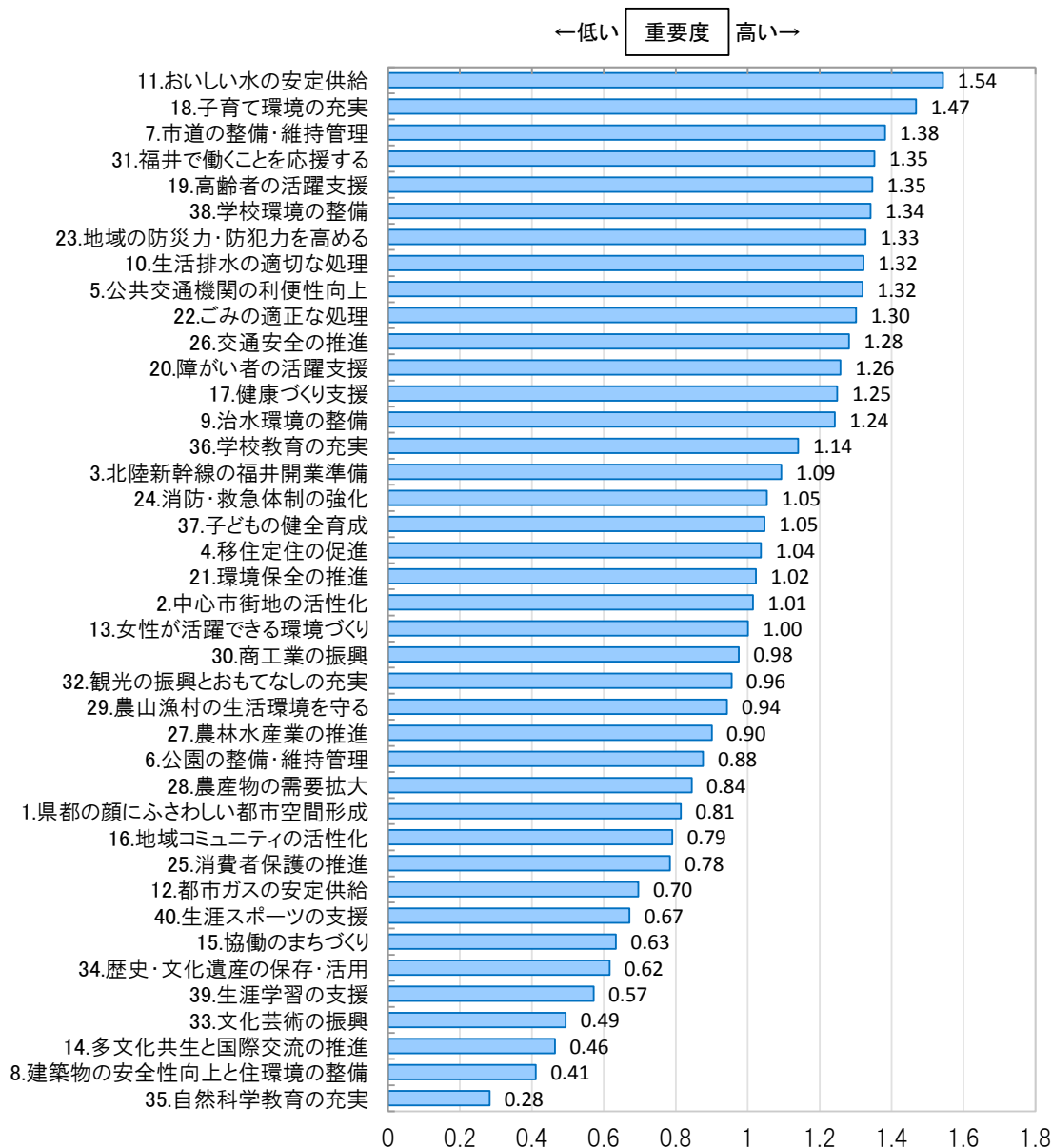
重要度の評価点

重要度を総合的に評価するため、以下のように重要度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

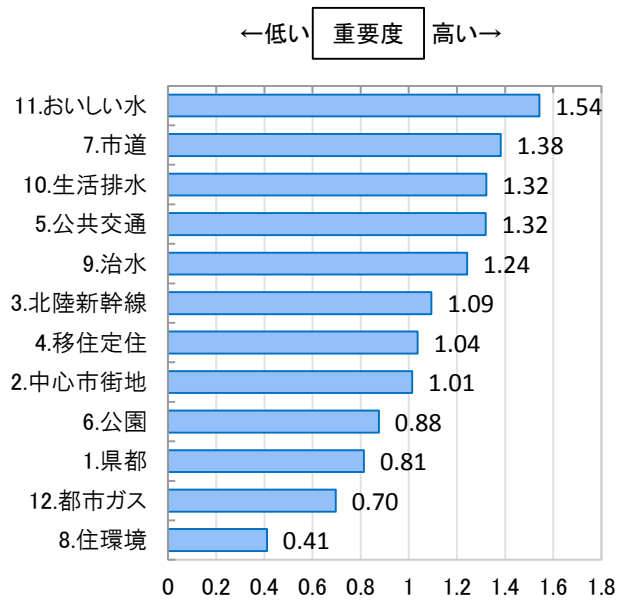
重要：2点、やや重要：1点、あまり重要でない：－1点、重要でない：－2点

評価点の上位をみると、高い順に「11. おいしい水の安定供給」(1.54)、「18. 子育て環境の充実」(1.47)、「7. 市道の整備・維持管理」(1.38)となっている。

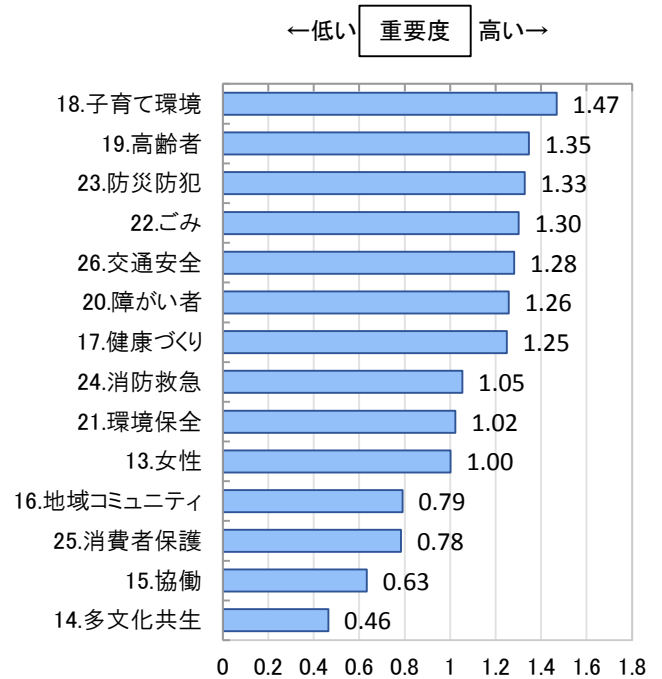
また下位は、低い順に「35. 自然科学教育の充実」(0.28)、「8. 建築物の安全性向上と住環境の整備」(0.41)、「14. 多文化共生と国際交流の推進」(0.46)となっている(カッコ内は評価点)。ただし、評価点の順位は「重要度」の順位とは必ずしも一致しない。



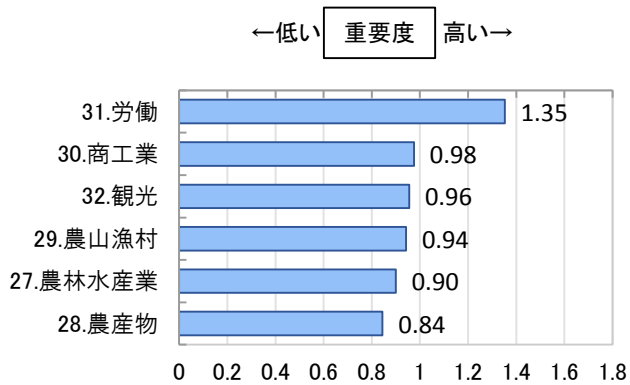
I 快適に暮らすまち



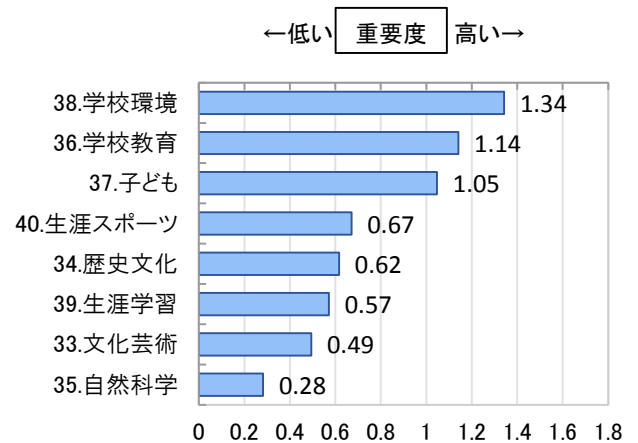
II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



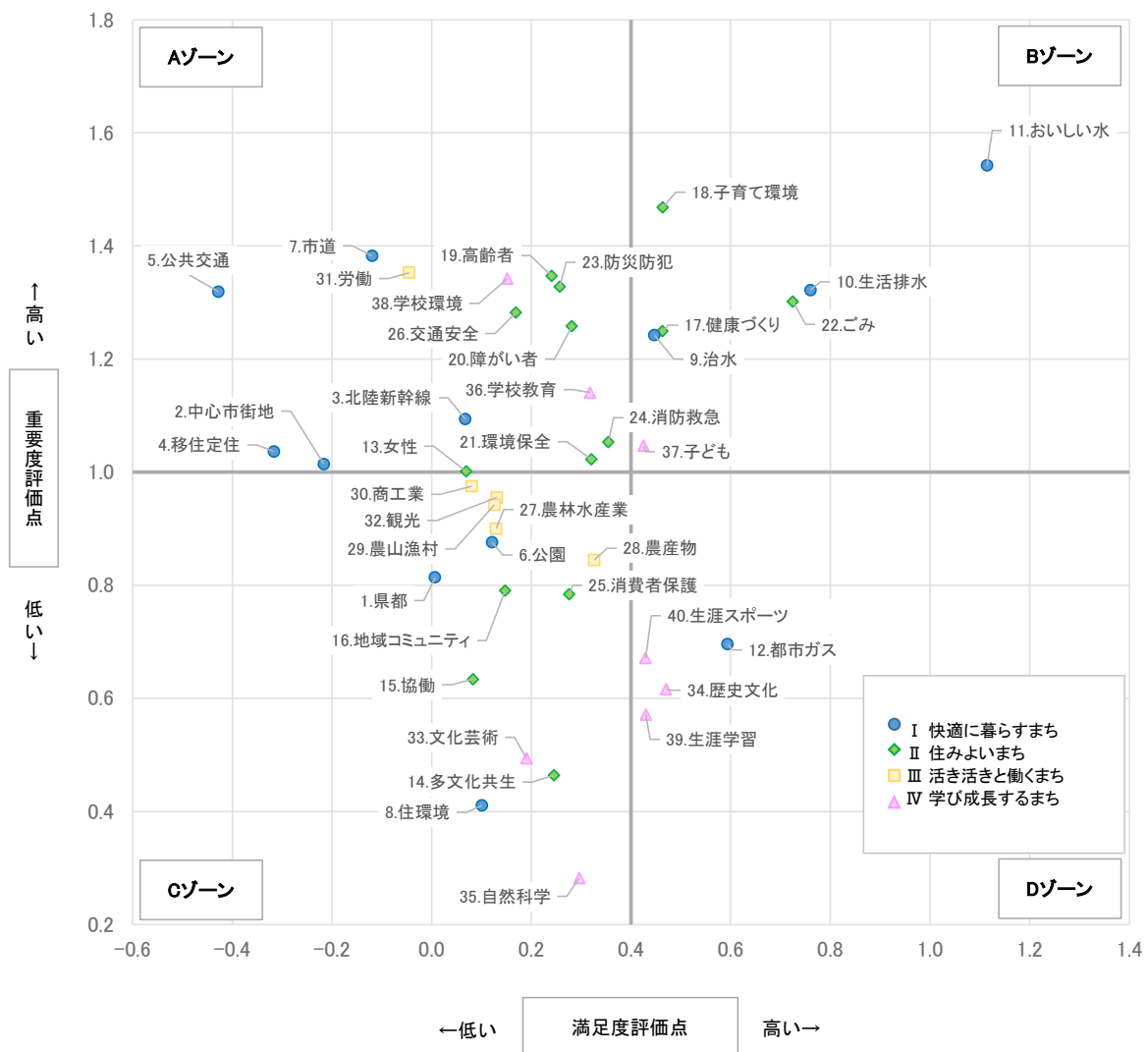
IV 学び成長するまち



満足度評価点と重要度評価点の関係

満足度評価点を横軸に、重要度評価点を縦軸にとり、各施策の位置を表したのが次のグラフである。2つの評価点の関係によって各施策を相対的に表すために、グラフ中、太字で示された縦横の中心線でAからDの4つのゾーンに分け、各施策を分類した。しかしながら、中心線に近くなるほど隣接するゾーンの要素も含まれてくることになるため、これをもって今後の施策の方向性を明確に分類するものではない。

満足度評価点と重要度評価点の相関図



全体では、満足度評価点は40施策のうち35施策がプラスとなっており、今回の調査においては、市の施策についておおむね満足の評価が得られたといえる。

また、重要度評価点は、全ての施策がプラスとなっている。

各ゾーンに分布する施策を見ると、Aゾーンに位置する施策は、重要度は高いが、満足度は低いとされた施策である。

「北陸新幹線」「公共交通」「学校教育」「労働」といった、15施策がこのゾーンに位置している。

市民の関心が高いことから、今後、満足度を高めていく必要がある。

Bゾーンに位置する施策は、満足度と重要度が共に高い施策である。

「おいしい水」「健康づくり」「子育て環境」「ごみ」といった、生活に密着した7施策がこのゾーンに位置している。

今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要がある。

Cゾーンに位置する施策は、満足度と重要度が共に低い施策である。

「県都」「多文化共生」「農林水産業」「自然科学」といった、14施策がこのゾーンに位置している。

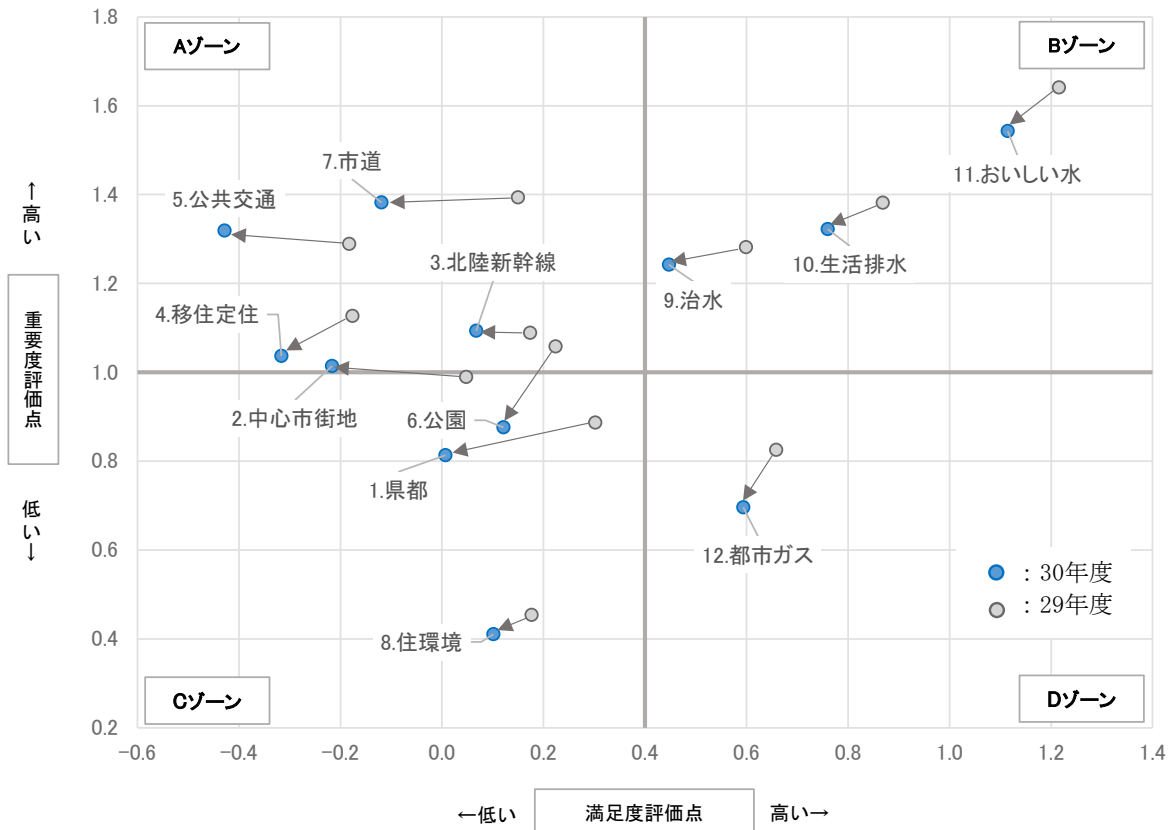
市民全体の認識を高め、施策の重要性を理解していただくことが先決である。

Dゾーンに位置する施策は、重要度は低いが、満足度は高いとされた施策である。

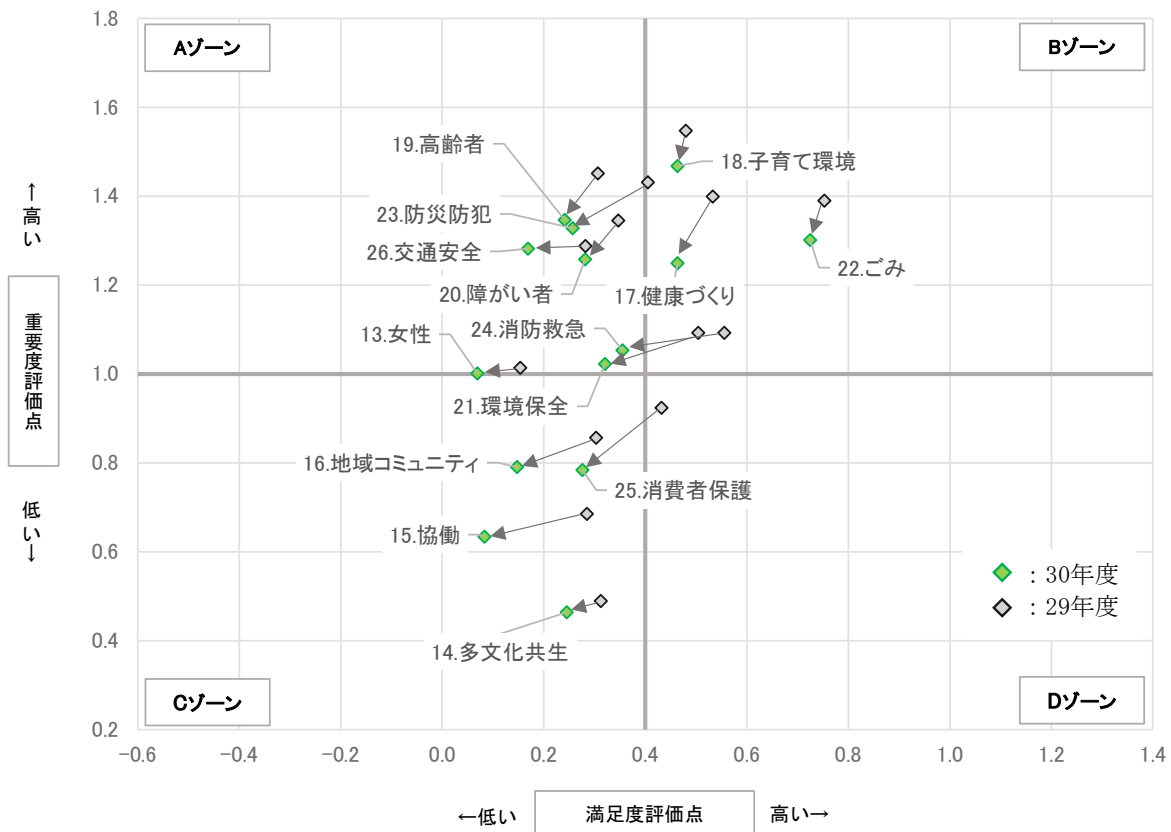
「都市ガス」「歴史文化」「生涯学習」「生涯スポーツ」といった、4施策がこのゾーンに位置している。

一定の満足度は得られているが、認知度の低さが重要度に表れている可能性があるため、着実に施策を推進する中で、重要性についても認識を高めていく必要がある。

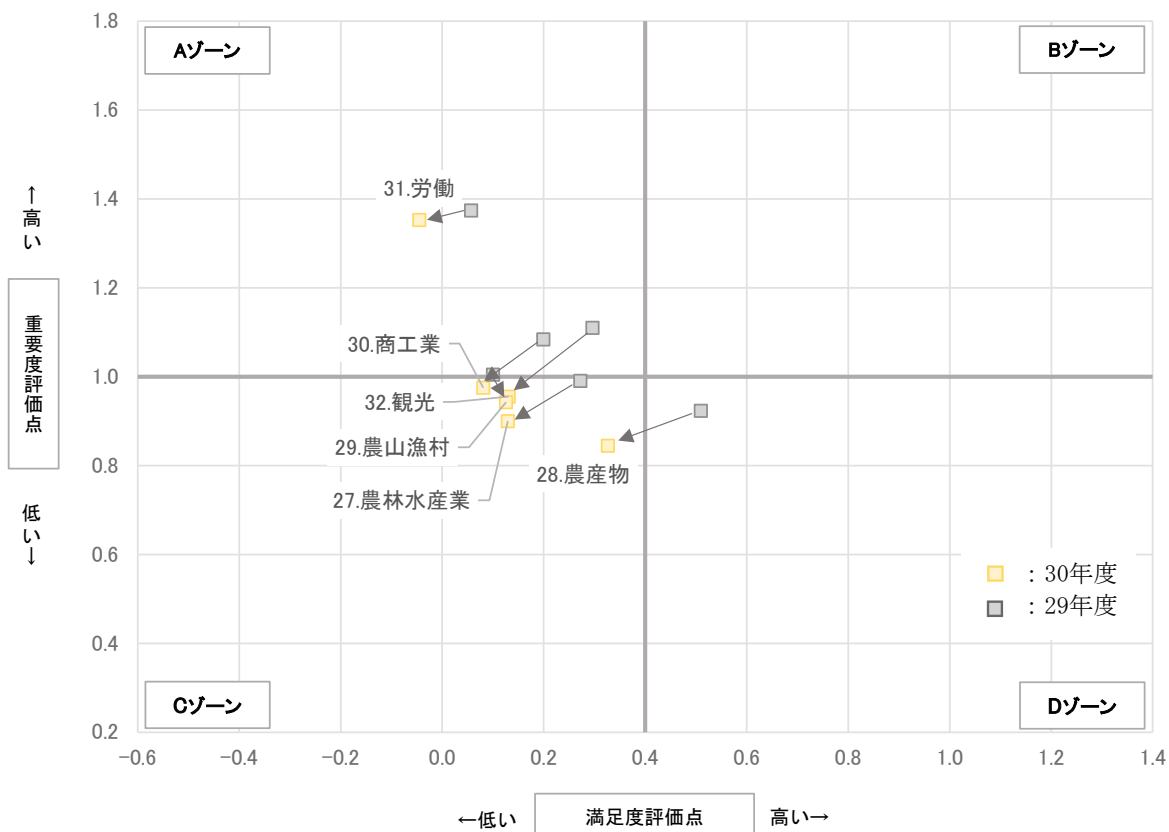
● I 快適に暮らすまち



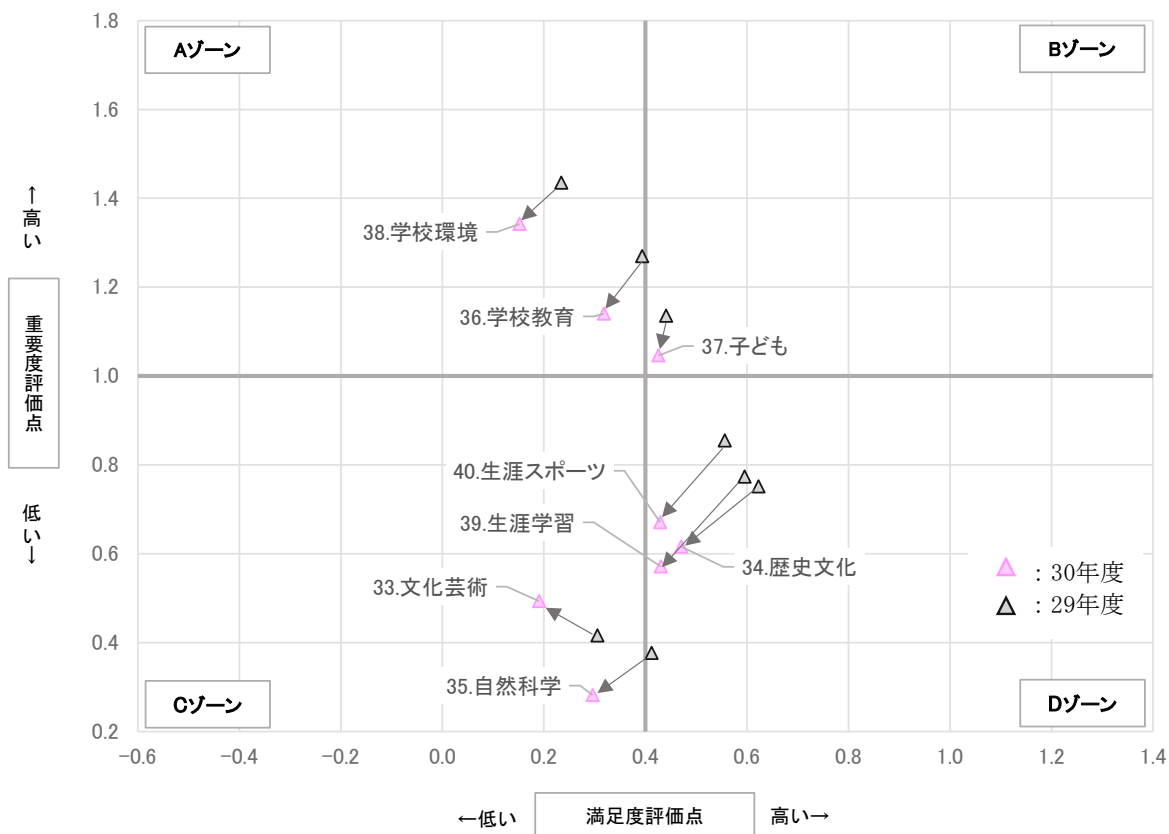
◆ II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



IV 学び成長するまち



施策の満足度・重要度について

以下のカテゴリーごとに、満足度、不満度、「重要である」及び「重要でない」それぞれ上位3位までの施策の集計分析結果を掲載している。

- I 快適に暮らすまち
- II 住みよいまち
- III 生き活きと働くまち
- IV 学び成長するまち

本文中の「重要である」は、「重要」と「やや重要」との合計を指すのに対し、“重要”は「重要である」のうち「重要」のみの部分を指す。

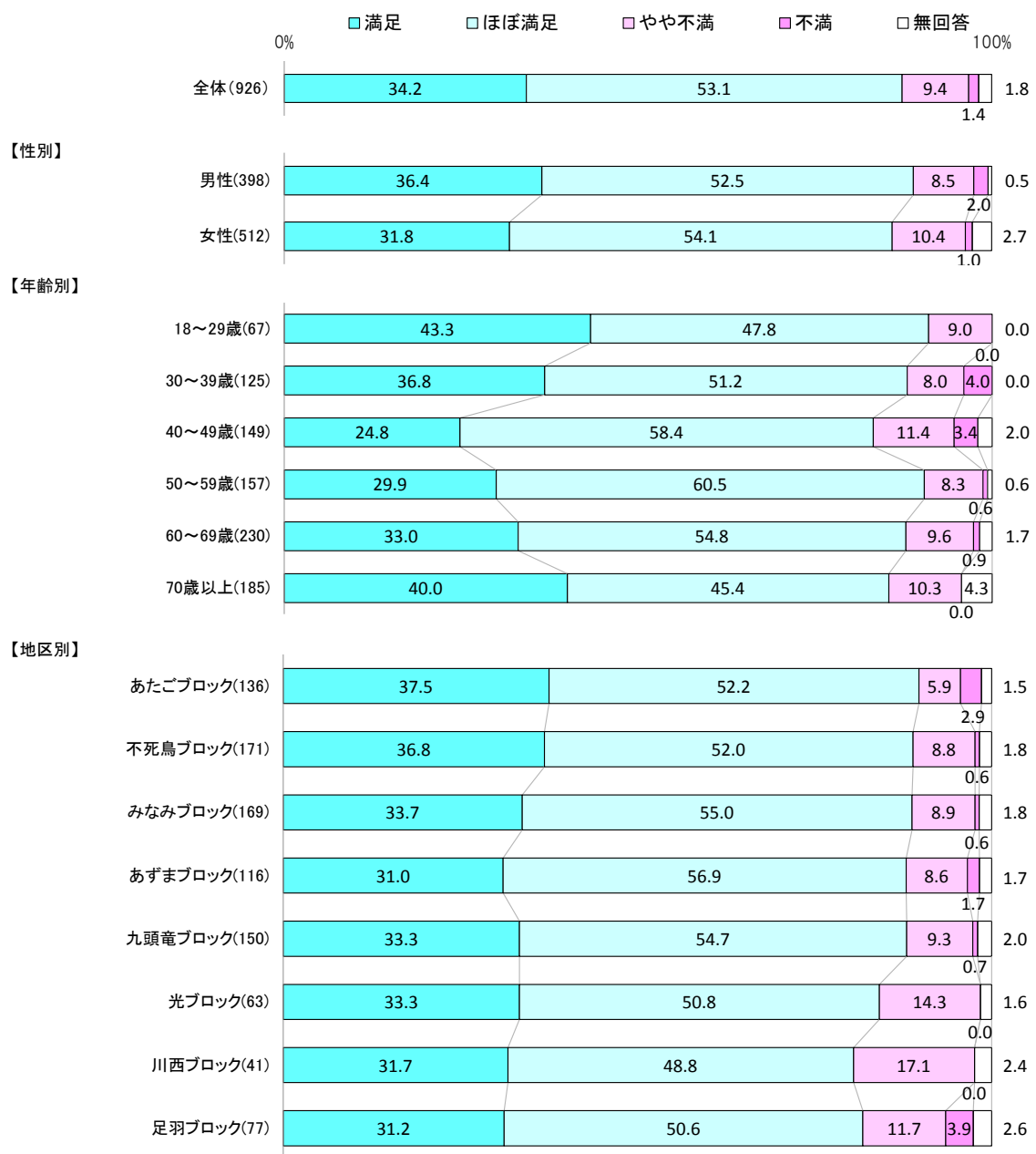
I 快適に暮らすまち 満足度 1 位

11.おいしい水の安定供給

全体的に高い満足度

満足度は 87.3%、不満度は 10.8%と、満足度が不満度より 76.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（91.1%）が最も高くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



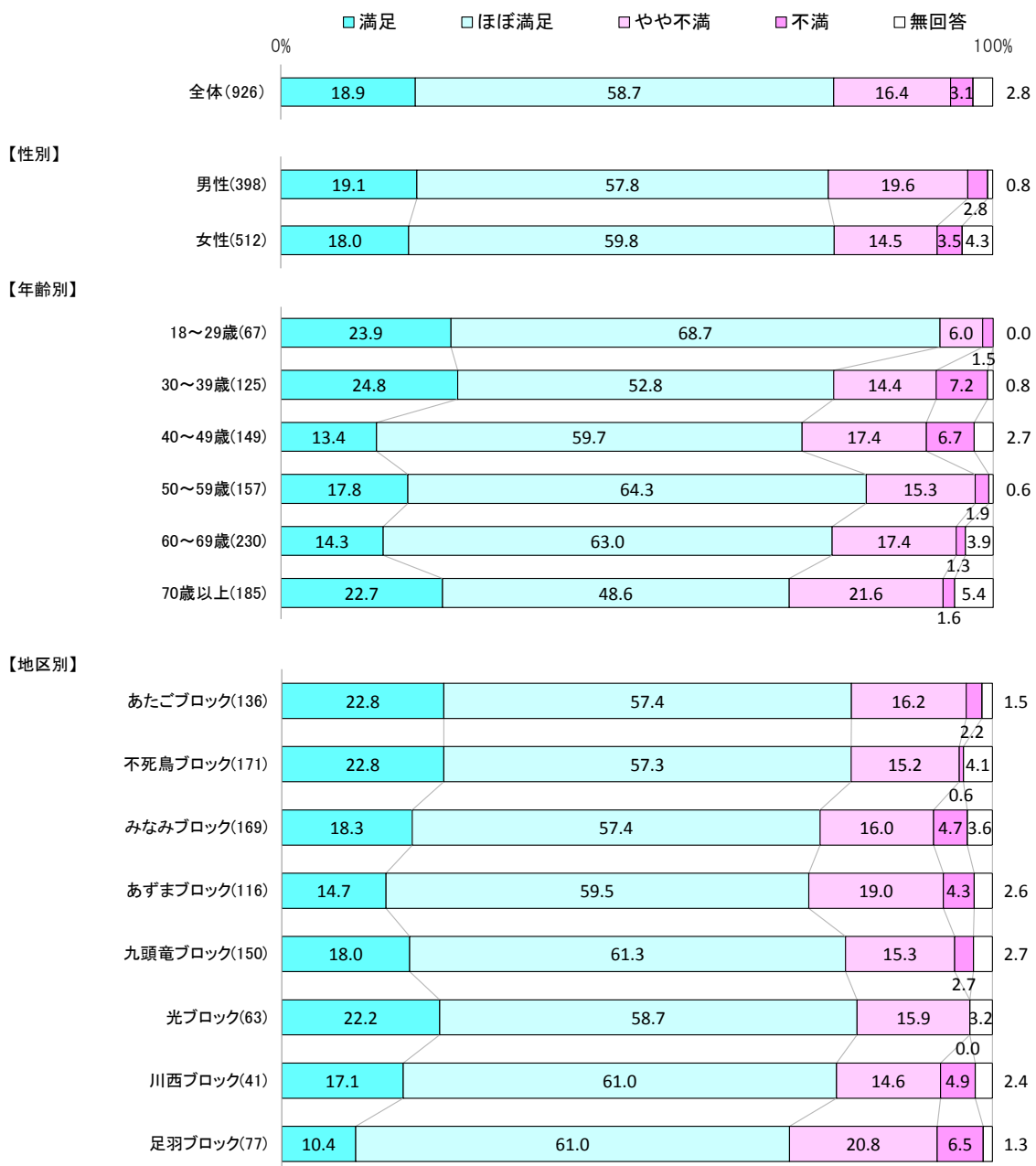
I 快適に暮らすまち 満足度 2 位

10. 生活排水の適切な処理

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 77.6%、不満度が 19.5%と、満足度が不満度より 58.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（92.6%）が最も高くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



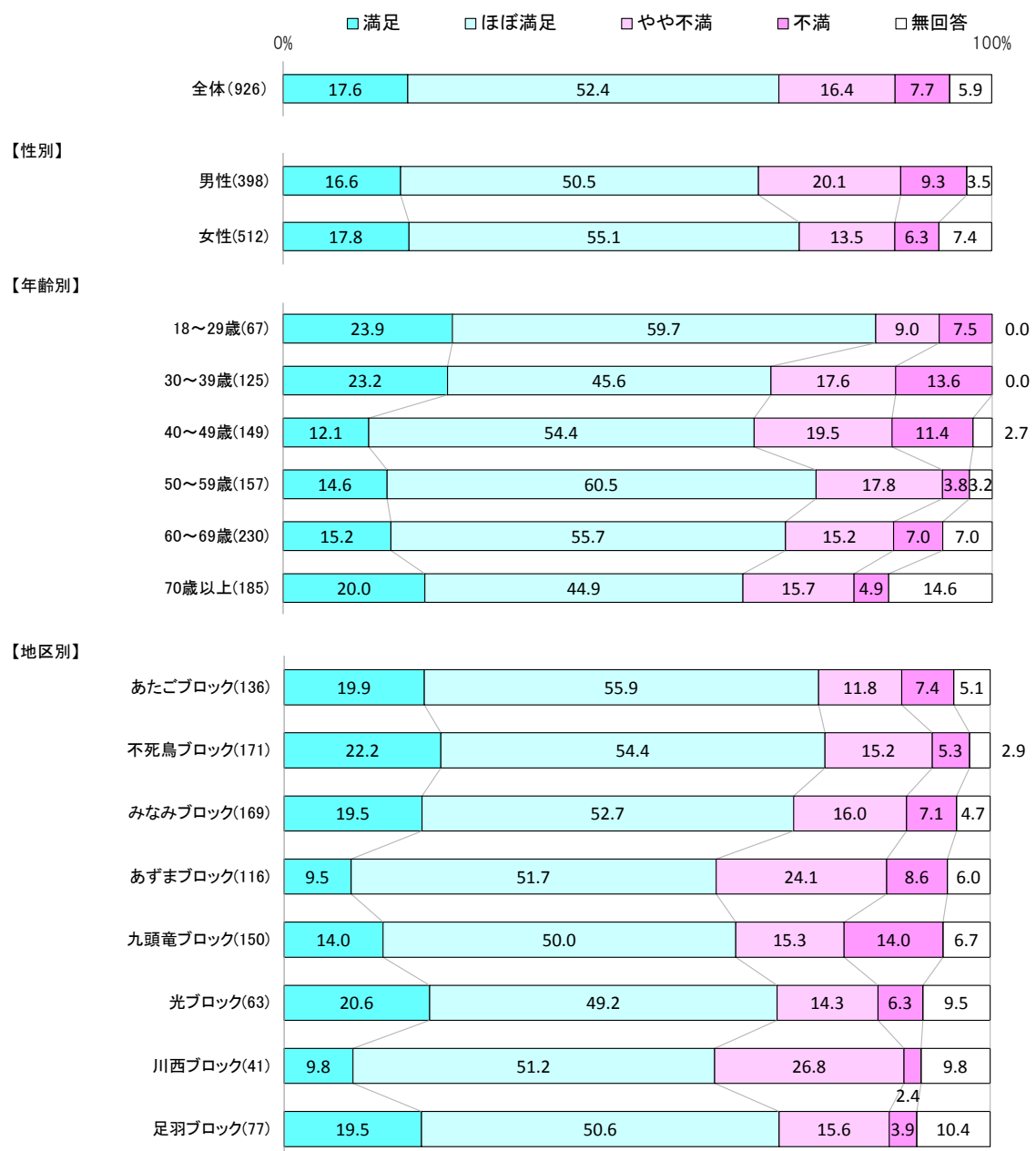
I 快適に暮らすまち 満足度 3 位

12.都市ガスの安定供給

「女性」と「18～29 歳」の満足度が高い

満足度が 70.0%、不満度が 24.1%と、満足度が不満度より 45.9 ポイント高くなっている。

性別に見ると、女性（72.9%）の方が男性（67.1%）より 5.8 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（83.6%）が最も高くなっている。地区別では、満足度に有意差は見られない。



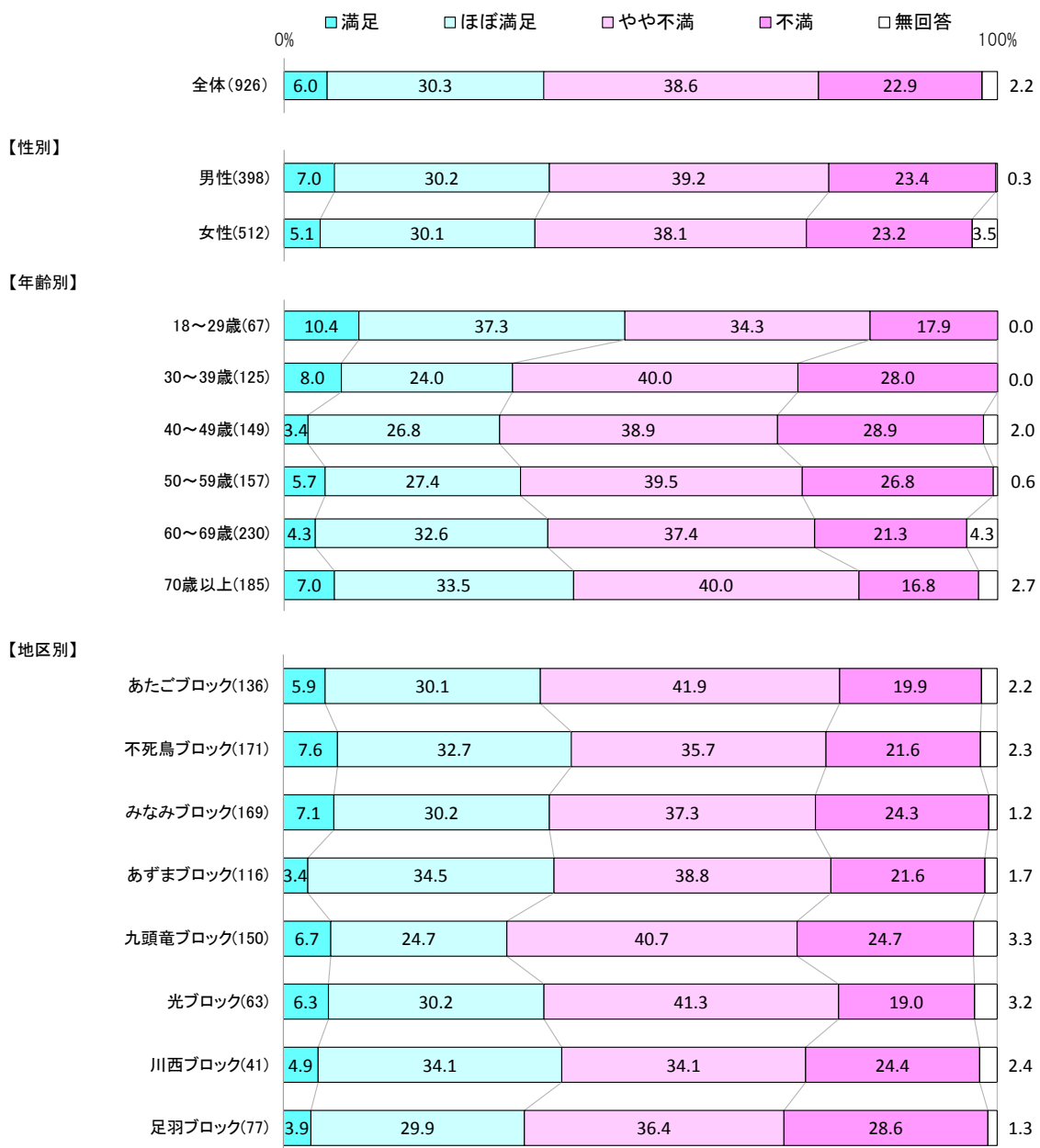
I 快適に暮らすまち 不満度 1 位

5. 公共交通機関の利便性向上

半数以上が満足していない

満足度は 36.3%、不満度は 61.5%と、満足度が不満度より 25.2 ポイント低くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳 (68.0%) と 40～49 歳 (67.8%) が他の年代より高くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



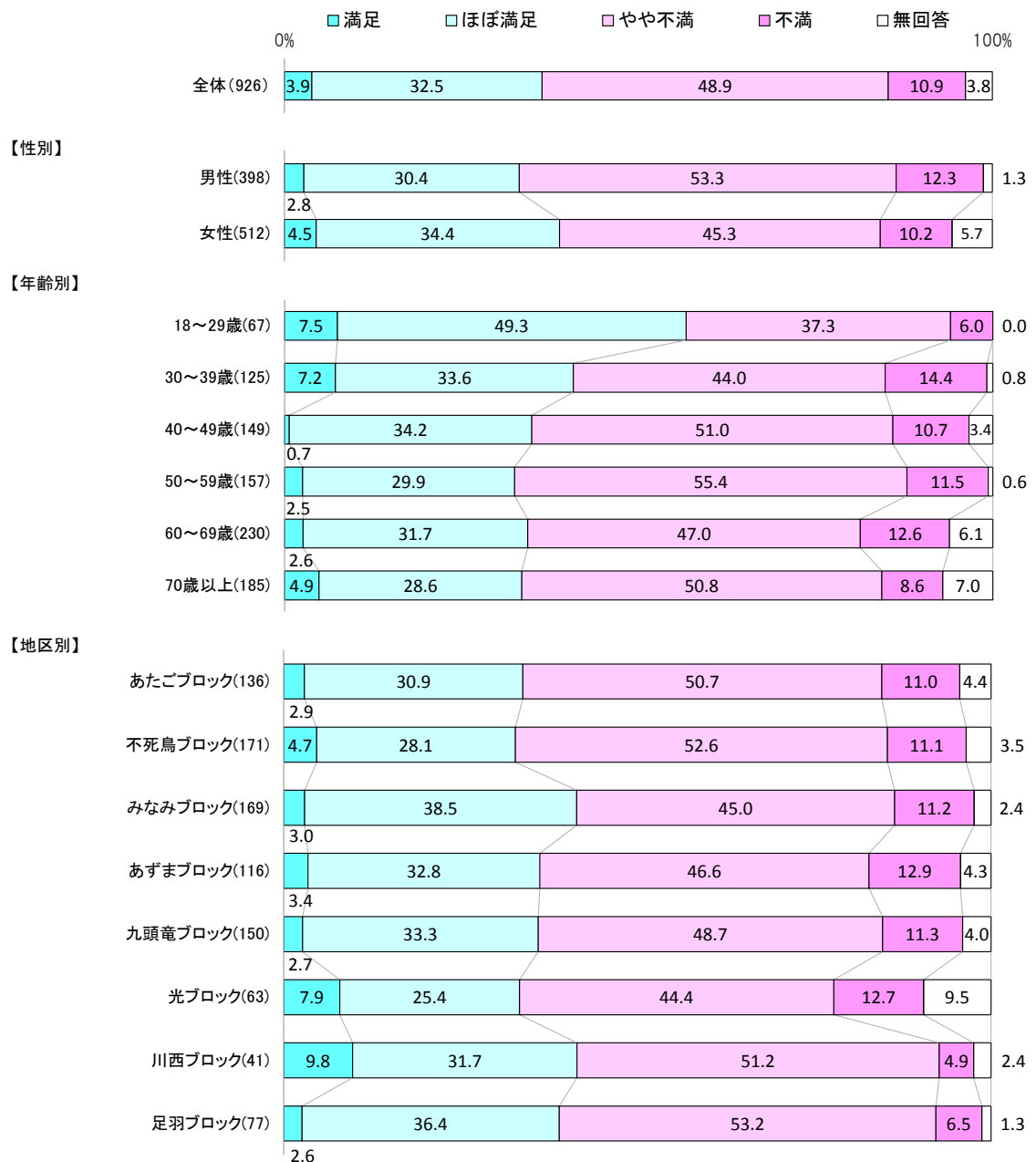
I 快適に暮らすまち 不満度 2 位

4. 移住定住の促進

半数以上が満足しておらず、特に「男性」の不満度が高い

満足度は 36.4%、不満度は 59.8%と、満足度が不満度より 23.4 ポイント低くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（65.6%）の方が女性（55.5%）より 10.1 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、不満度は 50～59 歳（66.9%）が他の年代より 5.2～23.6 ポイント高くなっている。地区別では、不満度に有意差は見られない。



I 快適に暮らすまち 不満度 3 位

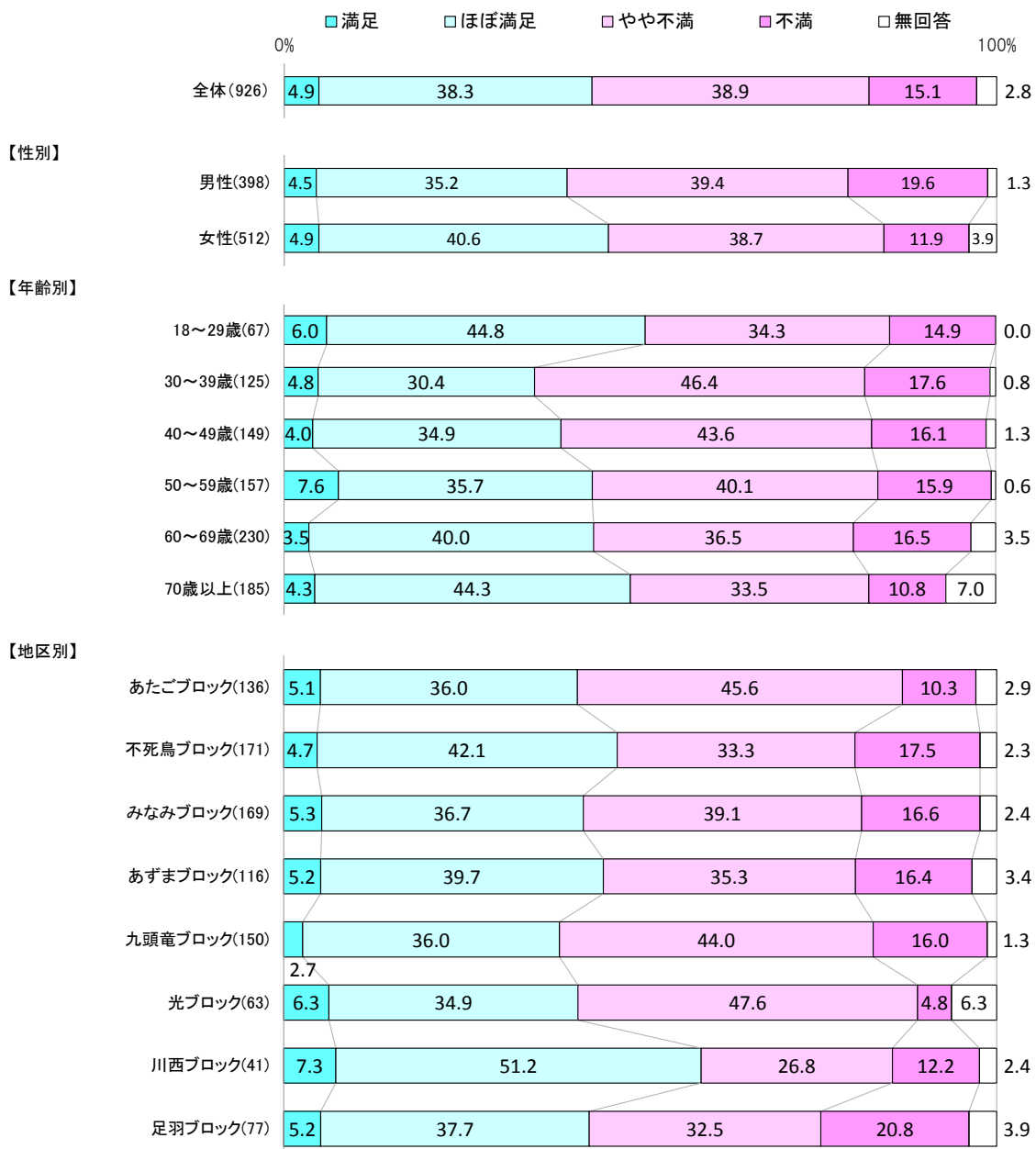
2. 中心市街地の活性化

半数以上が満足しておらず、特に「男性」の不満度が高い

満足度は 43.2%、不満度は 54.0%と、満足度が不満度より 10.8 ポイント低くなっている。

性別に見ると、不満度は男性 (59.0%) の方が女性 (50.6%) より 8.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳 (64.0%) が他の年代より 4.3～19.7 ポイント高くなっている。地区別に見ると、不満度は九頭竜ブロック (60.0%) が高くなっている。



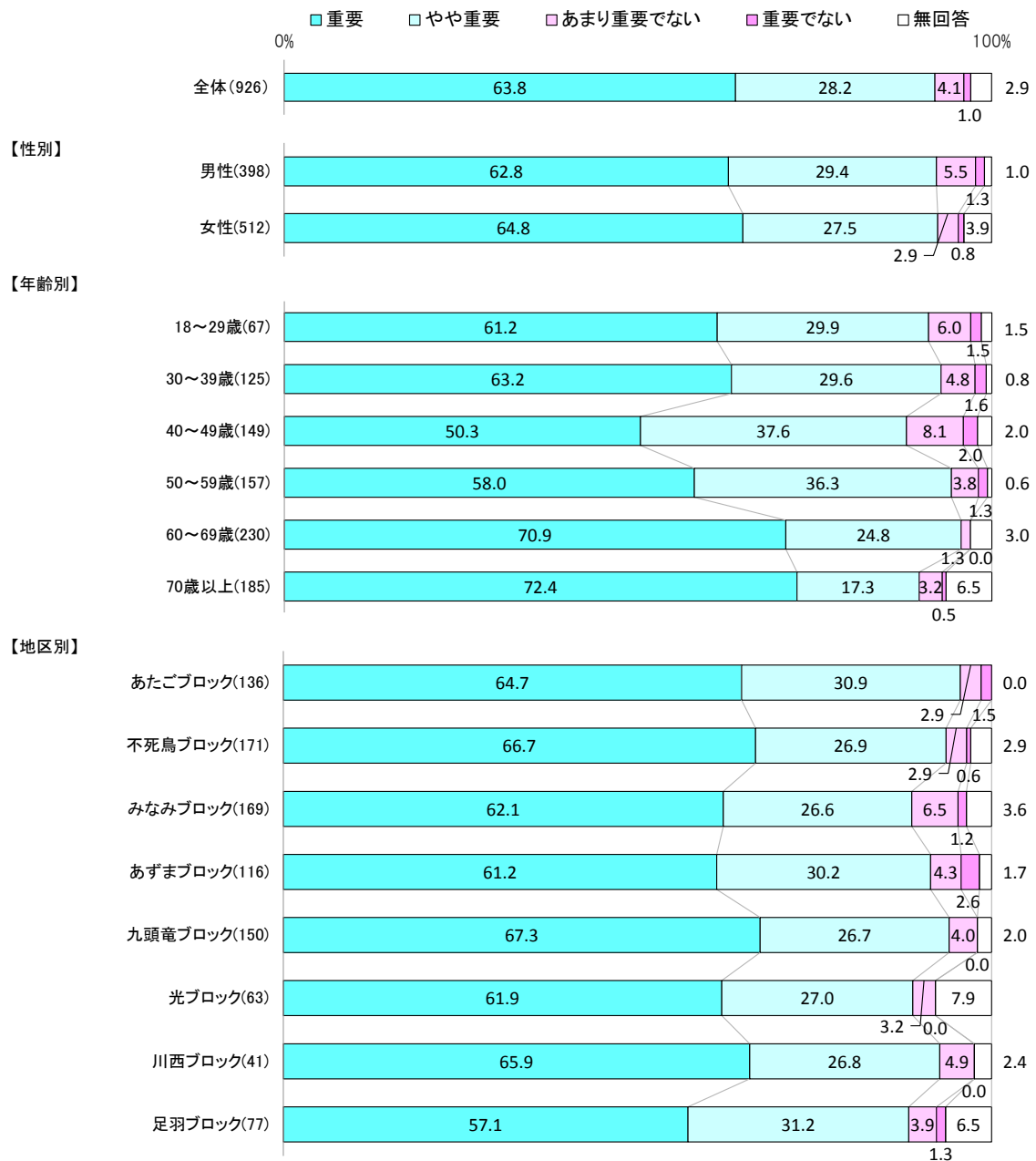
I 快適に暮らすまち 「重要である」1位

11.おいしい水の安定供給

全体的に高い重要度

「重要である」は92.0%、「重要でない」は5.1%と、「重要である」が「重要でない」より86.9ポイント高くなっている。全体では“重要”と回答した割合は63.8%と高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は60～69歳（95.7%）が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



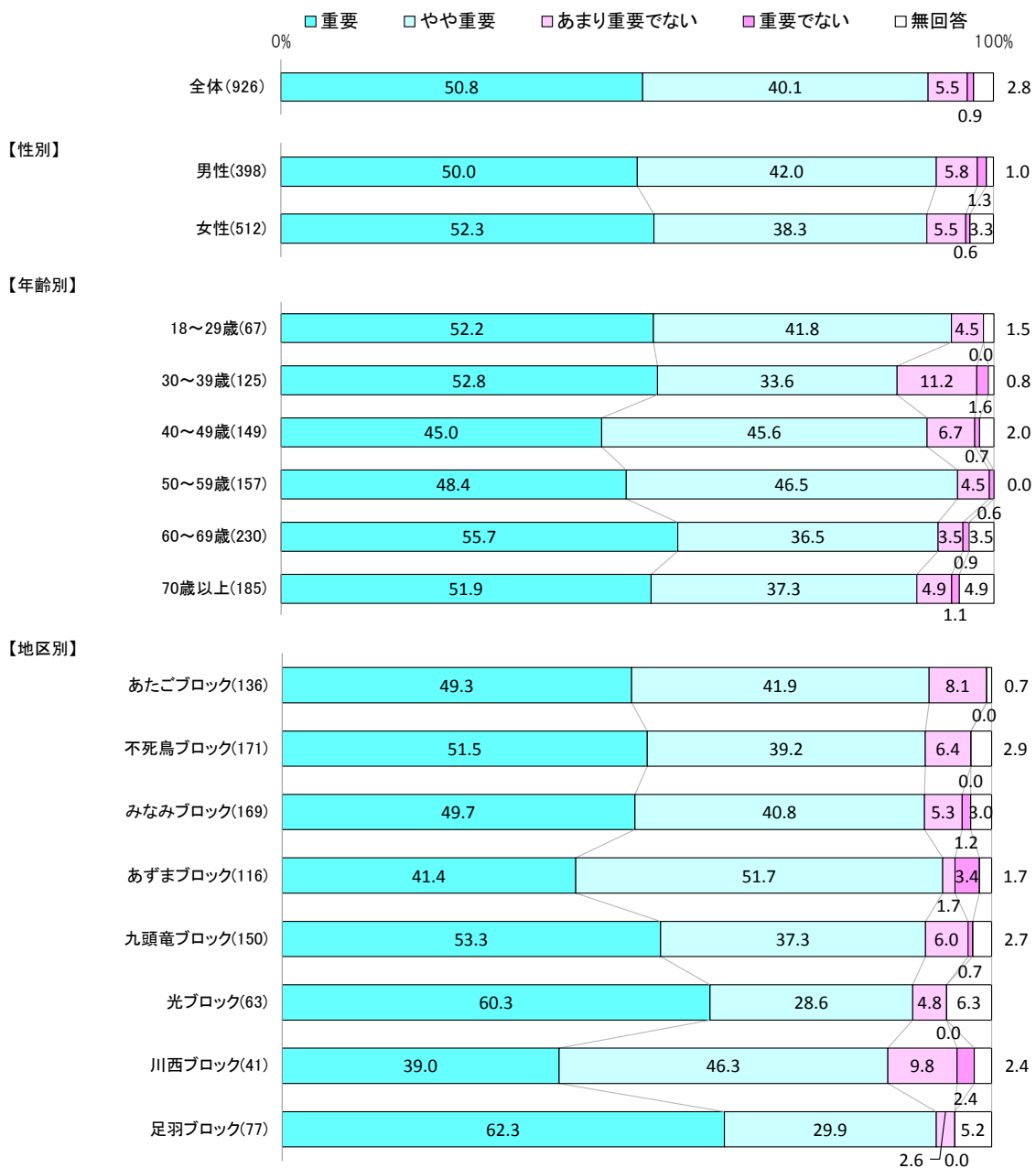
I 快適に暮らすまち 「重要である」2位

7. 市道の整備・維持管理

全体的に高い重要度

「重要である」は90.9%、「重要でない」は6.4%と、「重要である」が「重要でない」より84.5ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は50～59歳（94.9%）が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



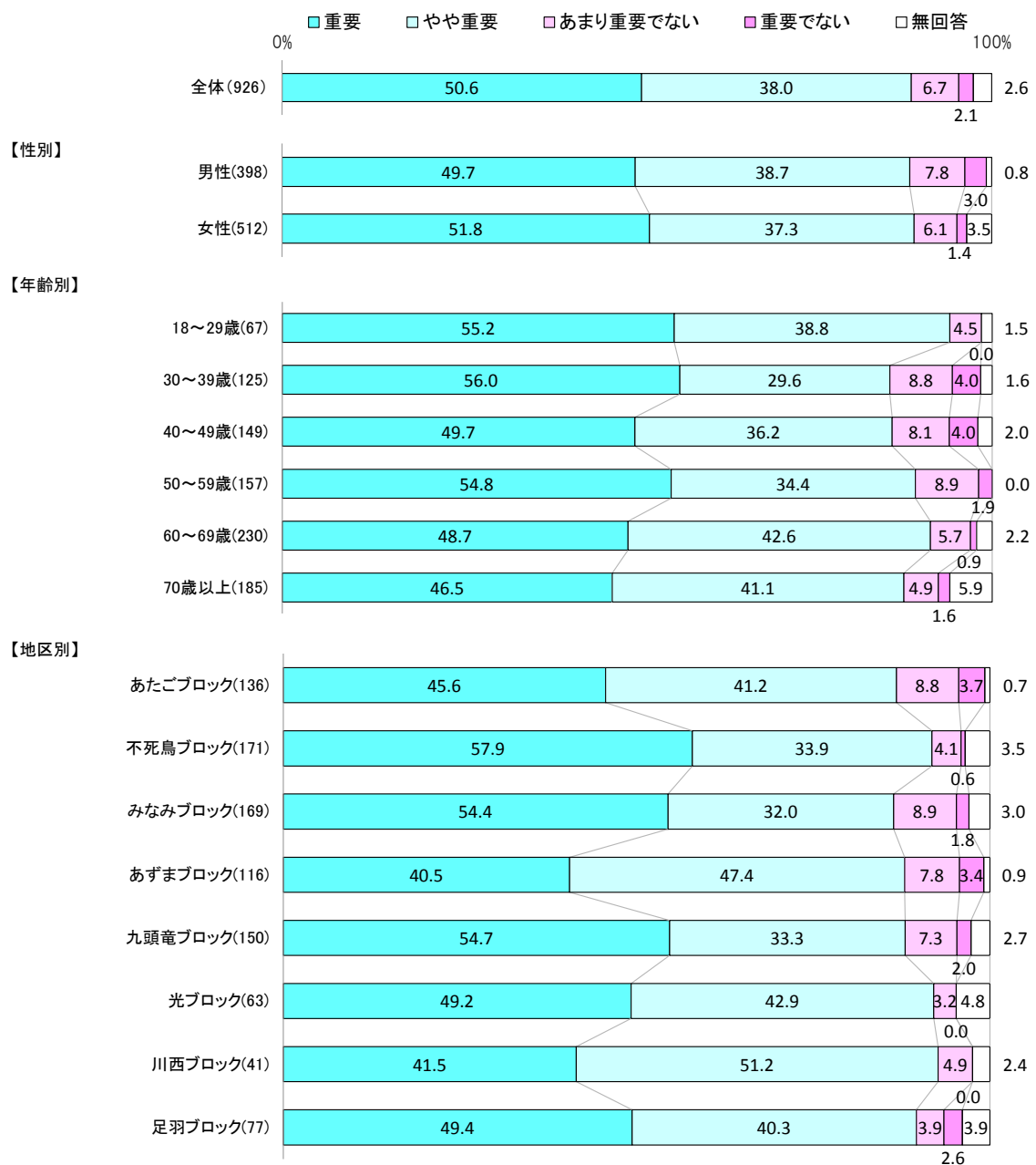
I 快適に暮らすまち 「重要である」3位

5. 公共交通機関の利便性向上

全体的に高い重要度

「重要である」は88.6%、「重要でない」は8.8%と、「重要である」が「重要でない」より79.8ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳（94.0%）が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



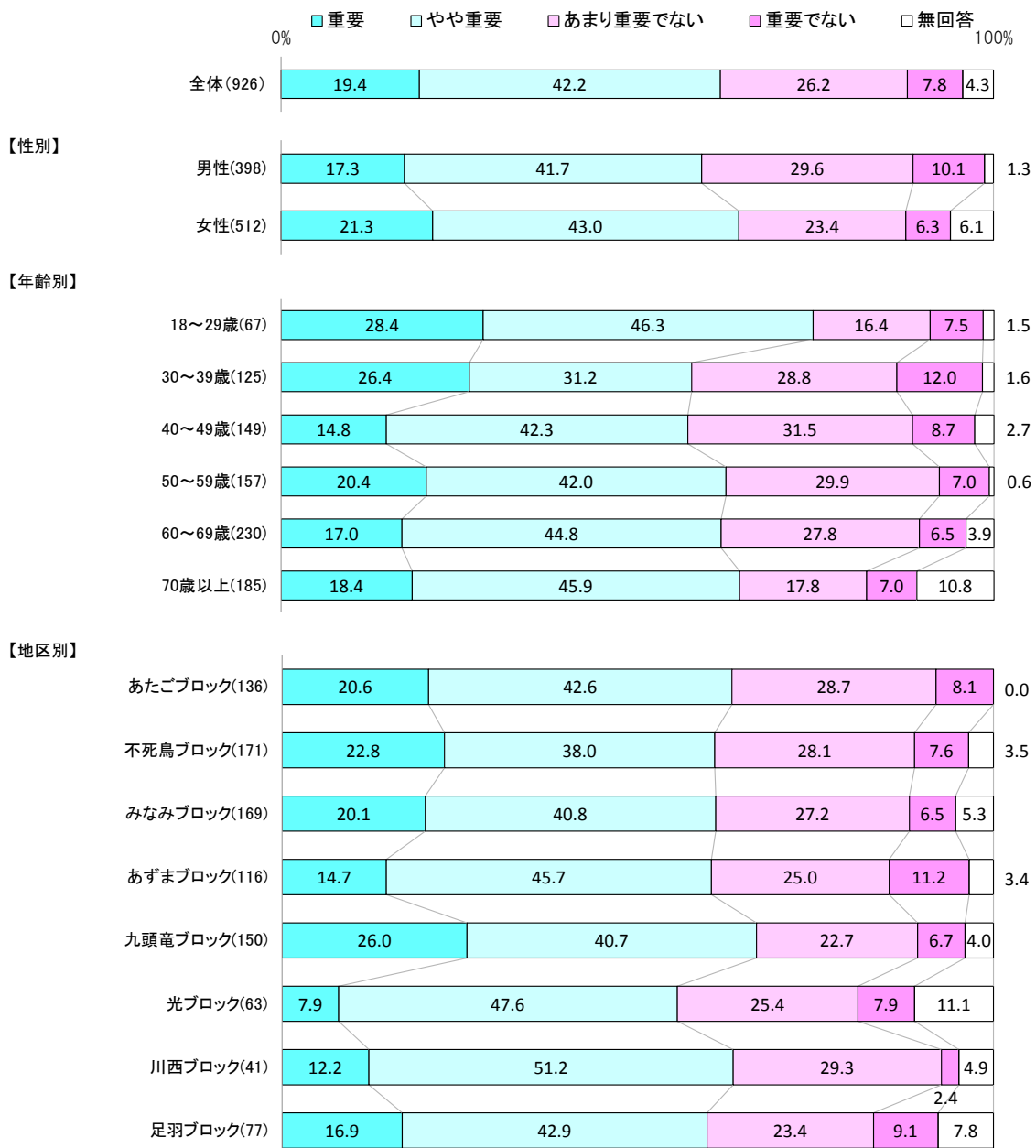
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 1 位

8. 建築物の安全性向上と住環境の整備

「男性」と「30～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 61.6%、「重要でない」は 34.0%と、「重要である」が「重要でない」より 27.6 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（39.7%）が女性（29.7%）より 10.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 30～39 歳（40.8%）が最も高く、18～29 歳（23.9%）が最も低くなっている。地区別に見ると、「重要でない」はあたごブロック（36.8%）が高くなっている。



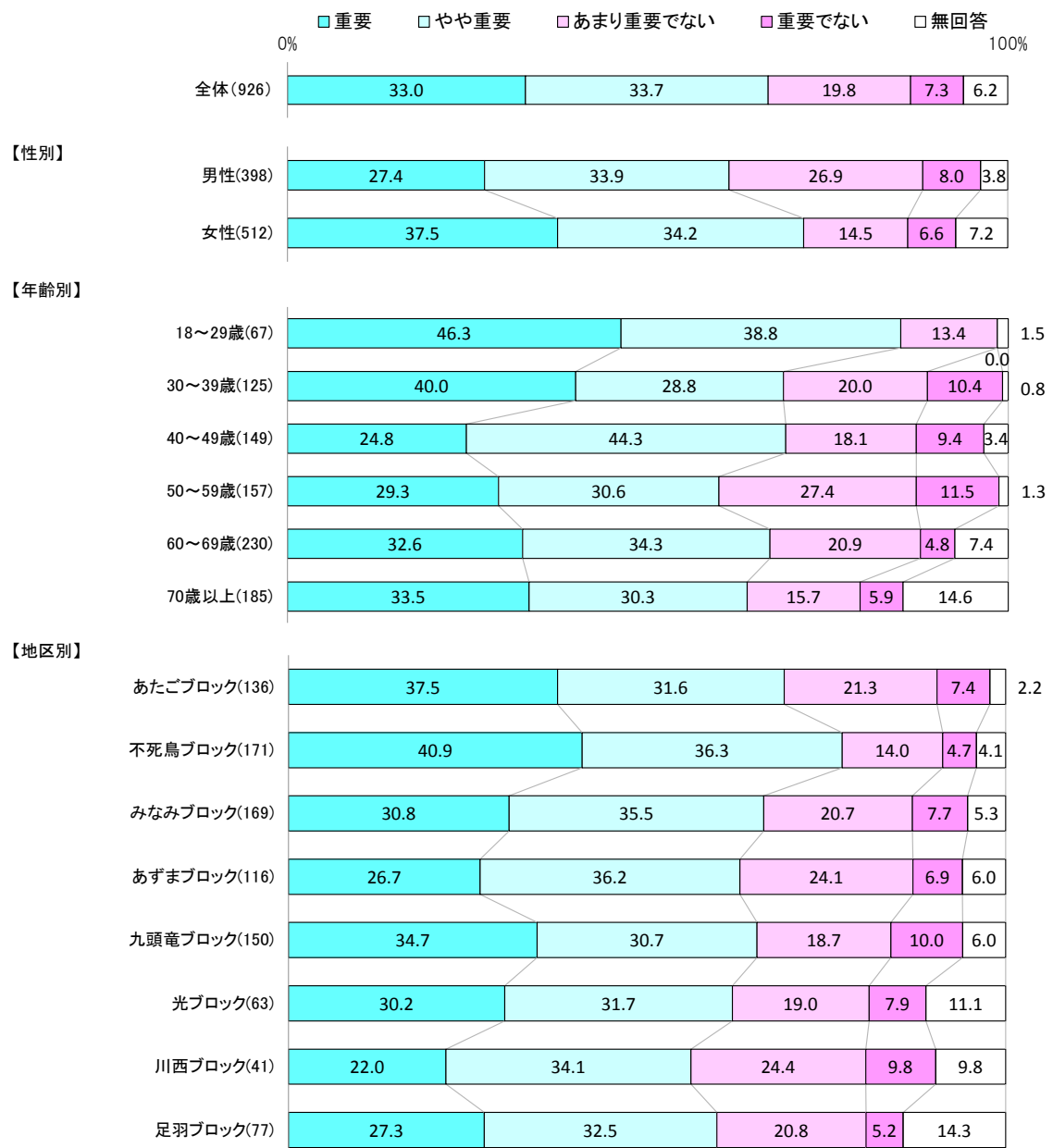
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 2 位

12. 都市ガスの安定供給

「男性」と「50～59 歳」と「川西ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 66.7%、「重要でない」は 27.1%と、「重要である」が「重要でない」より 39.6 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（34.9%）が女性（21.1%）より 13.8 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 50～59 歳（38.9%）が最も高く、18～29 歳（13.4%）が最も低くなっている。地区別に見ると、「重要でない」は川西ブロック（34.2%）が高くなっている。



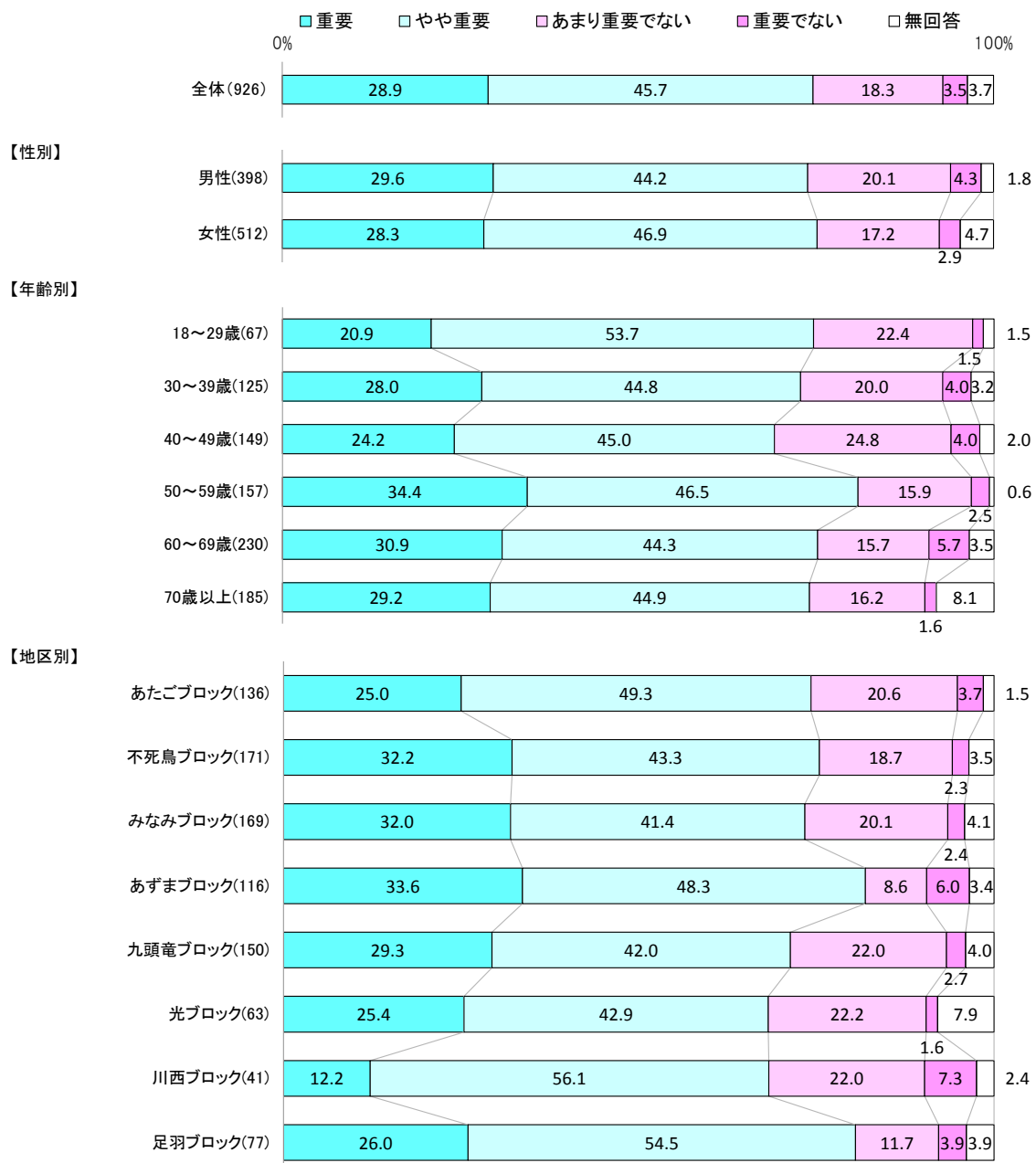
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 3 位

1. 県都の顔にふさわしい都市空間形成

「40～49 歳」と「川西ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 74.6%、「重要でない」は 21.8%と、「重要である」が「重要でない」より 52.8 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は 40～49 歳(28.8%)が高くなっている。地区別に見ると、「重要でない」は川西ブロック(29.3%)が最も高くなっている。性別では、「重要でない」に有意差は見られない。



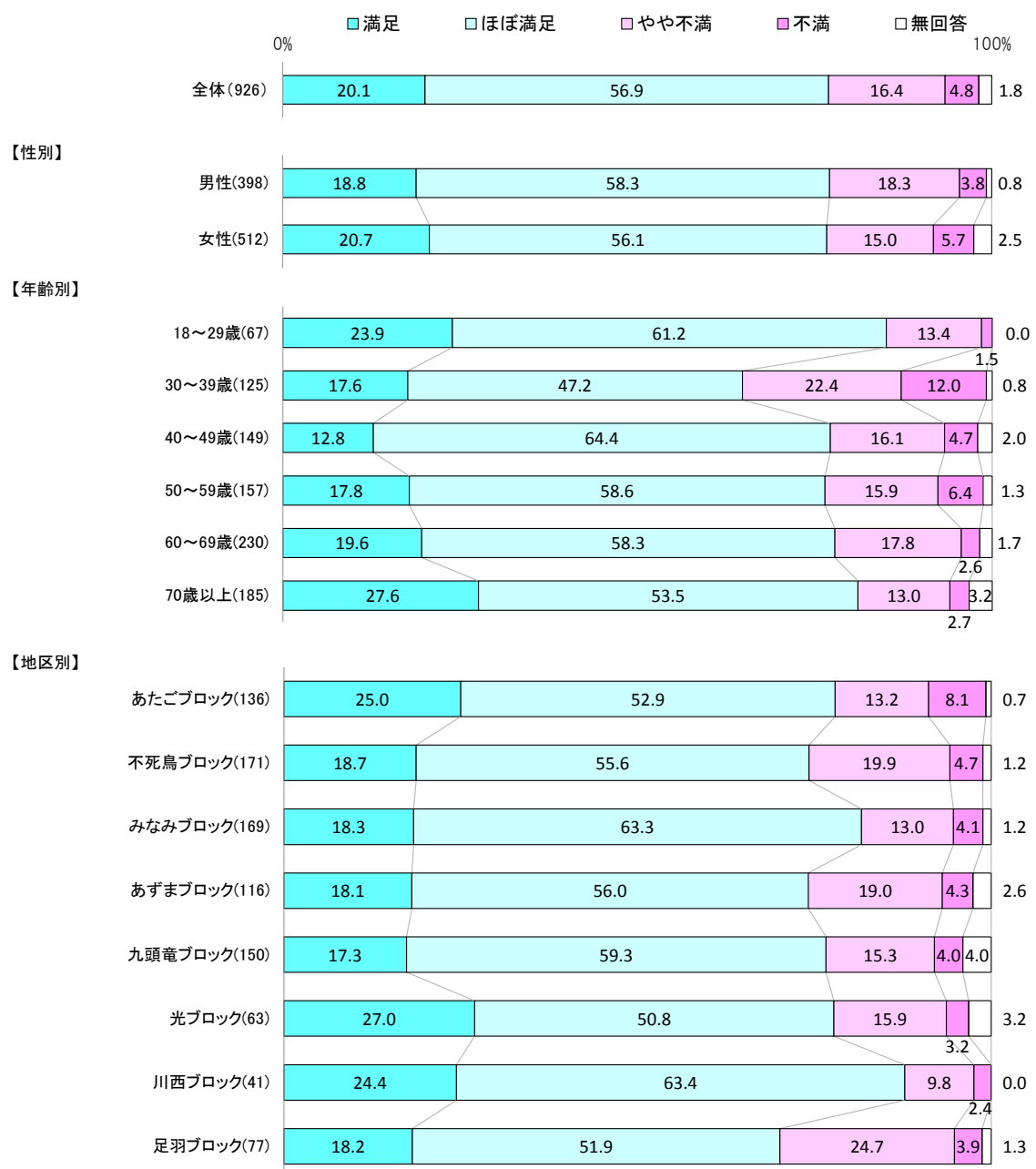
Ⅱ 住みよいまち 満足度 1 位

22. ごみの適正な処理

「18～29 歳」と「川西ブロック」の満足度が高い

満足度は 77.0%、不満度は 21.2%と、満足度が不満度より 55.8 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳 (85.1%) が最も高く、30～39 歳 (64.8%) が最も低くなっている。地区別に見ると、満足度は川西ブロック (87.8%) が高くなっている。性別では、満足度に有意差は見られない。



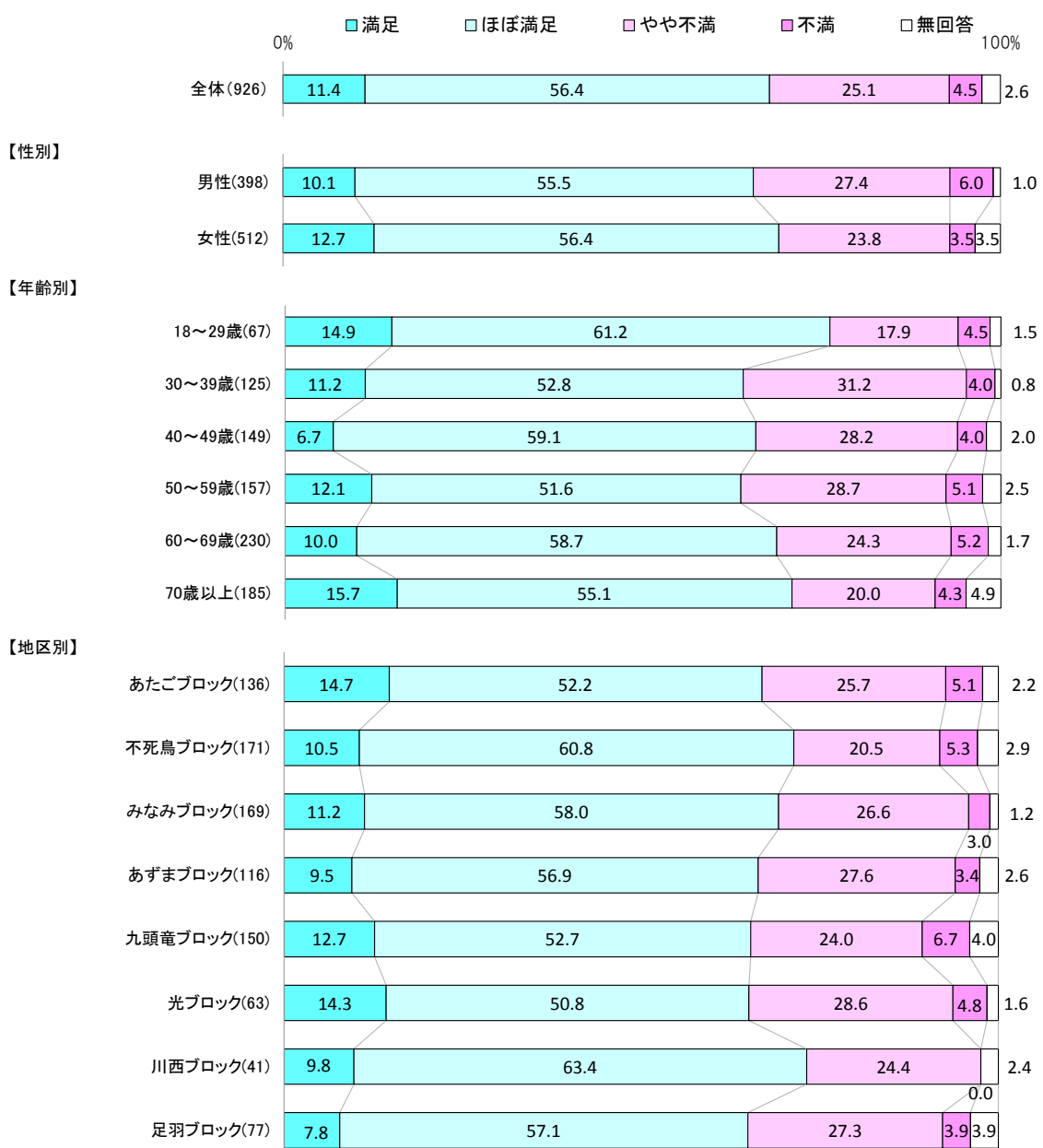
Ⅱ 住みよいまち 満足度 2 位

17. 健康づくり支援

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 67.8%、不満度は 29.6%と、満足度が不満度より 38.2 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、18～29 歳（76.1%）が他の年代より 5.3～12.4 ポイント高くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



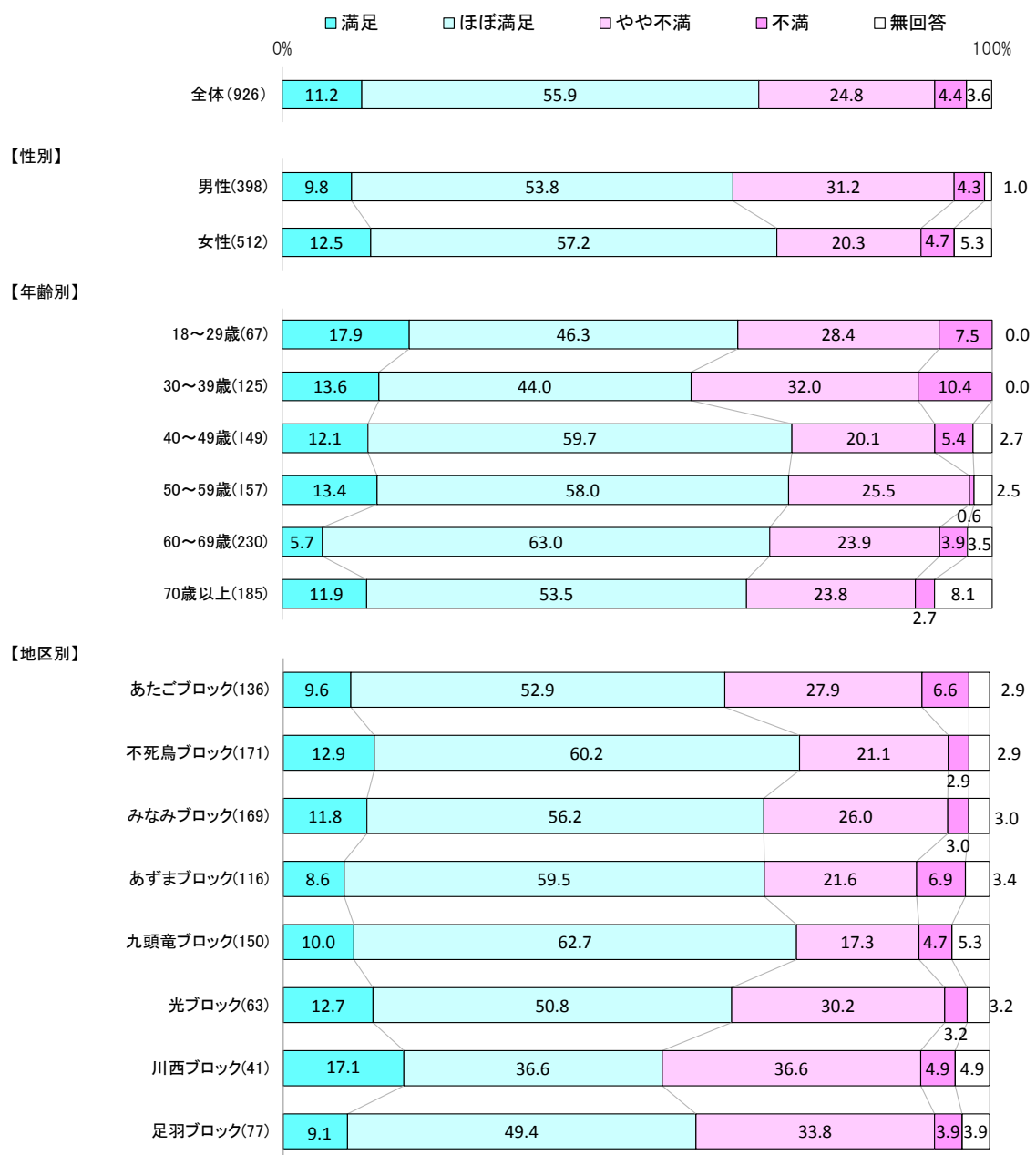
Ⅱ 住みよいまち 満足度 3 位

18. 子育て環境の充実

「女性」と「40～49 歳」と「不死鳥ブロック」の満足度が高い

満足度は 67.1%、不満度は 29.2%と、満足度が不満度より 37.9 ポイント高くなっている。

性別に見ると、満足度は女性 (69.7%) の方が男性 (63.6%) より 6.1 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は 40～49 歳 (71.8%) が高くなっている。地区別に見ると、満足度は不死鳥ブロック (73.1%) が高くなっている。



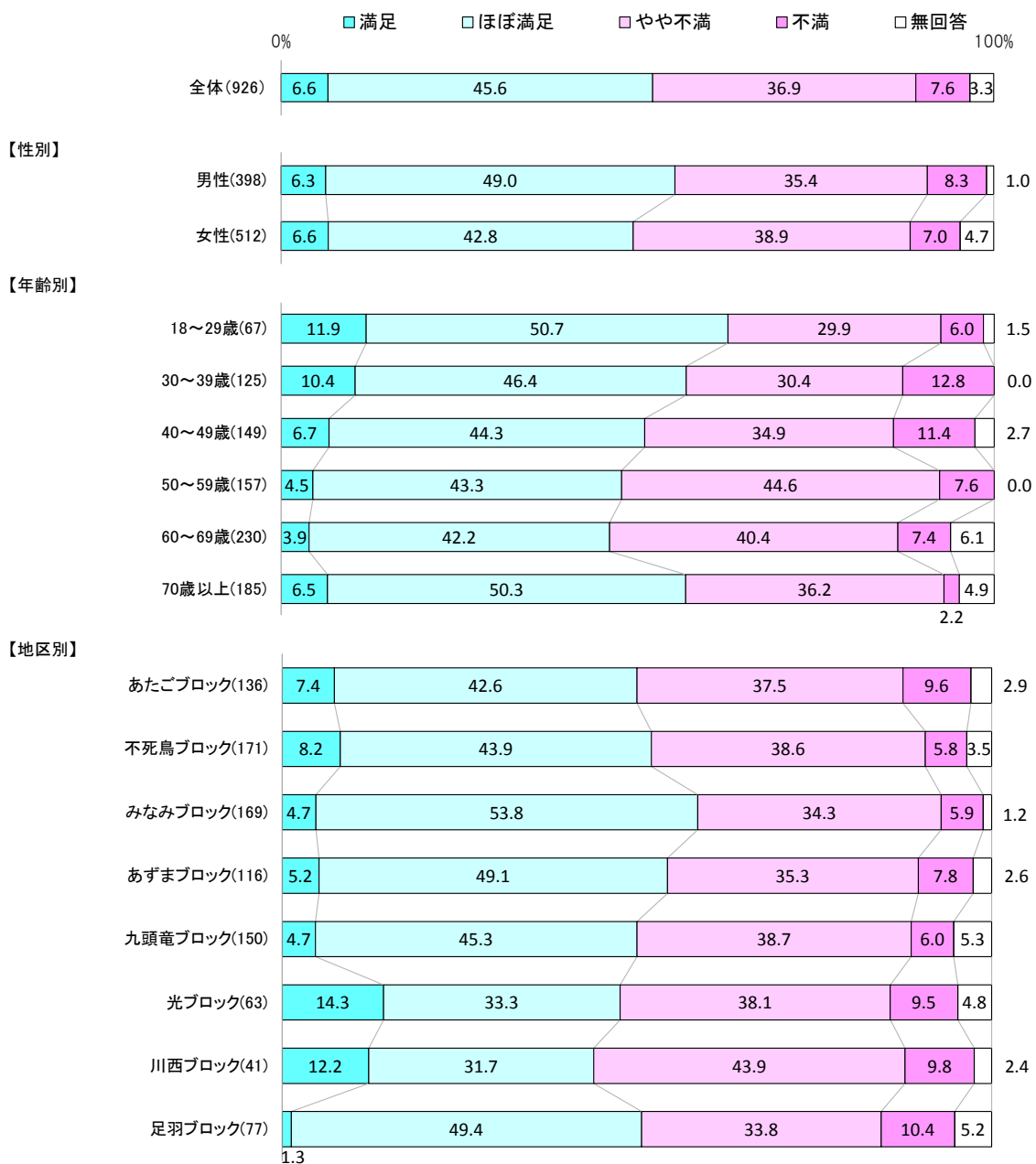
Ⅱ 住みよいまち 不満度 1 位

13. 女性が活躍できる環境づくり

「50～59 歳」と「川西ブロック」の不満度が高い

満足度が 52.2%、不満度が 44.5%と、満足度が不満度より 7.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 50～59 歳 (52.2%) が高くなっている。地区別に見ると、不満度は川西ブロック (53.7%) が高くなっている。性別では、不満度に有意差は見られない。



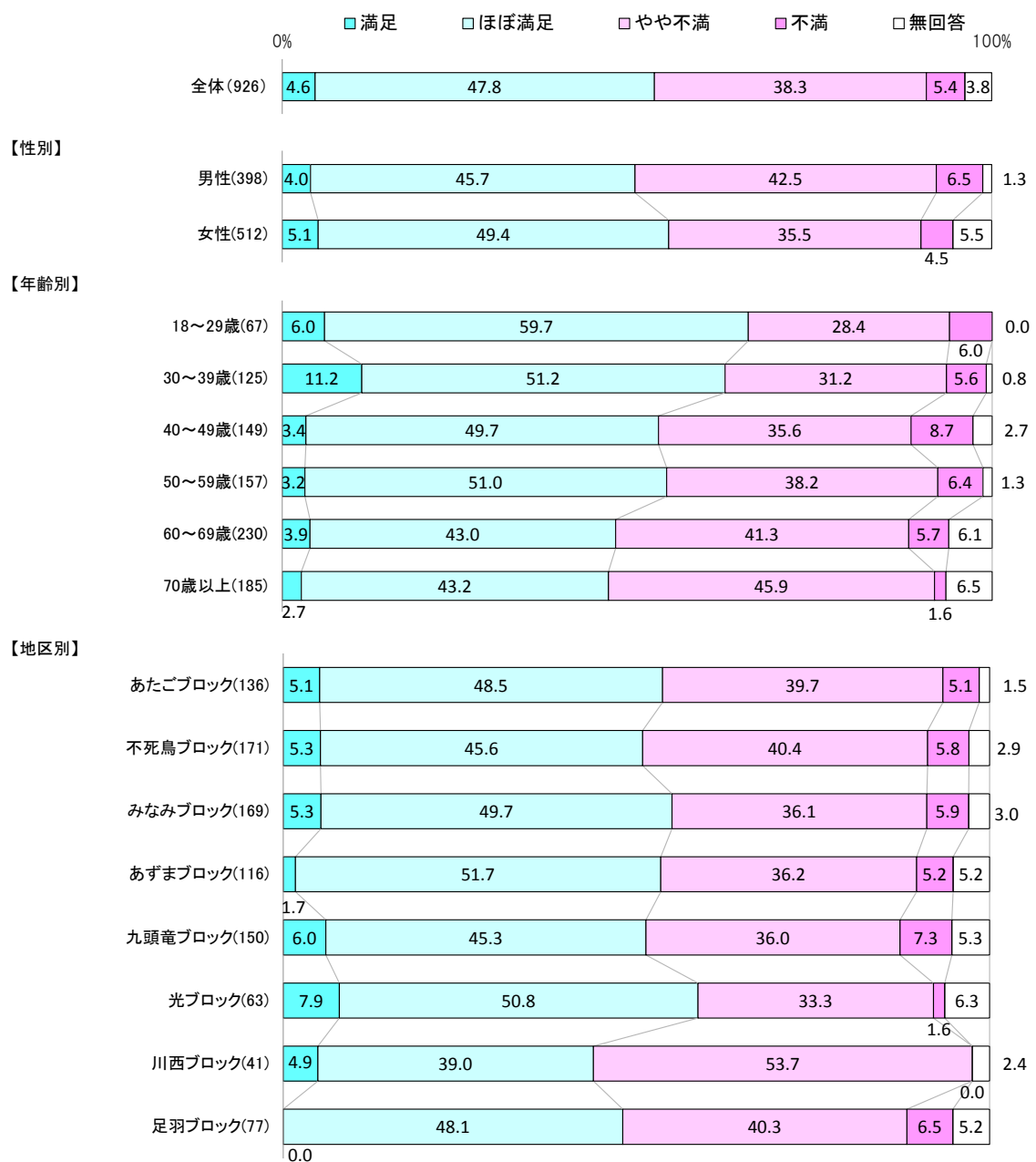
Ⅱ 住みよいまち 不満度 2 位

15. 協働のまちづくり

「男性」と「年齢の高い世代」と「川西ブロック」の不満度が高い

満足度は 52.4%、不満度は 43.7%と、満足度が不満度より 8.7 ポイント高くなっている。

性別に見ると、不満度は男性 (49.0%) の方が女性 (40.0%) より 9.0 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、不満度は 70 歳以上 (47.5%) が最も高く、年齢の高い世代の不満度が高くなっている。
地区別に見ると、不満度は川西ブロック (53.7%) が最も高く、光ブロック (34.9%) が最も低くなっている。



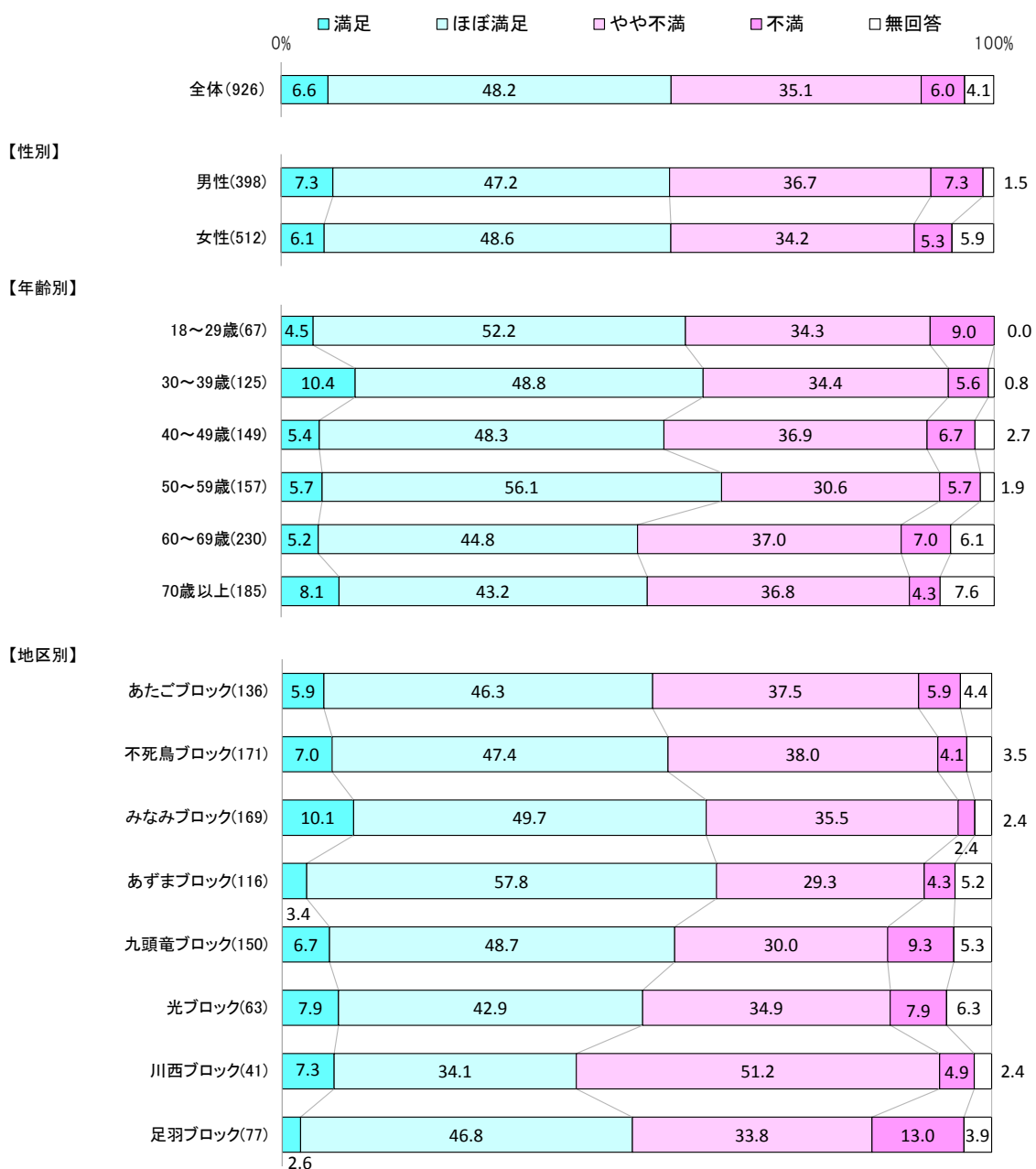
Ⅱ 住みよいまち 不満度 3 位

16. 地域コミュニティの活性化

「川西ブロック」の不満度が高い

満足度は 54.8%、不満度は 41.1%と、満足度が不満度より 13.7 ポイント高くなっている。

地区別に見ると、不満度は川西ブロック (56.1%) が最も高くなっている。性別、年齢別では、不満度に有意差は見られない。



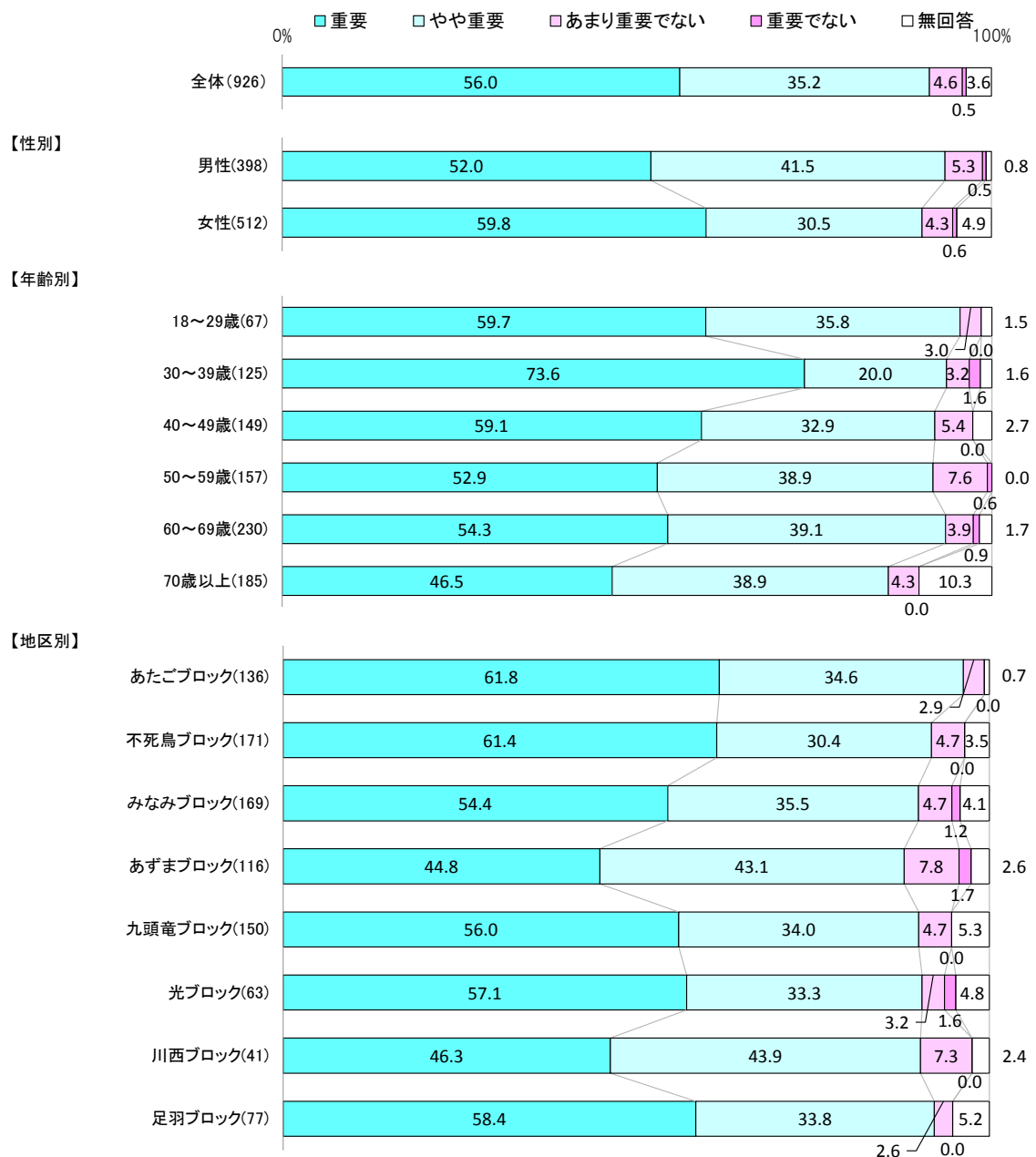
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」1位

18. 子育て環境の充実

「年齢の低い世代」ほど「重要である」が高い

「重要である」は91.2%、「重要でない」は5.1%と、「重要である」が「重要でない」より86.1ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳(95.5%)が最も高く、年齢の低い世代ほど高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



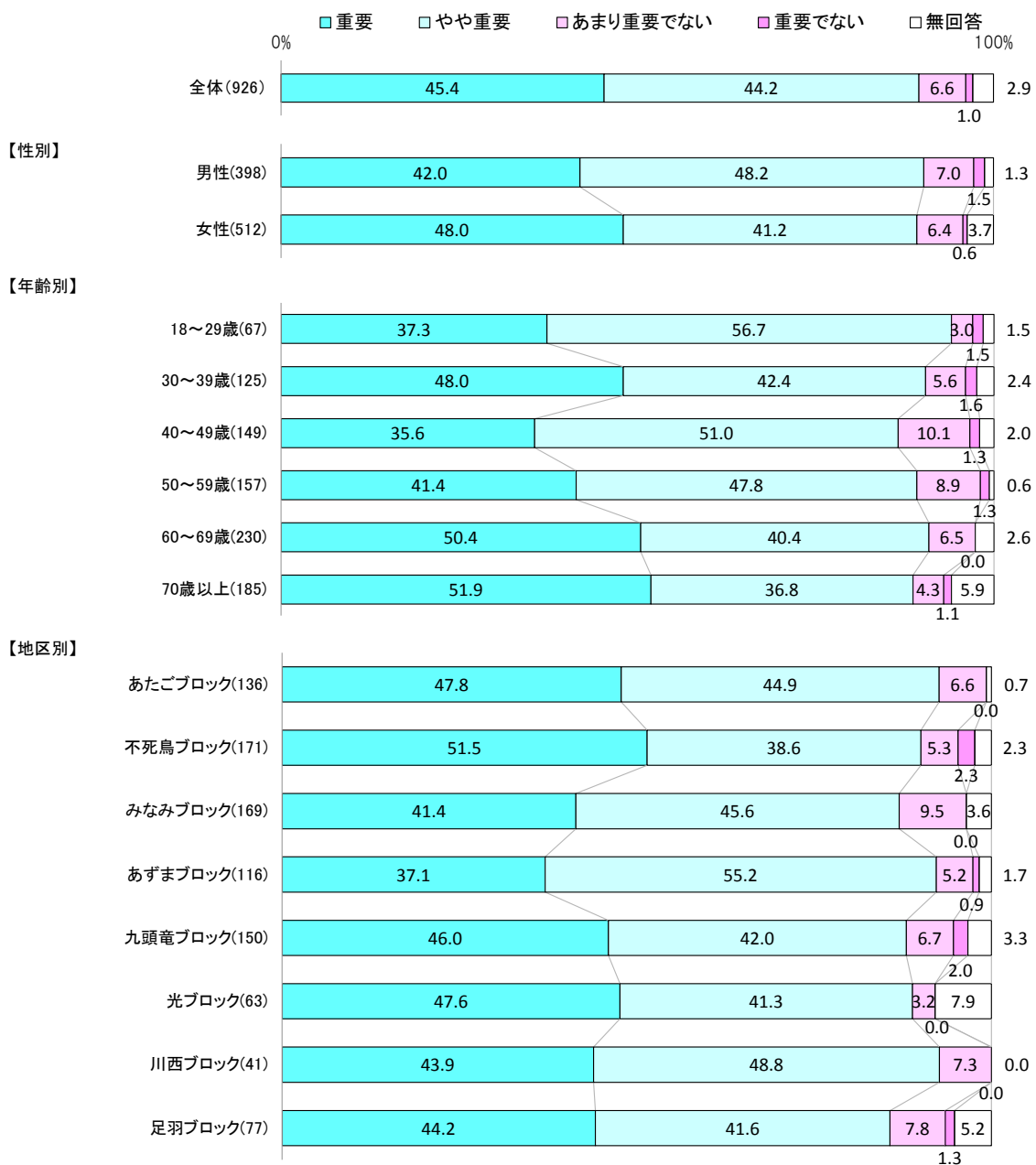
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 2 位

22. ごみの適正な処理

全体的に高い重要度

「重要である」は89.6%、「重要でない」は7.6%と、「重要である」が「重要でない」より82.0ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は18～29歳(94.0%)が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



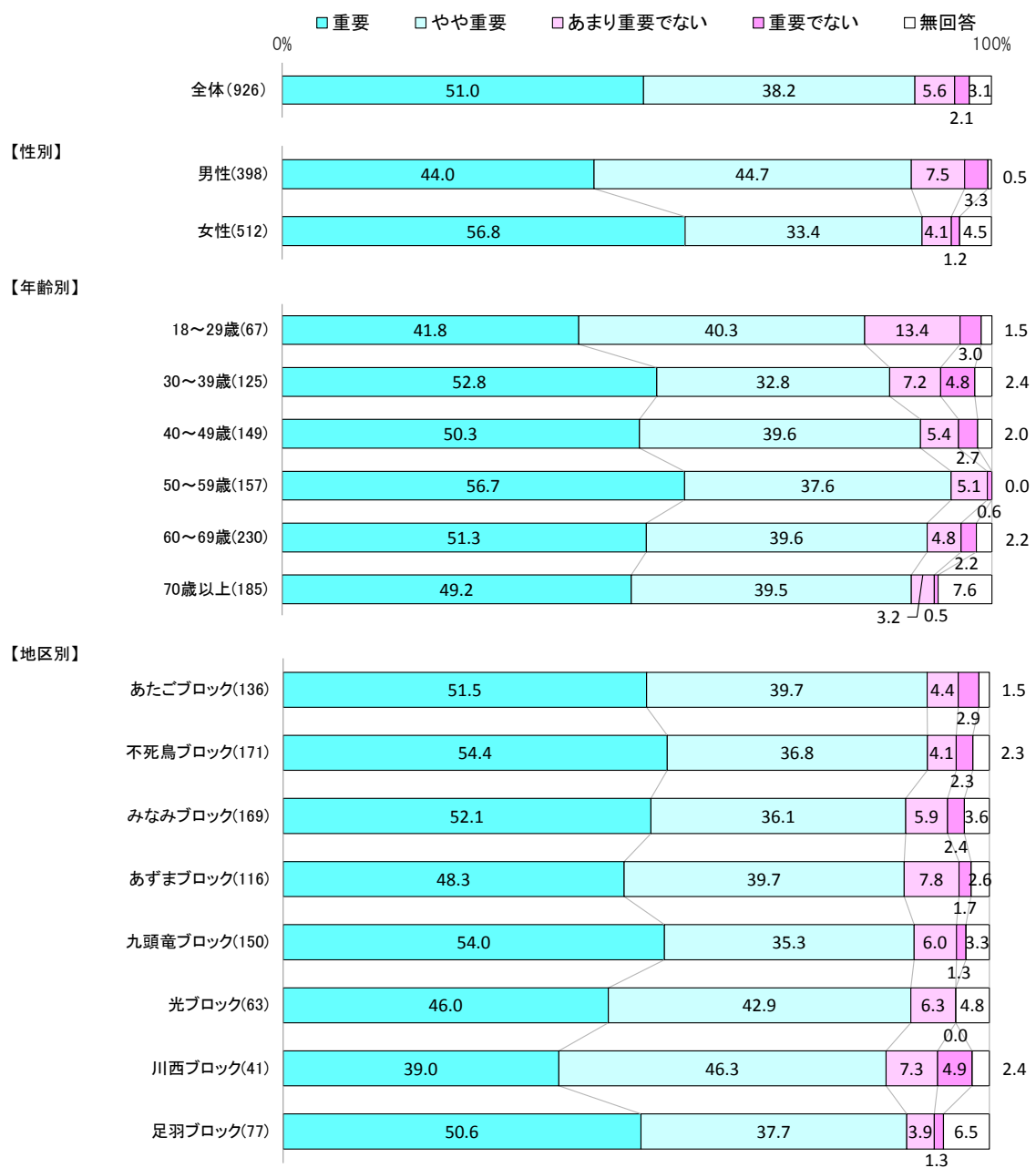
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」3位

19. 高齢者の活躍支援

「50～59歳」の重要度が高い

「重要である」は89.2%、「重要でない」は7.7%と、「重要である」が「重要でない」より81.5ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は50～59歳（94.3%）が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 1 位

14. 多文化共生と国際交流の推進

「男性」と「30～59 歳」と「あずまブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 64.9%、「重要でない」は 31.4%と、「重要である」が「重要でない」より 33.5 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（34.9%）の方が女性（28.9%）より 6.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 50～59 歳（37.0%）と 40～49 歳（36.3%）が高く、70 歳以上（23.3%）は最も低くなっている。地区別に見ると、「重要でない」はあずまブロック（40.5%）が高くなっている。



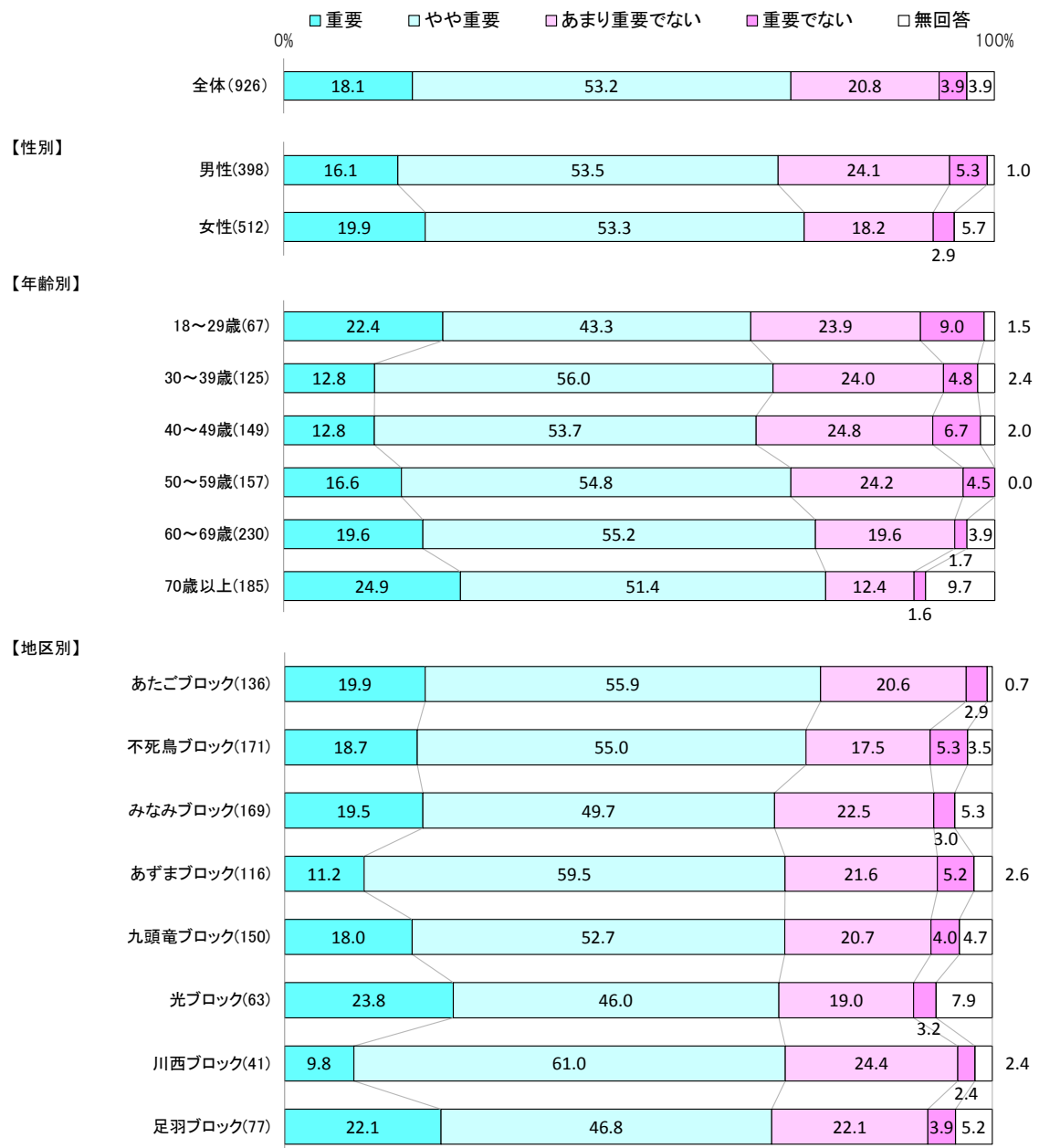
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 2 位

15. 協働のまちづくり

「男性」と「年齢の低い世代」の「重要でない」が高い

「重要である」は 71.3%、「重要でない」は 24.7%と、「重要である」が「重要でない」より 46.6 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（29.4%）の方が女性（21.1%）より 8.3 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 18～29 歳（32.9%）と 40～49 歳（31.5%）が高く、70 歳以上（14.0%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



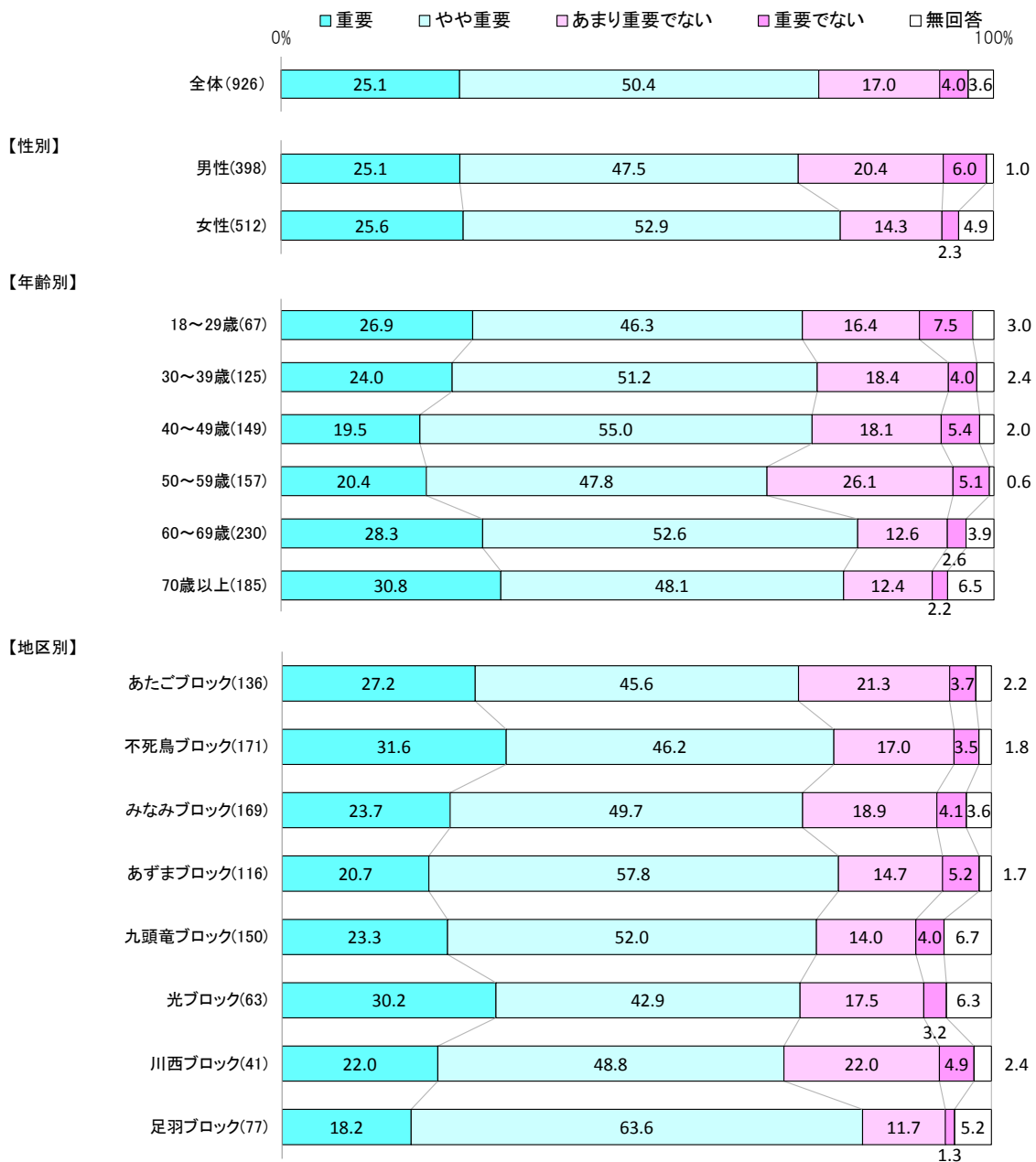
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 3 位

25. 消費者保護の推進

「男性」と「50～59 歳」と「川西ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 75.5%、「重要でない」は 21.0%と、「重要である」が「重要でない」より 54.5 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（26.4%）が女性（16.6%）より 9.8 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 50～59 歳（31.2%）が最も高くなっている。地区別に見ると、「重要でない」は川西ブロック（26.9%）が高くなっている。



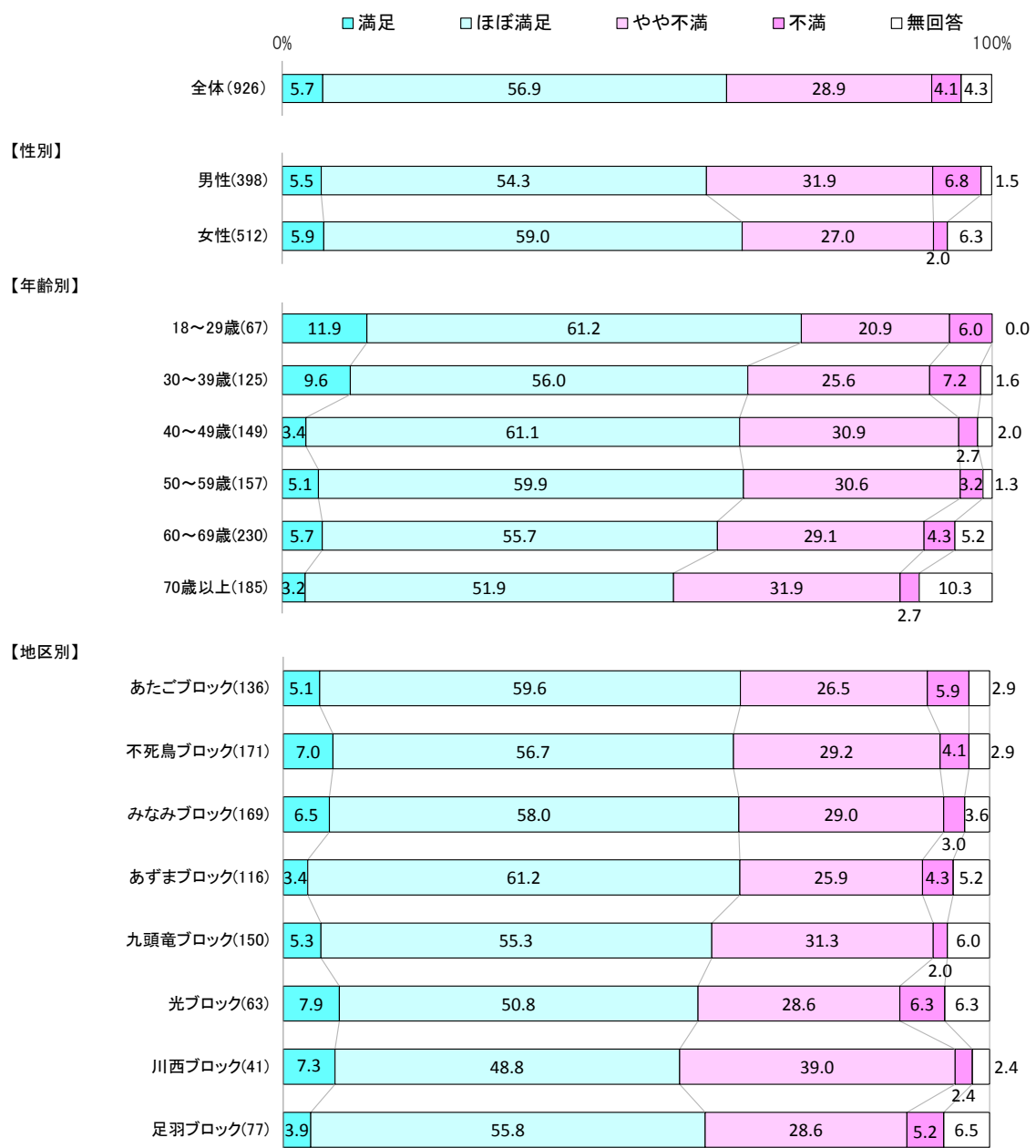
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度 1 位

28. 農産物の需要拡大

「女性」と「年齢の低い世代」の満足度が高い

満足度は 62.6%、不満度は 33.0%と、満足度が不満度より 29.6 ポイント高くなっている。

性別に見ると、満足度は女性（64.9%）が男性（59.8%）より 5.1 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（73.1%）が最も高く、年齢の低い世代ほど満足度が高くなっている。地区別では、満足度に有意差は見られない。



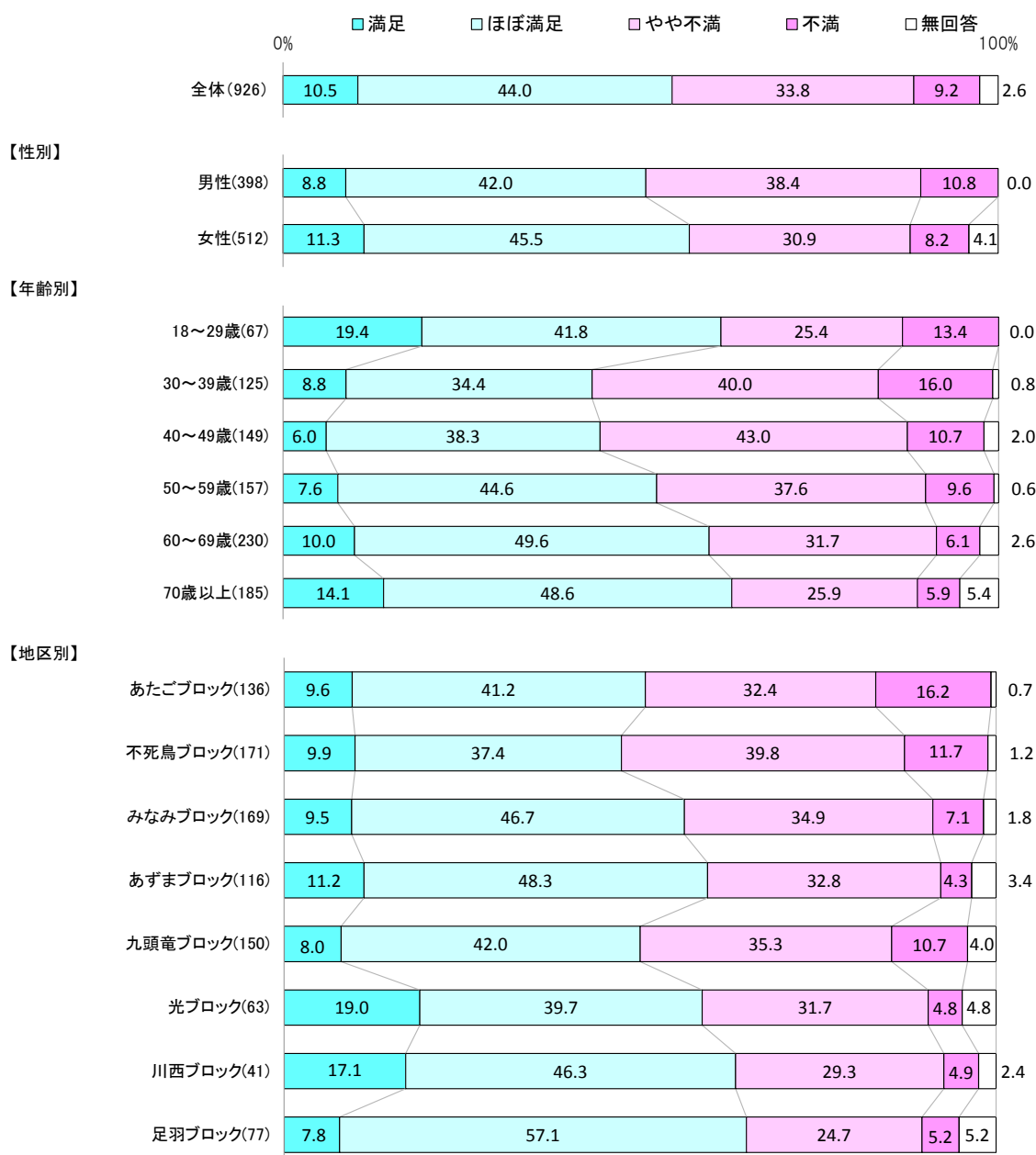
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度 2 位

32. 観光の振興とおもてなしの充実

「女性」と「年齢の高い世代」の満足度が高い

満足度は 54.5%、不満度は 43.0%と、満足度が不満度より 11.5 ポイント高くなっている。

性別に見ると、満足度は女性（56.8%）が男性（50.8%）より 6.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は 70 歳以上（62.7%）と 18～29 歳（61.2%）が高く、年齢の高い世代ほど満足度が高くなっている。地区別に見ると、満足度は足羽ブロック（64.9%）が高くなっている。



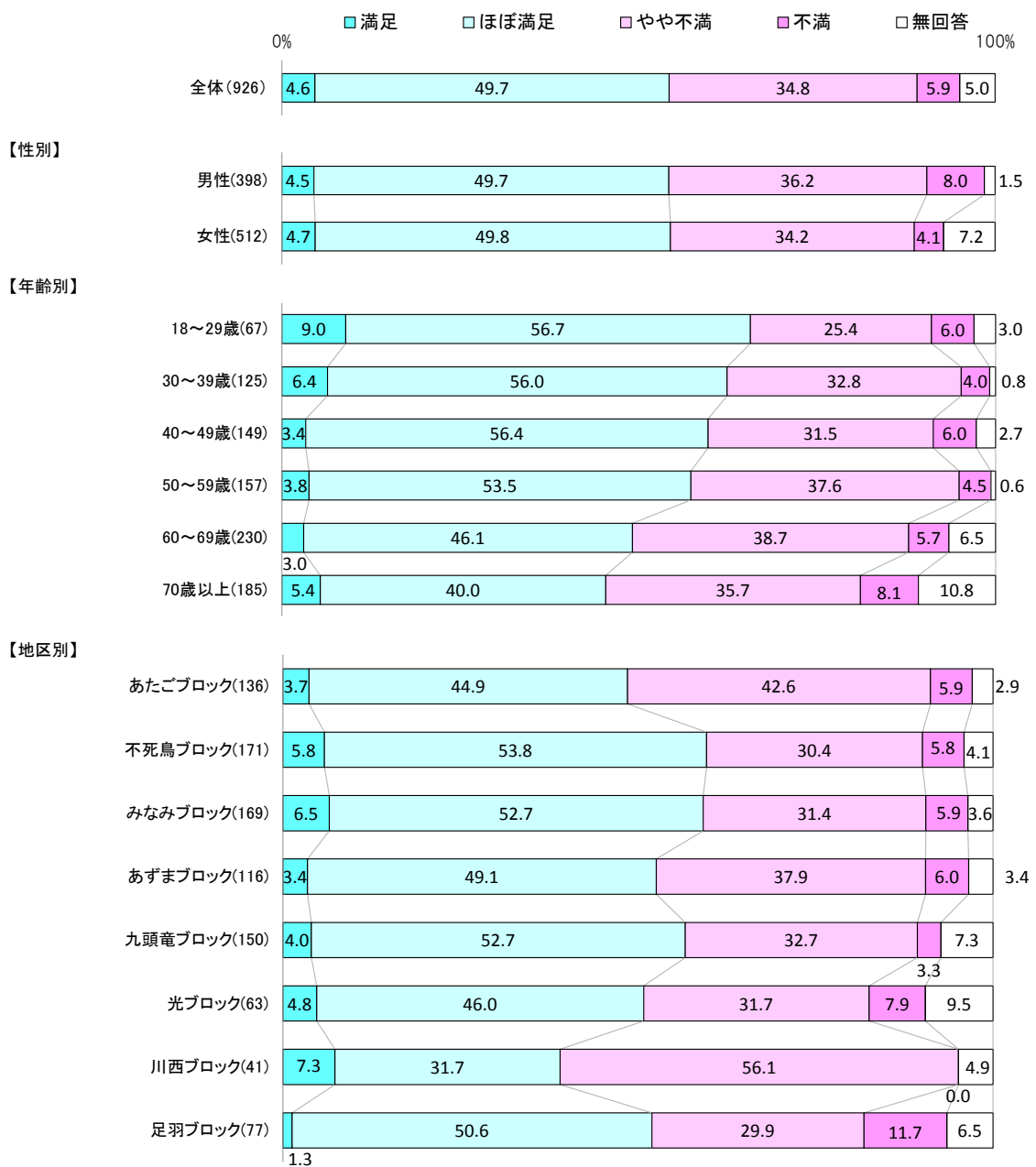
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度 3 位

27. 農林水産業の推進

「年齢の低い世代」の満足度が高い

満足度は 54.3%、不満度は 40.7%と、満足度が不満度より 13.6 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（65.7%）が最も高く、年齢の低い世代ほど高くなっている。地区別に見ると、満足度は川西ブロック（39.0%）で低くなっている。性別では、満足度に有意差は見られない。



Ⅲ 活き活きと働くまち 不満度 1 位

31. 福井で働くことを応援する

「男性」と「50～69 歳」の不満度が高い

満足度は 47.5%、不満度は 48.4%と、満足度が不満度より 0.9 ポイント低くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（52.5%）が女性（45.1%）より 7.4 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、不満度は 60～69 歳（51.8%）が高くなっている。地区別では、不満度に有意差は見られない。



Ⅲ 活き活きと働くまち 不満度 2 位

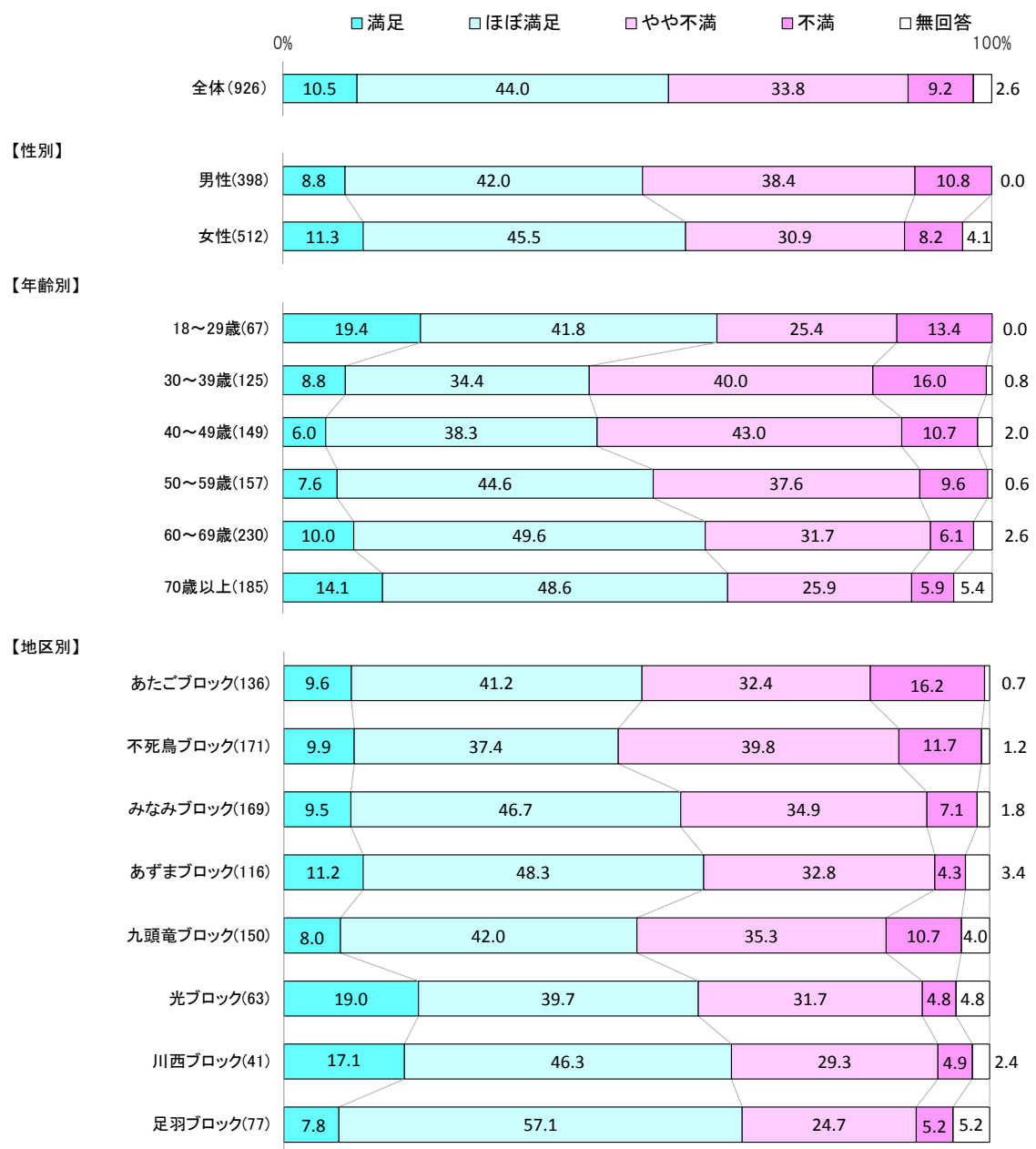
32. 観光の振興とおもてなしの充実

「男性」と「年齢の低い世代」の不満度が高い

満足度は 54.5%、不満度は 43.0%と、満足度が不満度より 11.5 ポイント高くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（49.2%）が女性（39.1%）より 10.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳（56.0%）が高く、年齢の低い世代ほど不満度が高くなっている。地区別に見ると、不満度は不死鳥ブロック（51.5%）が高くなっている。



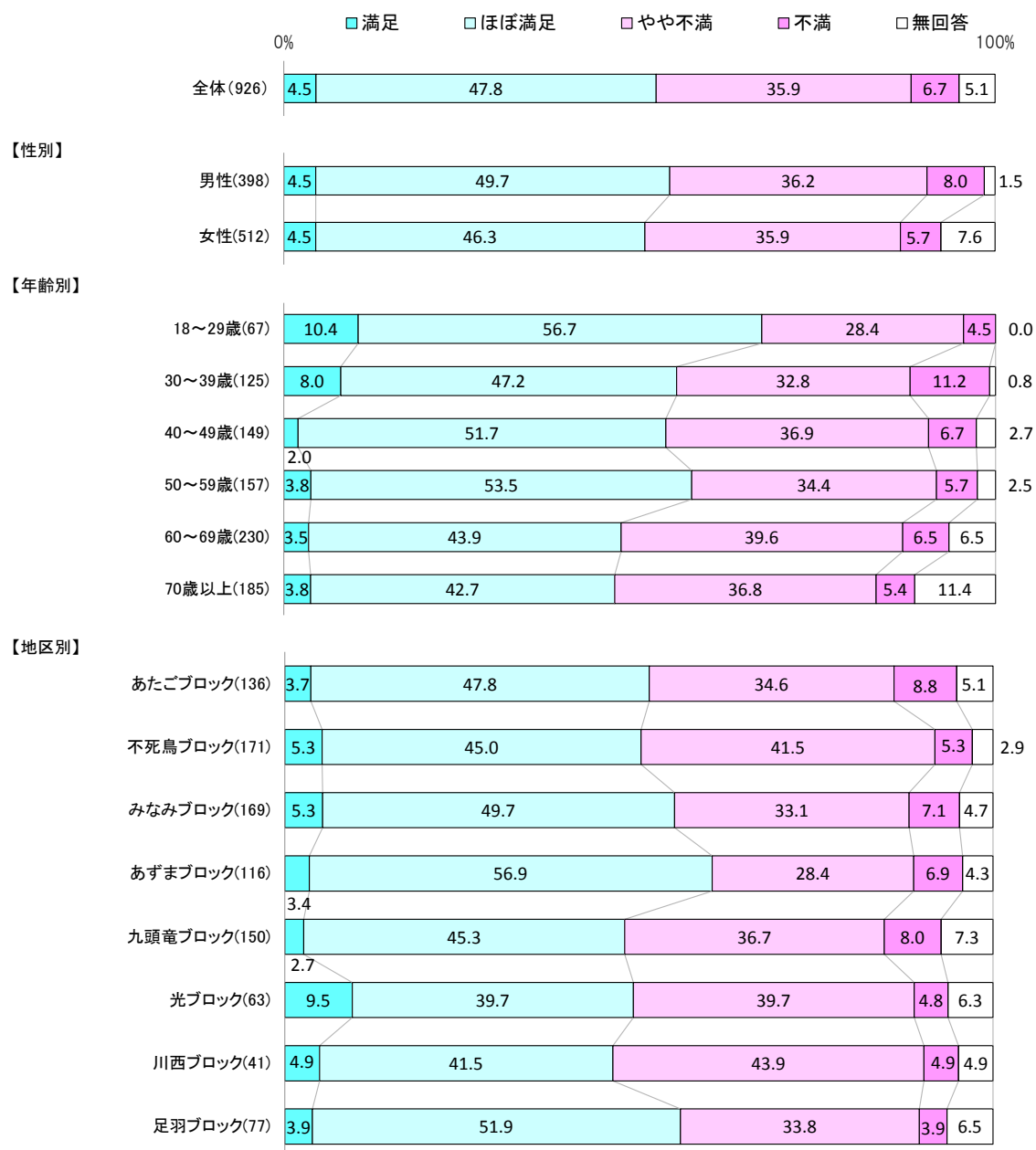
Ⅲ 活き活きと働くまち 不満度 3 位

30. 商工業の振興

「60～69 歳」と「川西ブロック」の不満度が高い

満足度は 52.3%、不満度は 42.6%と、満足度が不満度より 9.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 60～69 歳 (46.1%) が最も高くなっている。地区別に見ると、不満度は川西ブロック (48.8%) が高くなっている。性別では、不満度に有意差は見られない。



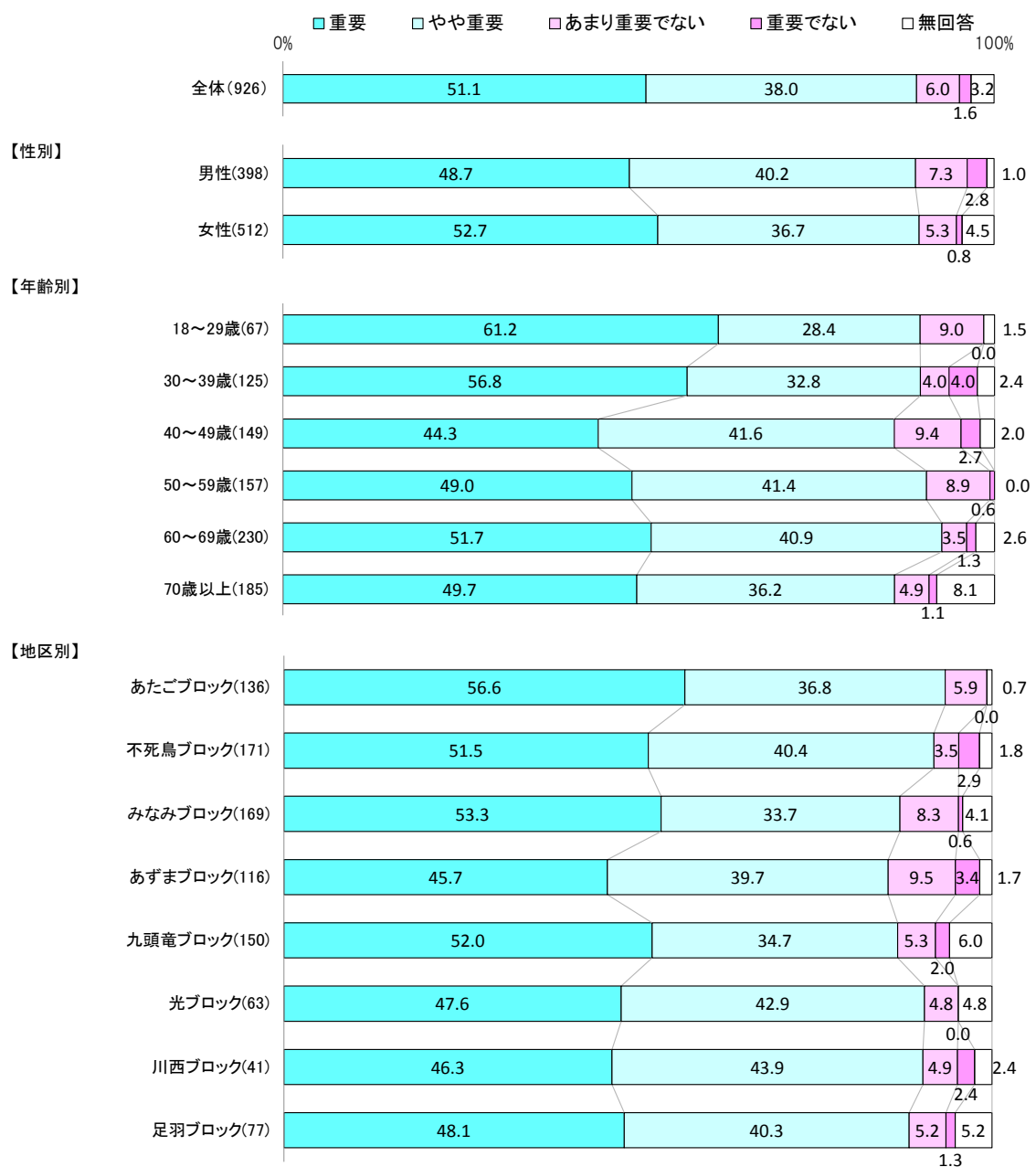
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」1位

31. 福井で働くことを応援する

全体的に高い重要度

「重要である」は89.1%、「重要でない」は7.6%と、「重要である」が「重要でない」より81.5ポイント高くなっている。

性別、年齢別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



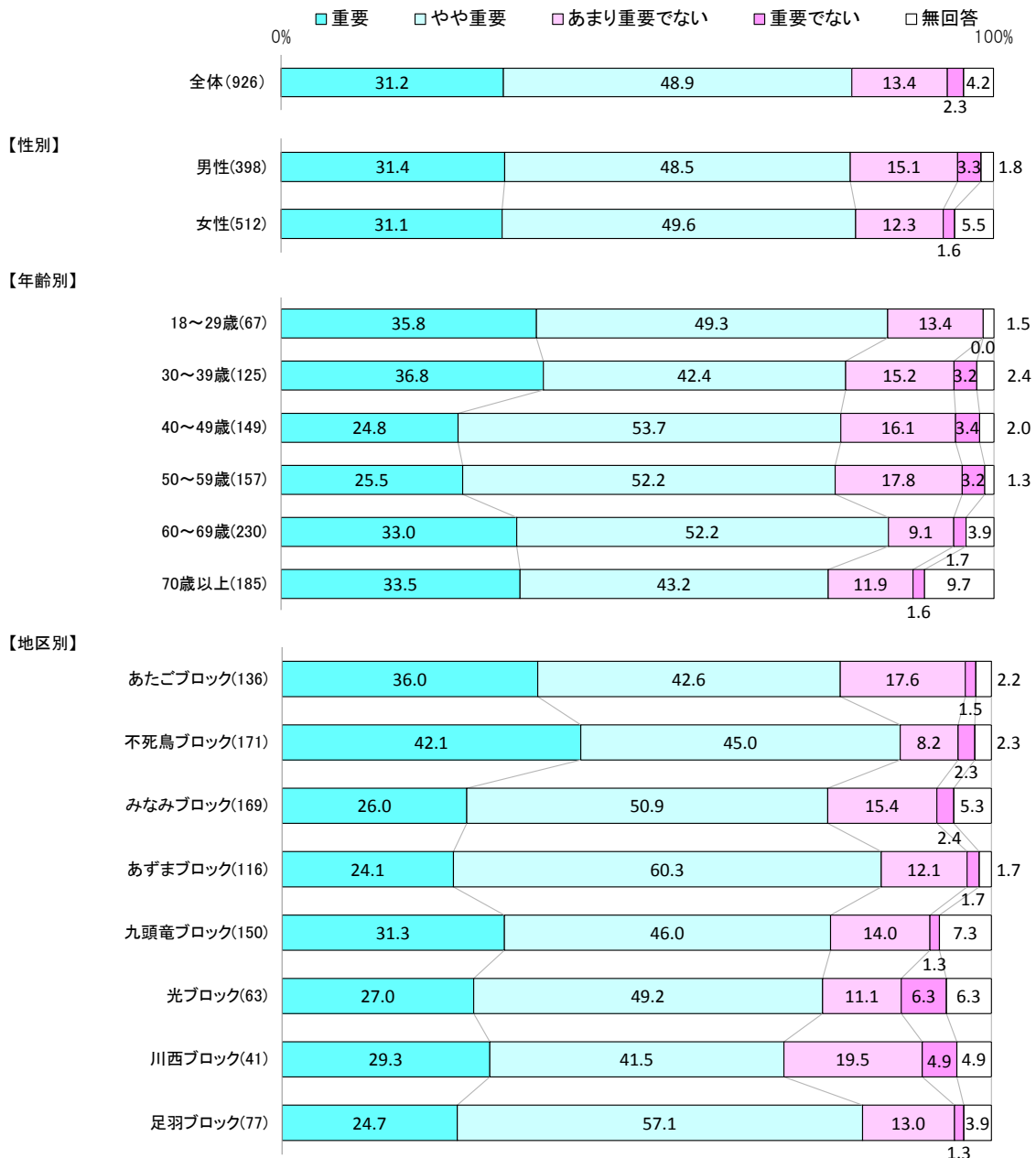
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」 2 位

30. 商工業の振興

「18～29 歳」「60～69 歳」と「不死鳥ブロック」の重要度が高い

「重要である」は 80.1%、「重要でない」は 15.7%と、「重要である」が「重要でない」より 64.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は 60～69 歳（85.2%）と 18～29 歳（85.1%）が高くなっている。地区別に見ると、「重要である」は不死鳥ブロック（87.1%）が高くなっている。性別では、「重要である」に有意差は見られない。



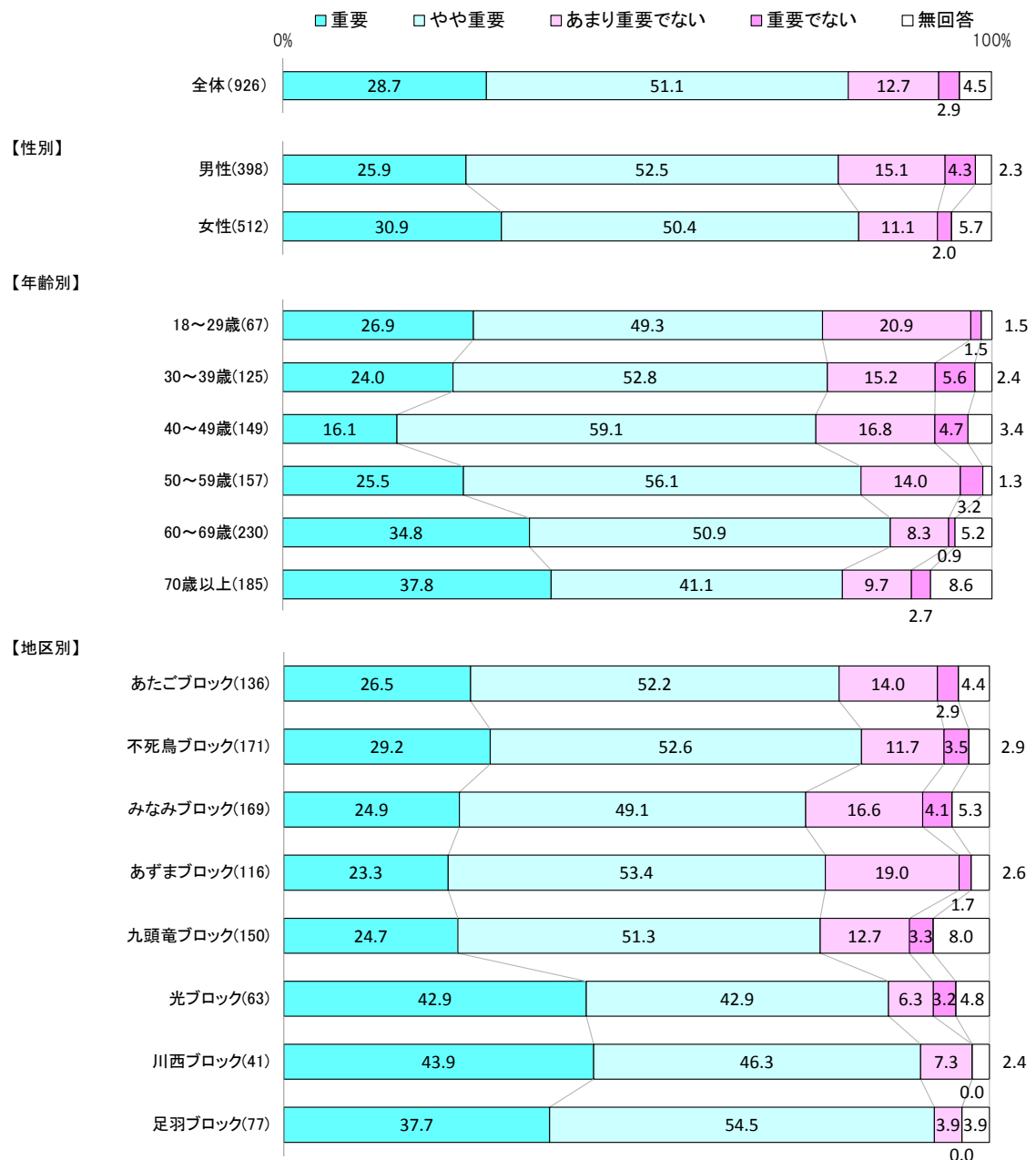
Ⅲ 生き活きと働くまち 「重要である」3位

29. 農山漁村の生活環境を守る

「60～69歳」と「足羽ブロック」の重要度が高い

「重要である」は79.8%、「重要でない」は15.6%と、「重要である」が「重要でない」より64.2ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は60～69歳（85.7%）が最も高くなっている。地区別に見ると、「重要である」は足羽ブロック（92.2%）が最も高くなっている。性別では、「重要である」に有意差は見られない。



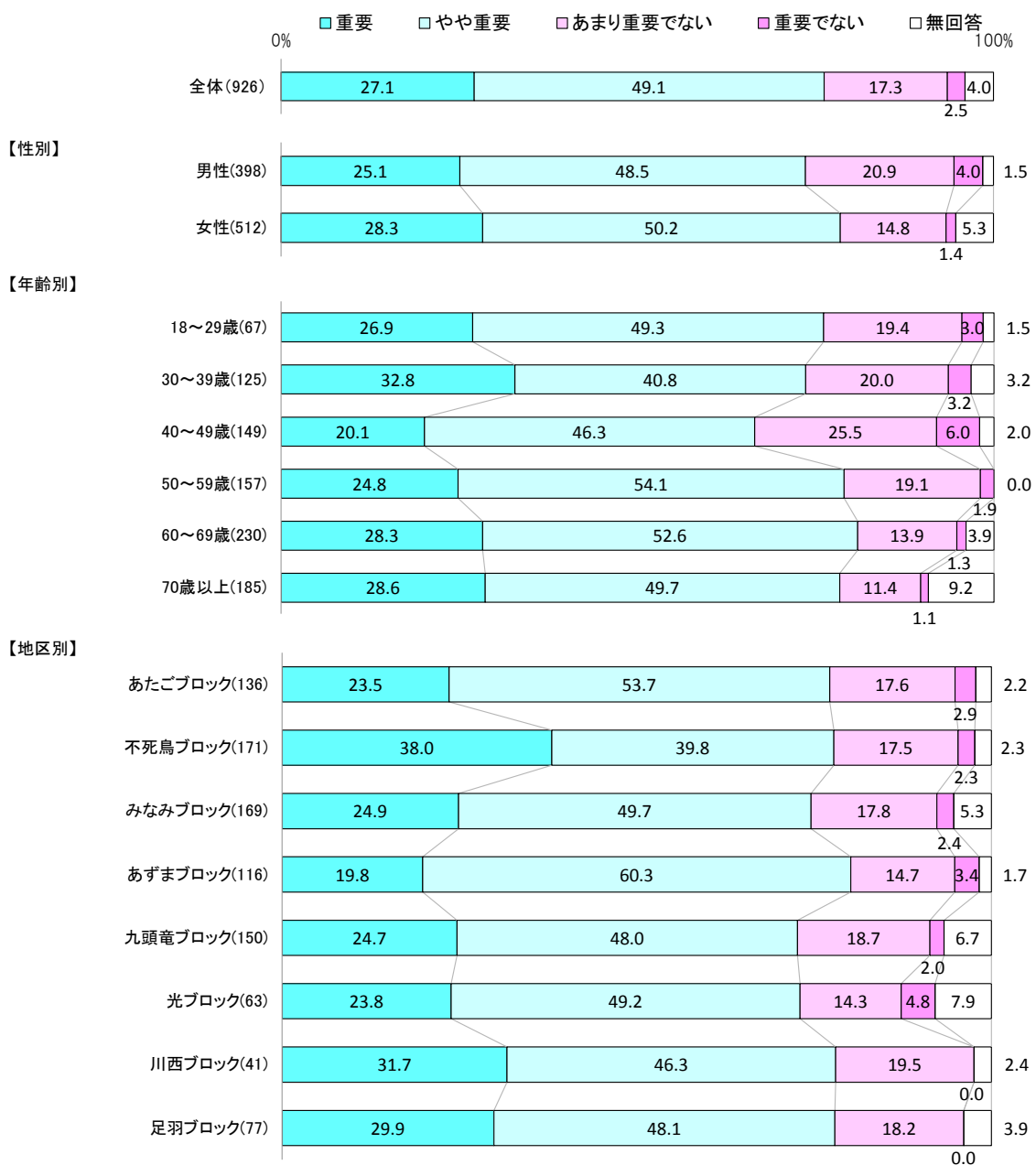
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 1 位

28. 農産物の需要拡大

「男性」と「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 76.2%、「重要でない」は 19.8%と、「重要である」が「重要でない」より 56.4 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（24.9%）が女性（16.2%）より 8.7 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 40～49 歳（31.5%）が最も高く、70 歳以上（12.5%）が最も低くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



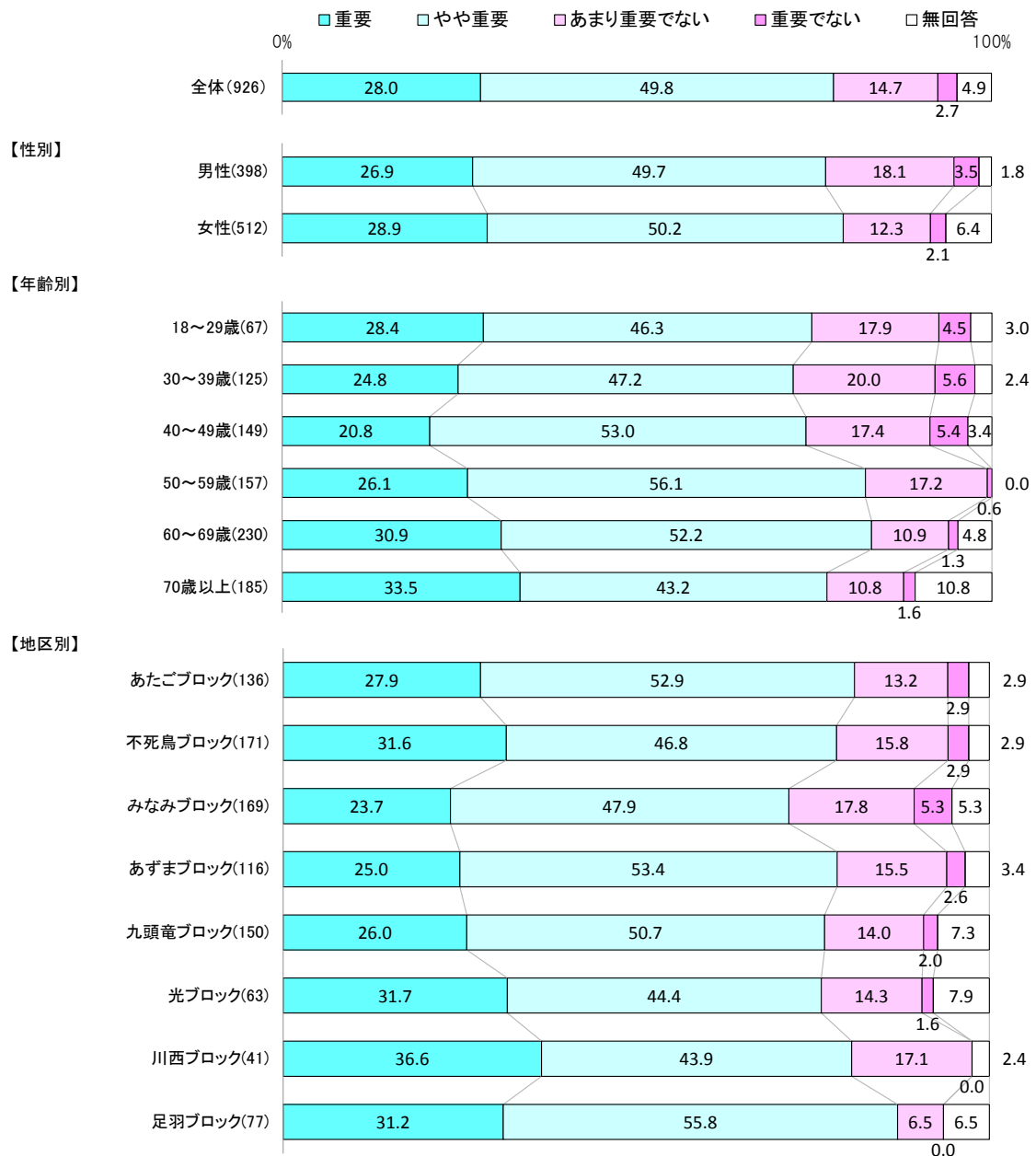
Ⅲ 生き活きと働くまち 「重要でない」 2 位

27. 農林水産業の推進

「男性」と「30～39 歳」と「みなみブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 77.8%、「重要でない」は 17.4%と、「重要である」が「重要でない」より 60.4 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（21.6%）が女性（14.4%）より 7.2 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 30～39 歳（25.6%）が最も高くなっている。地区別に見ると、「重要でない」はみなみブロック（23.1%）が最も高く、足羽ブロック（6.5%）が最も低くなっている。



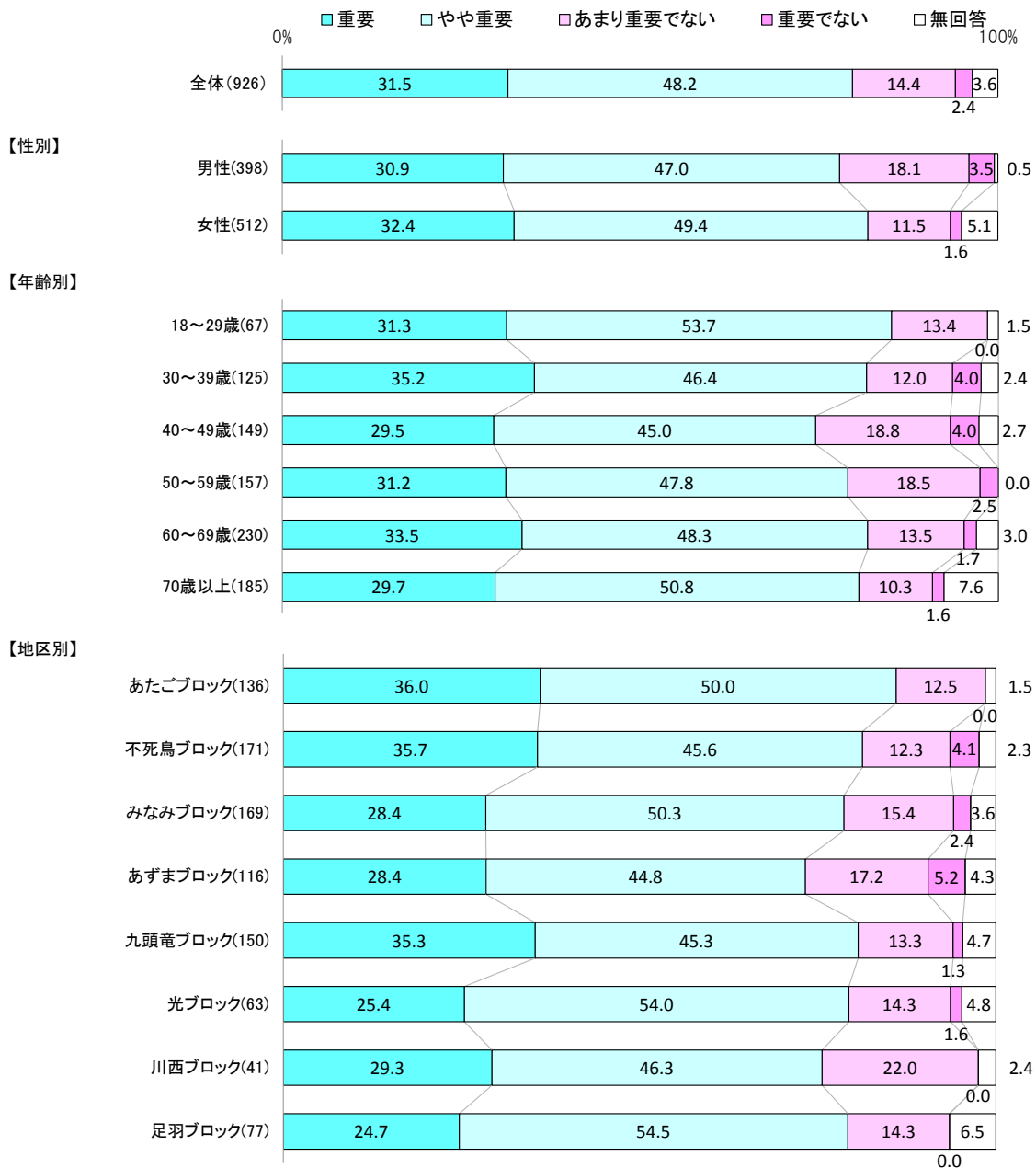
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 3 位

32. 観光の振興とおもてなしの充実

「男性」と「40～49 歳」と「あずまブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 79.7%、「重要でない」は 16.8%と、「重要である」が「重要でない」より 62.9 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（21.6%）が女性（13.1%）より 8.5 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 40～49 歳（22.8%）が高くなっている。地区別に見ると、「重要でない」はあずまブロック（22.4%）と川西ブロック（22.0%）が高くなっている。



IV 学び成長するまち 満足度 1 位

34. 歴史・文化遺産の保存・活用

「女性」と「18～29 歳」と「光ブロック」の満足度が高い

満足度は 68.4%、不満度は 28.1%と、満足度が不満度より 40.3 ポイント高くなっている。

性別に見ると、満足度は女性（70.7%）が男性（65.3%）より 5.4 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（80.6%）が最も高くなっている。地区別に見ると、満足度は光ブロック（81.0%）が最も高くなっている。



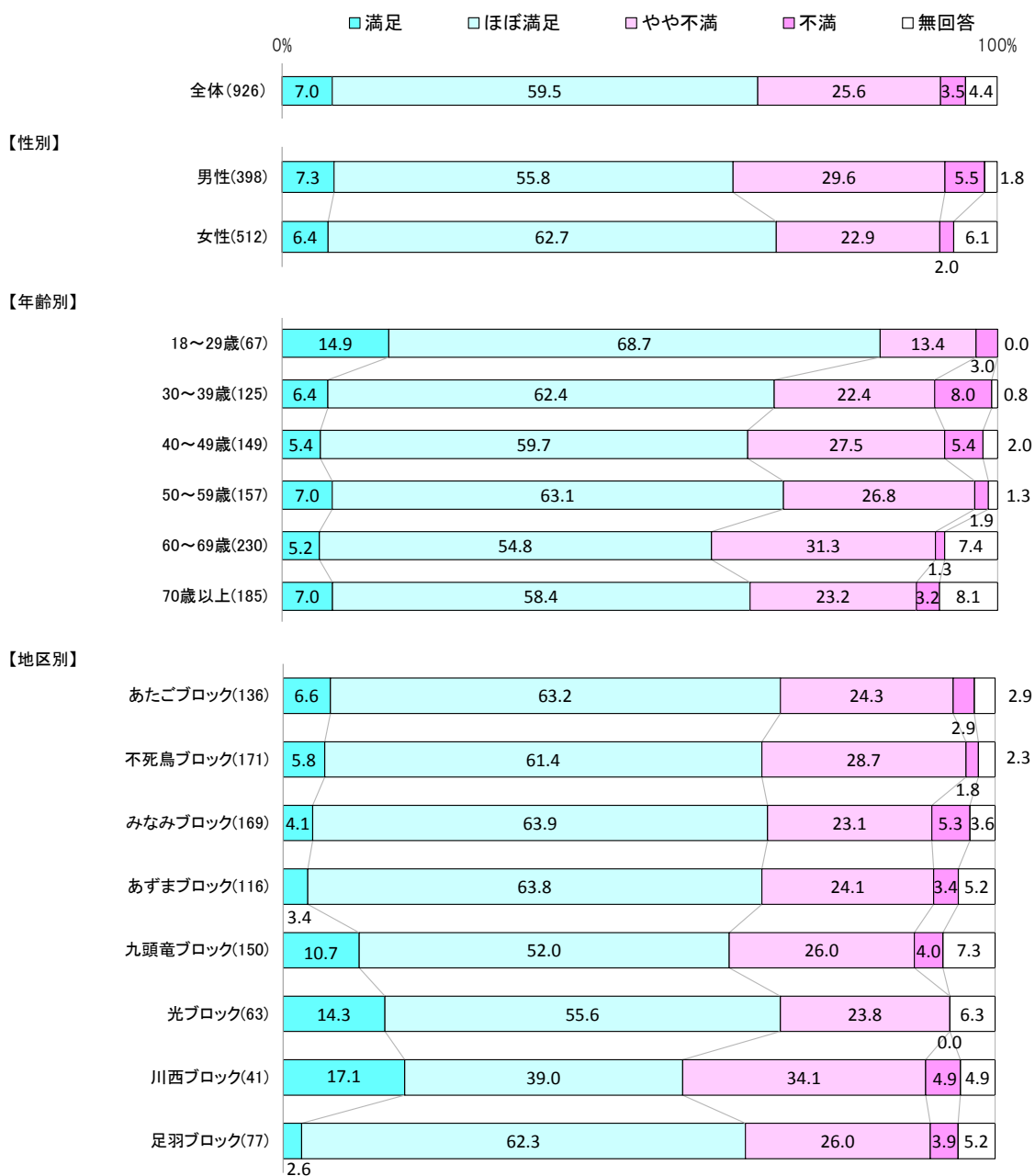
IV 学び成長するまち 満足度 2 位

40. 生涯スポーツの支援

「女性」と「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 66.5%、不満度は 29.1%と、満足度が不満度より 37.4 ポイント高くなっている。

性別に見ると、満足度は女性（69.1%）が男性（63.1%）より 6.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（83.6%）が最も高くなっている。地区別に見ると、満足度は川西ブロック（56.1%）が低くなっている。



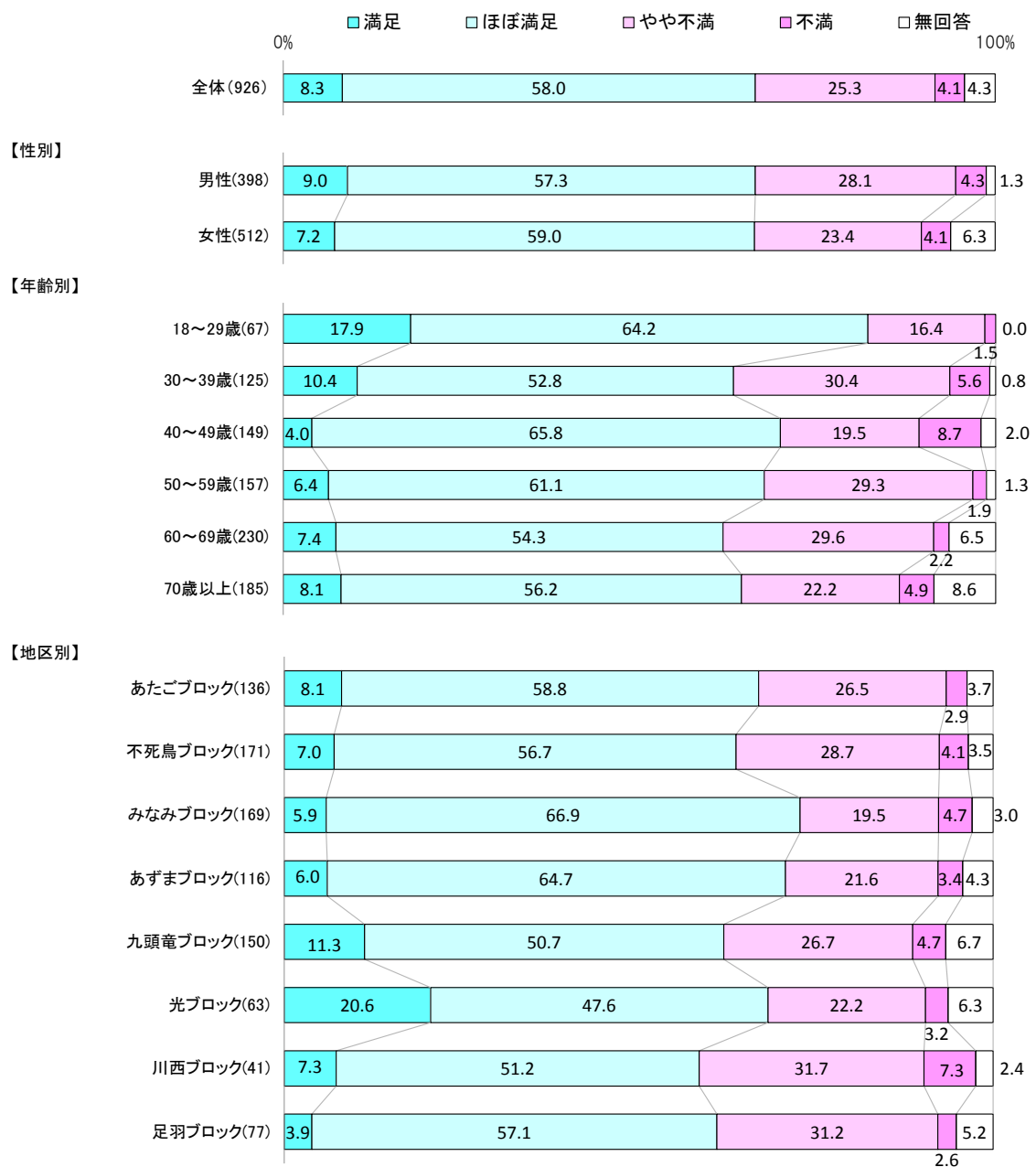
IV 学び成長するまち 満足度 3 位

39. 生涯学習の支援

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 66.3%、不満度は 29.4%と、満足度が不満度より 36.9 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は 18～29 歳（82.1%）が最も高くなっている。地区別に見ると、光ブロックで「満足」と回答した割合（20.6%）が高くなっている。性別では、満足度に有意差は見られない。



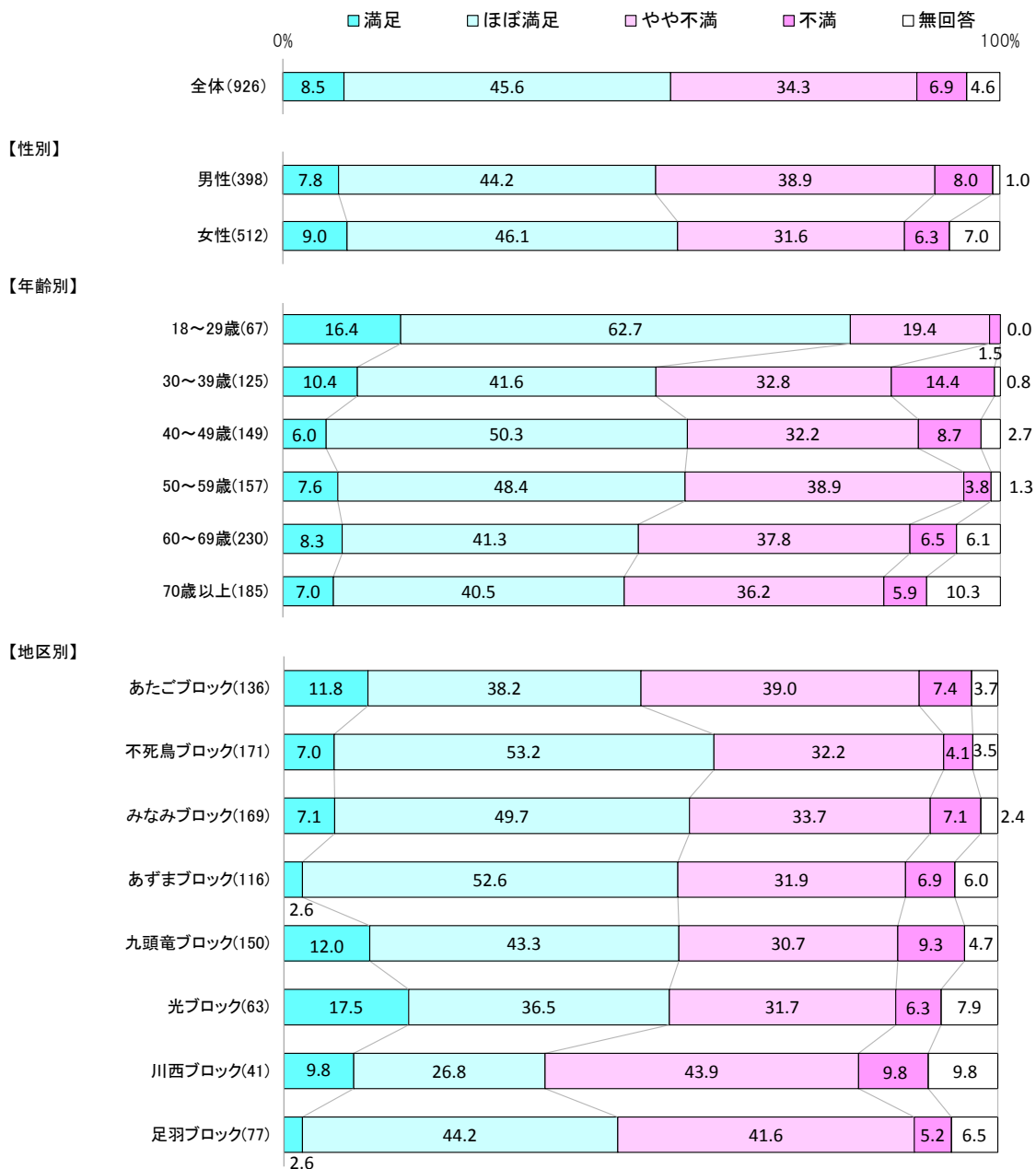
IV 学び成長するまち 不満度 1 位

38. 学校環境の整備

「男性」と「30～39 歳」と「川西ブロック」の不満度が高い

満足度は 54.1%、不満度は 41.2%と、満足度が不満度より 12.9 ポイント高くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（46.9%）が女性（37.9%）より 9.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳（47.2%）が最も高くなっている。地区別に見ると、不満度は川西ブロック（53.7%）が高くなっている。



IV 学び成長するまち 不満度 2 位

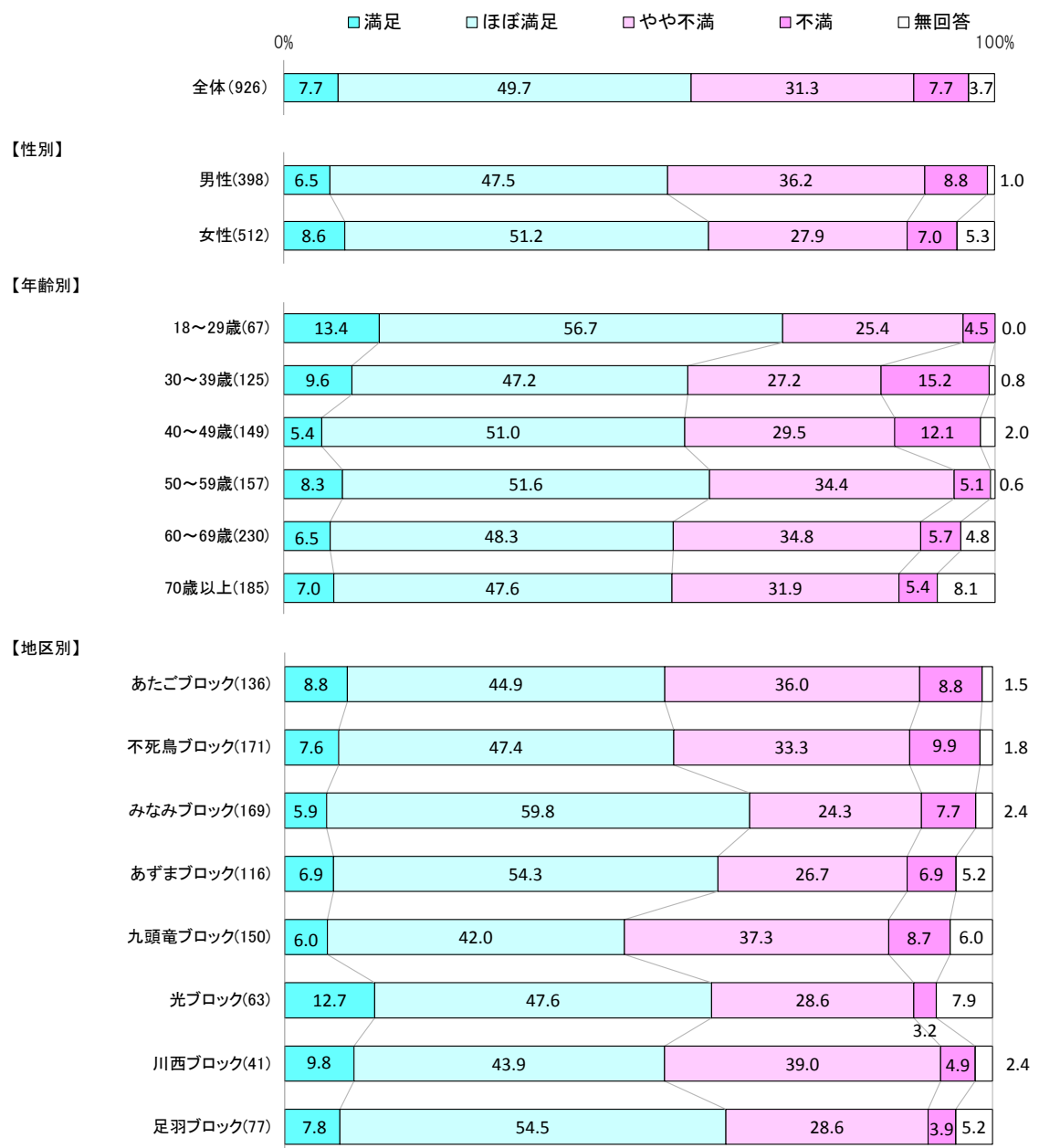
33. 文化芸術の振興

「男性」と「30～39 歳」と「九頭竜ブロック」の不満度が高い

満足度は 57.4%、不満度は 39.0%と、満足度が不満度より 18.4 ポイント高くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（45.0%）が女性（34.9%）より 10.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳（42.4%）が最も高く、18～29 歳（29.9%）が最も低くなっている。地区別に見ると、不満度は九頭竜ブロック（46.0%）が高くなっている。



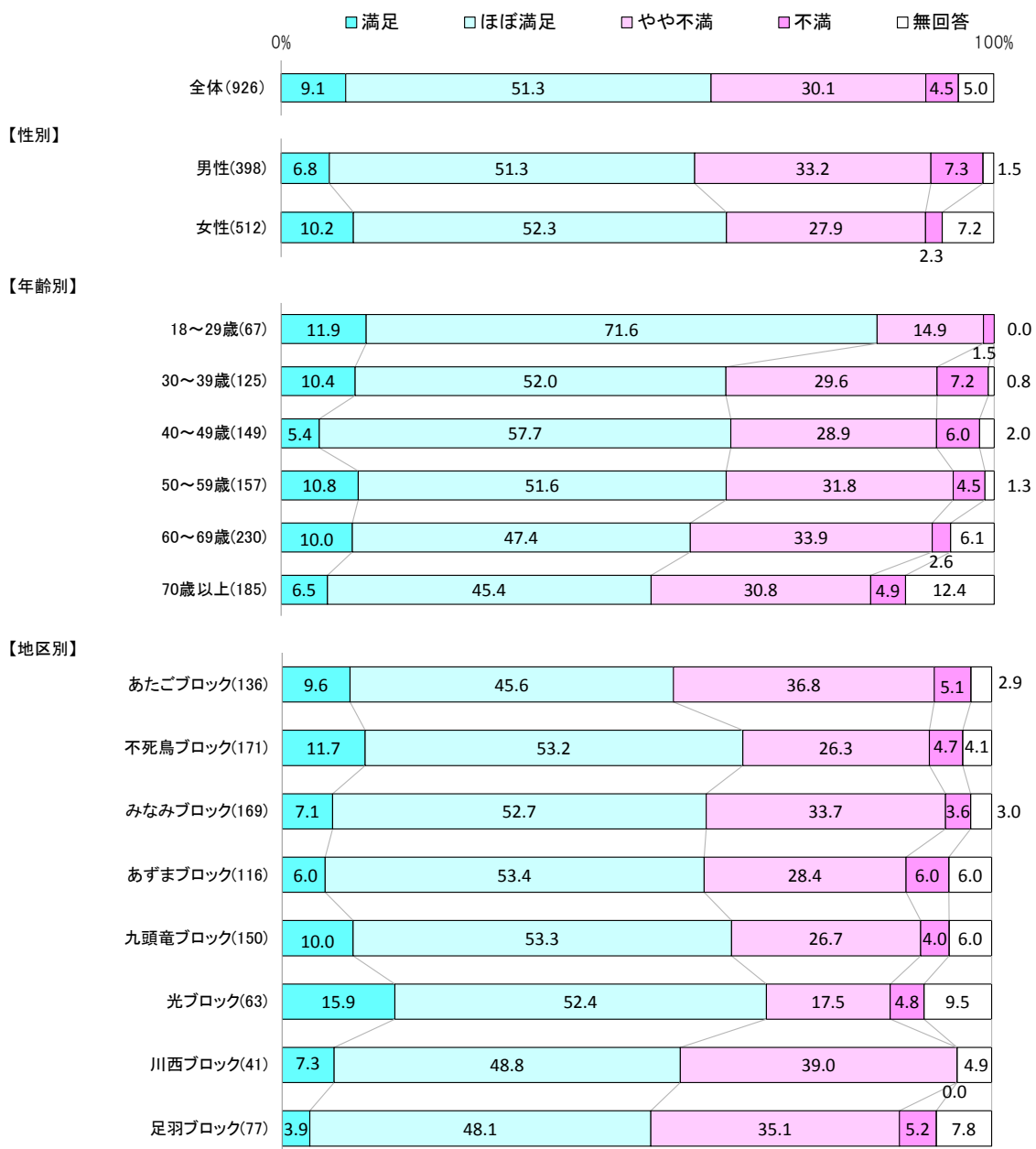
IV 学び成長するまち 不満度 3 位

36. 学校教育の充実

「男性」と「あたごブロック」の不満度が高い

満足度は 60.4%、不満度は 34.6%と、満足度が不満度より 25.8 ポイント高くなっている。

性別に見ると、不満度は男性（40.5%）が女性（30.2%）より 10.3 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、不満度は 30～39 歳（36.8%）が高くなっている。地区別に見ると、不満度はあたごブロック（41.9%）が高くなっている。



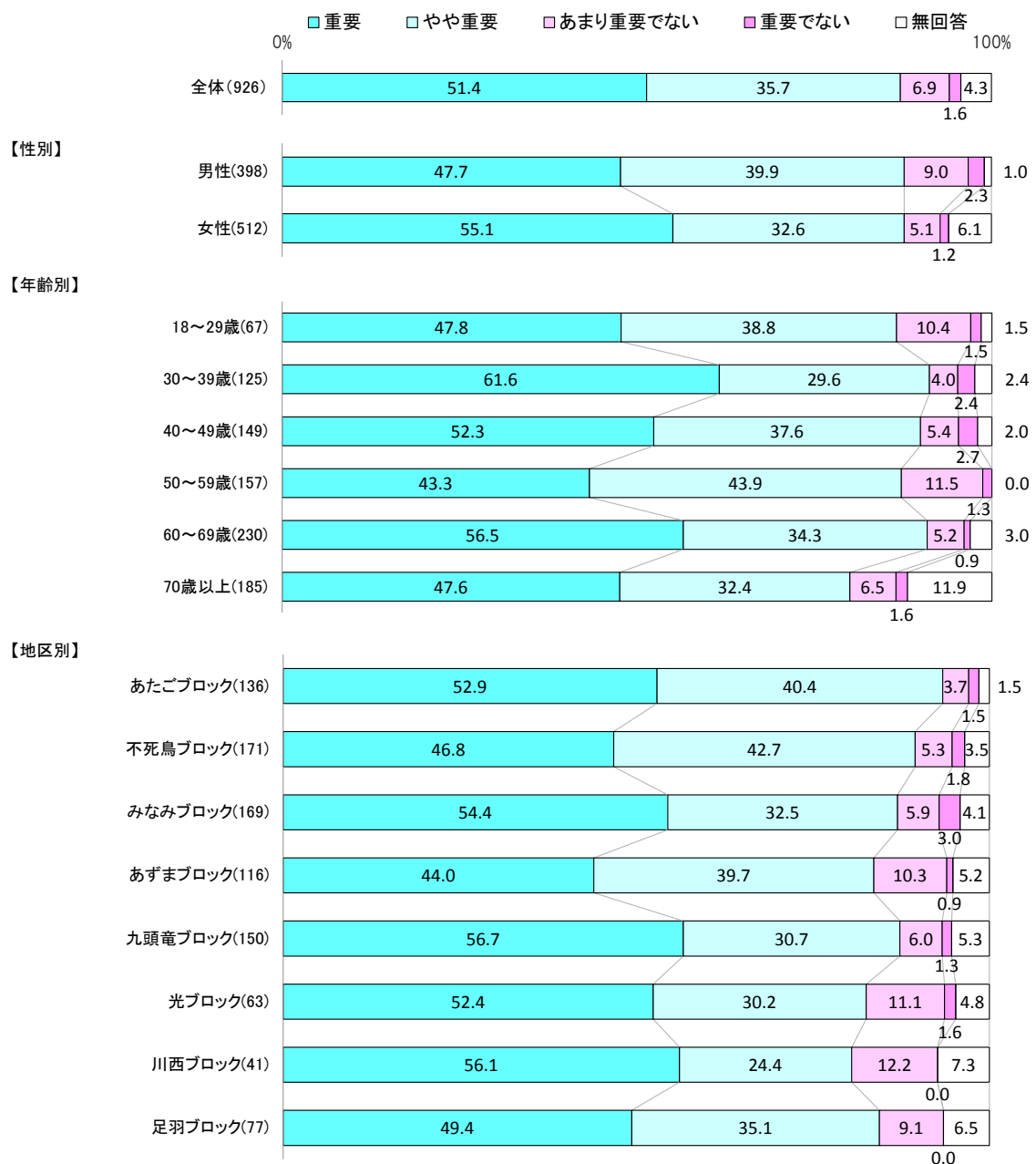
IV 学び成長するまち 「重要である」1位

38. 学校環境の整備

全体的に高い重要度

「重要である」は87.1%、「重要でない」は8.5%と、「重要である」が「重要でない」より78.6ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は70歳以上(80.0%)が低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



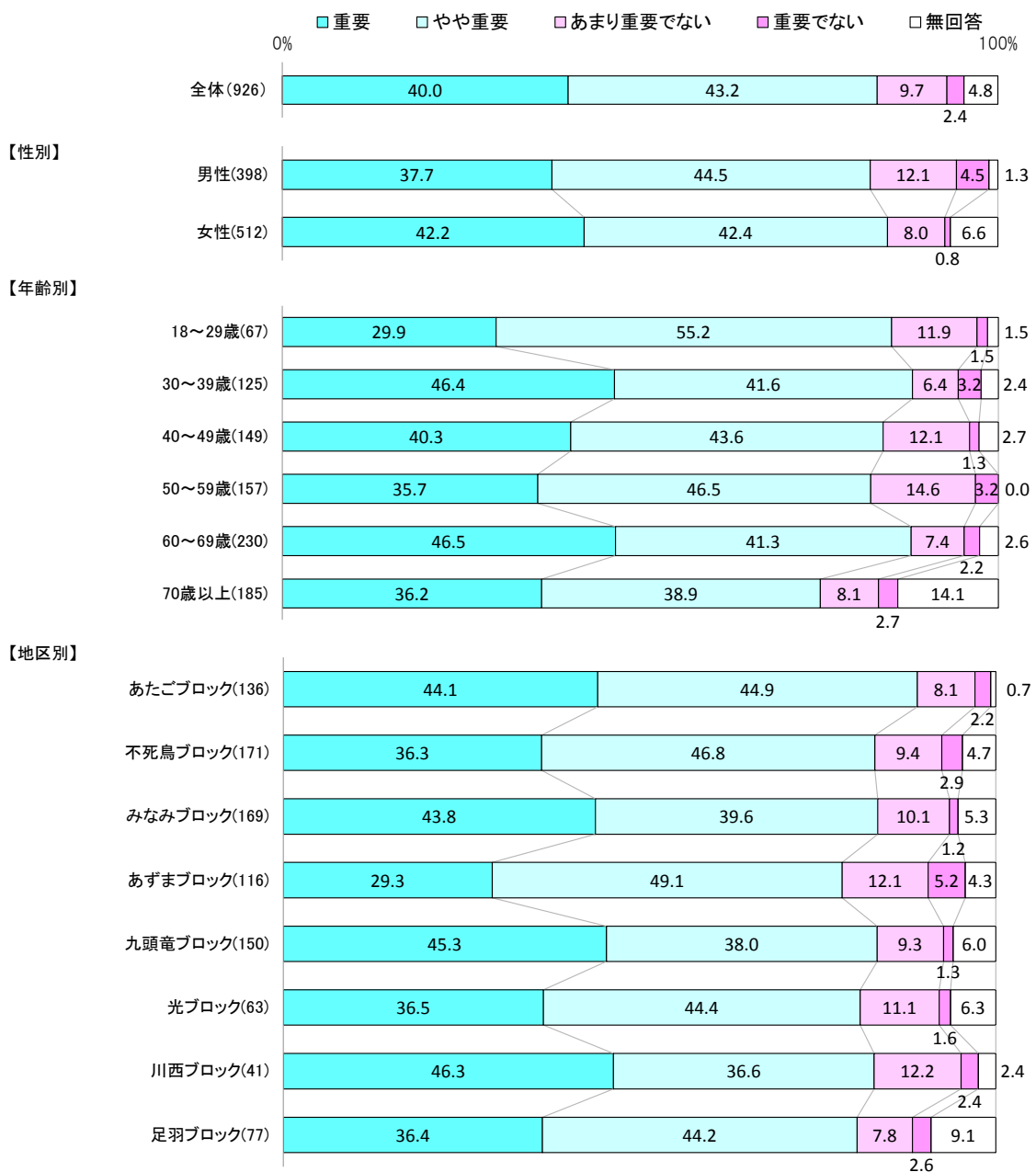
IV 学び成長するまち 「重要である」 2 位

36. 学校教育の充実

全体的に高い重要度

「重要である」は83.2%、「重要でない」は12.1%と、「重要である」が「重要でない」より71.1ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は70歳以上（75.1%）が低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



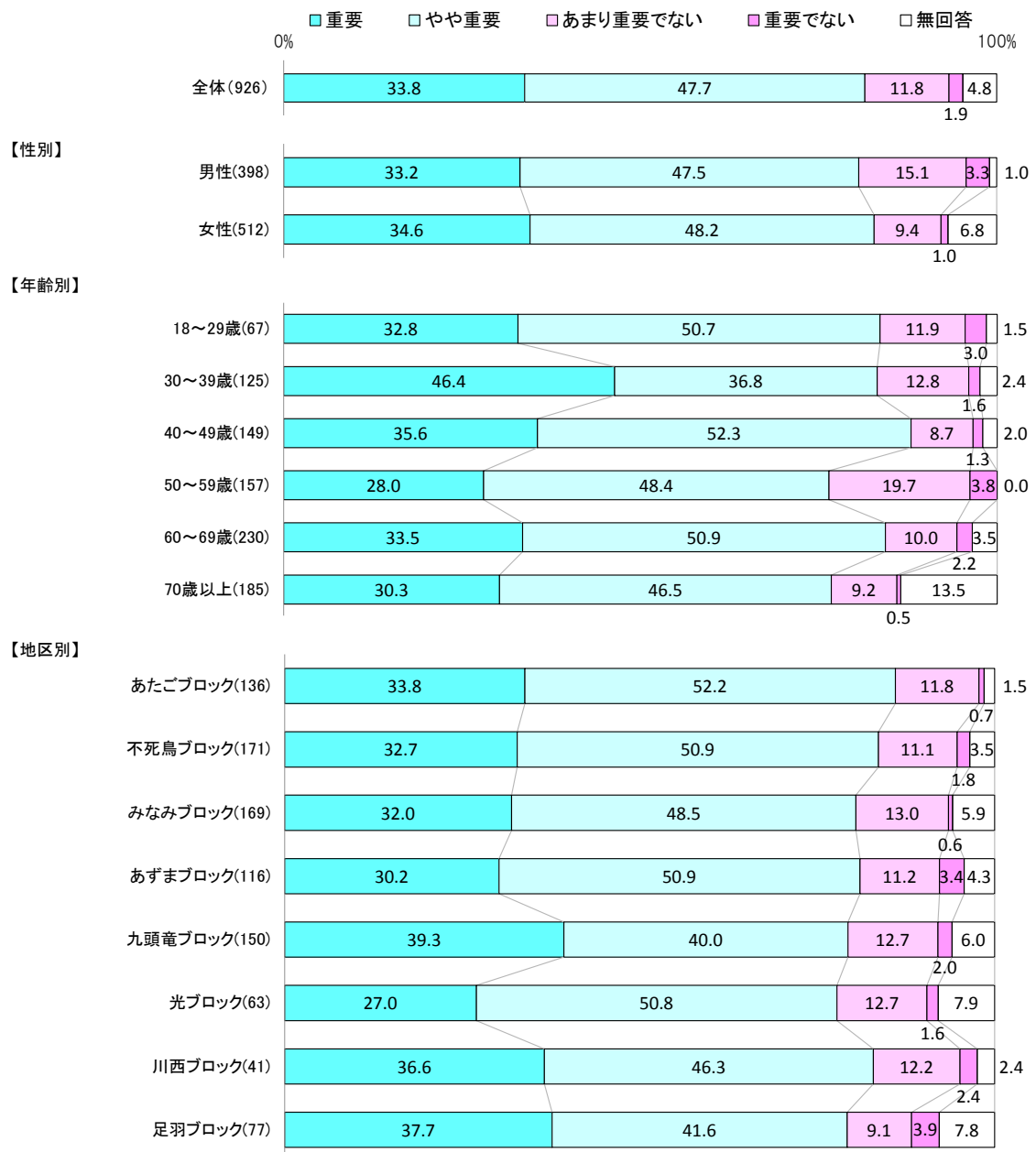
IV 学び成長するまち 「重要である」3位

37. 子どもの健全育成

全体的に高い重要度

「重要である」は81.5%、「重要でない」は13.7%と、「重要である」が「重要でない」より67.8ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は50～59歳（76.4%）と70歳以上（76.8%）が低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



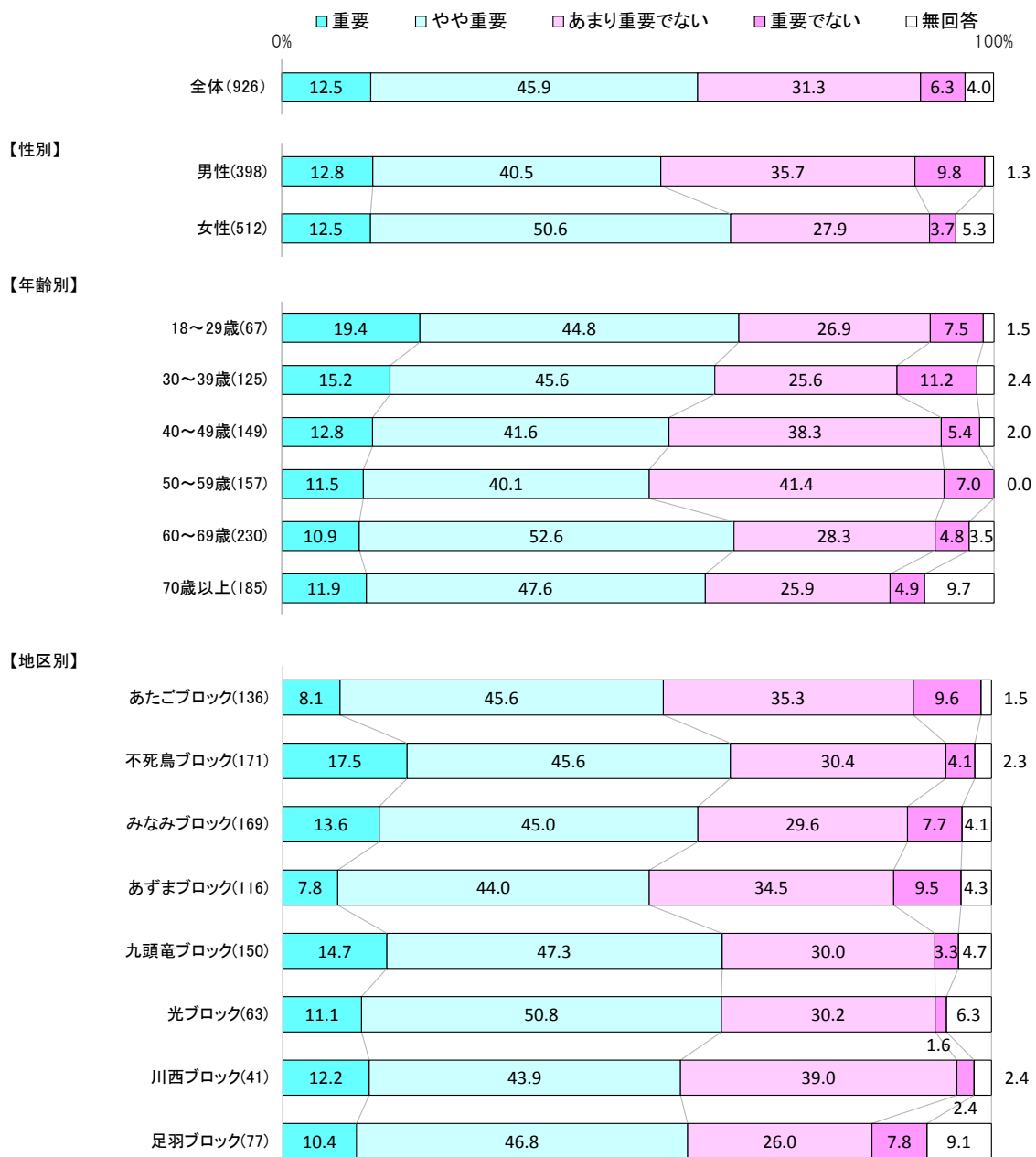
IV 学び成長するまち 「重要でない」 1 位

35. 自然科学教育の充実

「男性」と「50～59 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 58.4%、「重要でない」は 37.6%と、「重要である」が「重要でない」より 20.8 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（45.5%）が女性（31.6%）より 13.9 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 50～59 歳（48.4%）が高くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



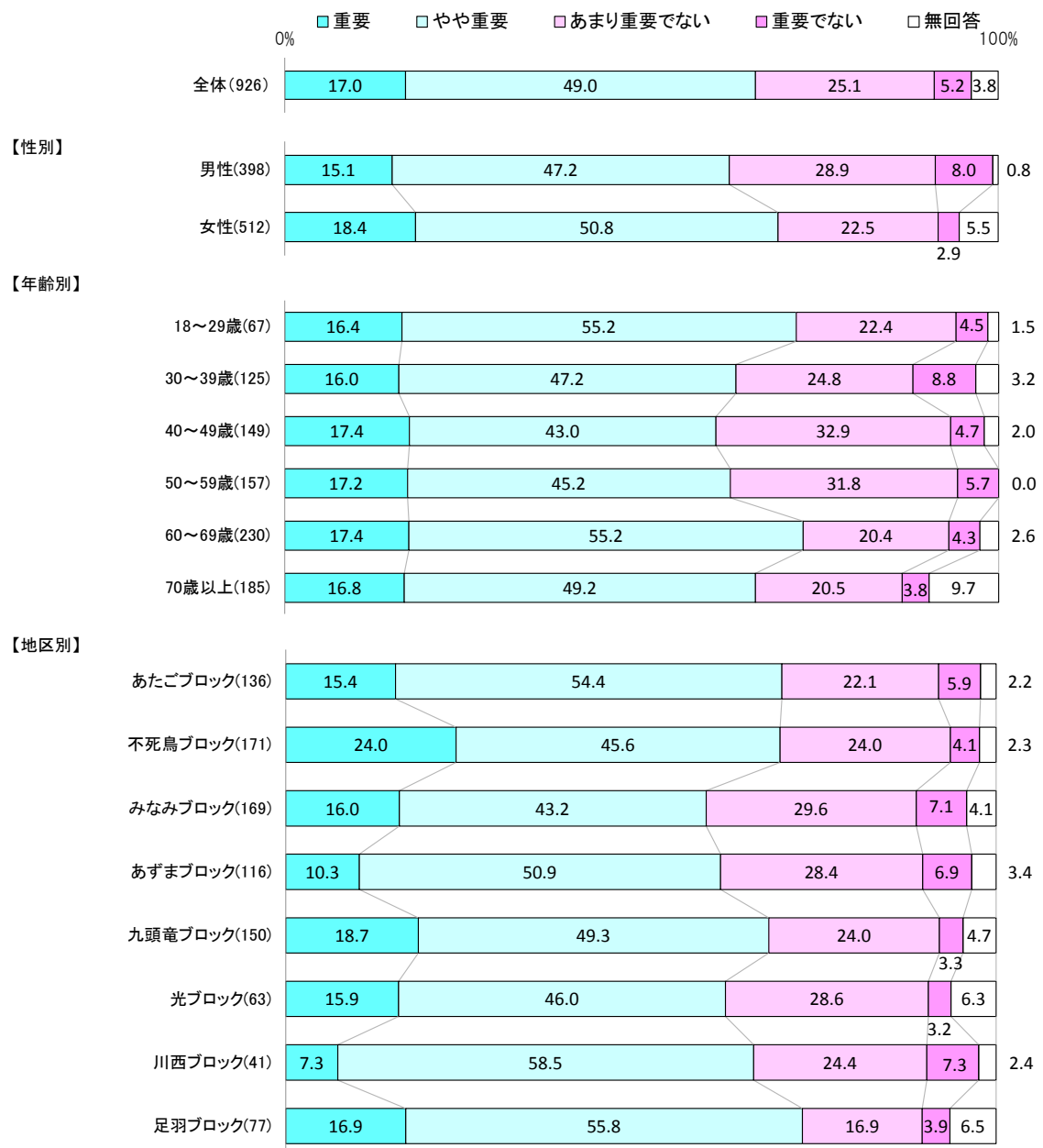
IV 学び成長するまち 「重要でない」 2 位

33. 文化芸術の振興

「男性」と「40～59 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 66.0%、「重要でない」は 30.3%と、「重要である」が「重要でない」より 35.7 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（36.9%）が女性（25.4%）より 11.5 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 40～49 歳（37.6%）と 50～59 歳（37.5%）が高くなっている。地区別に見ると、「重要でない」はみなみブロック（36.7%）が高くなっている。



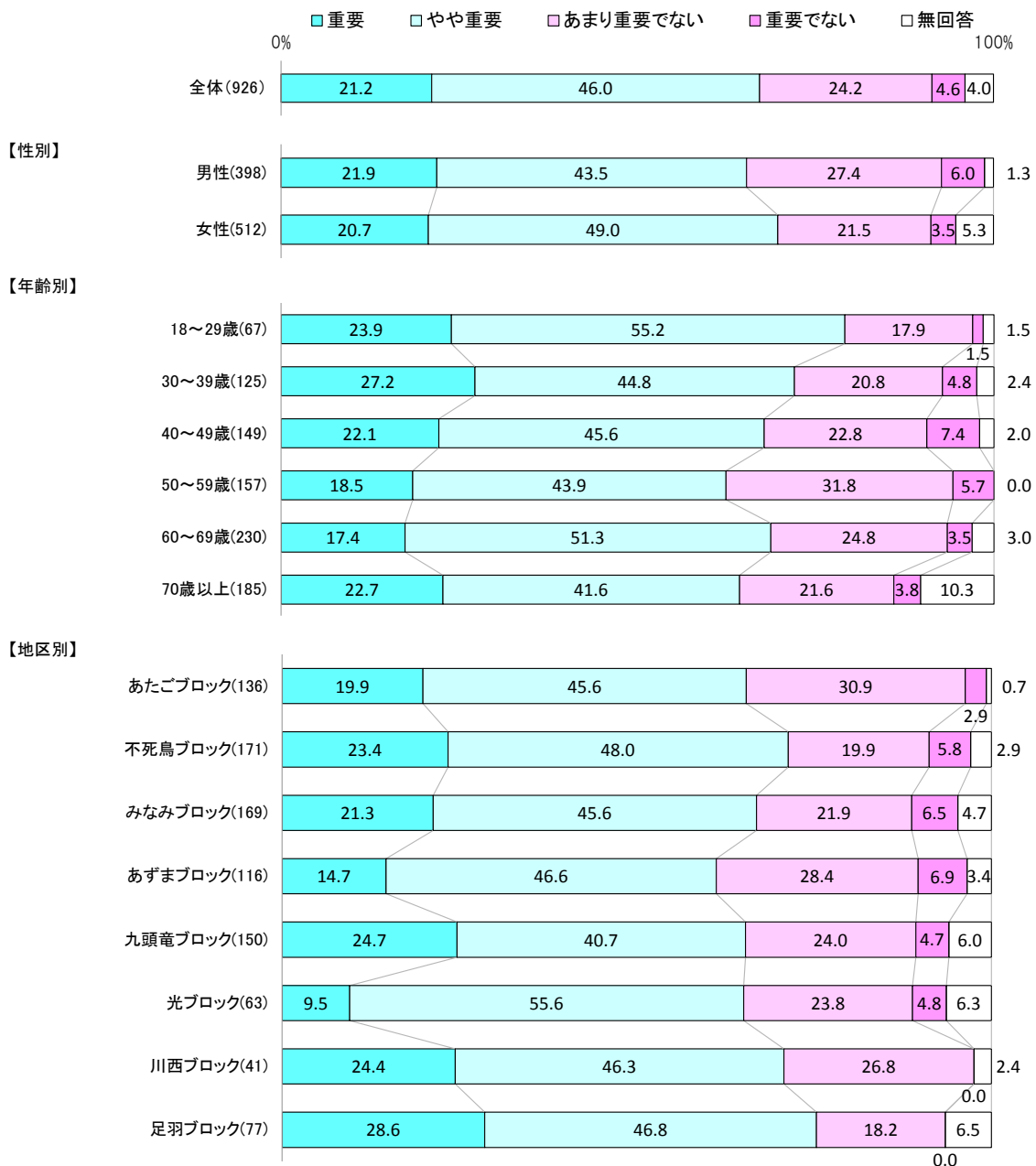
IV 学び成長するまち 「重要でない」 3 位

39. 生涯学習の支援

「男性」と「50～59 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 67.2%、「重要でない」は 28.8%と、「重要である」が「重要でない」より 38.4 ポイント高くなっている。

性別に見ると、「重要でない」は男性（33.4%）が女性（25.0%）より 8.4 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「重要でない」は 50～59 歳（37.5%）が高くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



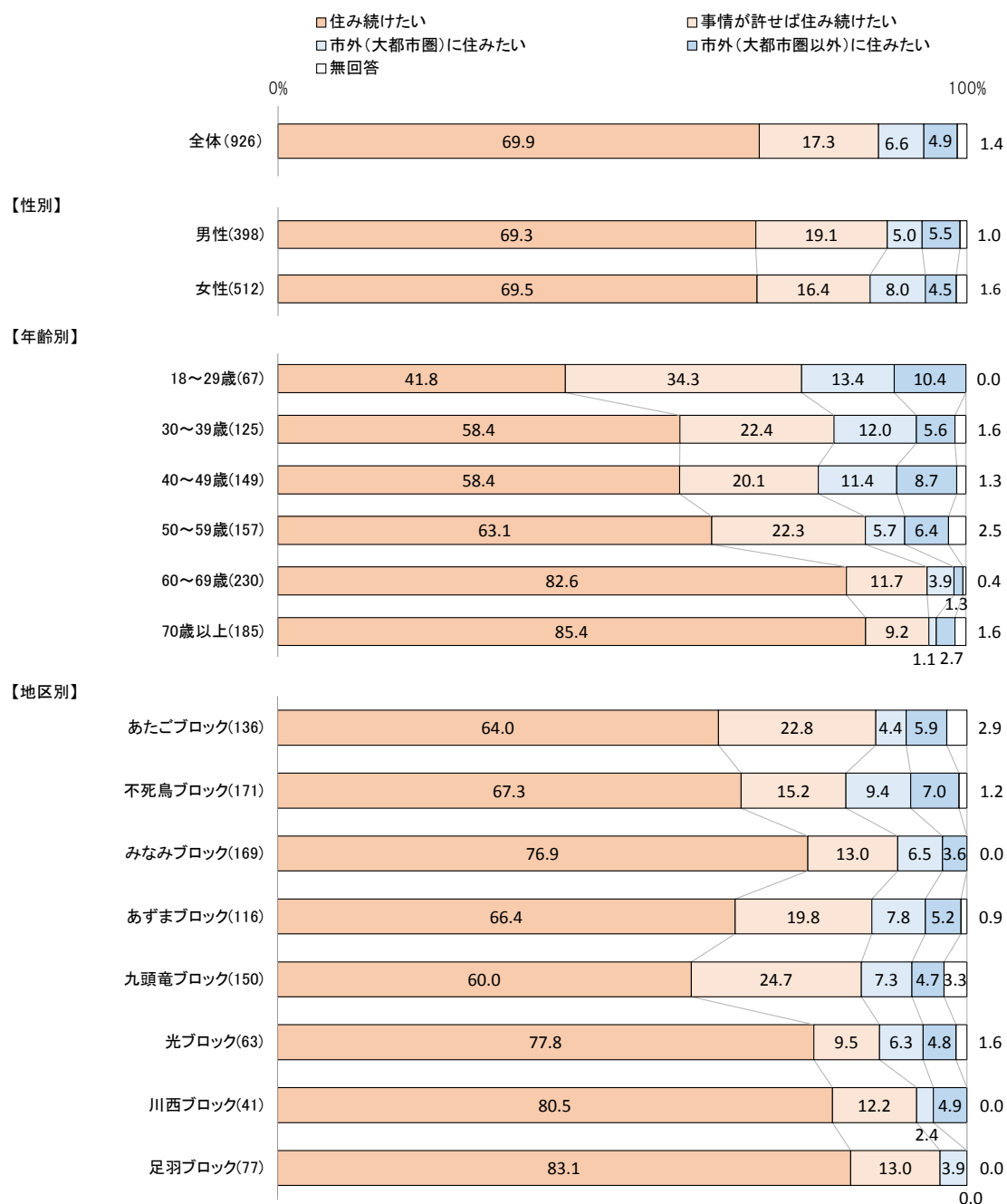
◆福井市に対する意識について

問1 あなたは、福井市にこれからも住みたいと思いますか。(1つ)

福井市にこれからも住みたいのは約9割

「住みたい」は87.2%、「市外に住みたい」は11.5%となっている。

年齢別に見ると、「住みたい」は70歳以上(94.6%)が最も高く、年齢が上がるほど高い傾向がある。地区別に見ると、「住みたい」は、どのブロックも高いが、足羽ブロック(96.1%)が最も高くなっている。

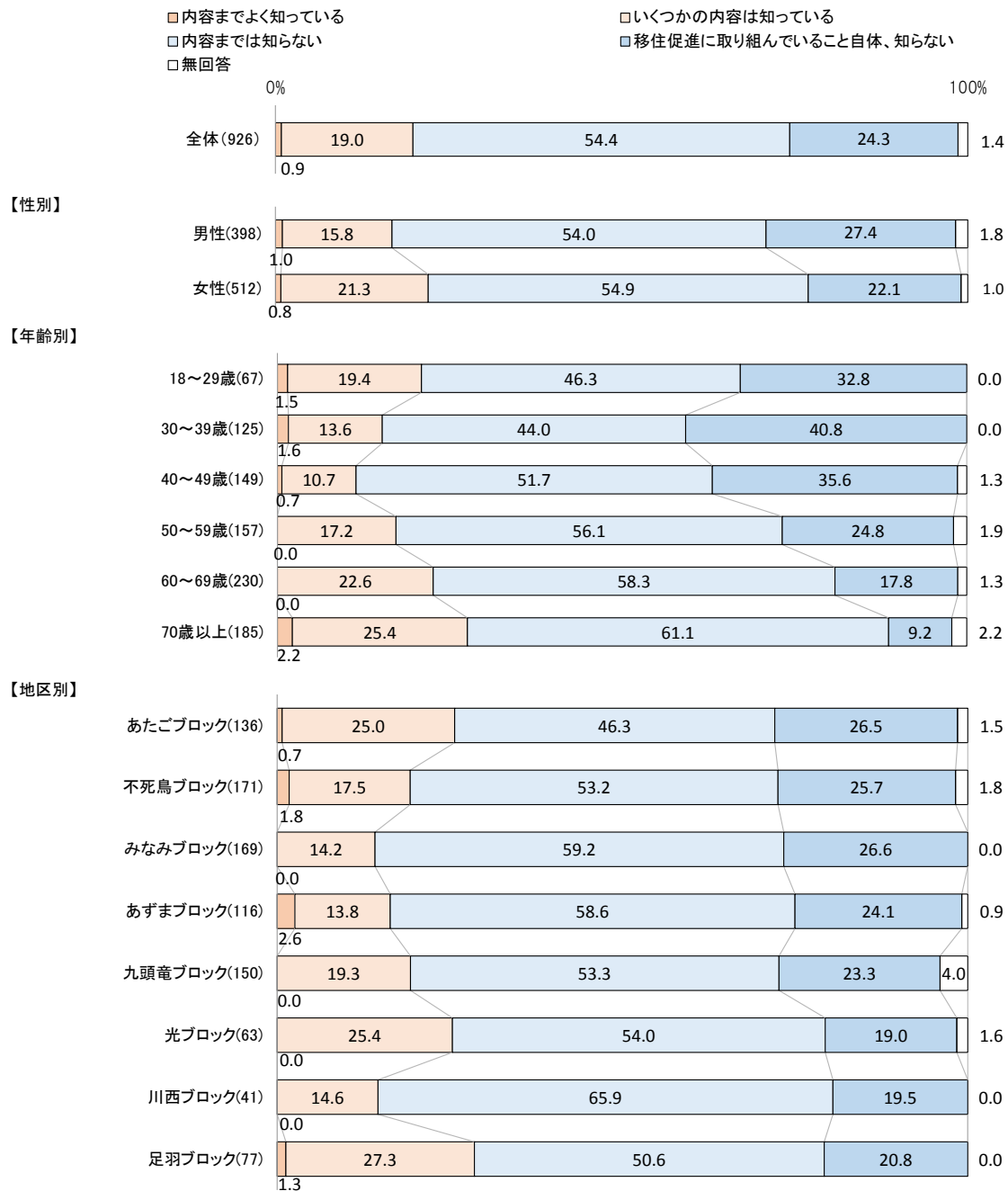


問2 福井市が実施する、都市部からの移住を促進する施策を知っていますか。(1つ)

都市部からの移住を促進する施策を知っているのは約2割

「知っている」は19.9%、「知らない」は78.7%となっている。

性別に見ると、「知っている」は、女性(22.1%)が男性(16.8%)より5.3ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「知っている」は、どの年齢層も低いですが、40～49歳(11.4%)が最も低くなっている。地区別に見ると、「知っている」は、どのブロックも低いですが、みなみブロック(14.2%)が最も低くなっている。

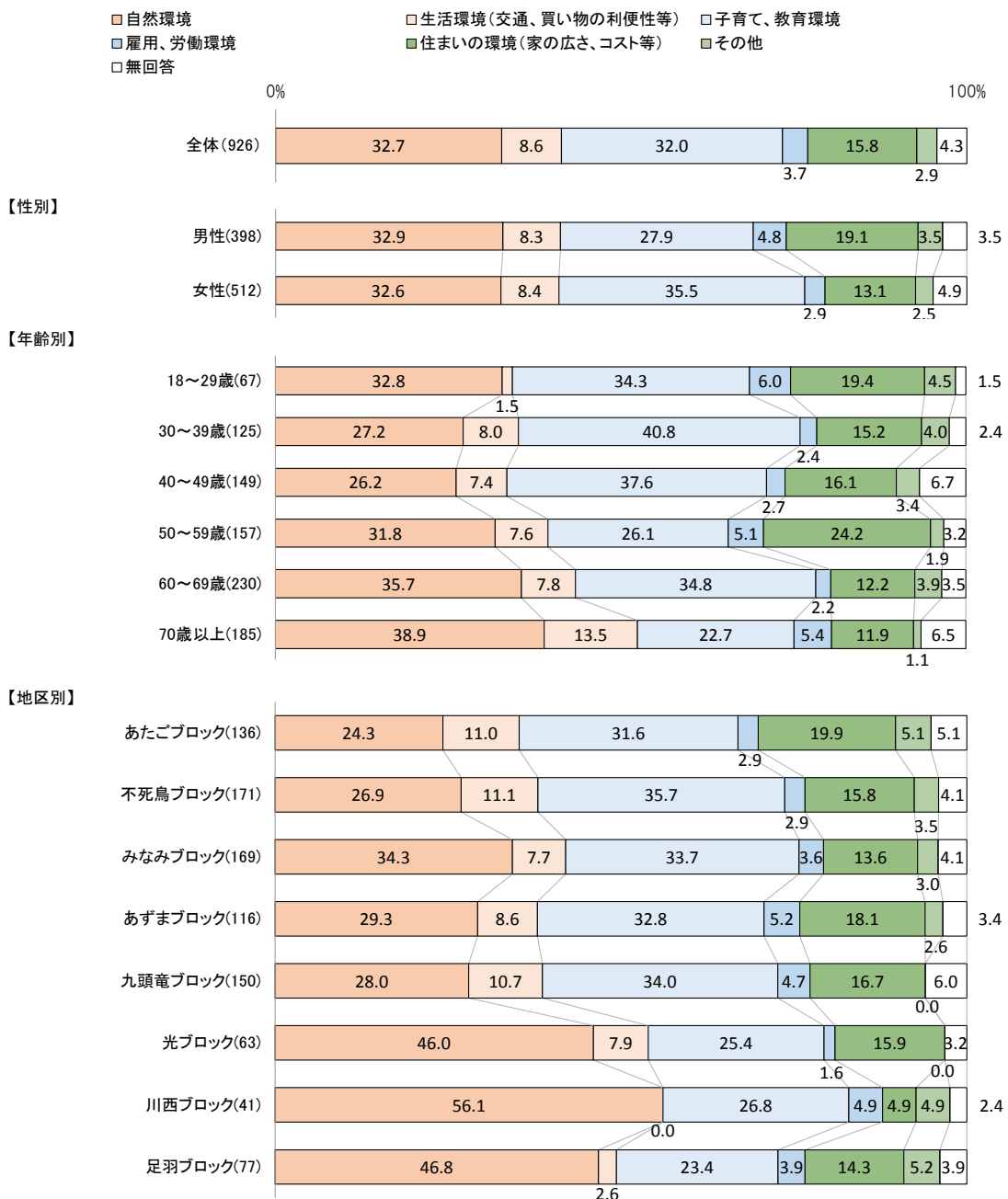


問3 都市部からの移住を促進するにあたり、福井市の強みは何だと思いますか。(1つ)

「自然環境」と「子育て、教育環境」が、それぞれ約3割

「自然環境」が32.7%、「子育て、教育環境」が32.0%、「住まいの環境」が15.8%となっている。

性別に見ると、男性は「住まいの環境」(19.1%)がやや高く、女性は「子育て、教育環境」(35.5%)がやや高くなっている。年齢別に見ると、年齢が高いほど「自然環境」が高い傾向があり、30～39歳は「子育て、教育環境」(40.8%)が高く、50～59歳は「住まいの環境」(24.2%)が高くなっている。地区別に見ると、「自然環境」が高いのは、川西ブロック(56.1%)、足羽ブロック(46.8%)、光ブロック(46.0%)となっている。

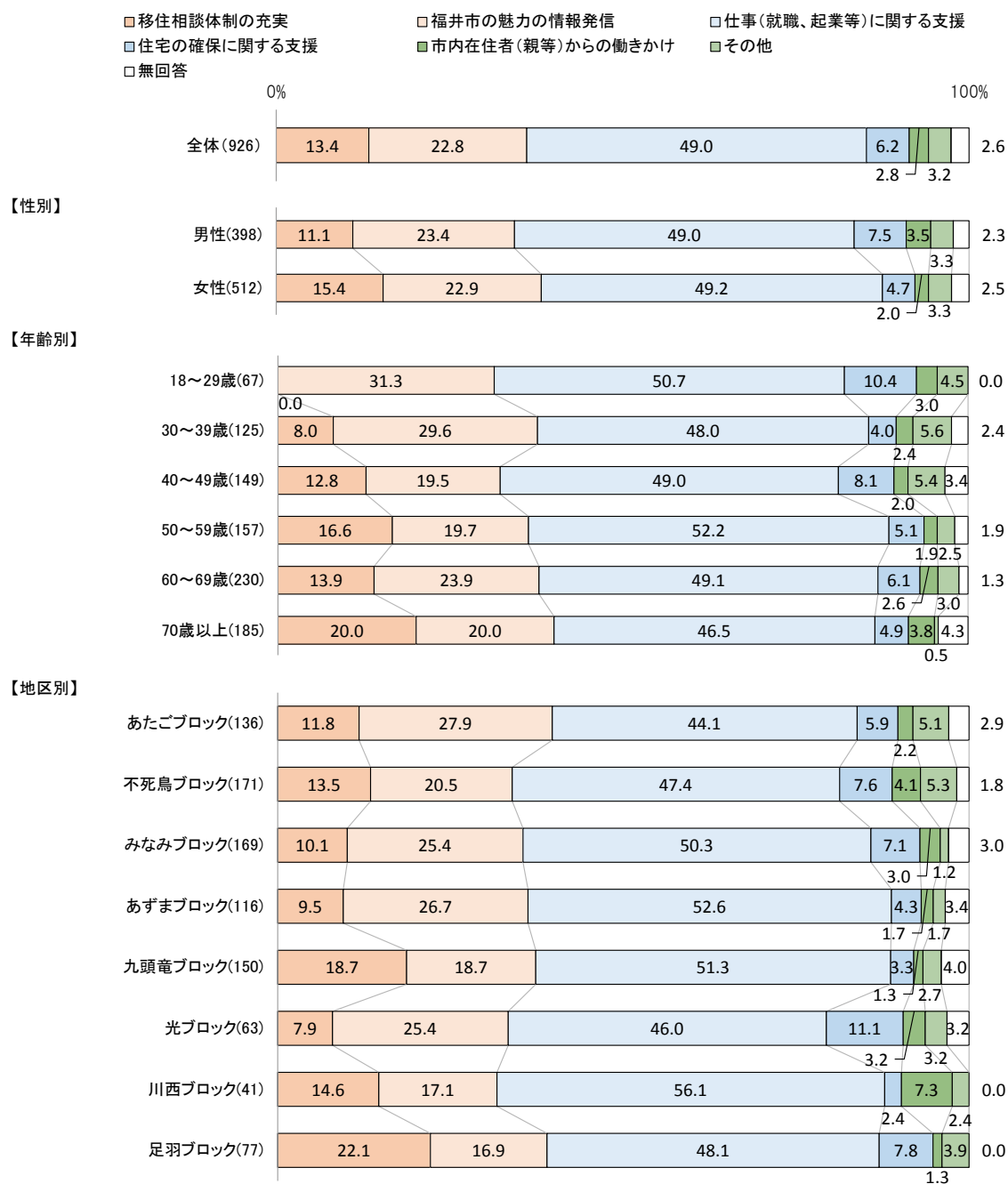


問4 都市部からの移住を促進するために、重要だと思うことは何ですか。(1つ)

「仕事に関する支援」が約5割

「仕事に関する支援」が49.0%、「福井市の魅力の情報発信」が22.8%、「移住相談体制の充実」が13.4%となっている。

年齢別に見ると、18～39歳では「福井市の魅力の情報発信」が高く、50歳以上では「移住相談体制の充実」が高くなっている。地区別に見ると、九頭竜ブロックでは「移住相談体制の充実」と「福井市の魅力の情報発信」が同率(18.7%)に、足羽ブロックでは「移住相談体制の充実」(22.1%)が「福井市の魅力の情報発信」(16.9%)を上回っている。

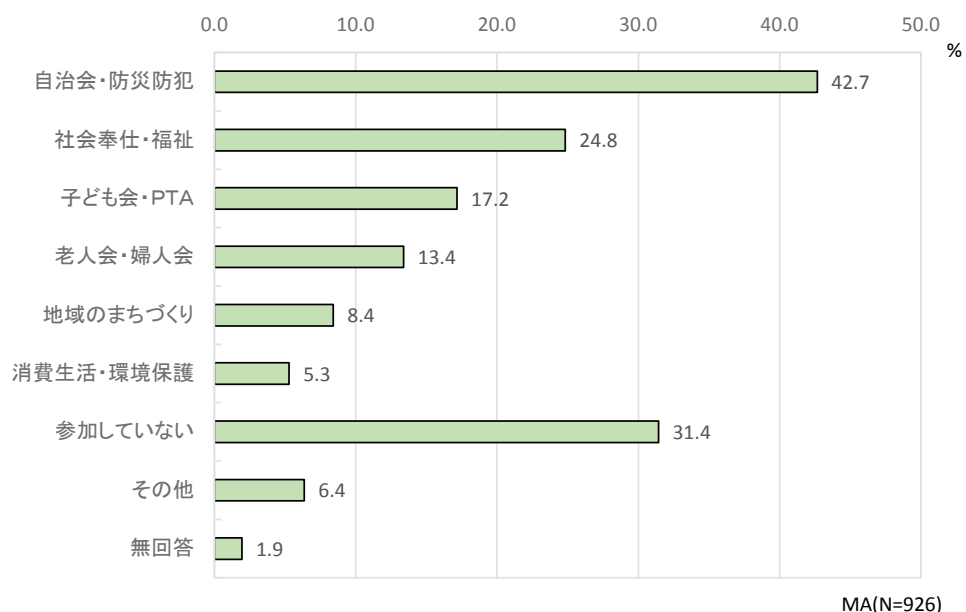


◆男女共同参画に関する考え方について

問1 地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。(すべて)

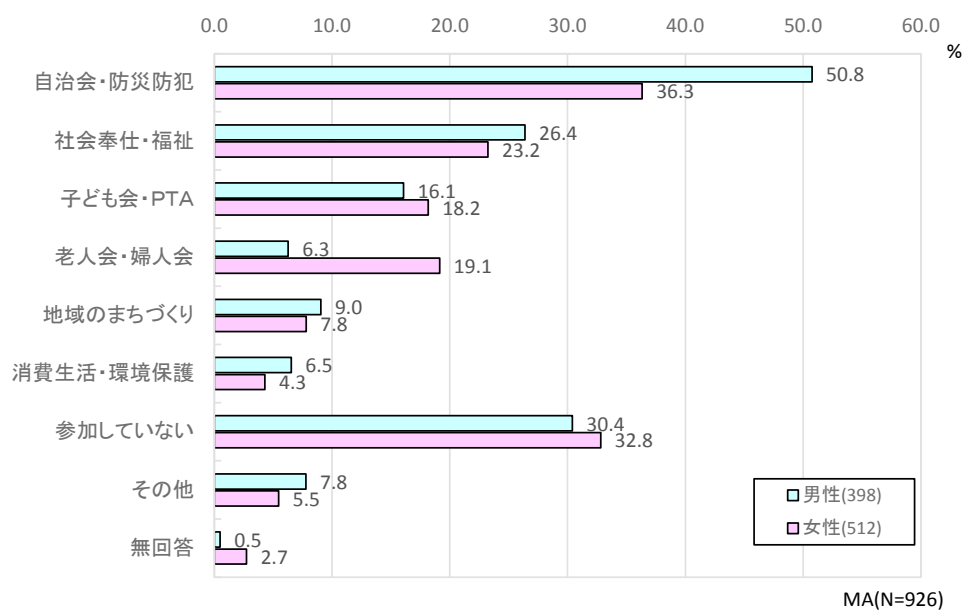
「自治会・防災防犯」は全体の約4割

「自治会・防災防犯」(42.7%)が最も高く、「社会奉仕・福祉」は24.8%となっている。

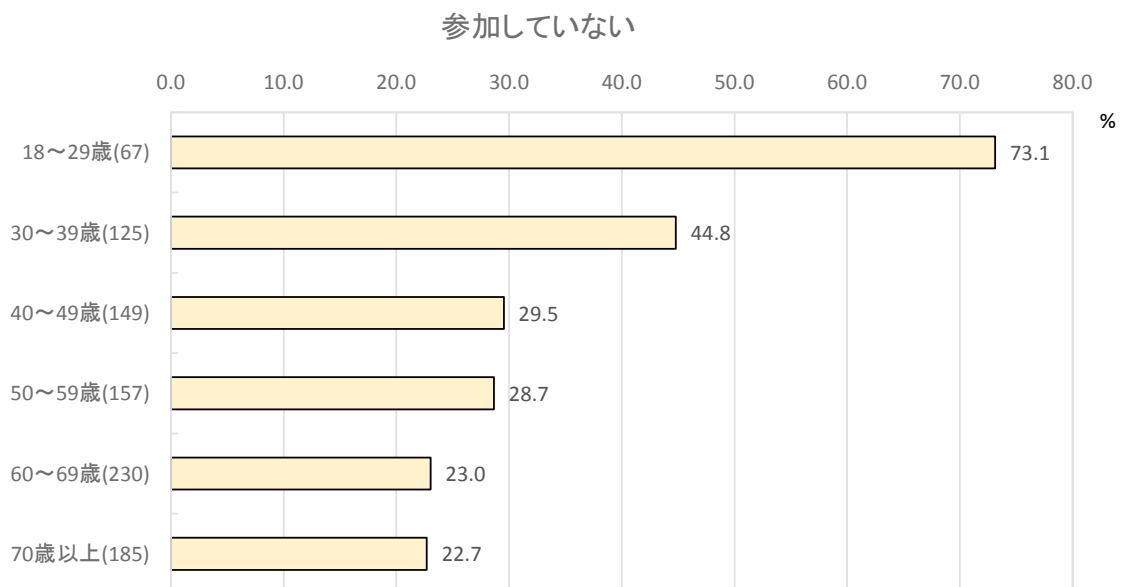
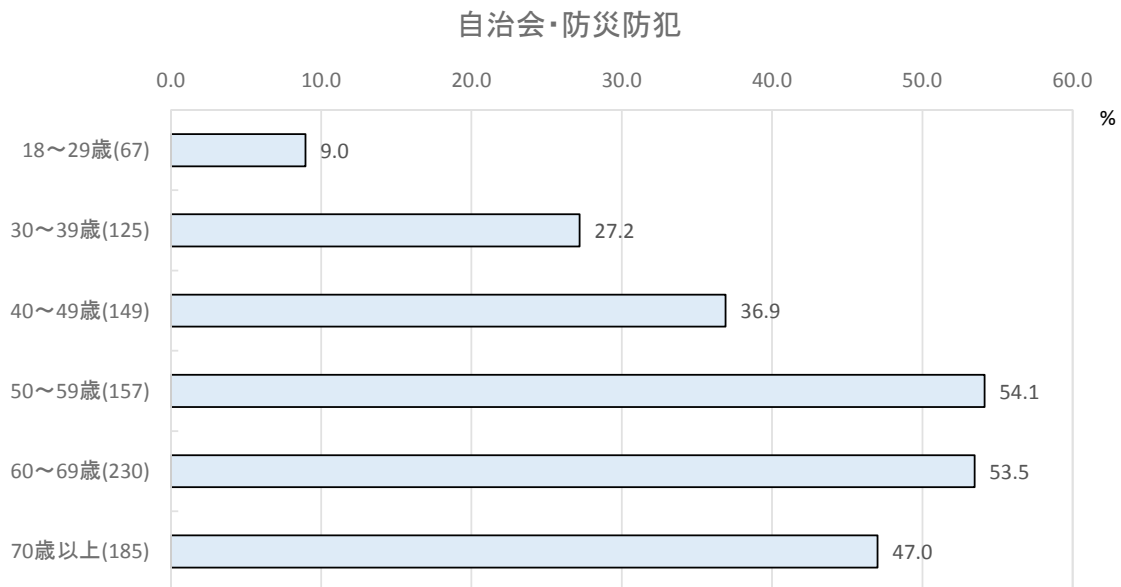


性別に見ると、「自治会・防災防犯」は男性(50.8%)が女性(36.3%)より14.5ポイント高い。

【性別】



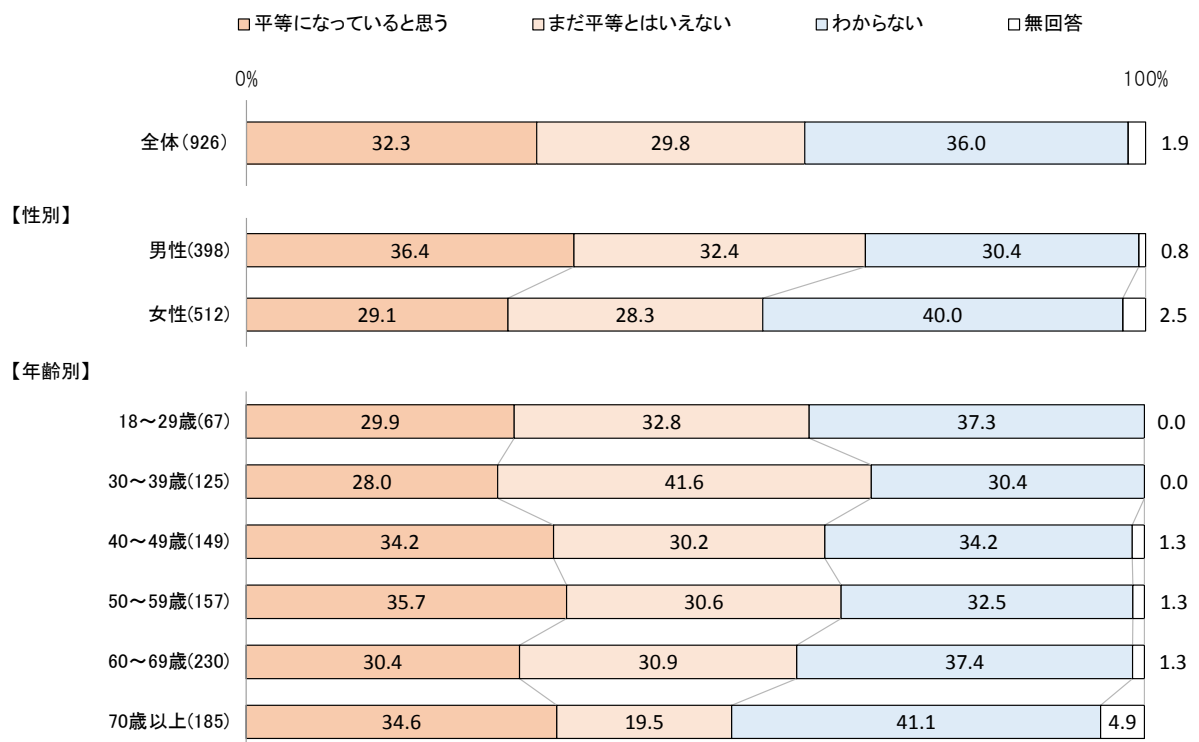
年齢別に見ると、「自治会・防災防犯」は50～59歳（54.1%）から70歳以上（47.0%）の年代が高く、「参加していない」は18～29歳（73.1%）が最も高くなっている。



問2 現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。(1つ)

「思う」は全体の約3割

「思う」が全体の32.3%で、「まだ平等とはいえない」(29.8%)を2.5ポイント上回っている。
性別に見ると、「思う」は男性(36.4%)が女性(29.1%)より7.3ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、「思う」は18～29歳(29.9%)、30～39歳(28.0%)がその他の年代より低くなっている。

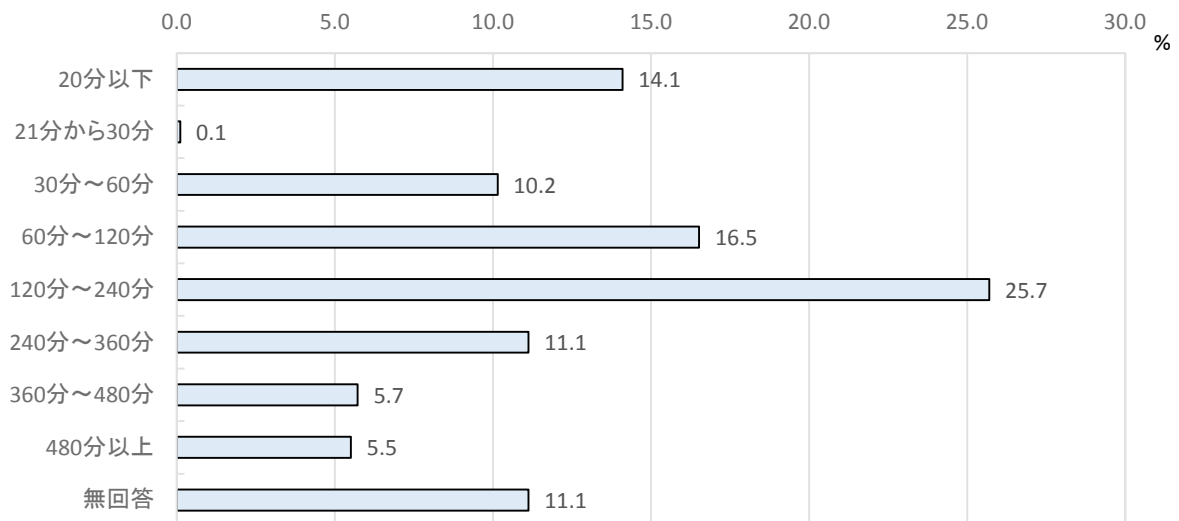


問3 あなたは、平日に1日平均するとどのくらい家事育児をしていますか。

女性は「120～240分」、男性は「20分以下」の割合が高い

「120～240分」(25.7%)が最も高く、「20分以下」は14.1%となっている。

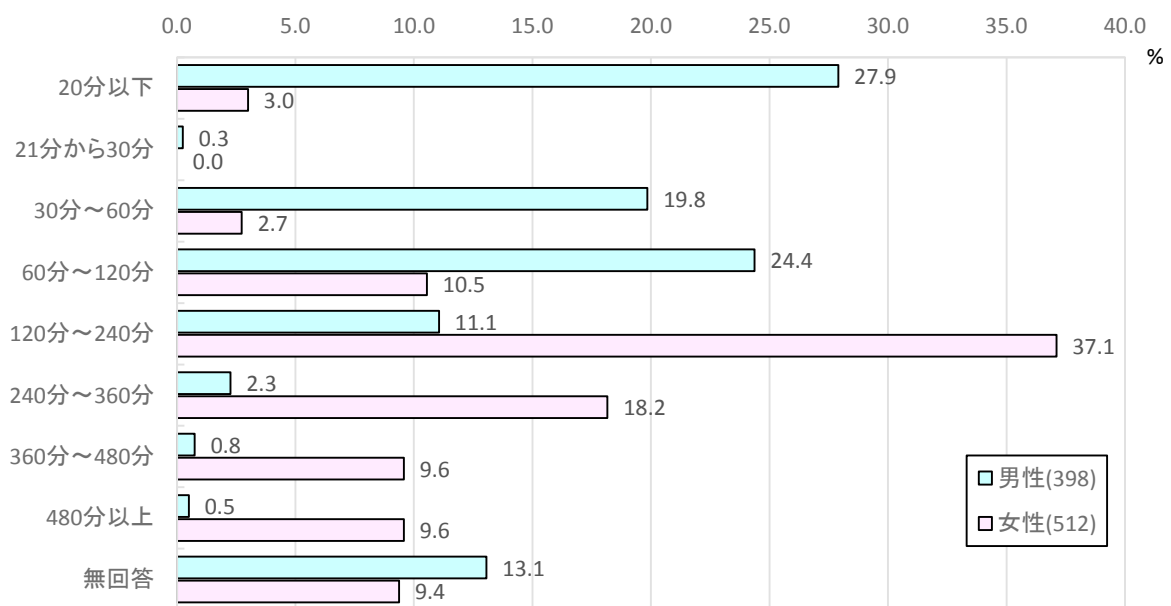
家事、育児時間分布(全体)



SA(N=926)

性別に見ると、女性は「120～240分」(37.1%)が最も高いのに対し、男性は「20分以下」(27.9%)が最も高くなっている。

家事、育児時間分布(全体)

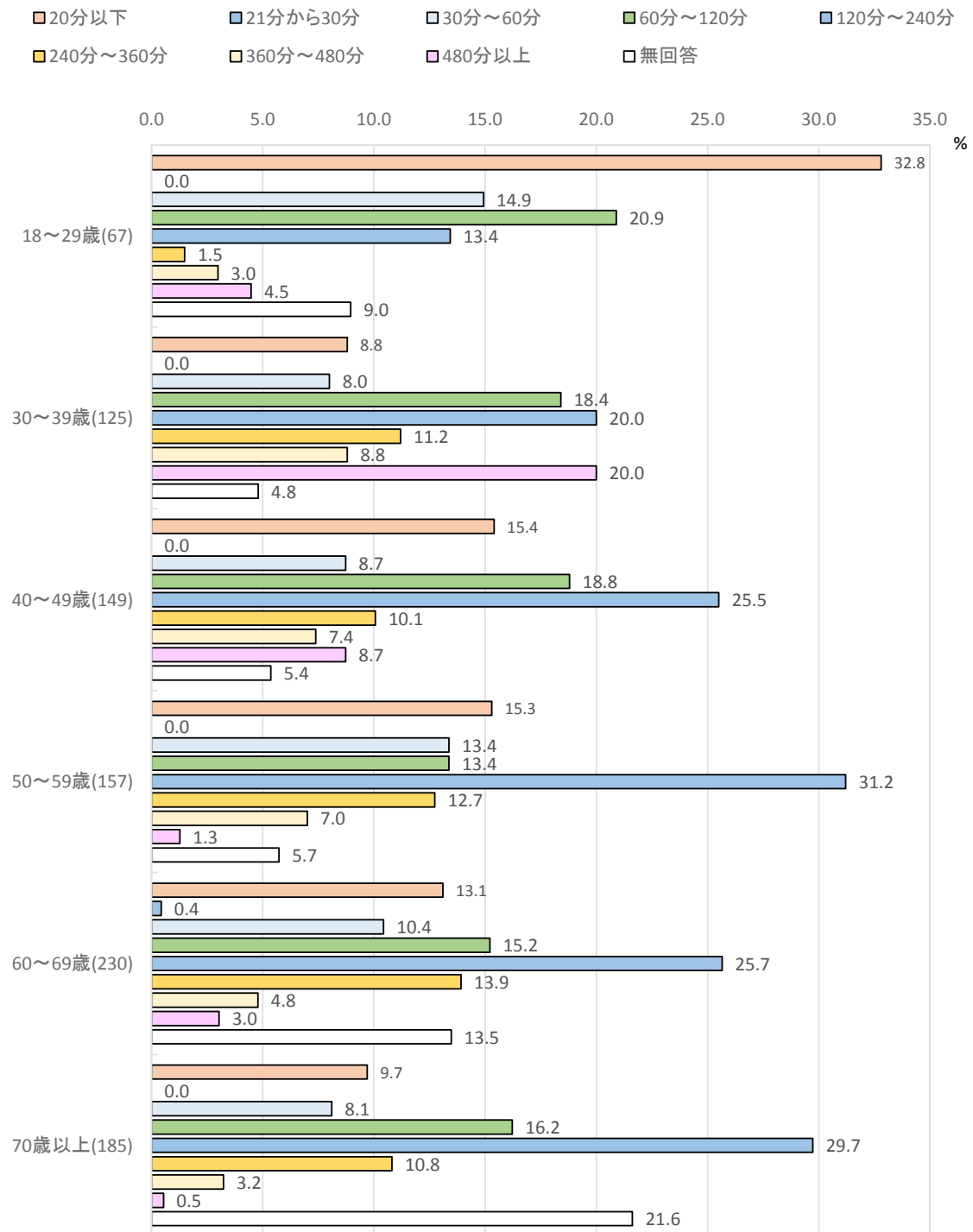


SA(N=926)

年齢別に見ると、18～29歳では「20分以下」(32.8%)、30～39歳では「120分～240分」及び「480分以上」(20.0%)が最も高く、40歳以上の年代では「120分～240分」がそれぞれ最も高くなっている。

【年齢別】

家事、育児時間分布



SA(N=926)

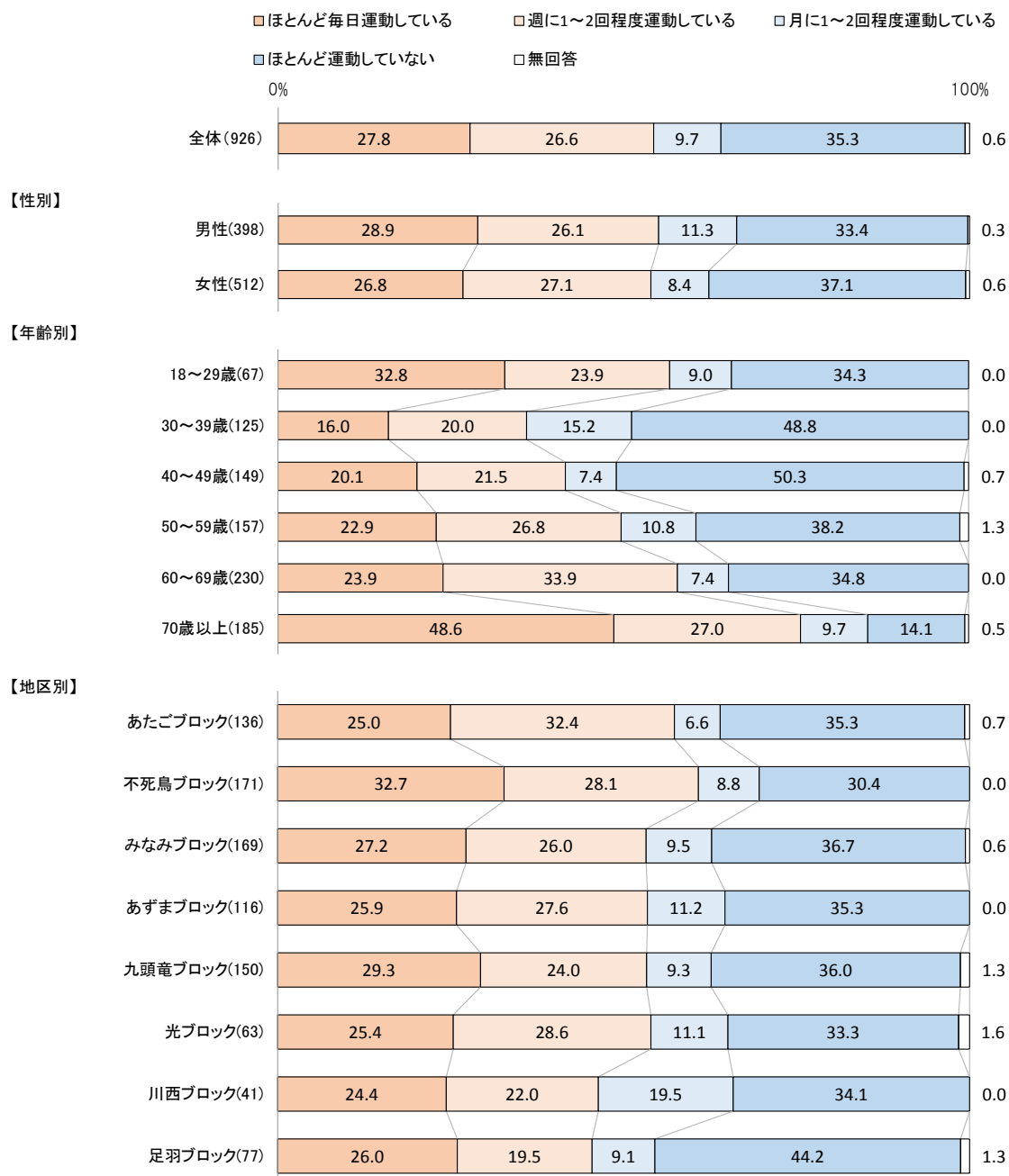
◆健康づくりに対する意識について

問1 あなたは、日常生活の中で運動（徒歩や自転車移動を含む）をしていますか。（1つ）

3割以上が「ほとんど運動していない」

「毎日運動している」が27.8%、「週に1～2回運動している」が26.6%、「ほとんど運動していない」が35.3%となっている。

年齢別に見ると、18～29歳を除き、年齢が高いほど「運動している」割合が高くなる傾向がある。地区別に見ると、「運動している」は、不死鳥ブロック（69.6%）が高く、足羽ブロック（54.6%）が低くなっている。

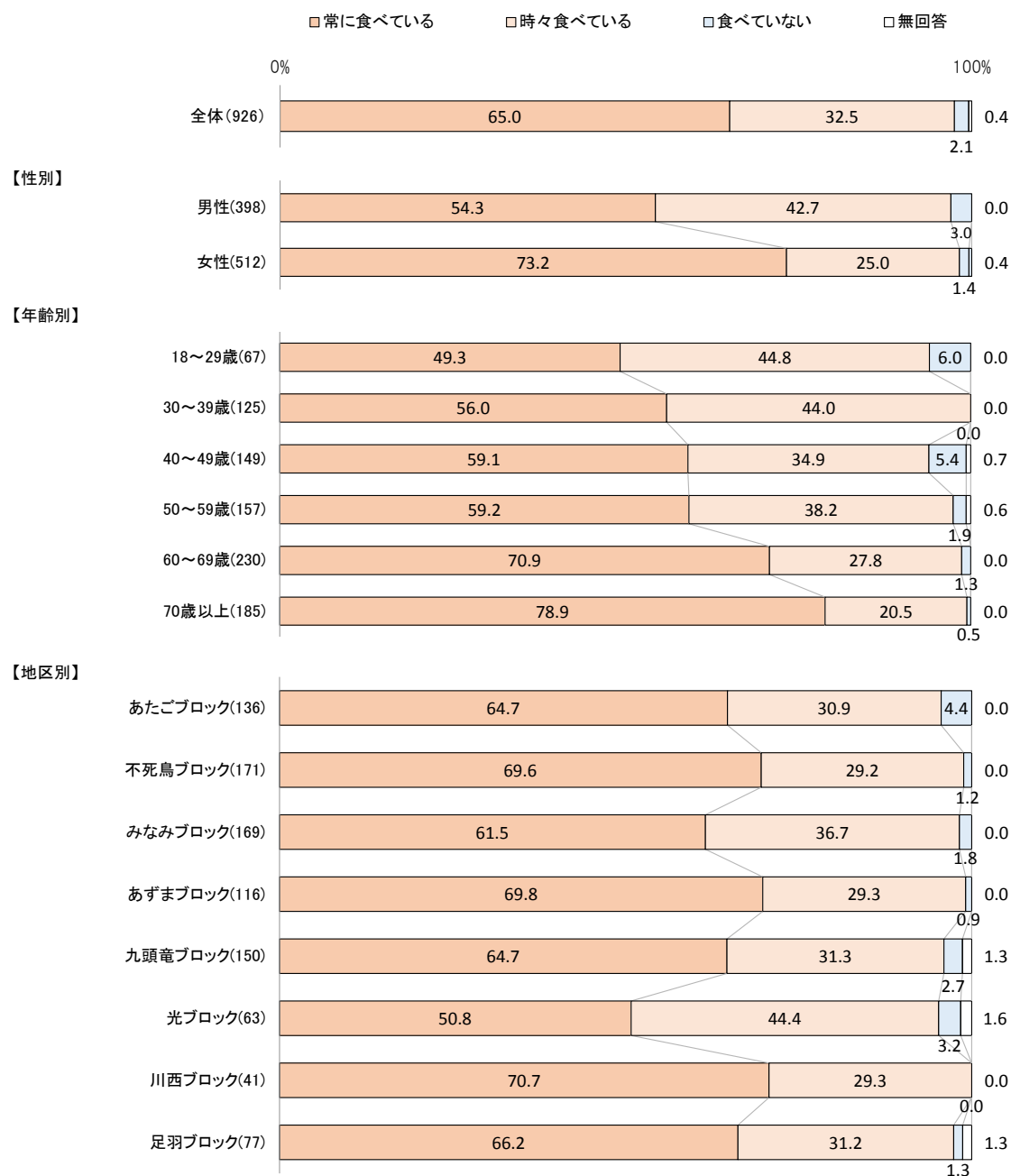


問2 あなたは、日常生活の中で積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

9割以上が「食べている」

「常に食べている」が65.0%、「時々食べている」が32.5%となっている。

性別に見ると、「常に食べている」は、男性(54.3%)は低く、女性(73.2%)は高くなっている。年齢別に見ると、「常に食べている」は、70歳以上(78.9%)が最も高く、年齢が高いほど高くなる傾向がある。地区別に見ると、「常に食べている」は、光ブロック(50.8%)が低くなっている。



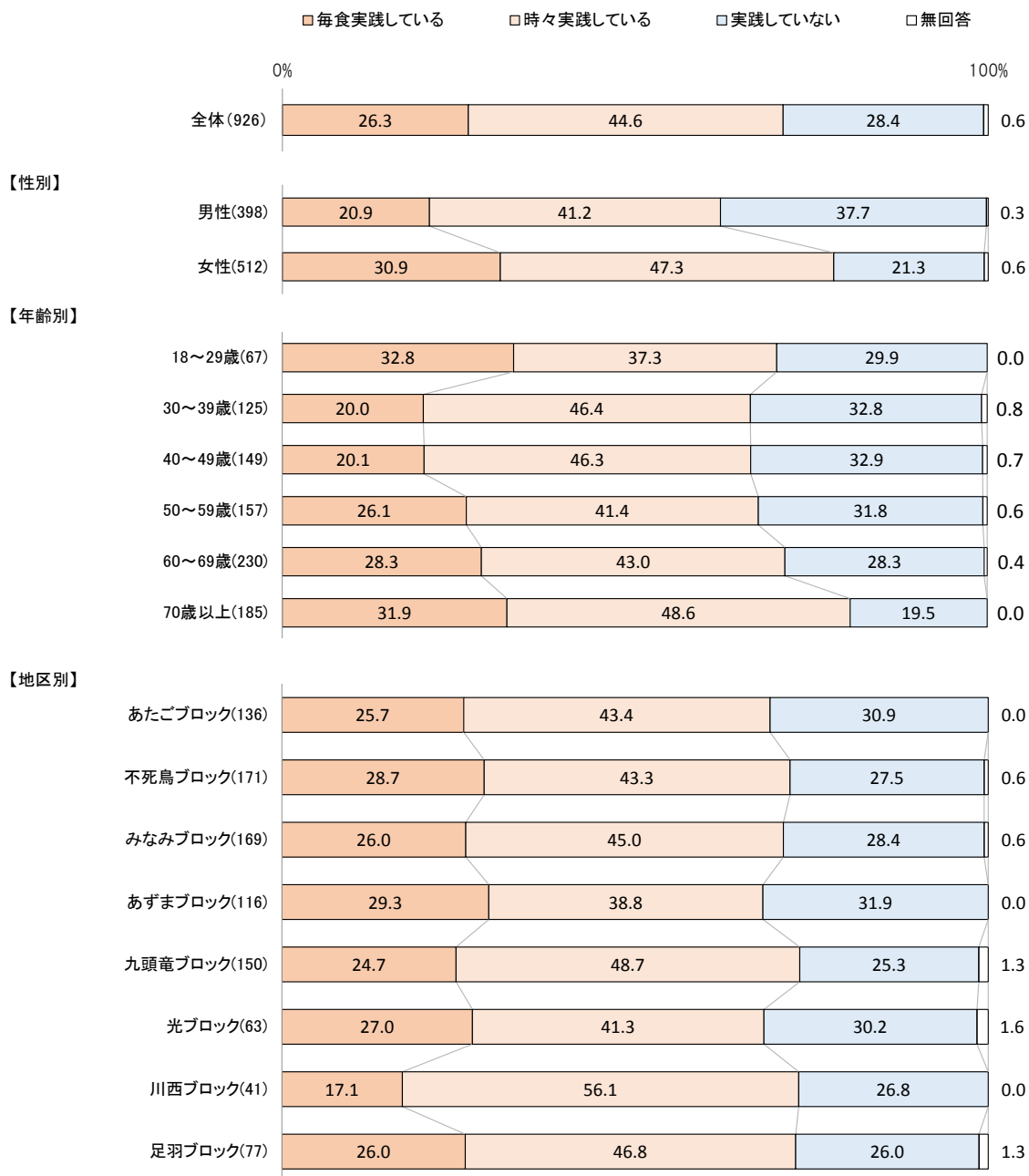
問3 あなたは、「ベジ・ファースト」を実践していますか。(1つ)

(ベジ・ファーストとは、健康管理のため食事の最初に野菜から食べることです。)

約7割が「実践している」

「毎食実践している」が26.3%、「時々実践している」が44.6%、「実践していない」が28.4%となっている。

性別に見ると、「実践している」は、男性(62.1%)は低く、女性(78.2%)は高くなっている。年齢別に見ると、18～29歳を除き、年齢が高いほど「実践している」割合が高くなる傾向がある。地区別に見ると、川西ブロックは「毎食実践している」(17.1%)が低くなっている。



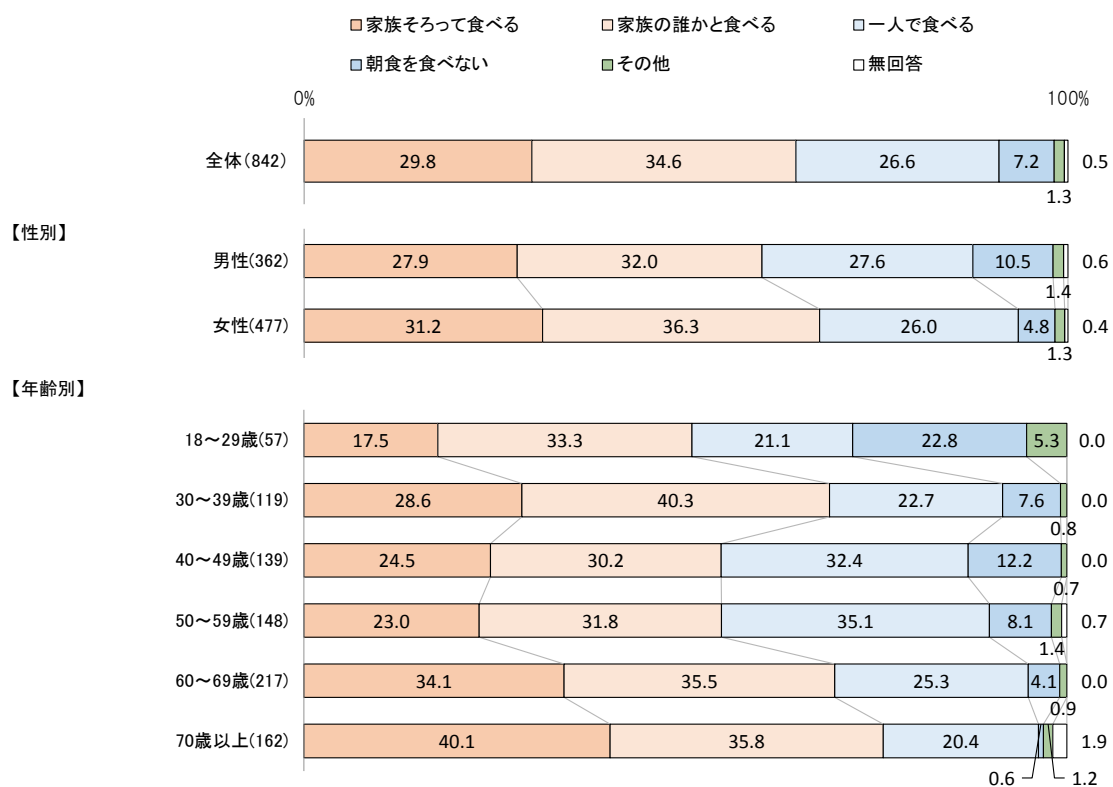
◆食育の推進状況について

問1 あなたは、ふだん朝食を誰と食べていますか。(1つ)

6割以上が「家族と食べる」

「家族そろって食べる」が29.8%、「家族の誰かと食べる」が34.6%、「一人で食べる」が26.6%となっている。

性別に見ると、「家族と食べる」は、男性(59.9%)は低く、女性(67.5%)は高くなっている。
年齢別に見ると、30～39歳、60～69歳、70歳以上は全体(64.4%)より高くなっている。

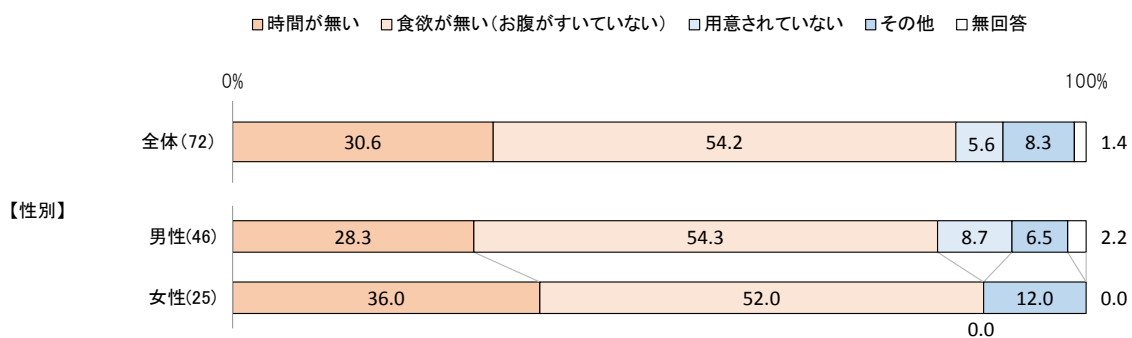


※全回答者(926件)から調査票内(F5)の家族構成で「一人暮らし」(68件)及び「無回答」(16件)を除き集計している。

問2 問1で「4. 朝食を食べない」と答えた方のみにお聞きします。
朝食を食べない主な理由は何ですか。(1つ)

5割以上が「食欲が無い」

「食欲が無い」が54.2%、「時間が無い」が30.6%となっている。
性別に見ると、男性、女性ともに「食欲が無い」が高くなっている。



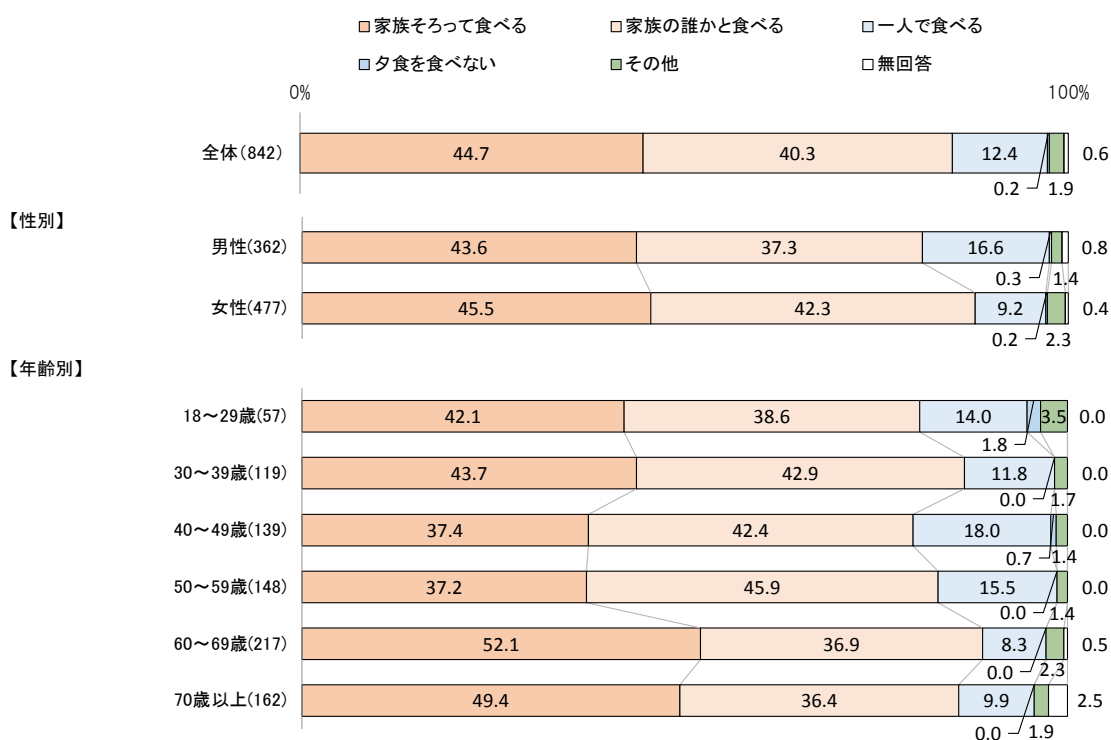
※【年齢別】【地区別】は標本数が少ないため掲載していない

問3 あなたは、ふだん夕食を誰と食べていますか。(1つ)

8割以上が「家族と食べる」

「家族そろって食べる」が44.7%、「家族の誰かと食べる」が40.3%、「一人で食べる」が12.4%となっている。

性別に見ると、「家族と食べる」は、女性(87.8%)の方が男性(80.9%)より6.9ポイント高くなっている。年齢別に見ると、40～49歳(18.0%)、50～59歳(15.5%)が「一人で食べる」が高くなっている。



※全回答者(926件)から調査票内(F5)の家族構成で「一人暮らし」(68件)及び「無回答」(16件)を除き集計している。

◆地球温暖化対策について

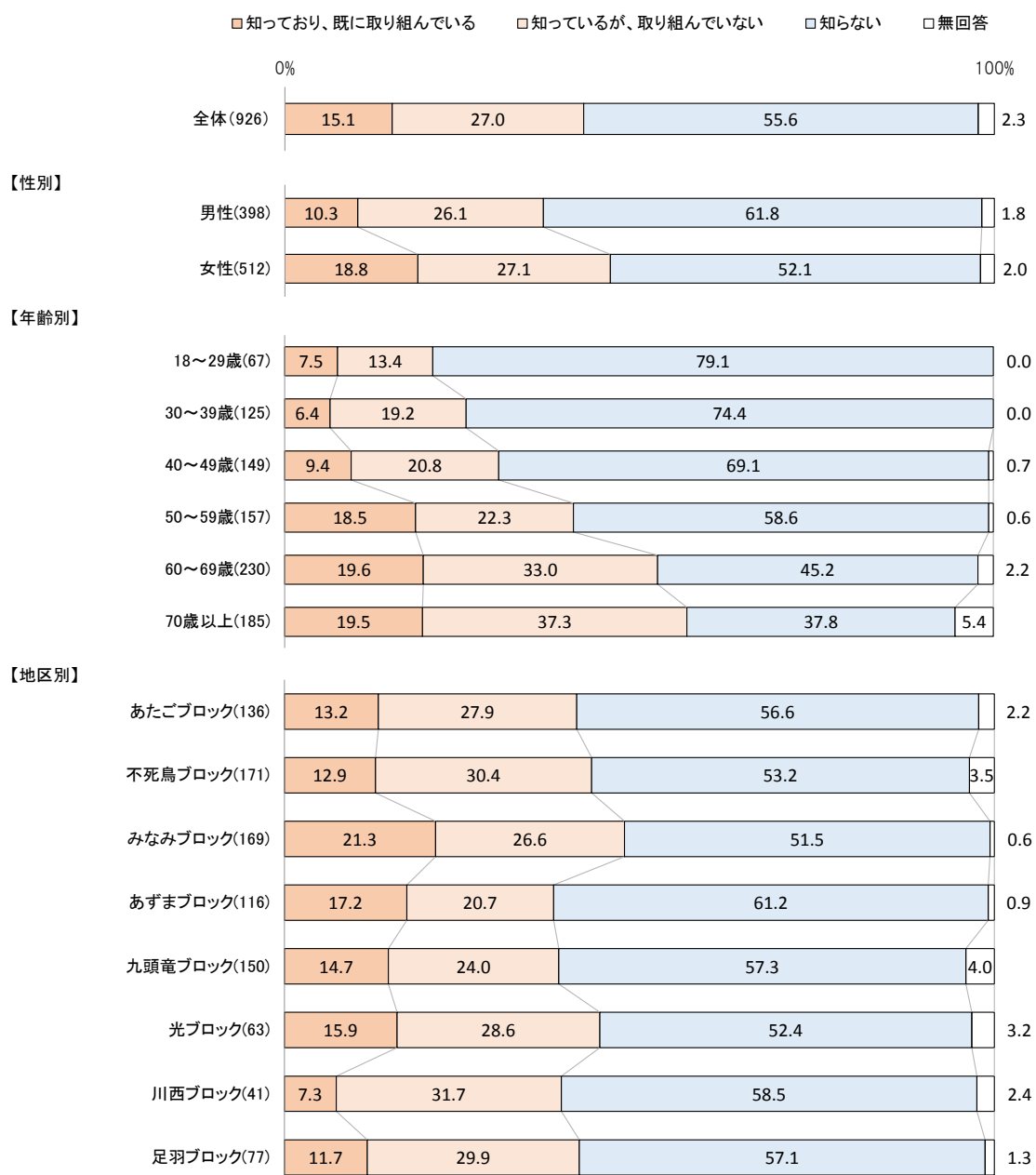
問1 あなたは、「COOL CHOICE（クール チョイス）」を知っていますか。（1つ）

（COOL CHOICE とは、地球温暖化対策のために日常生活で賢い選択をする国民運動です。）

5割以上が「知らない」

「知らない」が 55.6%、「知っているが、取り組んでいない」が 27.0%、「知っており、既に取り組んでいる」が 15.1%となっている。

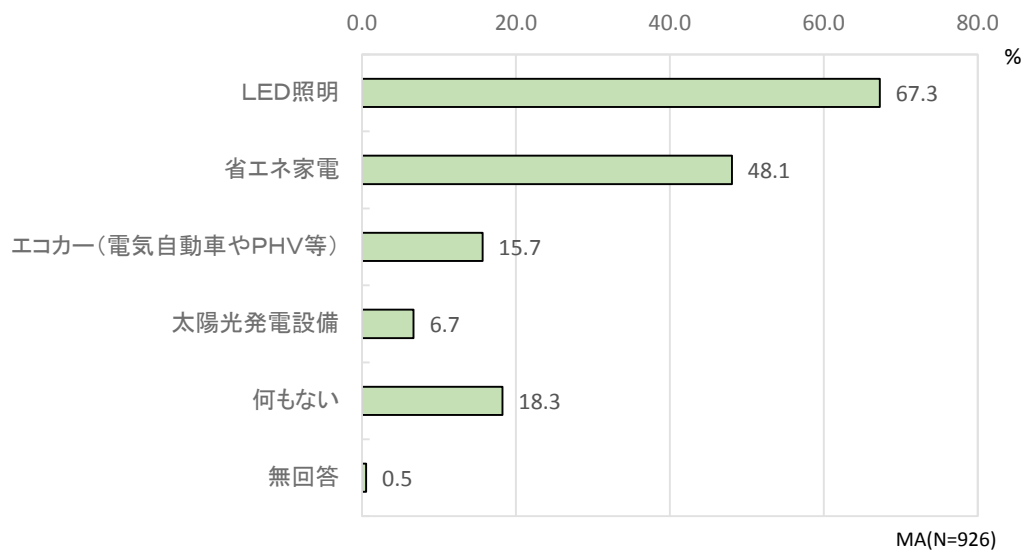
性別に見ると、男性は「知らない」（61.8%）がやや高くなっている。年齢別に見ると、年齢が低いほど「知らない」割合が高くなる傾向がある。地区別に見ると、川西ブロックでは「知っており、既に取り組んでいる」（7.3%）が低い。



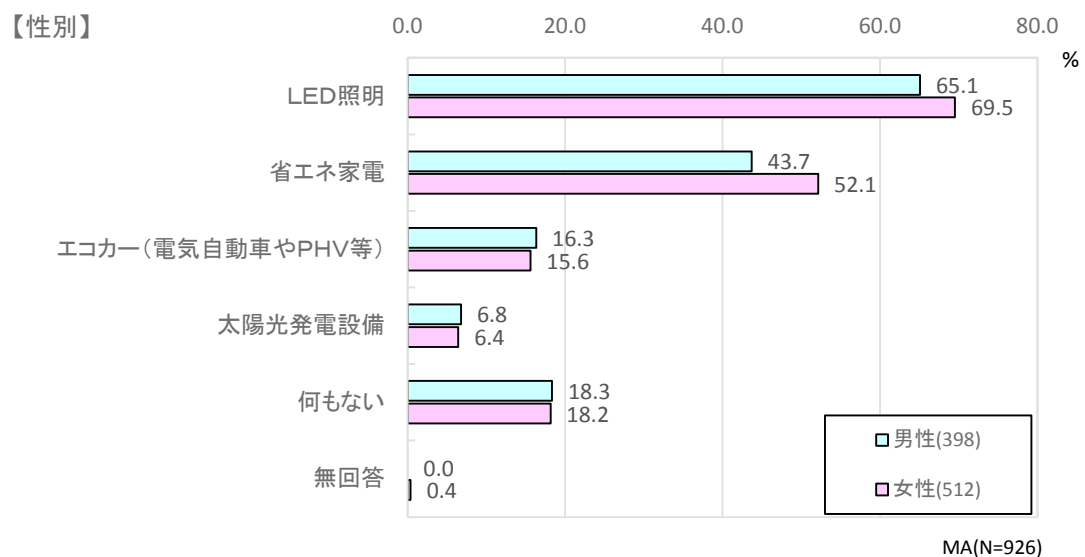
問2 あなたのご家庭には、環境に配慮した製品や設備がありますか。(すべて)

「LED照明」が約7割、「省エネ家電」が約5割ある一方、「何もない」も約2割ある

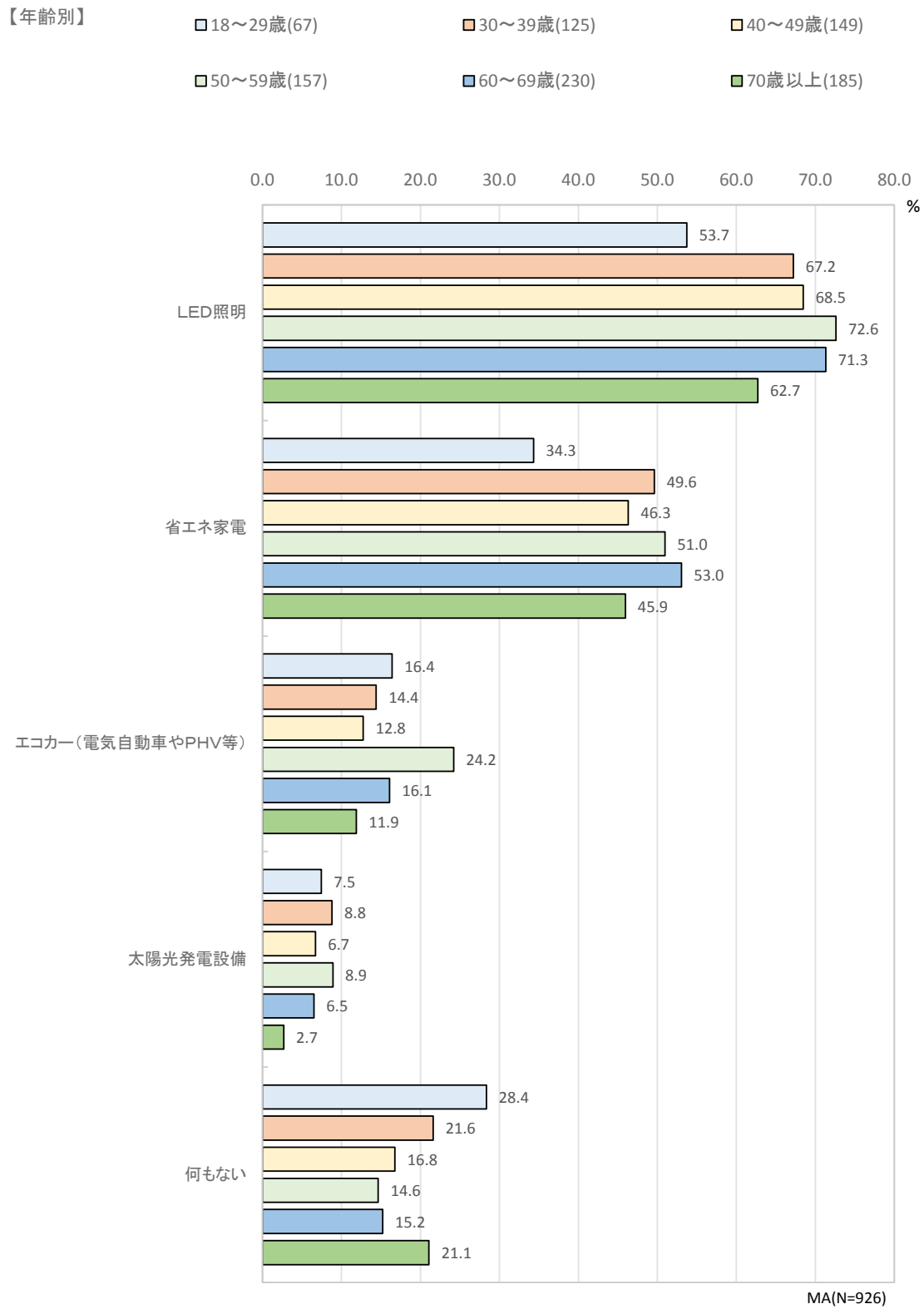
「LED照明」が67.3%、「省エネ家電」が48.1%、「何もない」が18.3%となっている。



性別に見ると、「省エネ家電」は、男性(43.7%)より女性(52.1%)がやや高くなっている。

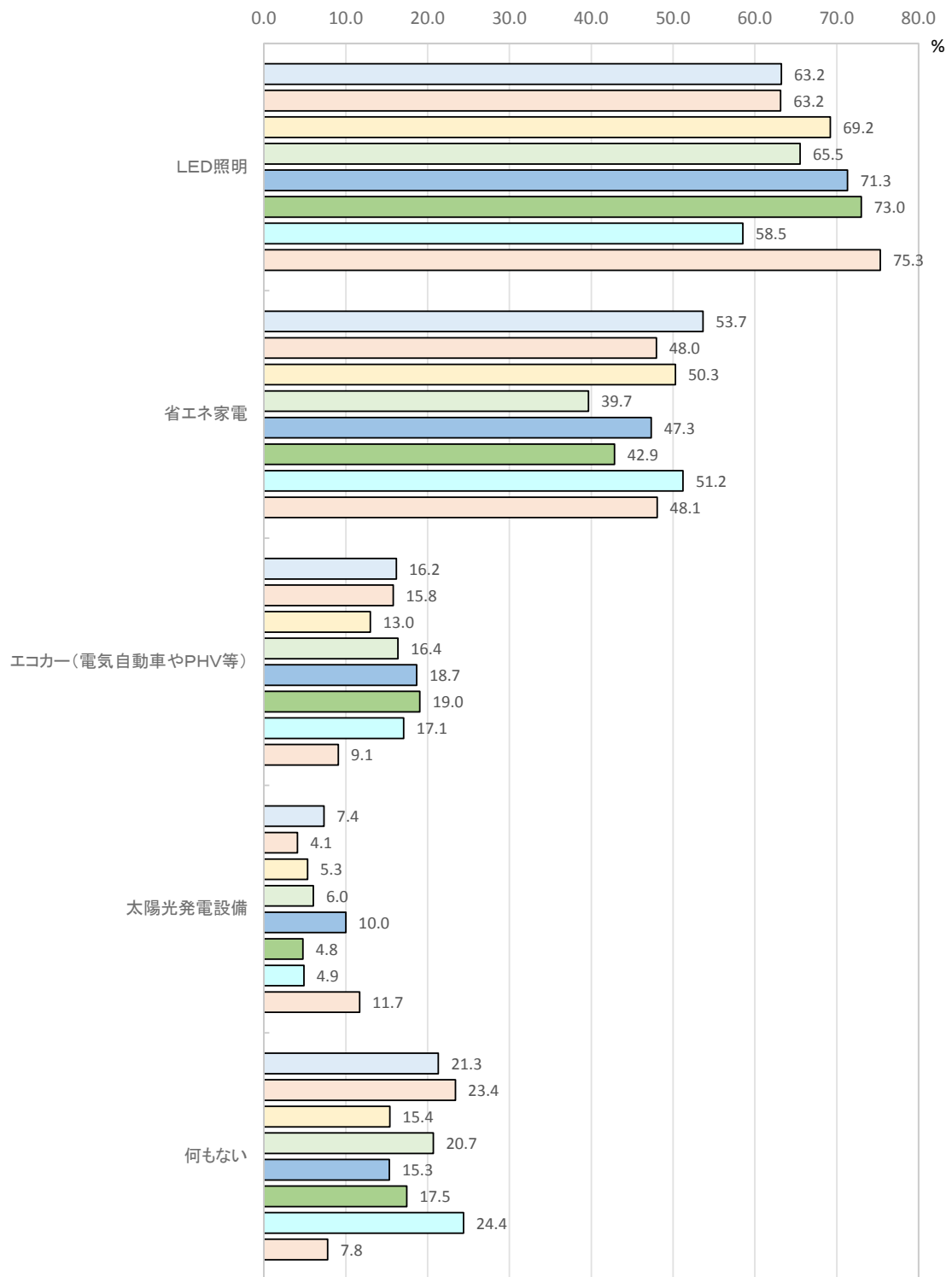


年齢別に見ると、「エコカー」では50～59歳（24.2%）が高くなっている。



地区別に見ると、「LED 照明」では川西ブロック（58.5%）が低くなっている。

【地区別】 □ あたごブロック(136) □ 不死鳥ブロック(171) □ みなみブロック(169) □ あずまブロック(116)
 ■ 九頭竜ブロック(150) ■ 光ブロック(63) ■ 川西ブロック(41) ■ 足羽ブロック(77)

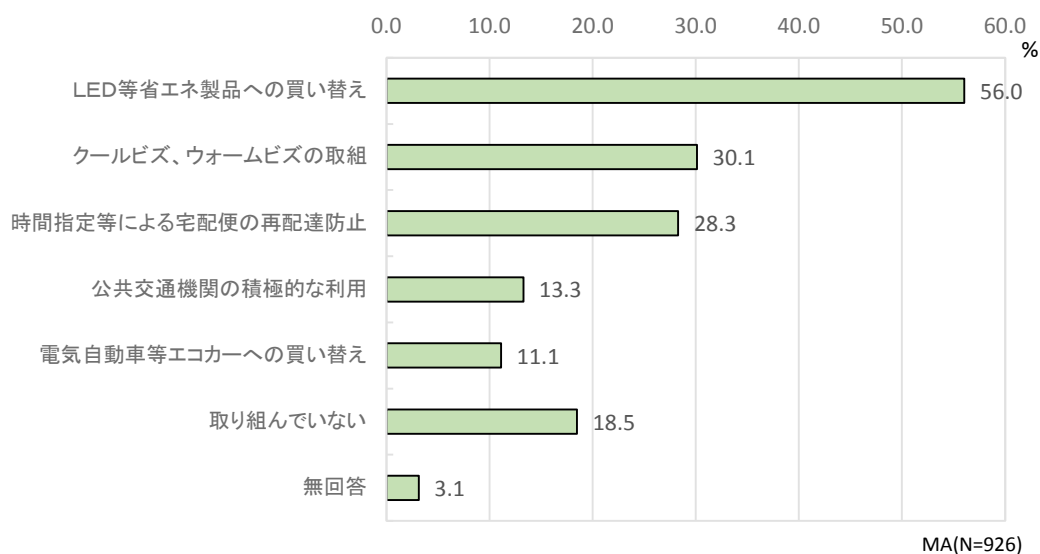


MA(N=926)

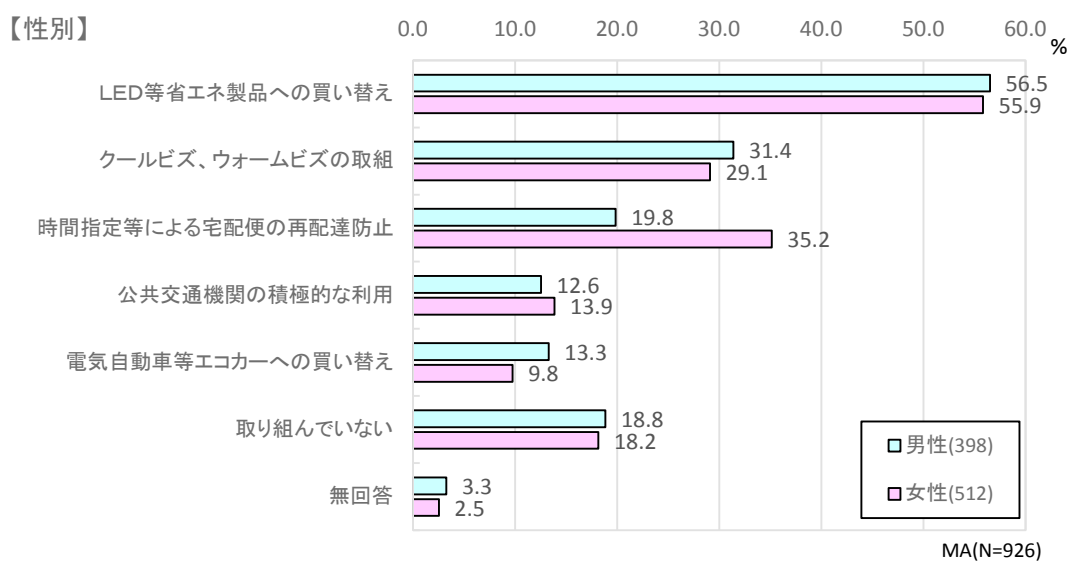
問3 地球温暖化対策のために、どのような取り組みをしていますか。(すべて)

5割以上が「LED等省エネ製品への買い替え」に取り組んでいる一方、「取り組んでいない」も約2割ある

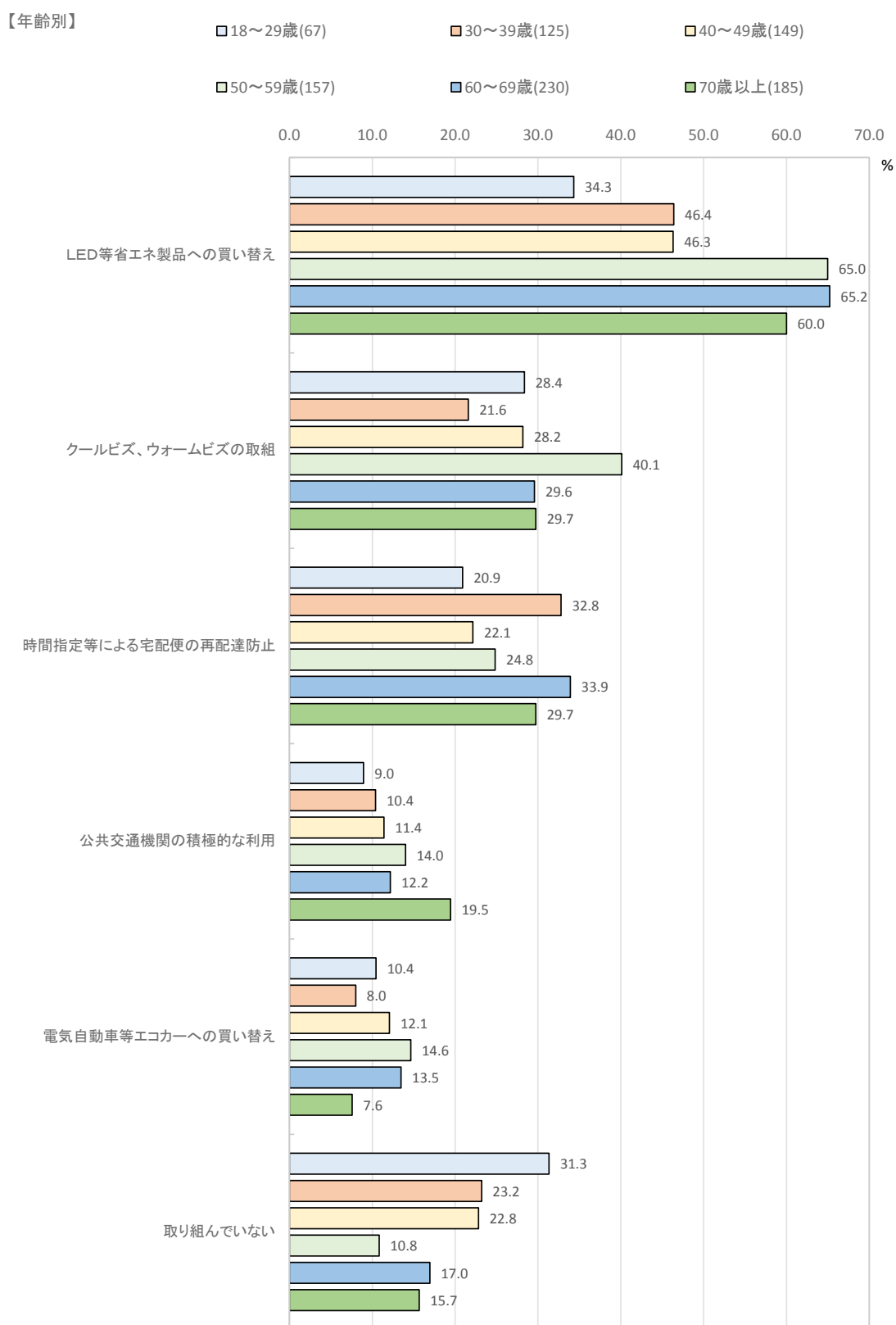
「LED等省エネ製品への買い替え」が56.0%、「クールビズ、ウォームビズへの取組」が30.1%、「時間指定等による宅配便の再配達防止」が28.3%、「取り組んでいない」が18.5%となっている。



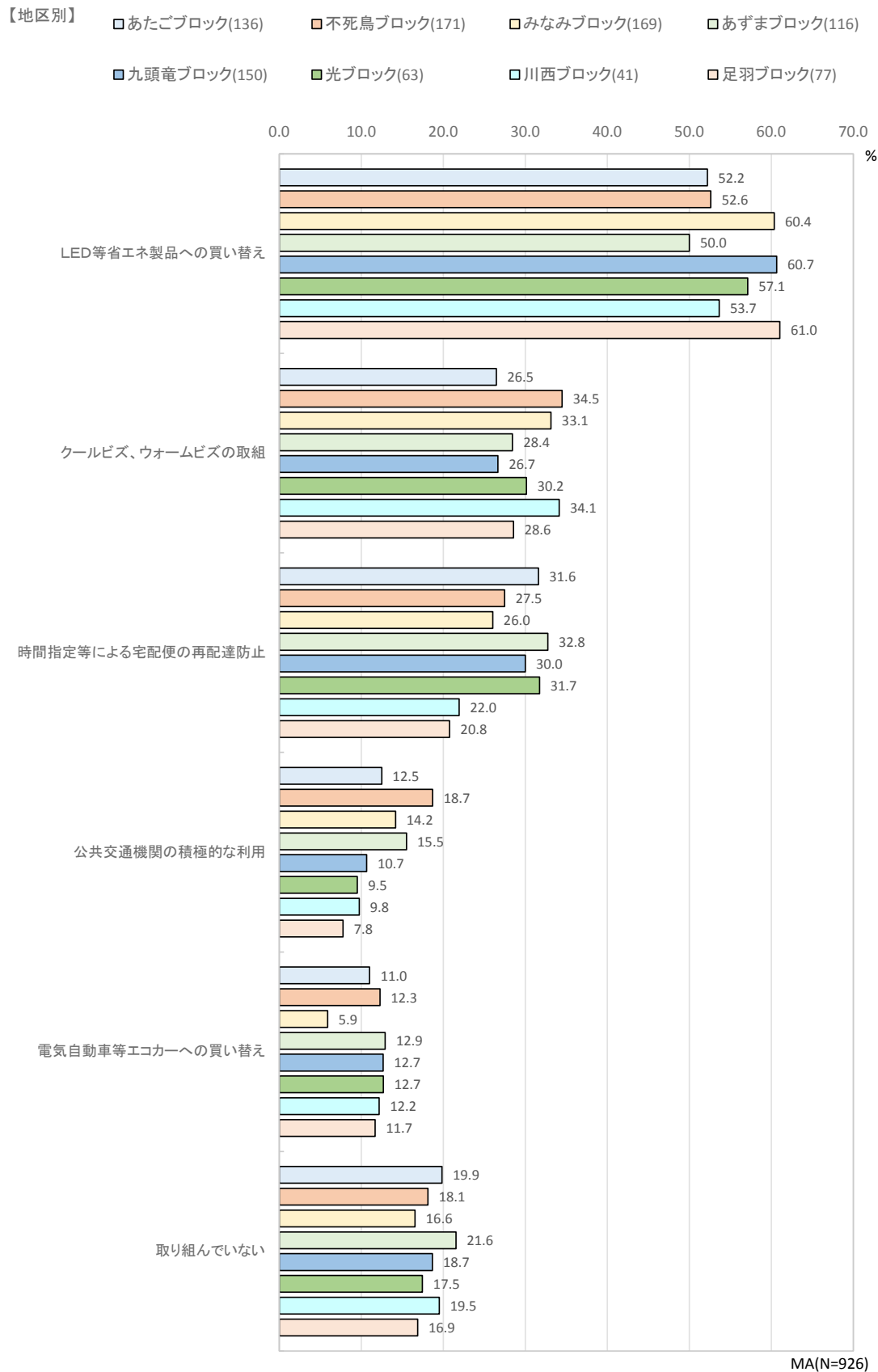
性別に見ると、男性は「電気自動車等エコカーへの買い替え」(13.3%)が高く、女性は「時間指定等による宅配便の再配達防止」(35.2%)が高くなっている。



年齢別に見ると、「LED 等省エネ製品への買い替え」や「公共交通機関の積極的な利用」は年齢が高くなるほど高くなる傾向がある。「クールビズ、ウォームビズの取り組み」では 50～59 歳（40.1%）が高くなっている。



地区別に見ると、「電気自動車等エコカーへの買い替え」では、みなみブロック（5.9%）が低くなっている。



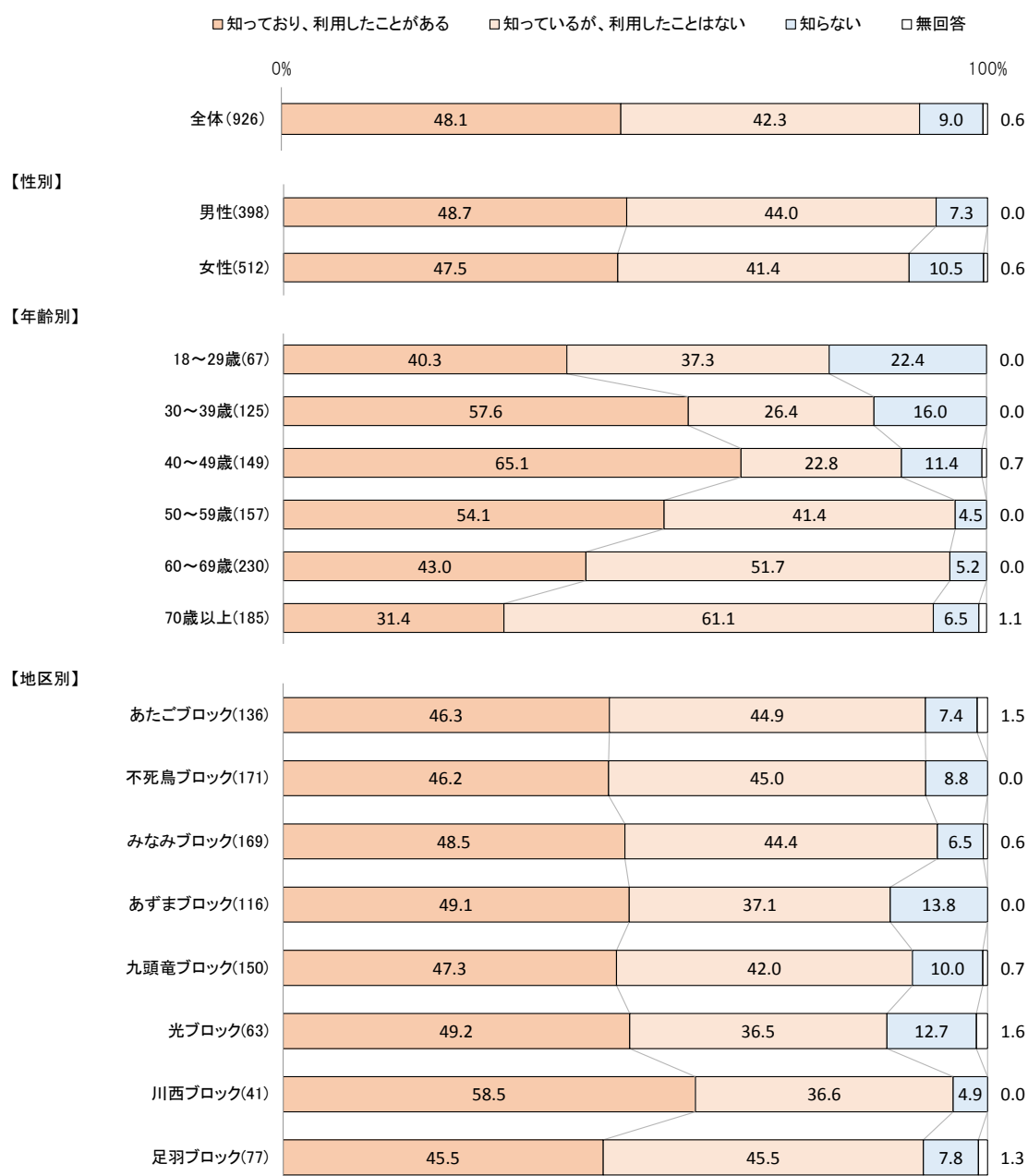
◆福井市本町通り地下駐車場について

問1 あなたは、福井市本町通り地下駐車場をご存知ですか。(1つ)

約9割が「知っている」

「知っており、利用したことがある」が48.1%、「知っているが、利用したことはない」が42.3%となっている。

性別に見ると、どちらも「知っている」割合が高く、差は見られない。年齢別に見ると、30～59歳の年齢層では「知っており、利用したことがある」割合が高いが、60歳以上の年齢層では「知っているが、利用したことはない」割合が高くなっている。地区別に見ると、川西ブロックでは「知っており、利用したことがある」(58.5%)が高くなっている。

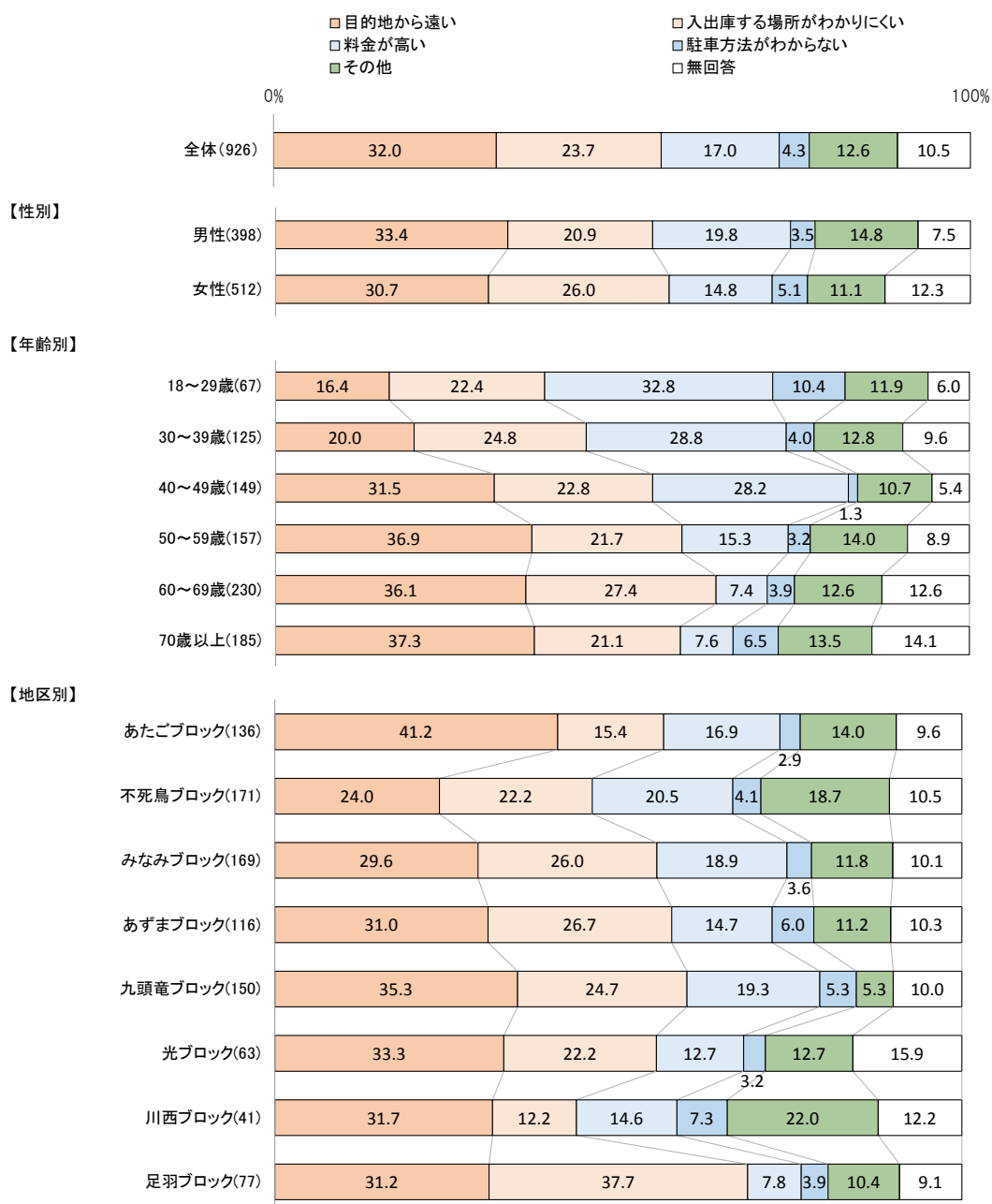


問2 あなたが、福井市本町通り地下駐車場を利用して不便に思うこと、または利用したことがない理由を教えてください。(1つ)

「目的地から遠い」が約3割、「入出庫する場所がわかりにくい」と「料金が低い」がそれぞれ約2割

「目的地から遠い」が32.0%、「入出庫する場所がわかりにくい」が23.7%、「料金が低い」が17.0%となっている。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「目的地から遠い」割合が高くなり、「料金が低い」が低くなる傾向がある。地区別に見ると、あたごブロックでは「目的地から遠い」(41.2%)が高く、足羽ブロックでは「入出庫する場所がわかりにくい」(37.7%)が高くなっている。

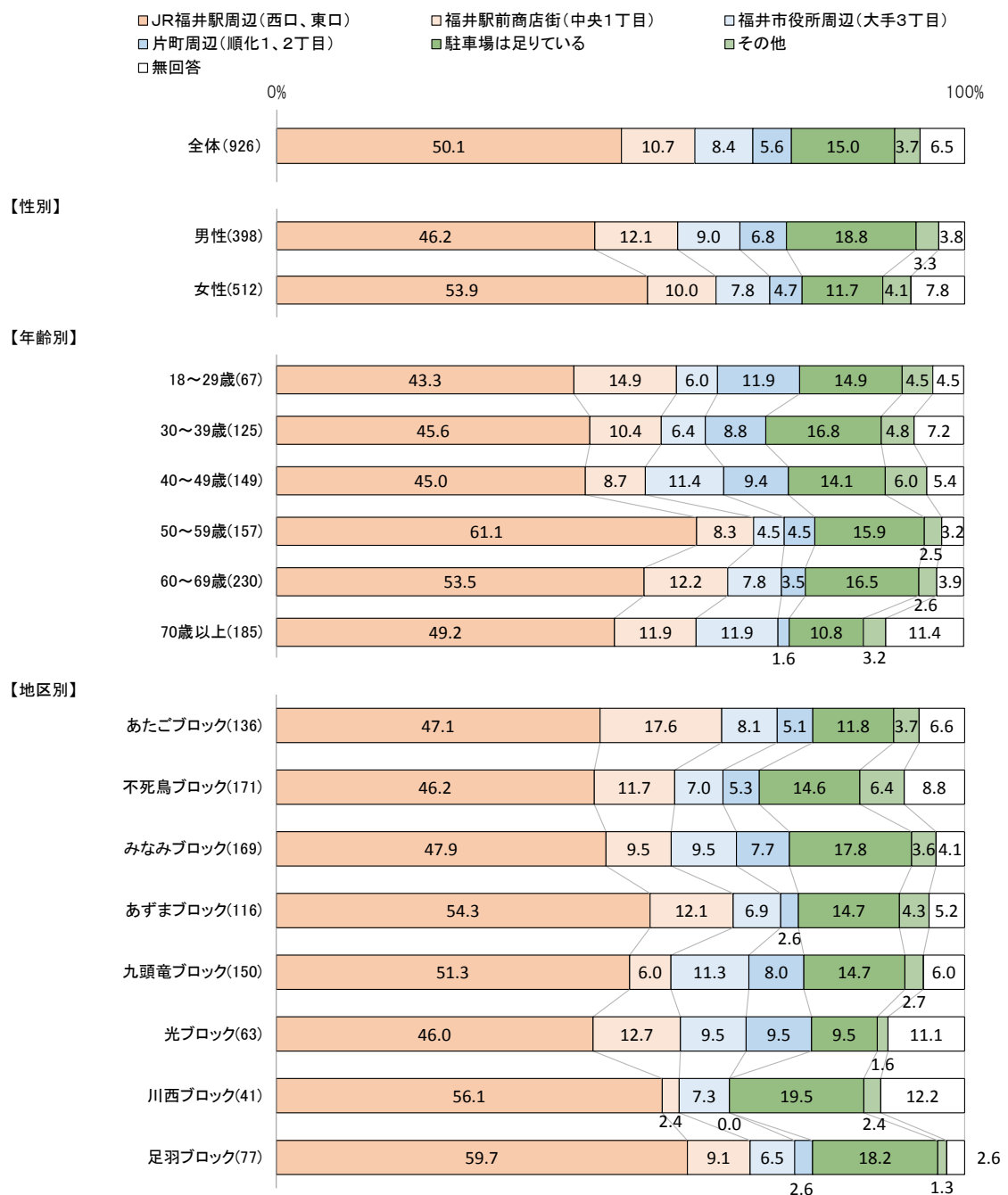


問3 あなたが、駐車場が不足していると思うところはどこですか。(1つ)

約5割が「JR福井駅周辺」

「JR福井駅周辺」が50.1%、「駐車場は足りている」が15.0%、「福井駅前商店街」が10.7%となっている。

性別に見ると、男性は「駐車場は足りている」(18.8%)がやや高く、女性は「JR福井駅周辺」(53.9%)がやや高くなっている。年齢別に見ると、50～59歳では「JR福井駅周辺」(61.1%)が高くなっている。地区別に見ると、足羽ブロックでは「JR福井駅周辺」(59.7%)が高くなっている。

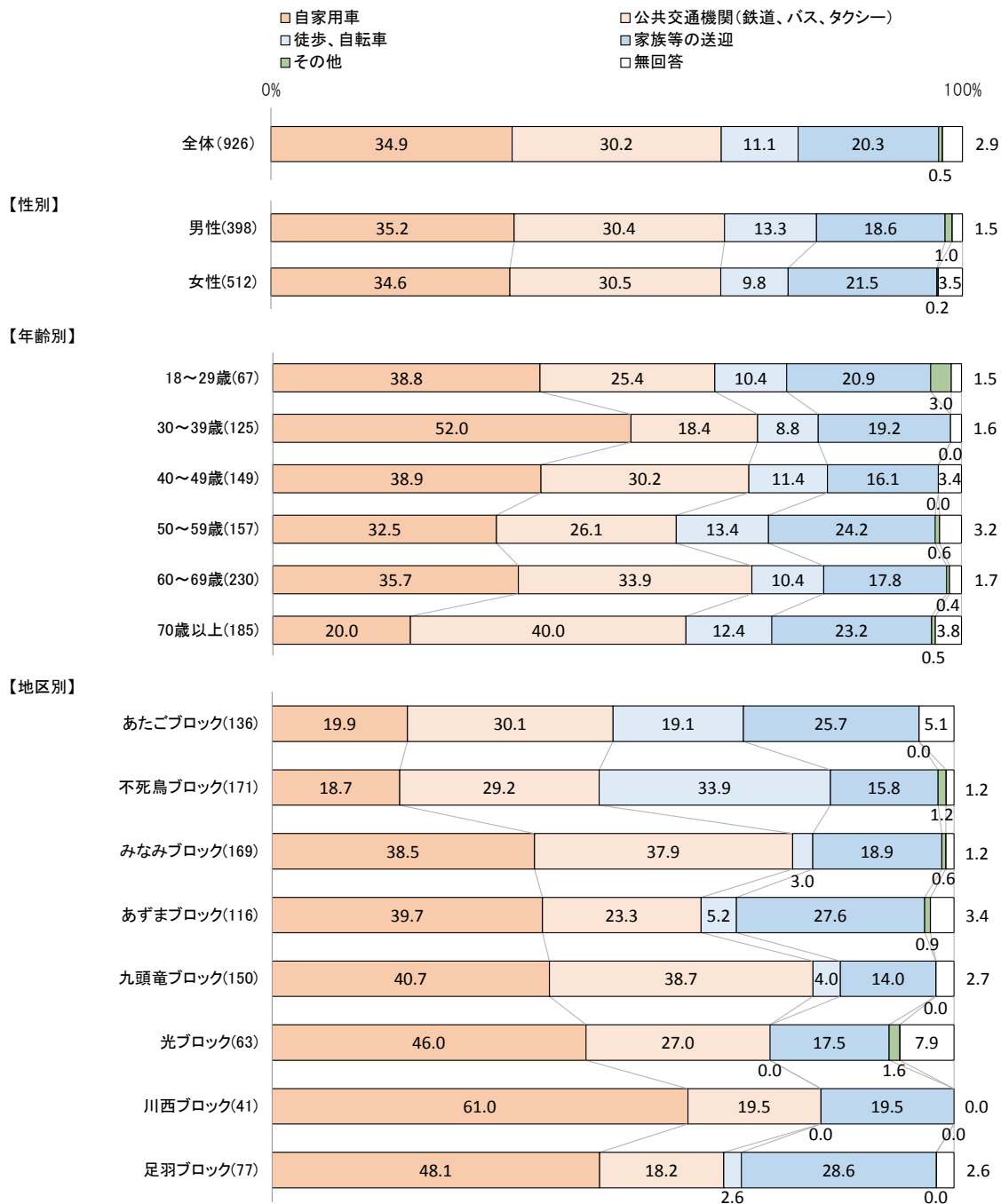


問4 あなたが、ＪＲ福井駅を利用する際、駅までの交通手段は何ですか。（１つ）

3割以上が「自家用車」、「公共交通機関」も約3割

「自家用車」が34.9%、「公共交通機関」が30.2%、「家族等の送迎」が20.3%となっている。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「自家用車」の割合が低くなり、「公共交通機関」や「家族等の送迎」の割合が高くなっている。地区別に見ると、「自家用車」は、川西ブロック（61.0%）、足羽ブロック（48.1%）、光ブロック（46.0%）が高くなっている。



◆運動やスポーツについて

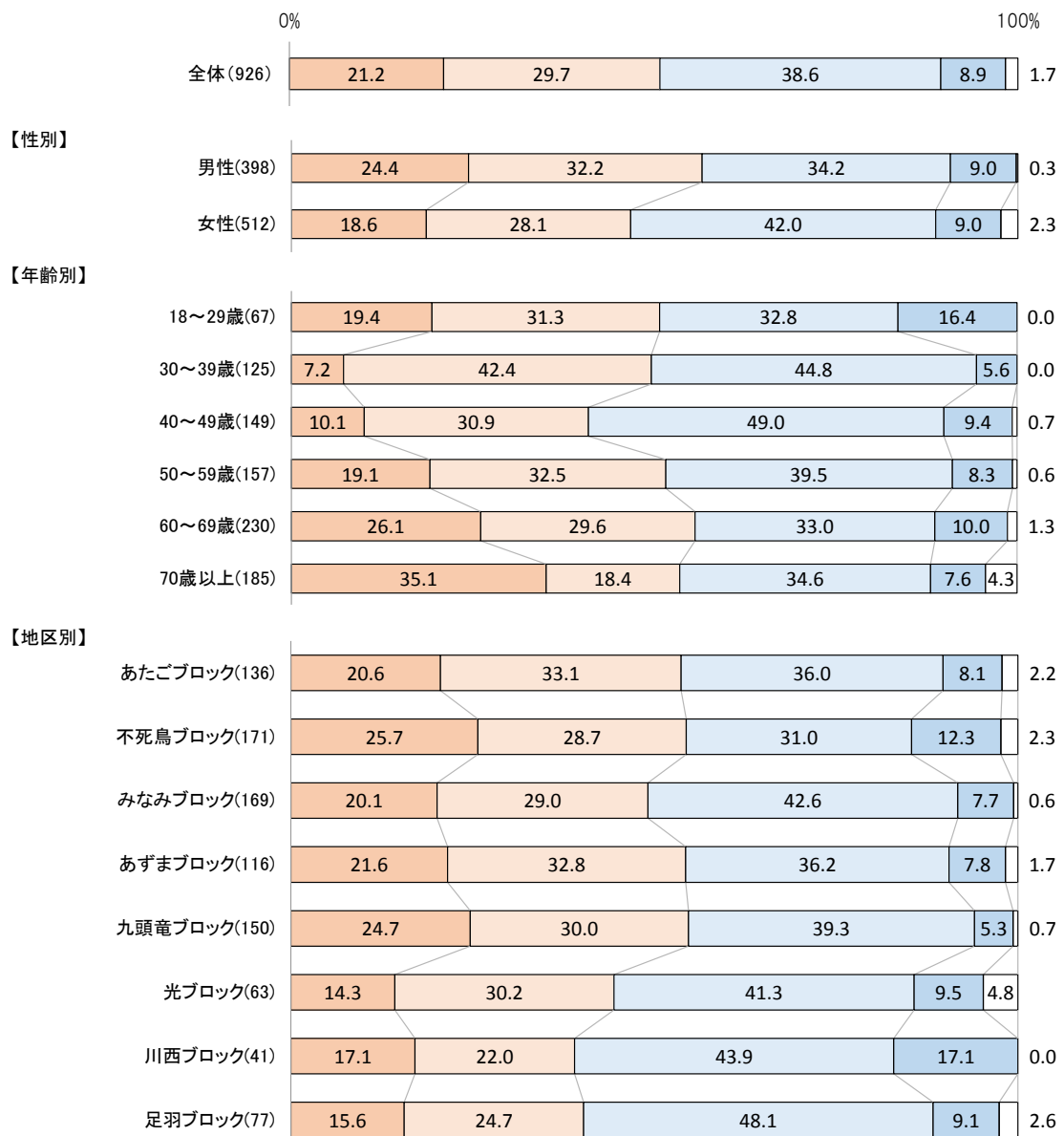
問1 あなたは、運動（徒歩や自転車移動を含む）やスポーツを行いたいと思いますか。（1つ）

「行いたい、できない」が約4割、「もっと行いたい」は約3割

「行いたい、できない」が38.6%、「もっと行いたい」が29.7%、「既に行っており、満足している」が21.2%となっている。

性別に見ると、男性は「行っている」（56.6%）が高く、女性は「できない」（42.0%）が高くなっている。年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「満足している」が高くなる傾向がある。30～39歳では「もっと行いたい」（42.4%）が高く、40～49歳では「できない」（49.0%）が高くなっている。地区別に見ると、足羽ブロックでは「できない」（48.1%）が高くなっている。

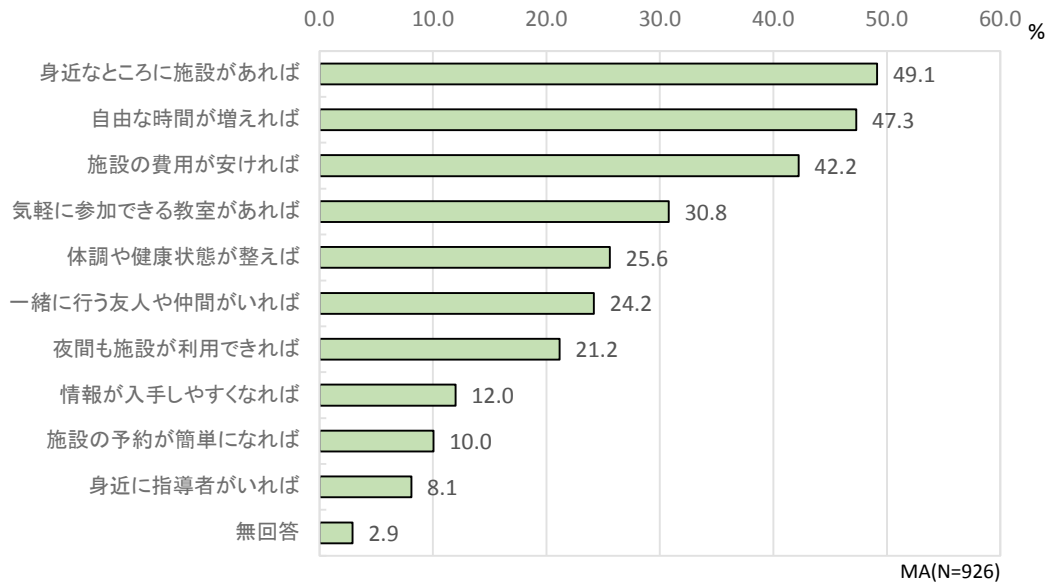
□既に行っており、満足している □もっと行いたい □行いたい、できない □運動やスポーツに関心がない □無回答



問2 どのような条件が整えば、運動やスポーツを行うことができますか。(すべて)

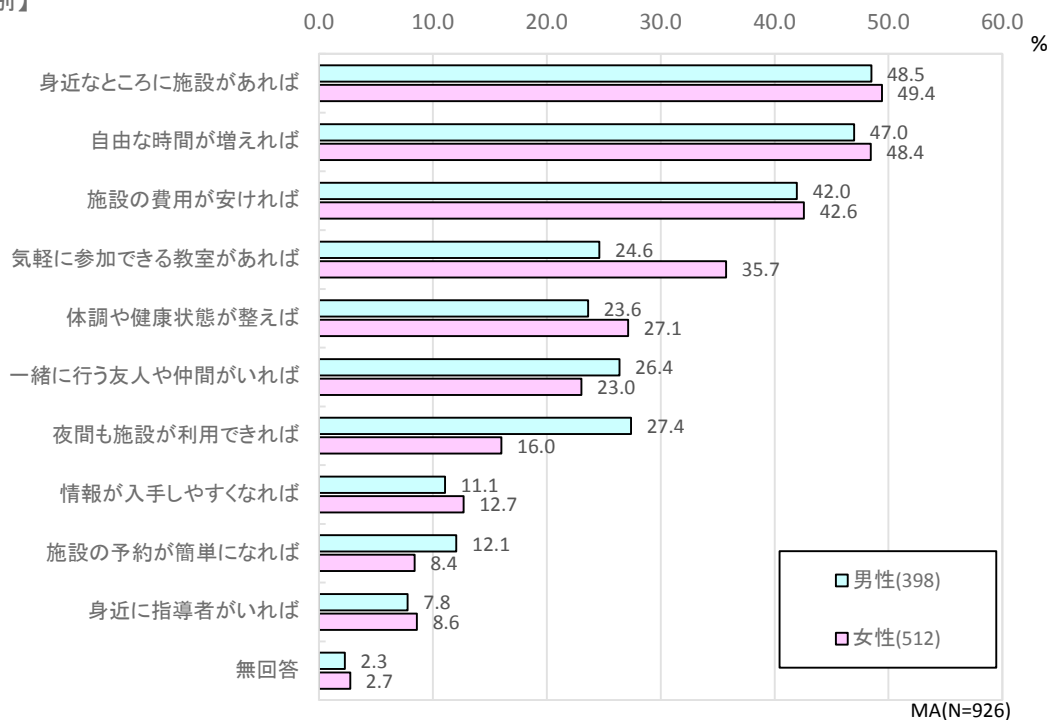
「身近なところに施設があれば」と「自由な時間が増えれば」が、それぞれ約5割

「身近なところに施設があれば」が49.1%、「自由な時間が増えれば」が47.3%、「施設の費用が安ければ」が42.2%となっている。



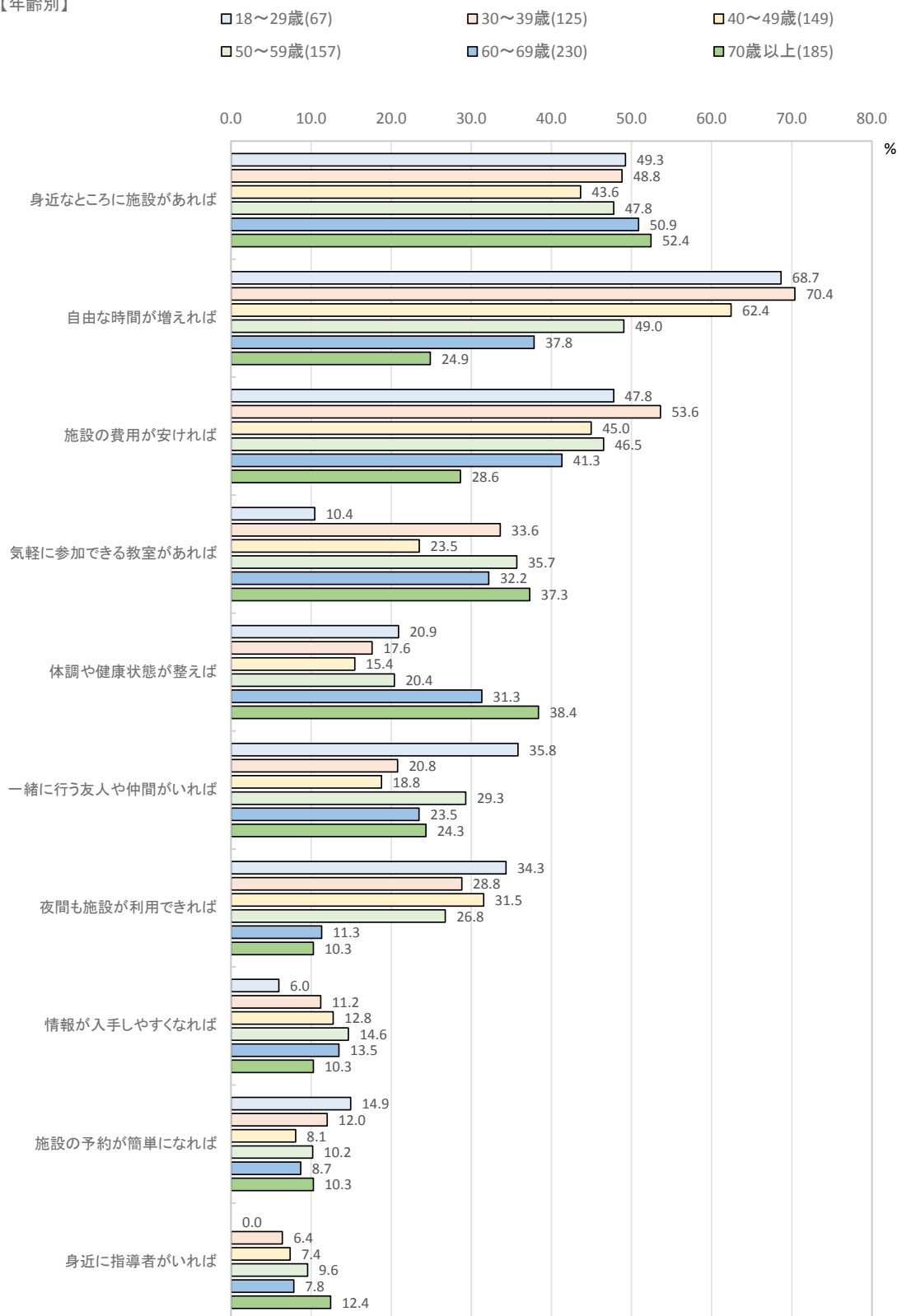
性別に見ると、「夜間も施設が利用できれば」では男性（27.4%）が高く、「気軽に参加できる教室があれば」では女性（35.7%）が高くなっている。

【性別】



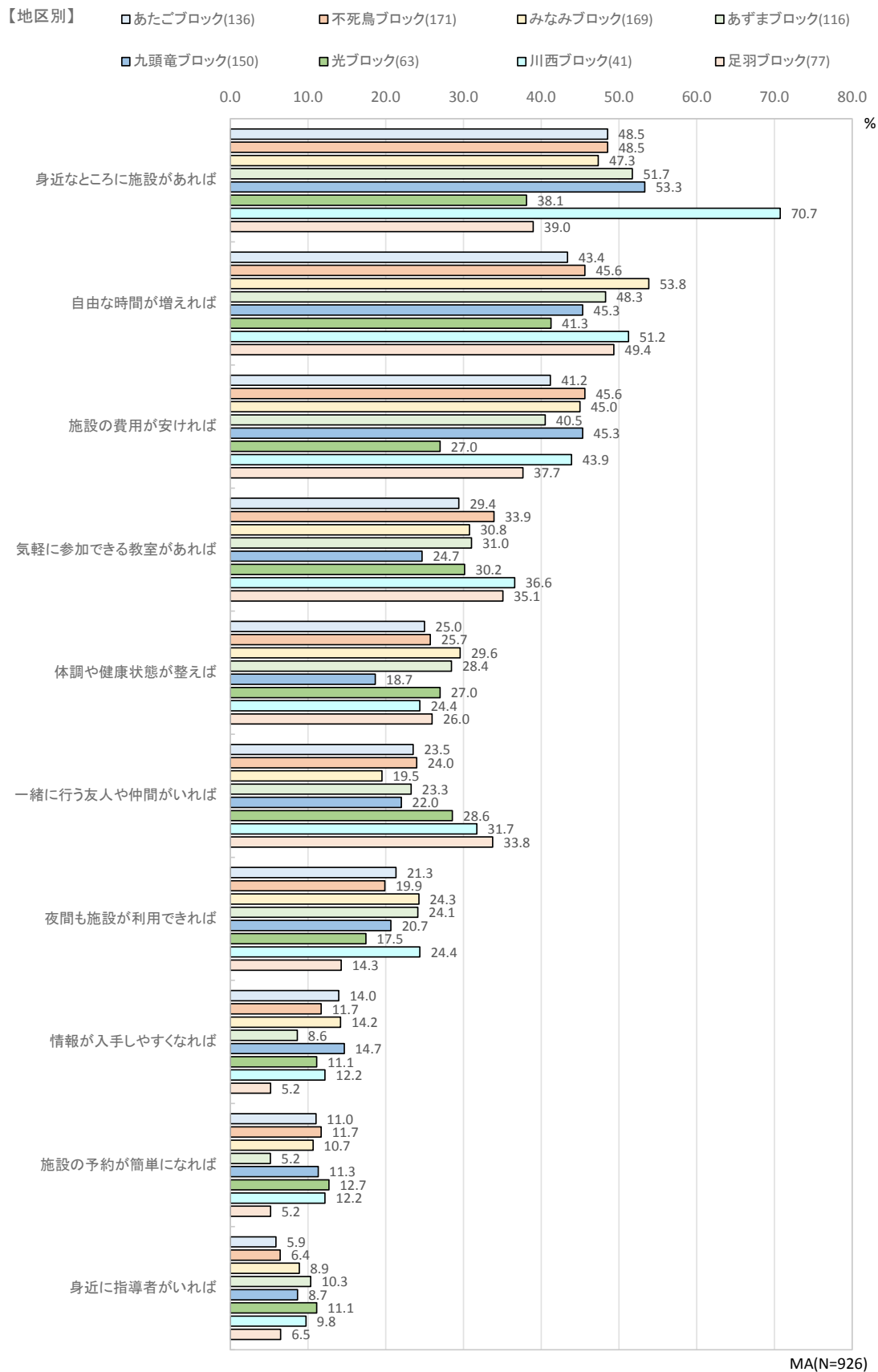
年齢別に見ると、「自由な時間が増えれば」と「施設の費用が安ければ」は、年齢が低い世代ほど割合が高くなり、「体調や健康状態が整えば」は、年齢が高い世代ほど割合が高くなる傾向がある。

【年齢別】



MA(N=926)

地区別に見ると、「身近なところに施設があれば」では、川西ブロック（70.7%）が高くなっている。



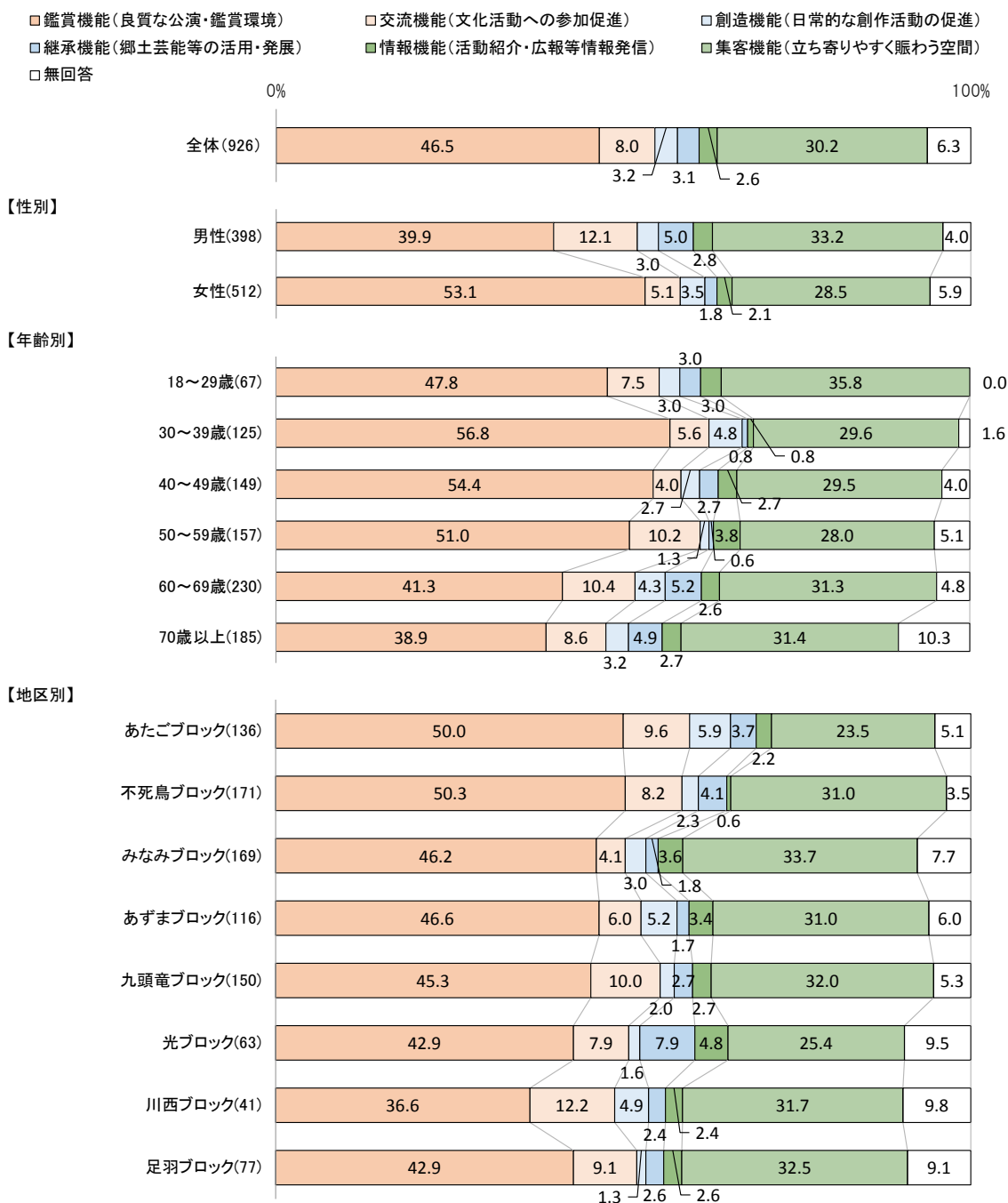
◆福井市文化会館の再整備について

問1 あなたは、新しい文化会館にどのような機能を期待しますか。(1つ)

4割以上が「鑑賞機能」、「集客機能」も約3割

「鑑賞機能」が46.5%、「集客機能」が30.2%となっている。

性別に見ると、男性では女性と比べて「交流機能」(12.1%)が高く、女性では男性と比べて「鑑賞機能」(53.1%)が高くなっている。年齢別に見ると、どの年齢でも「鑑賞機能」が最も高くなっているが、中でも30～49歳では「鑑賞機能」の割合が高い。18～29歳では他の年齢に比べて「集客機能」が高くなっている。

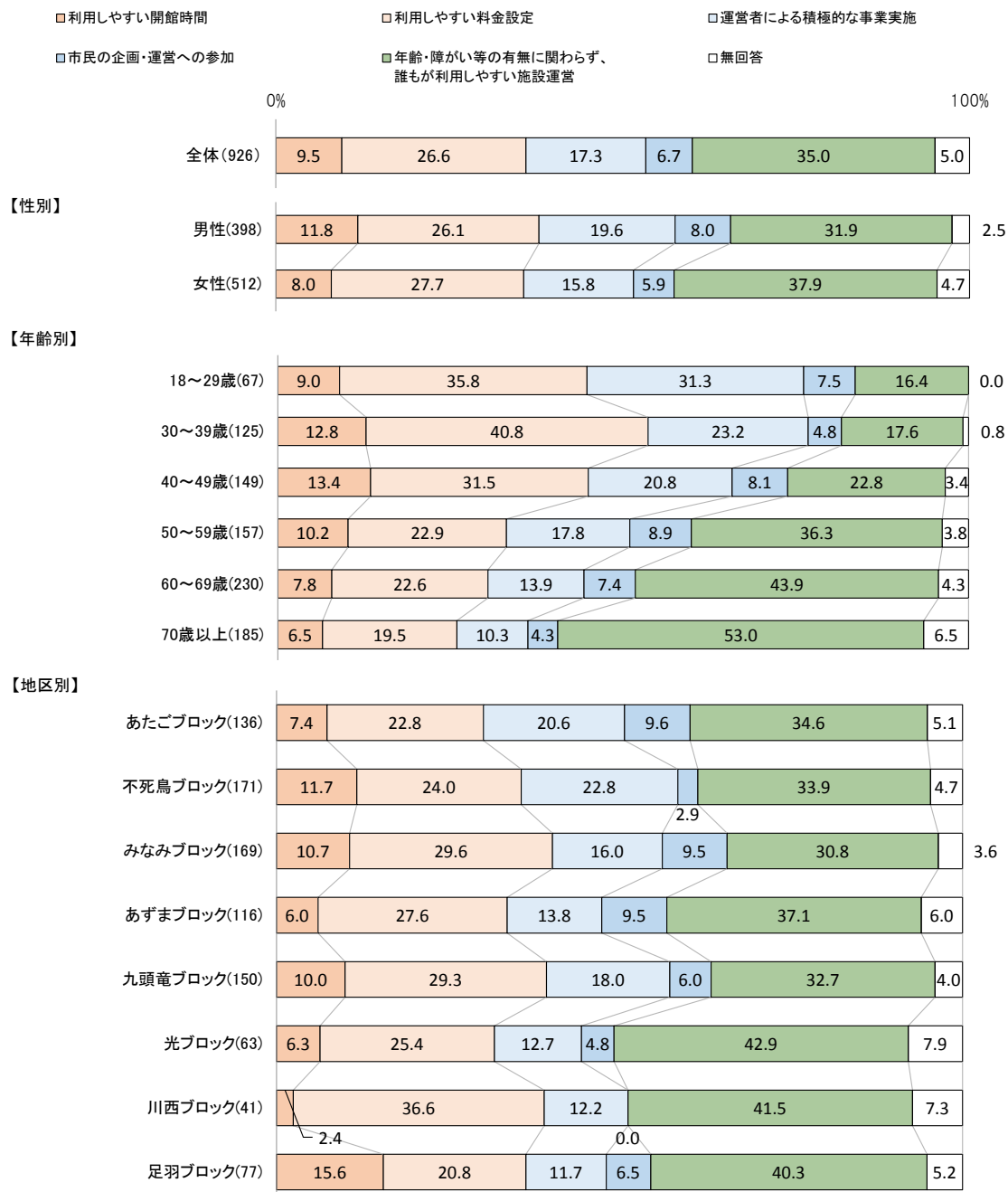


問2 あなたは、新しい文化会館の運営にどのようなことを期待しますか。(1つ)

3割以上が「誰もが利用しやすい施設運営」

「誰もが利用しやすい施設運営」が35.0%、「利用しやすい料金設定」が26.6%、「積極的な事業実施」が17.3%となっている。

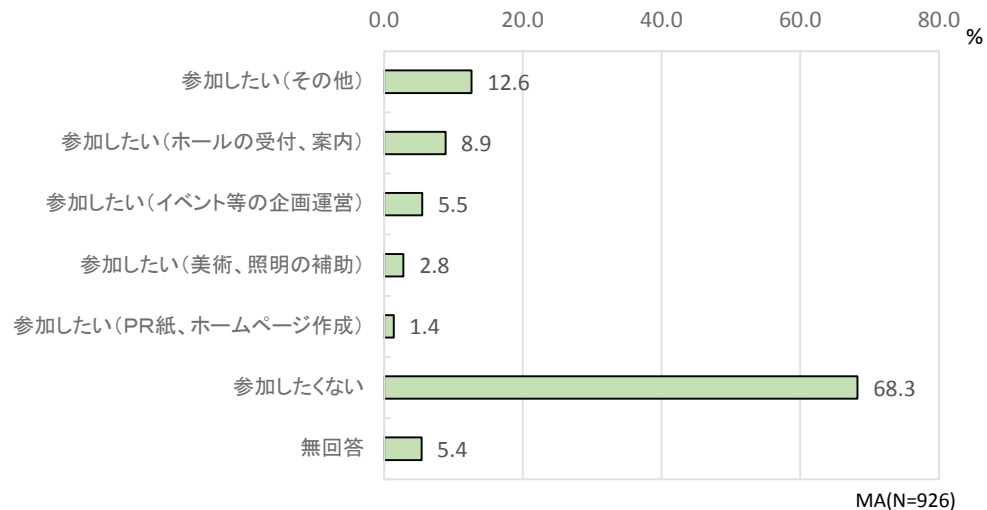
年齢別に見ると、年齢が低くなるほど「料金設定」や「事業実施」の割合が高く、年齢が高くなるほど「利用しやすい施設運営」が高くなっている。地区別に見ると、「利用しやすい施設運営」は、光ブロック(42.9%)、川西ブロック(41.5%)、足羽ブロック(40.3%)が高くなっている。



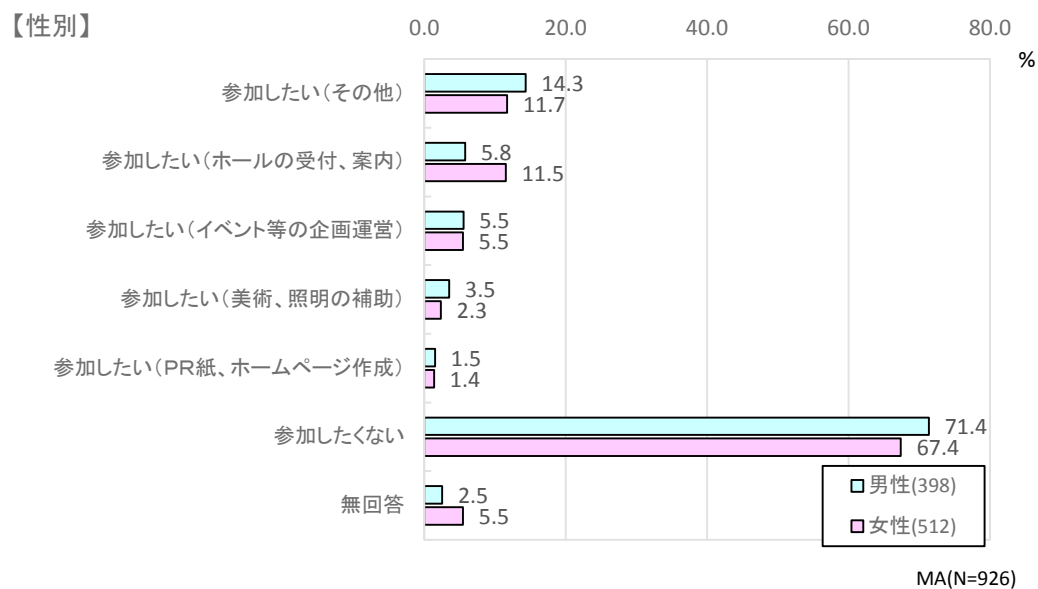
問3 新しい文化会館の運営に携わるボランティアを募集した場合、あなたは参加しますか。
(すべて)

2割以上が何らかの形で「参加したい」

「参加したくない」「無回答」の割合が73.7%であることから、何らかの形で「参加したい」と回答している割合が26.3%となっている。

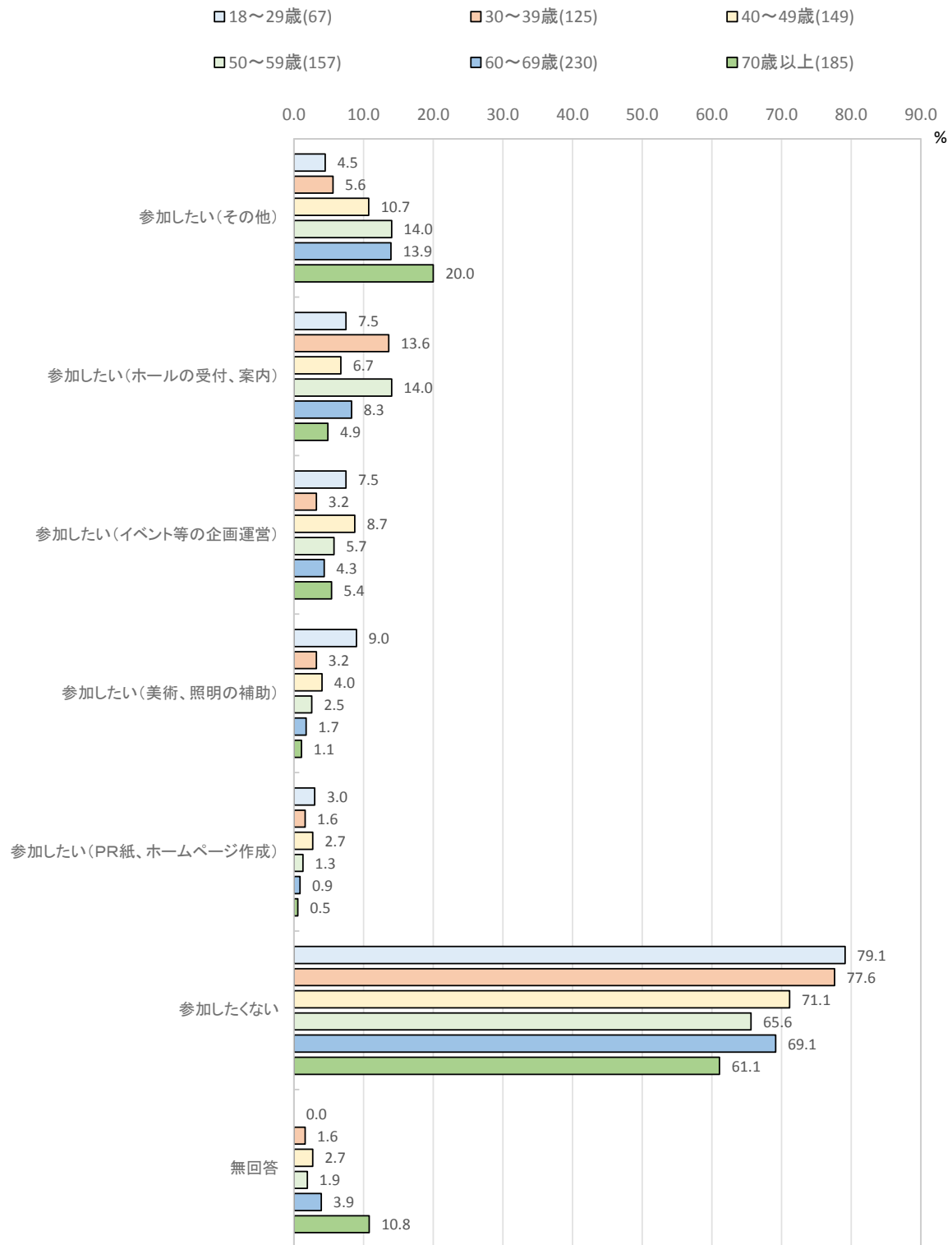


性別に見ると、女性では男性に比べて「ホールの受付、案内」(11.5%) がやや高くなっている。



年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「参加したい」割合が高くなる傾向がある。

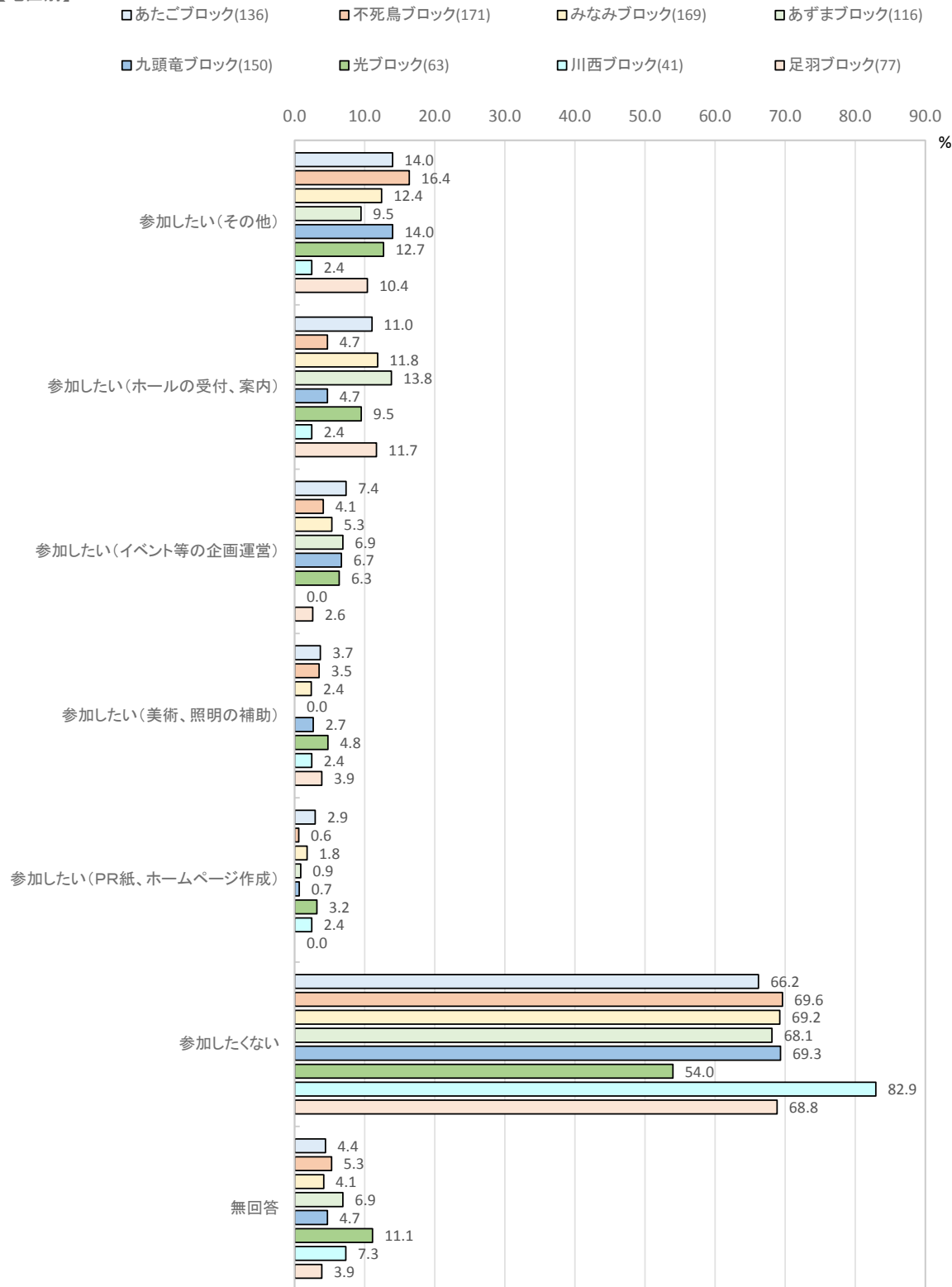
【年齢別】



MA(N=926)

地区別に見ると、何らかの形で「参加したい」と回答した割合は、光ブロックが高く、川西ブロックが低くなっている。

【地区別】



MA(N=926)

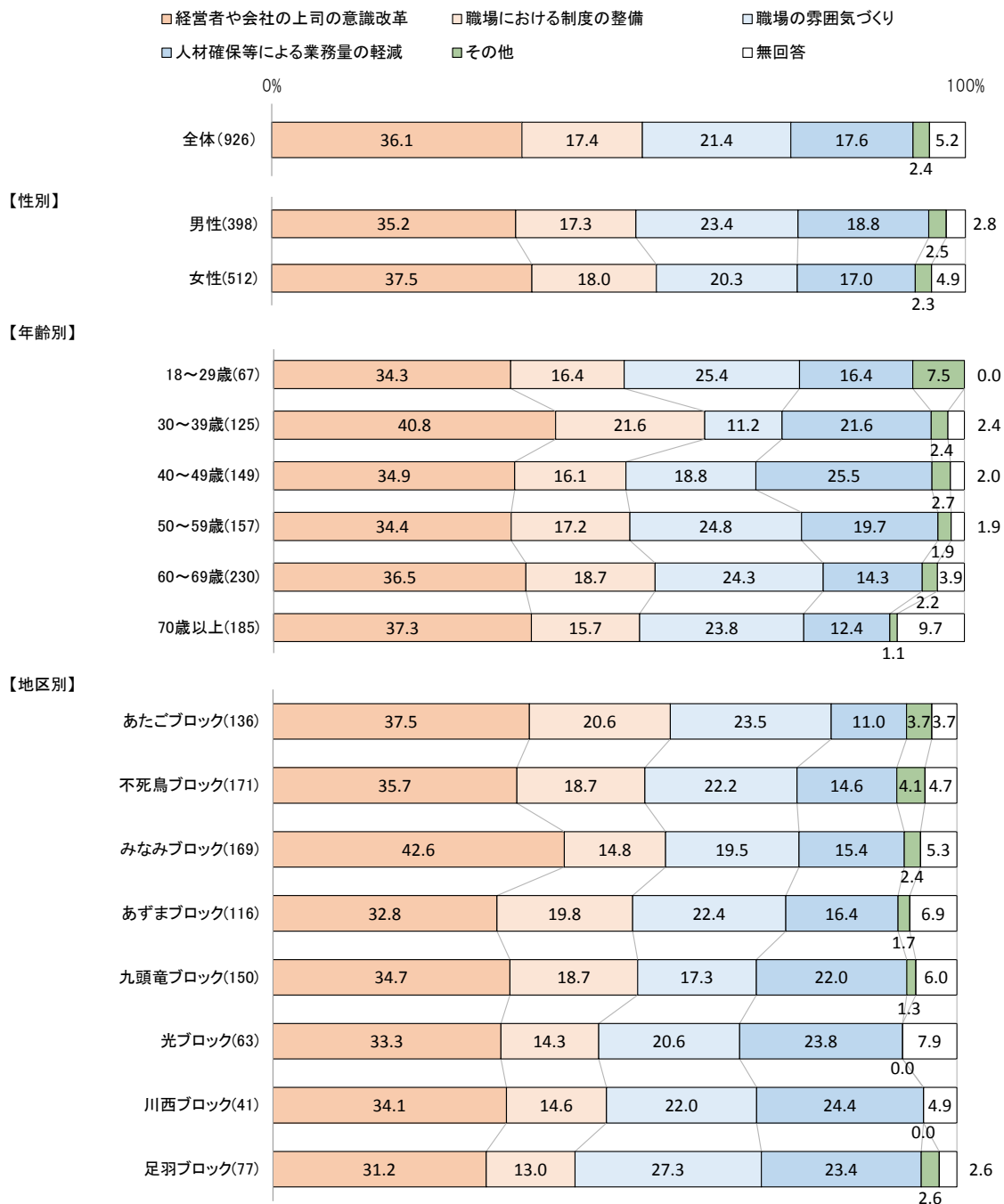
◆働き方改革について

問1 働き方改革を進めていく上で、重要だと思う取り組みは何ですか。(1つ)

3割以上が「上司の意識改革」、「職場の雰囲気づくり」も約2割

「上司の意識改革」が36.1%、「職場の雰囲気づくり」が21.4%となっている。

年齢別に見ると、30～39歳では「雰囲気づくり」(11.2%)が低く、40～49歳では「業務量の軽減」(25.5%)が高くなっている。



◆観光客受け入れに関する意識について

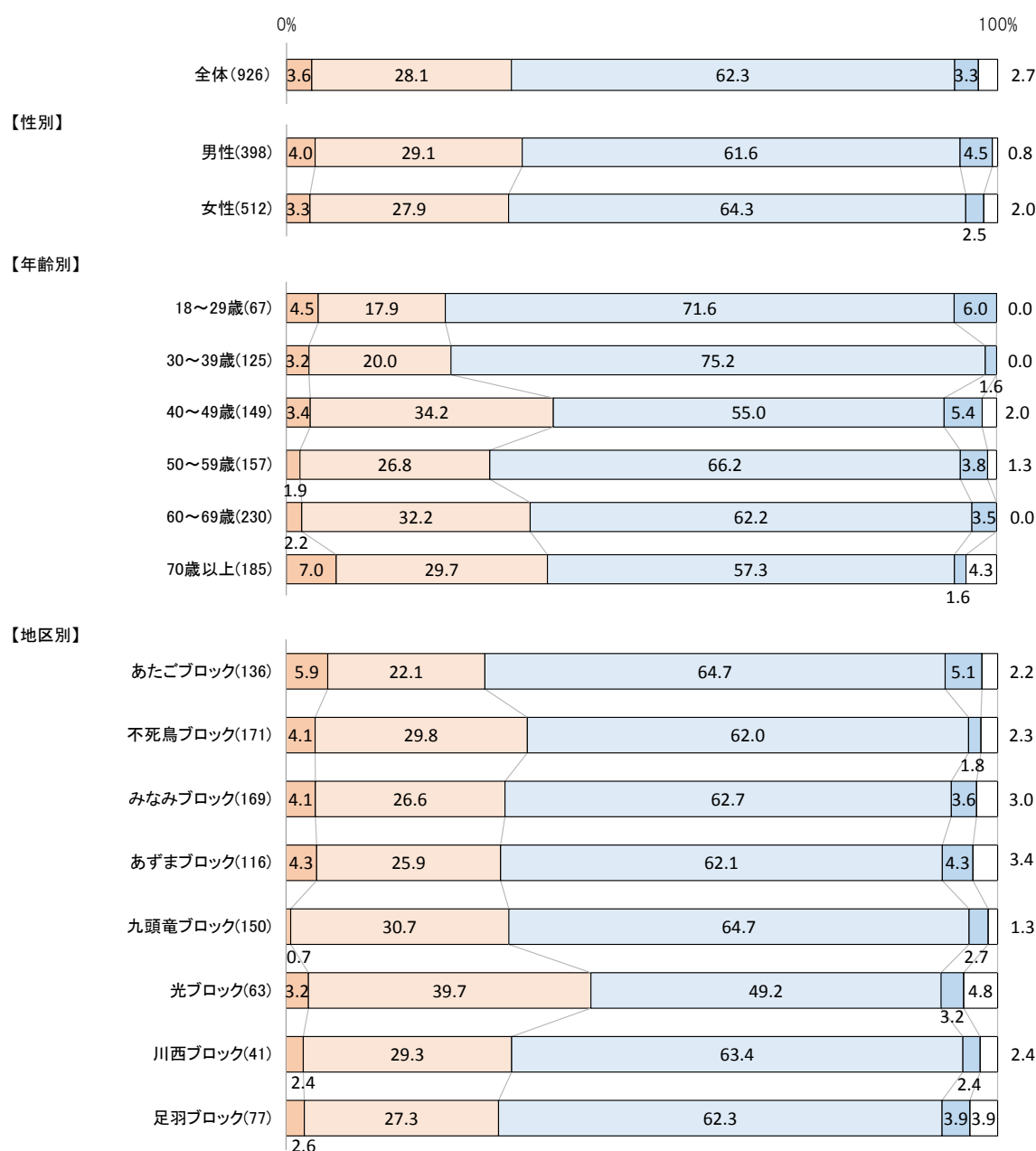
問1 観光客へのおもてなしについて、あなたの日頃の行動はどれですか。(1つ)

「観光客が困っている時は声をかける」が約3割

「観光客へ自分から積極的に声をかける」3.6%「観光客が困っている時は声をかける」28.1%となっており「観光客から声をかけられれば対応する」は62.3%である。

年齢別に見ると、40～49歳では「困っている時は声をかける」(34.2%)が高く18～39歳の年齢層で「声をかけられれば対応する」割合が高くなっている。

☐ 観光客へ自分から積極的に声をかける
 ☐ 観光客が困っている時は声をかける
 ☐ 観光客から声をかけられれば対応する
☐ 観光客と関わらないようにする
 ☐ 無回答

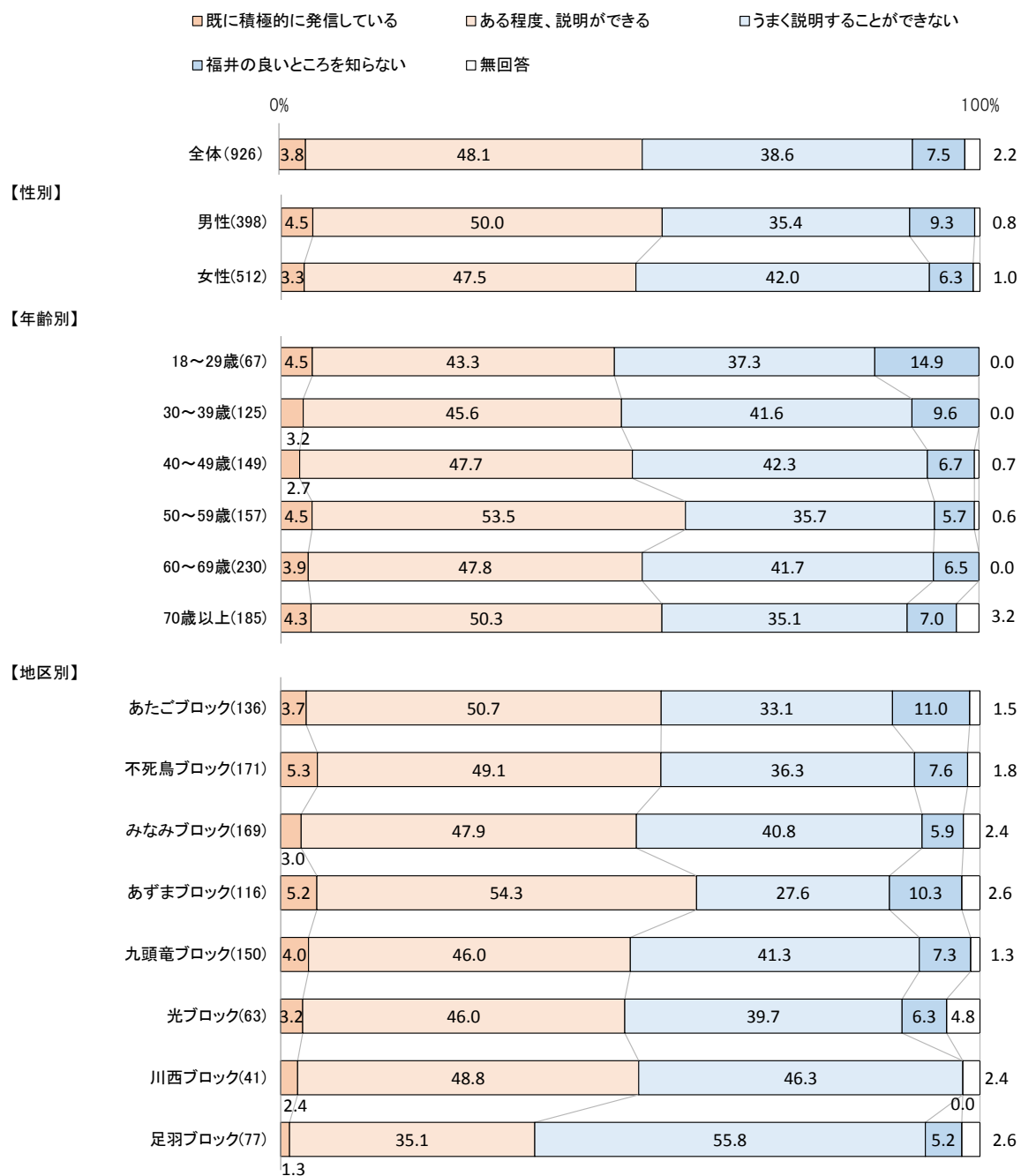


問2 あなたは、福井の良いところを人に勧めたり説明したりすることができますか。(1つ)

「ある程度説明ができる」が約5割ある一方、「説明することができない」も約4割ある

「ある程度説明ができる」が48.1%、「説明することができない」が38.6%となっている。

年齢別に見ると、50～59歳では「ある程度説明できる」(53.5%)がやや高く、18～29歳では「福井の良いところを知らない」(14.9%)がやや高くなっている。全世代において、「説明することができない」も約4割を占める一方、全世代において「既に積極的に発信している」「ある程度、説明ができる」割合は、約5割となっている。



◆人口減少・超高齢社会を踏まえた生活の場について

問1 福井市では、「人口減少・超高齢社会において、住宅や商業施設、医療・福祉施設等が身近にあり、車に過度に依存しないで歩いて暮らせるコンパクトな都市づくり」に取り組んでいます。

あなたは、将来（約10年後）どのようなエリアで生活したいですか。（1つ）

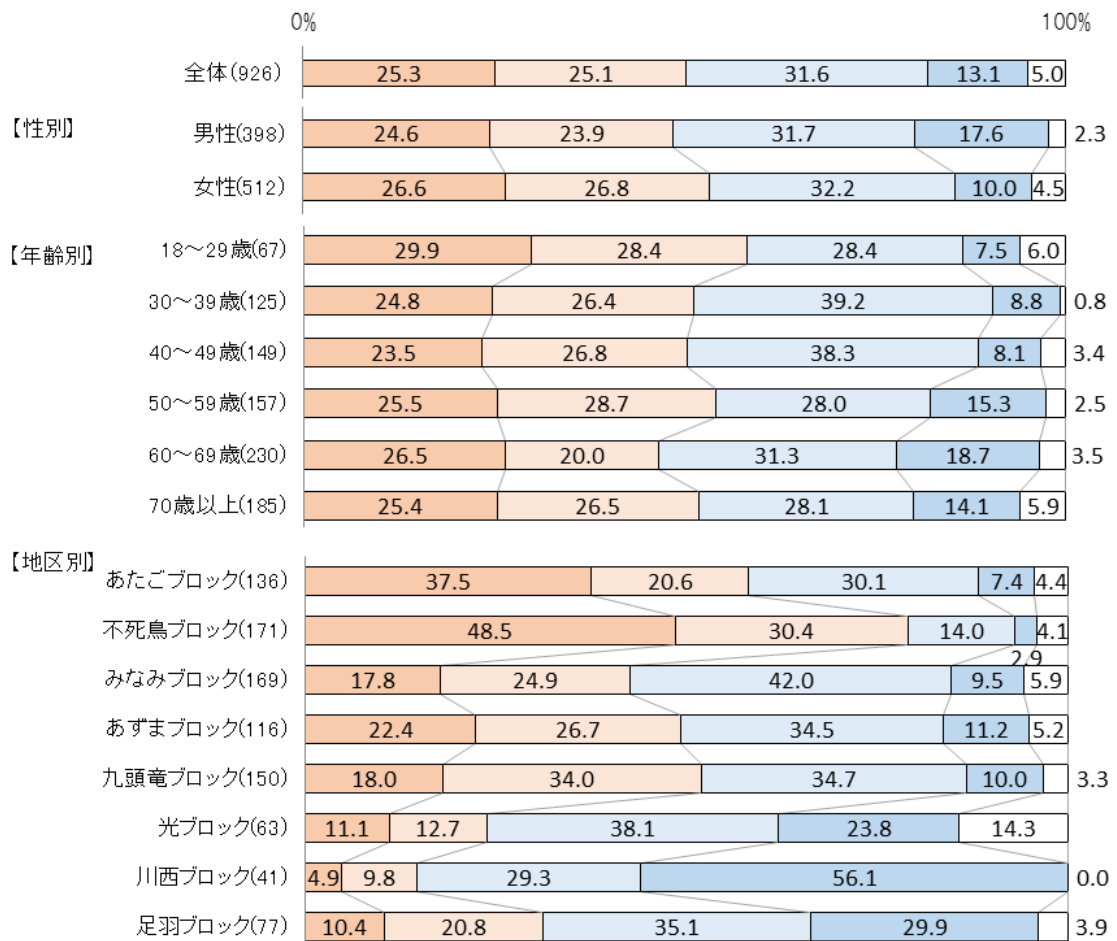
「3. 市の中心部と市街地の鉄道駅周辺を除く市街地」が約3割

「3. 市の中心部と市街地の鉄道駅周辺を除く市街地」が31.6%、「1. 市の中心部」が25.3%、「2. 市街地の鉄道駅周辺」が25.1%となっている。

年齢別に見ると、30～49歳では「3. 市の中心部と市街地の鉄道駅周辺を除く市街地」の割合が高くなっている。地区別に見ると、あたごブロックや不死鳥ブロックでは「1. 市の中心部」が高く、光ブロックや川西ブロック、足羽ブロックでは「4. 海や山、田畑など、自然が身近にある場所」が高くなっている。

- 1.市の中心部(JR福井駅周辺)やその周辺で、徒歩や自転車で様々な公共施設や店舗、病院等を利用できるエリア
- 2.市街地の鉄道(JR、えちぜん鉄道、福井鉄道福武線)駅周辺で、徒歩や自転車鉄道などの公共交通で通勤・通学をはじめ、店舗や病院等を利用できるエリア
- 3.上記1と2の場所を除く市街地で、徒歩や自転車、バスなどの公共交通、自家用車で通勤・通学をはじめ、店舗や病院等を利用できるエリア
- 4.海や山、田畑など、自然が身近にある場所で、自家用車等で店舗や病院等を利用できるエリア

□無回答



Ⅳ 自由意見

福井市に対する意見・提案について、自由意見は次のとおりである。

本報告書では、市民意識調査に寄せられた意見・提案を第七次福井市総合計画の政策に基づいて、「Ⅰ快適に暮らすまち」、「Ⅱ住みよいまち」、「Ⅲ活き活きと働くまち」、「Ⅳ学び成長するまち」に分類し、それぞれ主な意見・提案内容を掲載している。

※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の取組の参考とすべく担当課と共有する。

Ⅰ．快適に暮らすまち
福井駅の近辺、お堀のまわりをもう少し整備し、観光客がすごいと思って、また行きたいと思える福井にしてほしい。京都みたいに歴史的な価値を強めてほしい。(60代 女性)
皆がもっと気軽に立ち寄ったり、くつろいだり、楽しんだり、学んだりできる場所やイベントを、公民館やハピリンなど公共施設をもっと開放して増やしてほしい。(60代 女性)
海外留学、県外での就職経験があるが、福井は野菜や魚が安くてとてもおいしい。新幹線の開通に向けてアピールできるようなものがたくさん必要だと思う。(40代 女性)
幸福度日本一なのに全国的には知られていない。福井、自然が美しい福井をもっと全国的に知ってもらいたい。(70代 女性)
福井市の中心部を活性化するために、もっと市街地から中心部に人が集まる交通の便を良くしてほしい。中心部へ行く手段がほとんどなく、一日の本数も少ないと行くことができない。もう10年もすると中心部から10kmの地区でも過疎化が進み、今の中高年の人の負荷が増大して、社会がまわらなくなってしまう。(50代 男性)
エンゼルランド、グリーンセンター、西山公園、武生中央公園のような、草花や子供が遊べる遊具のある公園を市の中心に造ってほしい。また、冬や雨天時でも子供が伸び伸び遊べる施設を造ってほしい。(30代 女性)

知人が除雪作業に関わっていたが、日中の仕事が終わると除雪、そのまま仕事という日が続いていた。睡眠もろくにとらず、その分給料が多いわけでもない。本人はやらないといけないからと言って休まない。こういう話を聞くと、もし何かあったらと不安だった。関わっていない者には実情は分からないが、誰かが犠牲になるようなことのない、もっとしっかりしたシステムがあると安心できる。(30代 女性)
美山の田舎暮らしだが空き家が点在している。20年後には自宅もそうなる可能性が大きい。夫婦のどちらかが欠けたら福井市内に出ると思う。空き家の始末について良い方法が知りたい。(50代 男性)
河原の雑木の取り払い、河川のえぐられた所等をよくみて対処して欲しい。再び堤防が決壊する。クマやイノシシなどの住みかにもなって危険。もっと自然対策に目を向けてほしい。(70歳以上 女性)
下水整備(側溝埋工事)等で、同一町内で片側だけ実施。税金は同じように払っているのに数年放置で不公平。福井市の土木行政はなっていない(片側だけ清掃実施)。(60代 男性)
築30年の自宅は地下配管から水が漏れていて発見できず、検針日で分かって料金が多額になり、工事也多額になり、メーター器を調べる日が多くなった。2ヶ月分は長いとはじめて思った。市内の配管の耐久年数はどれくらいか。(70歳以上 女性)
プロパンガスは料金が高いため、都市ガスを整備してほしい。(50代 女性)

Ⅱ. 住みよいまち
福井は男女共働きが多いことを謳っているが、その分、女性は仕事や家事、育児、介護が大変なのに、男性は家庭のことに積極的ではない。育休を取ると家で遊んでいると云われる事も多い。女性の社会進出を促進するためには、行政や企業の女性を蔑視する50代以上の男性の意識改革をお願いしたい。(30代 女性)
少しでも住みやすい福井にと思いながら、私にできることは限られている。楽しく何か「福井」をアピールできるものを作ればいいのだが。笑顔「満」にしたい。(50代 女性)
地区ごとに施設(高齢者が楽しめる場所)があればいいと思う。(29歳以下 女性)
麻疹など、流行している病気の予防接種補助を大人にもお願いしたい。その他の検診などの取り組みは良いと思う。(40代 女性)

他県から見た福井は、子育て家庭に優しい所という印象があるようだが、待機児童こそいないものの、労働時間が短いと利用条件に外れているがために、毎日働くパートなのに児童館の利用が不可とはいかがなものか。この場合、長期休暇(夏休み等)の時、子供を預かってもらえず本当に困る。働き方や状況に応じてもっと柔軟に対応してほしい。(30代 女性)
福井市ができることで、介護の必要な高齢者と家族への支援として、ショートステイ、ロングステイなどの施設の充実をお願いしたい。なかなか、希望する日に利用できない。(60代 女性)
療育やバリアフリーなど社会的弱者も暮らしやすい地域になる様に取り組んで欲しい。(40代 男性)
原子力に頼らずエコなエネルギー開発を望みたい。再稼働している原発は事故のないように慎重に願いたい。(60代 女性)
ゴミステーションに関して、各町内会の管理だと思うが、町内会の意思統一が困難で、ゴミが散乱してカラスのエサになっている。市の協力があればよいと思う。(60代 男性)
大雪で財源不足のようだが、災害は予測できない。日頃から多くの災害が来ても対応可能な財源確保を心がけるべき。大雪は県下同じ条件。近くの石川や富山と比べてみても・・・。(70歳以上 男性)
高齢者の運転免許返納が推奨されているが、公共機関があまりない(本数が少ない)ので返納する環境にない。せめて、近くの本数の多いところまで移動できる手段があればいいが。(70歳以上 男性)

Ⅲ. 生き活きと働くまち
福井の魅力は食べ物の美味しさ。そして、緑(自然)と文化の豊かな町になってほしい。(50代 女性)
県も市も県外へのアピールの仕方がよくない。大相撲など全国的イベントに賞品として地産品を出すようになるといい。今は宣伝力が大事。(60代 女性)
サル、イノシシが出没して農作物を荒らしており、子供に危害を加えないか心配。爆竹等を配布してもらったが、女性には扱いにくい。越前町や鯖江市のように、センサーをつけて常時監視したり、追い払うなどもっと積極的に取り組んでほしい。福井市の獣害対応が一番悪い。不安で住みにくい。(50代 女性)

企業の誘致を積極的に行って、福井での就職が可能になる事を期待している。(60代 女性)
U、Iターン就職を希望するが、仕事はあるか。今の生活を維持できる給料がもらえる会社が無く、帰りたくても帰れない状態である。若い一家が福井に永住できるような働き口さえあれば、仕事があれば。(70歳以上 女性)
観光客誘致に、SNS、メディア等たくさん方法はあると思う。福井のよさのアピール不足を感じる。(60代 女性)

IV. 学び成長するまち
新文化会館は劇場になると嬉しい。多目的ホールは他にあるので、芸術の舞台として格調高く、利用者の意見を尊重していただきたい。(40代 女性)
県都なのに歴史も文化も何もそろっていない。(40代 男性)
セーレンプラネットに有名声優が来たことがあったが、何も宣伝されず、もっと大々的に宣伝すれば集客できたと思う。あわら市が“ちはやふる”で声優を呼んでかなり盛り上がっているのも、もっといろいろなところに目を向けるのも良い。(50代 女性)
I T化されていく中で、個々のふれ合う機会が薄れて行き、寂しい世の中へ移行するような気がする。特に、話し合うのが苦手な若い人が育っていくようで心配。(70歳以上 女性)
トイレの洋式化を進めて欲しい。(40代 女性)
図書館、美術館、博物館等が点々バラバラな所にあり、もっと一体となって一日中楽しめる公園、植物園、運動場を併設した公共施設を考えてほしい。(40代 男性)
マラソンが趣味で、毎年、金沢や松本のマラソンに参加しているが、市民全員参加でおもてなしの心を発揮し、本当に気持ちが癒される。国体や〇〇大会のような一過性のものではなく、継続性、有用性のあるイベントを企画し、福井をPRして欲しい。(60代 男性)

V 調査票

調査にあたってのお願い

- ◆ ご回答は、あて名のご本人様をお願いします。(代筆でもかまいません。)
- ◆ ご回答は、あてはまる番号に直接○をつけてください。
- ◆ 『その他()』の場合は()の中に、その内容をご記入ください。
- ◆ ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。



<お問合せ>

福井市 市民生活部 市民サービス推進課
TEL 0776-20-5303
FAX 0776-20-5753
E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp



以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

◆福井市に対する意識について

問1 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

- 1. 住み続けたい
- 2. 事情が許せば住み続けたい
- 3. 市外(大都市圏)に住みたい
- 4. 市外(大都市圏以外)に住みたい

問2 福井市が実施する、都市部からの移住を促進する施策を知っていますか。(1つ)

- 1. 内容までよく知っている
- 2. いくつかの内容は知っている
- 3. 内容までは知らない
- 4. 移住促進に取り組んでいること自体、知らない

問3 都市部からの移住を促進するにあたり、福井市の強みは何だと思えますか。(1つ)

- 1. 自然環境
- 2. 生活環境(交通、買い物物の利便性等)
- 3. 子育て、教育環境
- 4. 雇用、労働環境
- 5. 住まいの環境(家の広さ、コスト等)
- 6. その他()

問4 都市部からの移住を促進するために、重要だと思うことは何ですか。(1つ)

- 1. 移住相談体制の充実
- 2. 福井市の魅力の情報発信
- 3. 仕事(就職、起業等)に関する支援
- 4. 住宅の確保に関する支援
- 5. 市内在住者(親等)からの働きかけ
- 6. その他()

◆市のまちづくりについて

問1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。表中の「施策のポイント」を参考にしていただき、施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。(それぞれ1つ)

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
1	県の顔にらさわしい都市空間形成 ・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備	1	2	3	4	1	2	3	4
2	中心市街地の活性化 ・ハピリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
3	北陸新幹線の福井開業準備 ・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備	1	2	3	4	1	2	3	4
4	移住定住の促進 ・本市の魅力をPRすることによる、都市圏からのUターン者の促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援	1	2	3	4	1	2	3	4
5	公共交通機関の利便性向上 ・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の掘り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援	1	2	3	4	1	2	3	4
6	公園の整備・維持管理 ・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・国体に向けた総合運動公園の駐車場等の施設の整備 ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
7	市道の整備・維持管理 ・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強	1	2	3	4	1	2	3	4
8	建築物の安全性向上と住環境の整備 ・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え	1	2	3	4	1	2	3	4
9	治水環境の整備 ・河川や水路の整備と維持管理	1	2	3	4	1	2	3	4
10	生活排水の適切な処理 ・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、汚水処理場設備の更新	1	2	3	4	1	2	3	4
11	おいしい水の安定供給 ・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営	1	2	3	4	1	2	3	4
12	都市ガスの安定供給 ・都市ガスの安定供給と保安の確保 ・ガス事業の健全経営	1	2	3	4	1	2	3	4
13	女性が活躍できる環境づくり ・幅広い年代の市民や企業への意識啓蒙による、女性が増く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
14	多文化共生と国際交流の推進 ・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
15	協働のまちづくり ・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓蒙や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
16	地域コミュニティの活性化 ・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や魅力発信事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
17	健康づくり支援 ・認知症初期段階での支援チーム（医療や福祉の専門職）による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓蒙	1	2	3	4	1	2	3	4
18	子育て環境の充実 ・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営	1	2	3	4	1	2	3	4
19	高齢者の活躍支援 ・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
20	障がい者の活躍支援 ・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援	1	2	3	4	1	2	3	4
21	環境保全の推進 ・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・大気汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
22	ごみの適正な処理 ・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
23	地域の防災力・防災力を高める ・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度				
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	
24	消防・救急体制の強化 ・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施	1	2	3	4		1	2	3	4	
25	消費者保護の推進 ・消費者相談や消費生活に関する情報提供	1	2	3	4						
26	交通安全の推進 ・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進	1	2	3	4						
27	農林水産業の推進 ・農地集積、集落基盤の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・U・I・ターン者の農林水産業への就業支援と定住の促進	1	2	3	4						
28	農産物の需要拡大 ・食槽すいか、きゅうふく（サラダ人参）に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進	1	2	3	4						
29	農山漁村の生活環境を守る ・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止	1	2	3	4						
30	商工業の振興 ・企業の新技術や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・市外企業の誘致や企業立地に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援	1	2	3	4						
31	福井で働くことを応援する ・学生や社会人へのU・I・ターン就職や正社員採用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組み企業への支援	1	2	3	4						

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度				
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	
32	観光の振興とおもてなしの充実 ・一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸への誘客 ・ふくい桜まつりや福井フェニックスまつりの開催 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進	1	2	3	4		1	2	3	4	
33	文化芸術の振興 ・市展覧や魅力ある企画展の開催 ・文化会館の整備	1	2	3	4						
34	歴史・文化遺産の保存・活用 ・一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催	1	2	3	4		1	2	3	4	
35	自然科学教育の充実 ・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館（セーレンプラネット）の管理運営	1	2	3	4						
36	学校教育の充実 ・A・L・T等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアコーディネーターの配置	1	2	3	4		1	2	3	4	
37	子どもの健全育成 ・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの集結講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施	1	2	3	4						
38	学校環境の整備 ・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施	1	2	3	4		1	2	3	4	
39	生涯学習の支援 ・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修	1	2	3	4						
40	生涯スポーツの支援 ・各種スポーツ事業への助成 ・「福井しあわせ元気」国体、障害者スポーツ大会に向けた機運醸成と円滑な開催に向けたボランティアの育成と確保	1	2	3	4		1	2	3	4	

◆ 男女共同参画に関する考え方について

問1 地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。(すべて)

1. 子ども会・PTA
2. 自治会・防災防犯
3. 老人会・婦人会
4. 社会奉仕・福祉
5. 消費生活・環境保護
6. 地域のまちづくり
7. その他
8. 参加していない

問2 現在の学校教育の場において、男女平等になっていていると思いますか。(1つ)

1. 平等になっていると思う
2. まだ平等とはいえない
3. わからない

問3 あなたは、平日に1日平均するとどのくらい家事育児をしていますか。(記入)

(分)

◆ 健康づくりに対する意識について

問1 あなたは、日常生活の中で運動（徒歩や自転車移動を含む）をしていますか。(1つ)

1. ほとんど毎日運動している
2. 週に1～2回程度運動している
3. 月に1～2回程度運動している
4. ほとんど運動していない

問2 あなたは、日常生活の中で積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

1. 常に食べている
2. 時々食べている
3. 食べていない

問3 あなたは、「ベジ・ファースト」を実践していますか。(1つ)
(ベジ・ファーストとは、健康管理のため食事の最初に野菜から食べることです。)

1. 毎食実践している
2. 時々実践している
3. 実践していない

7 / 12

◆ 食育の推進状況について

問1 あなたは、ふだん朝食を誰と食べていますか。(1つ)

1. 家族そろって食べる
2. 家族の誰かと食べる
3. 一人で食べる
4. 朝食を食べない(→問2へ)
5. その他 ()

問2 問1で「4. 朝食を食べない」と答えた方のみにお聞きます。
朝食を食べない主な理由はどれですか。(1つ)

1. 時間が無い
2. 食欲が無い(お腹がすいていない)
3. 用意されていない
4. その他 ()

問3 あなたは、ふだん夕食を誰と食べていますか。(1つ)

1. 家族そろって食べる
2. 家族の誰かと食べる
3. 一人で食べる
4. 夕食を食べない
5. その他 ()

◆ 地球温暖化対策について

問1 あなたは、「COOL CHOICE (クール チョイス)」を知っていますか。(1つ)
(COOL CHOICE とは、地球温暖化対策のために日常生活で賢い選択をする国民運動です。)

1. 知っており、既に取り組んでいる
2. 知っているが、取り組んでいない
3. 知らない

問2 あなたのご家庭には、環境に配慮した製品や設備がありますか。(すべて)

1. 太陽光発電設備
2. LED照明
3. 省エネ家電
4. エコカー(電気自動車やPHV等)
5. 何もない

問3 地球温暖化対策のために、どのような取り組みをしていますか。(すべて)

1. LED等省エネ製品への買い替え
2. 電気自動車等エコカーへの買い替え
3. 公共交通機関の積極的な利用
4. クールビズ、ウォームビズの取組
5. 時間指定等による宅配便の再配達防止
6. 取り組んでいない

8 / 12

◆ 福井市本町通り地下駐車場について

問1 あなたは、福井市本町通り地下駐車場をご存知ですか。(1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問2 あなたが、福井市本町通り地下駐車場を利用して不便に思うこと、または利用したことがない理由を教えてください。(1つ)

1. 目的地から遠い
2. 入出庫する場所がわかりにくい
3. 料金が高い
4. 駐車方法がわからない
5. その他 ()

問3 あなたが、駐車場が不足していると思うところはどこですか。(1つ)

1. J R福井駅周辺 (西口、東口)
2. 福井駅前商店街 (中央1丁目)
3. 福井市役所周辺 (大手3丁目)
4. 片町周辺 (順化1、2丁目)
5. 駐車場は足りている
6. その他 ()

問4 あなたが、J R福井駅を利用する際、駅までの交通手段は何ですか。(1つ)

1. 自家用車
2. 公共交通機関 (鉄道、バス、タクシー)
3. 徒歩、自転車
4. 家族等の送迎
5. その他 ()

◆ 運動やスポーツについて

問1 あなたは、運動 (徒歩や自転車移動を含む) やスポーツをしたいと思いますか。(1つ)

1. 既に行っており、満足している
2. もっと行いたい
3. 行いたい、できない
4. 運動やスポーツに関心がない

問2 どのような条件を整えば、運動やスポーツを行うことができますか。(すべて)

1. 身近なところに施設があれば
2. 夜間も施設が利用できれば
3. 体調や健康状態を整えば
4. 施設の費用が安ければ
5. 一緒に行う友人や仲間がいれば
6. 気軽に参加できる教室があれば
7. 自由な時間が増えれば
8. 身近に指導者がいれば
9. 情報が入手しやすくなれば
10. 施設の予約が簡単にできれば

9 / 12

◆ 福井市文化会館の再整備について

問1 あなたは、新しい文化会館にどのような機能を期待しますか。(1つ)

1. 鑑賞機能 (良質な公演・鑑賞環境)
2. 交流機能 (文化活動への参加促進)
3. 創造機能 (日常的な創作活動の促進)
4. 継承機能 (郷土芸能等の活用・発展)
5. 情報機能 (活動紹介・広報等情報発信)
6. 集客機能 (立ち寄りやすい賑わう空間)

問2 あなたは、新しい文化会館の運営にどのようなことを期待しますか。(1つ)

1. 利用しやすい開館時間
2. 利用しやすい料金設定
3. 運営者による積極的な事業実施
4. 市民の企画・運営への参加
5. 年齢・障がい等の有無に関わらず、誰もが利用しやすい施設運営

問3 新しい文化会館の運営に携わるボランティアを募集した場合、あなたは参加しますか。(すべて)

1. 参加したい (イベント等の企画運営)
2. 参加したい (PR紙、ホームページ作成)
3. 参加したい (ホールの受付、案内)
4. 参加したい (美術、照明の補助)
5. 参加したい (その他)
6. 参加したくない

◆ 働き方改革について

問1 働き方改革を進めていく上で、重要だと思う取り組みは何ですか。(1つ)

1. 経営者や会社の上司の意識改革
2. 職場における制度の整備
3. 職場の雰囲気づくり
4. 人材確保等による業務量の軽減
5. その他 ()

◆ 観光客受け入れに関する意識について

問1 観光客へのおもてなしについて、あなたの日頃の行動はどれですか。(1つ)

1. 観光客へ自分から積極的に声をかける
2. 観光客が困っている時は声をかける
3. 観光客から声をかけられれば対応する
4. 観光客と関わらないようにする

問2 あなたは、福井の良いところを人に勧めたり説明したりすることができますか。(1つ)

1. 既に積極的に発信している
2. ある程度、説明ができる
3. うまく説明することができない
4. 福井の良いところを知らない

10 / 12

◆ 人口減少・超高齢社会を踏まえた生活の場について

問1 福井市では、「人口減少・超高齢社会において、住宅や商業施設、医療・福祉施設等が身近にあり、車に過度に依存しないで歩いて暮らせるコンパクトな都市づくり」に取り組んでいます。あなたは、将来（約10年後）どのようなエリアで生活したいですか。（1つ）

1. 市の中心部（JR福井駅近辺）やその周辺で、徒歩や自転車で行ける様々な公共施設や店舗、病院等を利用できるエリア
2. 市街地の鉄道（JR、えちぜん鉄道、福井鉄道福武線）駅周辺で、徒歩や自転車、鉄道などの公共交通で通勤・通学をはじめ、店舗や病院等を利用できるエリア
3. 上記1と2の場所を除く市街地で、徒歩や自転車、バスなどの公共交通、自家用車で通勤・通学をはじめ、店舗や病院等を利用できるエリア
4. 海や山、田畑など、自然が身近にある場所で、自家用車等で店舗や病院等を利用できるエリア

◆ あなた自身のことについて

F1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

1. 男性
2. 女性

F2 あなたの年齢をお答えください。（1つ）

1. 18～29 歳
2. 30～39 歳
3. 40～49 歳
4. 50～59 歳
5. 60～69 歳
6. 70 歳以上

F3 あなたのお仕事をお答えください。（1つ）

1. 自営業者
2. 会社員・公務員
3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫
5. 学生
6. 無職

F4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。（1つ）

1. 2年未満
2. 2年以上5年未満
3. 5年以上 10 年未満
4. 10 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満
6. 30 年以上

F5 同居している家族構成はどれにあたりますか。（1つ）

1. 一人暮らし
2. 1世代（夫婦だけ等）
3. 2世代（親と子等）
4. 3世代（親と子と孫等）
5. その他（ ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

11 / 12

◆ 自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
6月26日（火）までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

調査結果は10月末に福井市ホームページ等で公表いたします。
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検 索



朝倉ゆめまる

朝倉ゆめまるは日本のボンベイと言われる一乗谷朝倉氏遺跡に住む妖精で、姿は一乗谷朝倉氏遺跡の象徴である唐門を唄とした武将の姿をしています。
平成25年9月から、福井市宣伝隊長として活動しています。
「越前ふくいを諸国に広めるための宣伝隊長としてがんばるぞ！」

『朝倉ゆめまる公式 Facebook ページ』
<https://ja-jp.facebook.com/AsakuraYumemaru>

12 / 12



平成 30 年度

福井市民意識調査報告書

平成 30 年 10 月発行

福井市市民生活部
市民サービス推進課

〒910-8511 福井市大手 3 丁目 10 番 1 号
TEL (0776) 20-5303
